

外装リフォーム②RC・S造(ALC)編 木胴縁工法 ＜納まり詳細図＞

1	RC	モエン横張り	金具施工
2	RC	モエン横張り	釘打ち施工
3	RC	モエン縦張り	金具施工
4	RC	モエン縦張り	釘打ち施工
5	S造(ALC厚100mm)	モエン横張り	金具施工
6	S造(ALC厚100mm)	モエン横張り	釘打ち施工
7	S造(ALC厚100mm)	モエン縦張り	金具施工
8	S造(ALC厚100mm)	モエン縦張り	釘打ち施工
9	RC	センターサイディング横張り	ビス留め施工
10	RC	センターサイディング縦張り	ビス留め施工
11	S造(ALC厚100mm)	センターサイディング横張り	ビス留め施工
12	S造(ALC厚100mm)	センターサイディング縦張り	ビス留め施工
13	S造(ALC厚50mm)	モエン縦張り	釘打ち施工

本章は、基本的な納まり例を記載しています。記載がない事項については、最新の
ニチハ設計施工資料集外装リフォーム②RC・S造編をご確認ください。

1 各部の納まり詳細図

RC

木胴縁工法

モエン横張り

金具施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部	①木胴縁 ②モエン
6)左右接合部	①1.5尺×10尺 ②1.5尺×6尺
7)入隅部	
8)出隅部	同質出隅
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	

本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

横

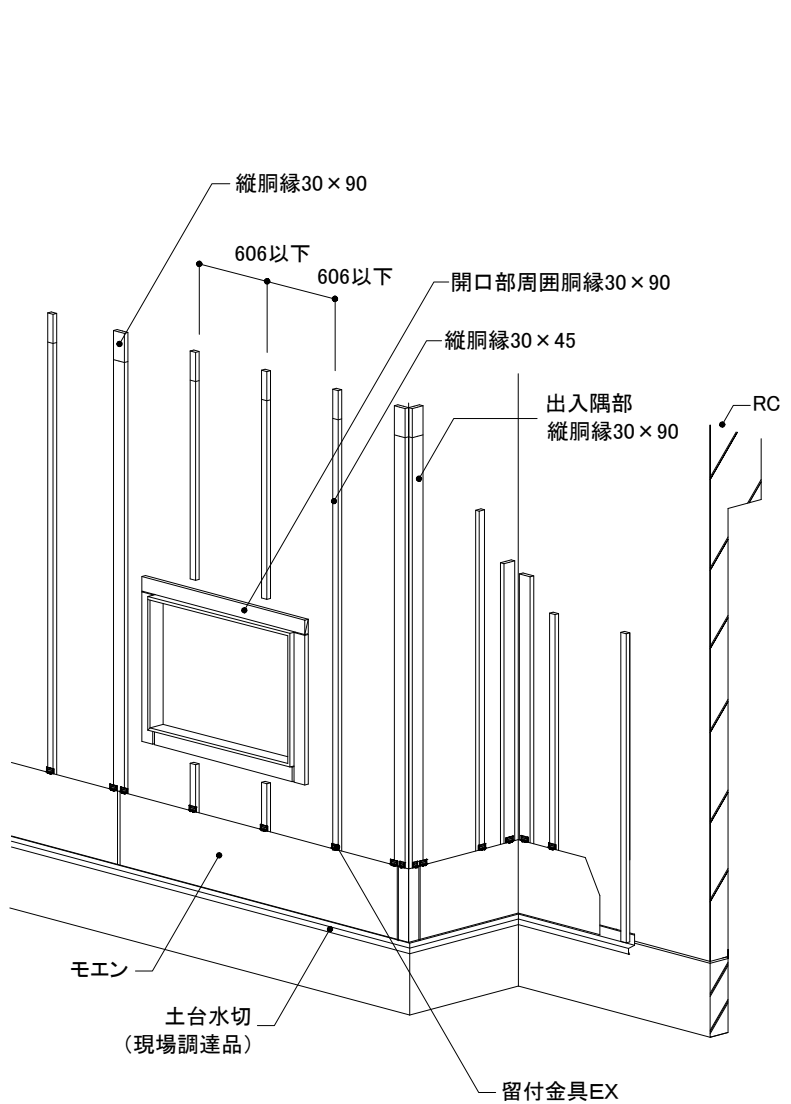
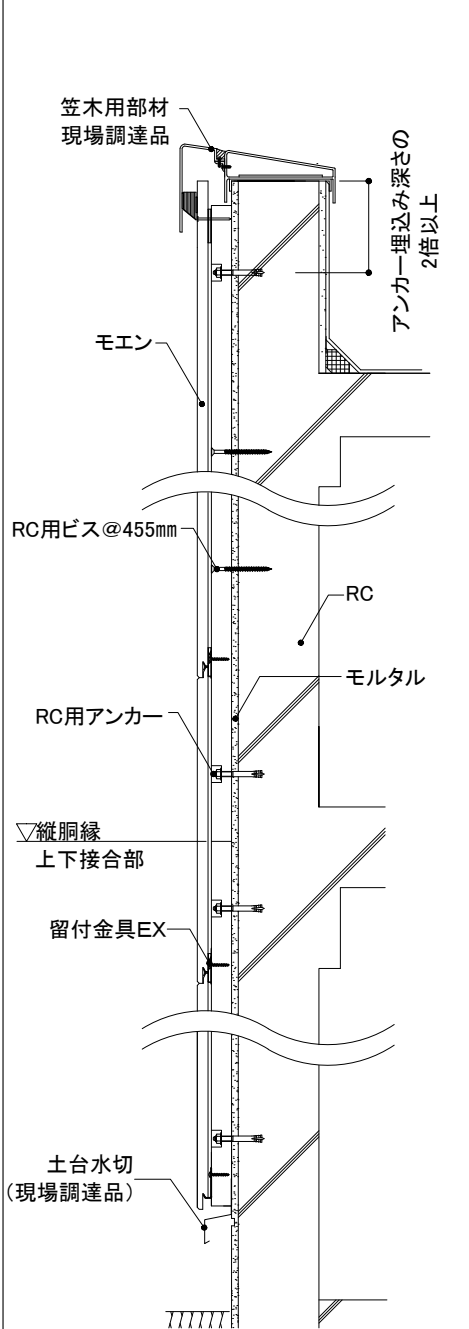
胴縁組

縦胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどがないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- 木胴縁の上下接合部では、RCアンカーが留付金具EXの施工に干渉しないようにします。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

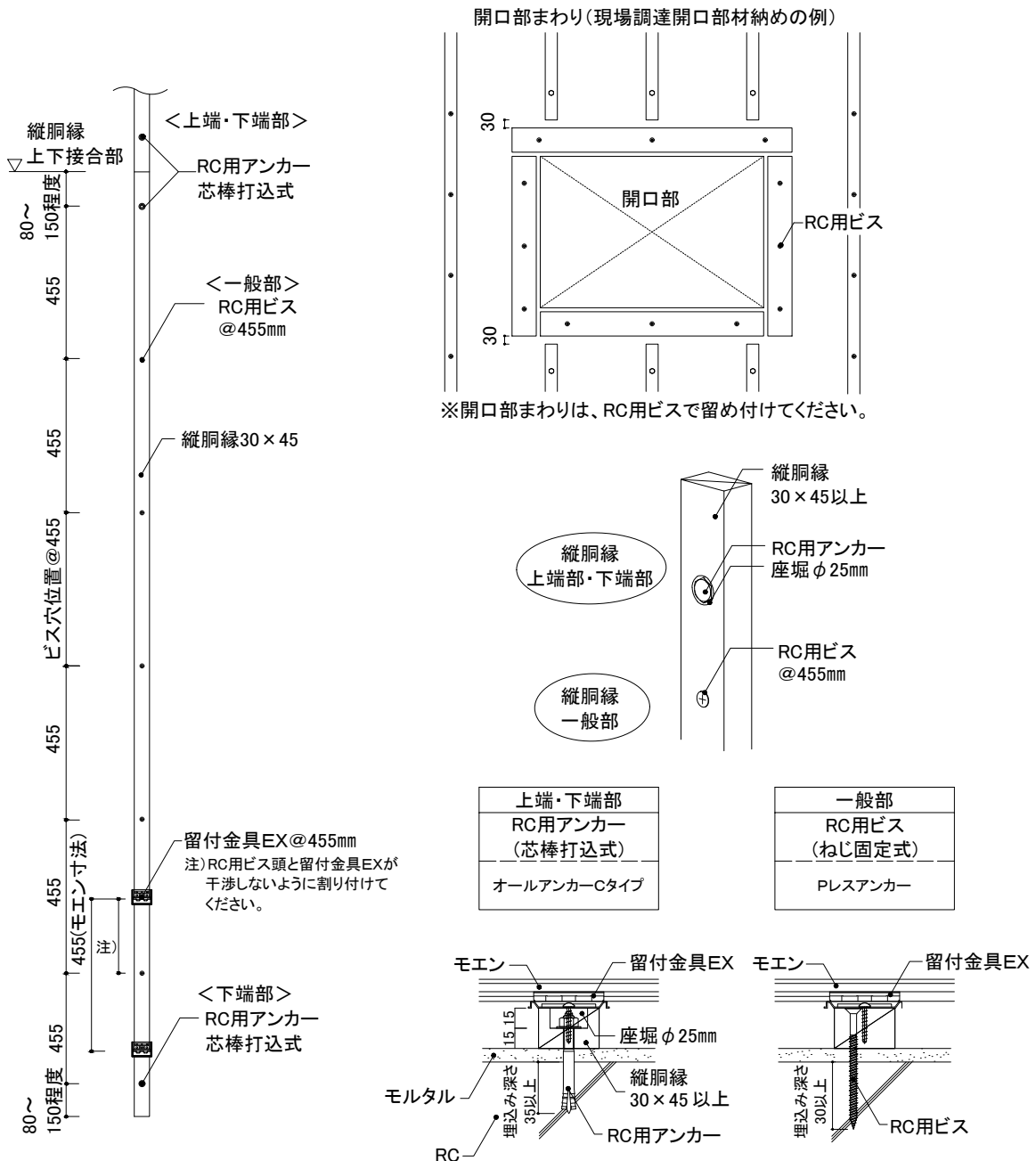
横

胴縁組

縦胴縁@606mm以下

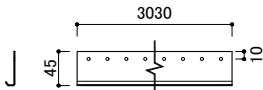
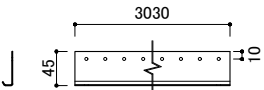
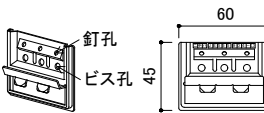
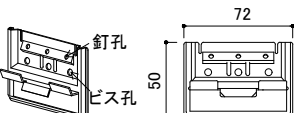
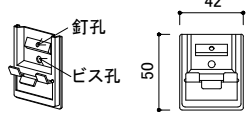
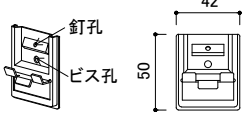
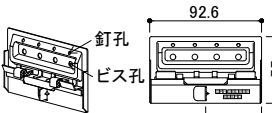
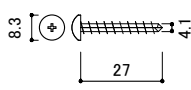
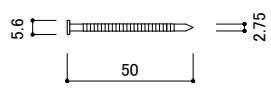
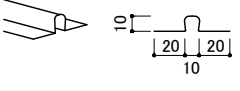
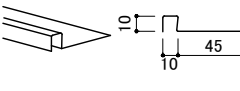
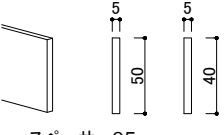
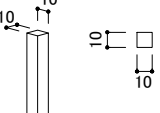
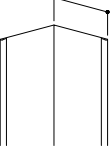
2) 胴縁概要図

- 木胴縁はRC用ビスを用いて、455mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき上端部、下端部の2ヶ所はRC用アンカーとします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめRC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりは、RC用ビスで留め付けます。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、RC用アンカーは1ヶ所留めとします。
- RC外壁がモルタルで仕上げられている場合などは、モルタルの塗り厚さに注意してRC用アンカー・ビスのサイズを選定します。アンカー・ビスの種類によって埋込み深さが異なります。
- RC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。



16~21mm厚品 EX S	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

<p>■スターター</p>  <p>横張り金具工法用スターターA (エクセラード用) (モエンス18ハルモニアシリーズ用) 【品番:FA150A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.8mm 長さ:3,030mm 備考:専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ:胴縁ごと(606mm以下)</p>	<p>■スターター</p>  <p>横張り金具工法用スターターB (モエンス18ハルモニアシリーズ以外用) 【品番:FA150B】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.8mm 長さ:3,030mm 備考:専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ:胴縁ごと(606mm以下)</p>	<p>■一般部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX (エクセラード用) (モエンス18ハルモニアシリーズ用) 【品番:JE555】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビスで留め付ける</p>	<p>■一般部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX (モエンス18ハルモニアシリーズ以外用) 【品番:JE650】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビスで留め付ける</p>
<p>■出隅部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX出隅用Ⅱ (エクセラード用) (モエンス18ハルモニアシリーズ用) 【品番:JE552C】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:本体には使用できません</p>	<p>■出隅部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX出隅用Ⅱ (モエンス18ハルモニアシリーズ以外用) 【品番:JE652C】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:本体には使用できません</p>	<p>■左右接合部金具 (1.5尺×6尺品用)</p>  <p>横張り用留付金具EX左右接合部用 (エクセラード用) 【品番:JEJ565】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビス2本で留め付ける</p>	<p>■専用ビス (スターター・金具留付用)</p>  <p>ステンステクスネジ 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>
<p>■専用釘 (サイディング留付用)</p>  <p>モエン用釘(ステンスリング釘) 【品番:JKW840Bなど】 材質:ステンレス サイズ:φ2.75mm×50mm</p>	<p>■ハットジョイナー</p>  <p>ハットジョイナー10 【品番:FH1010R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:3,030mm 表面色:クリアーレッド着色</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー10 【品番:FHK1110R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアーレッド着色</p>	<p>■スペーサー</p>  <p>スペーサー05 【品番:FS1005】 長さ:1,200mm 材質:ポリプロピレン スペーサー05(ピースタイプ) 【品番:FSP1005】 長さ:1,000mm 材質:ポリプロピレン</p>
<p>■バックアップ材</p>  <p>バックアップ材10 【品番:FB1010】 材質:発泡ポリエチレン 長さ:1,000mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm</p>		

※各部材は2024年5月時点のものです。最近の情報はNICHIIHA内外建材総合カタログでご確認ください。

16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

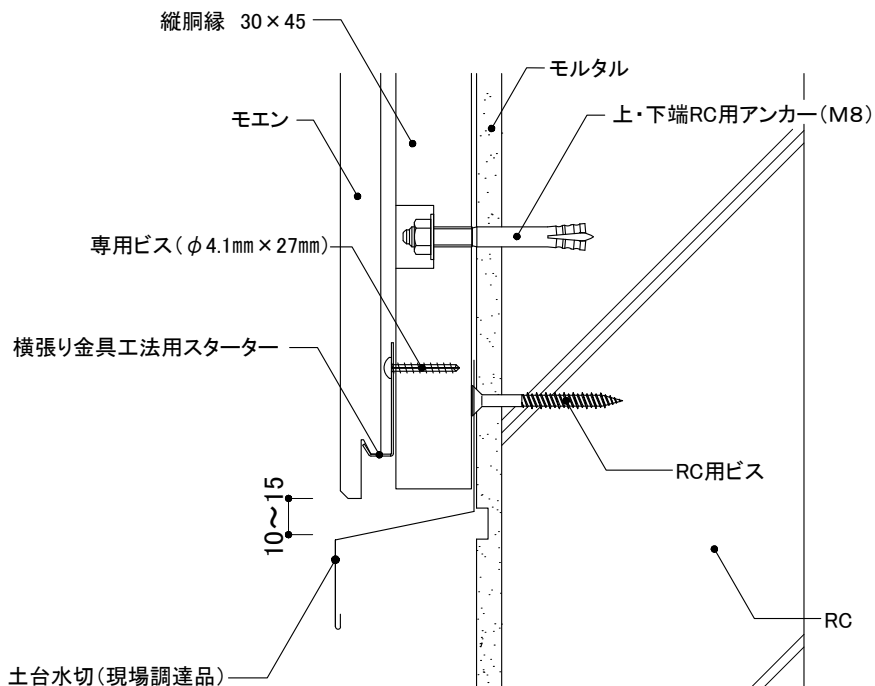
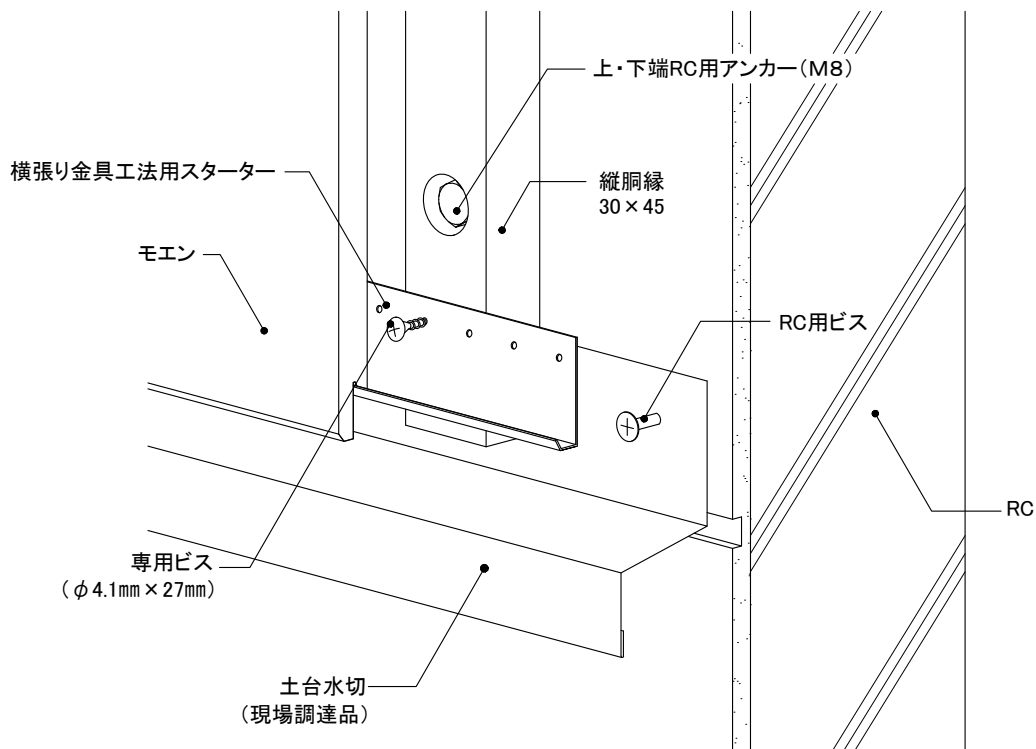
横

胴縁組

縦胴縁@606mm以下

4) 土台部

- 土台水切をRC用ビスで留め付けてから、木胴縁を施工します。
- 横張り金具工法用スターターは、専用ビス(φ4.1mm×27mm)を用い、胴縁ごとに横張り金具工法用スターターの立ち上がり部に上下2本留めます。下段部分は先孔をあけてから留め付けます。
- モエン下端と土台水切の間は、10~15mm程度の隙間を設けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

横

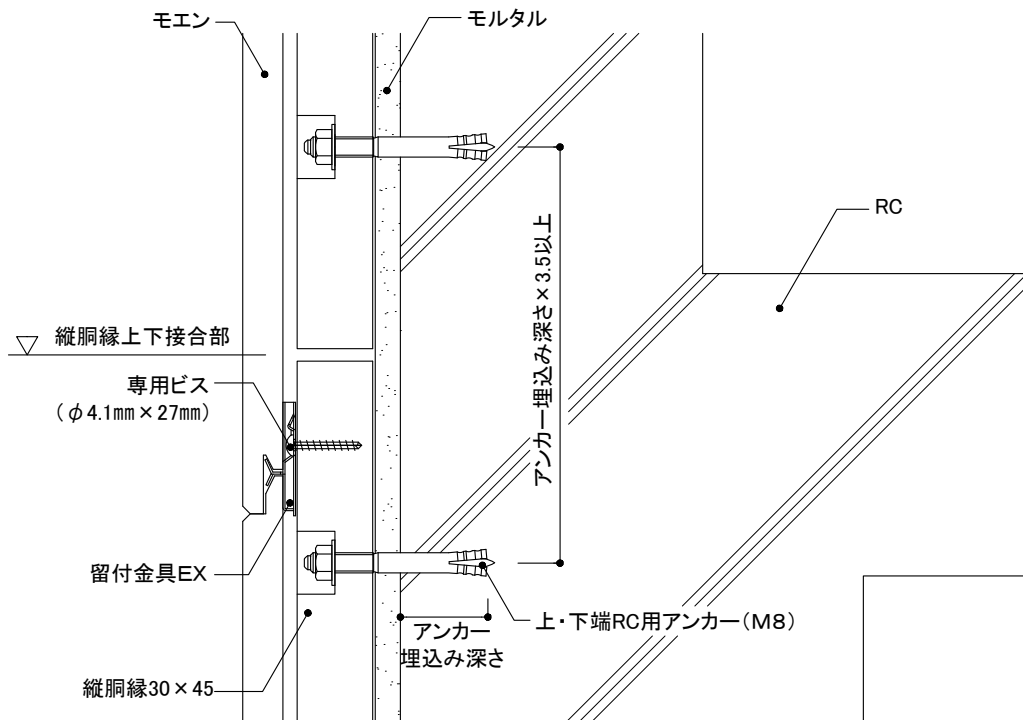
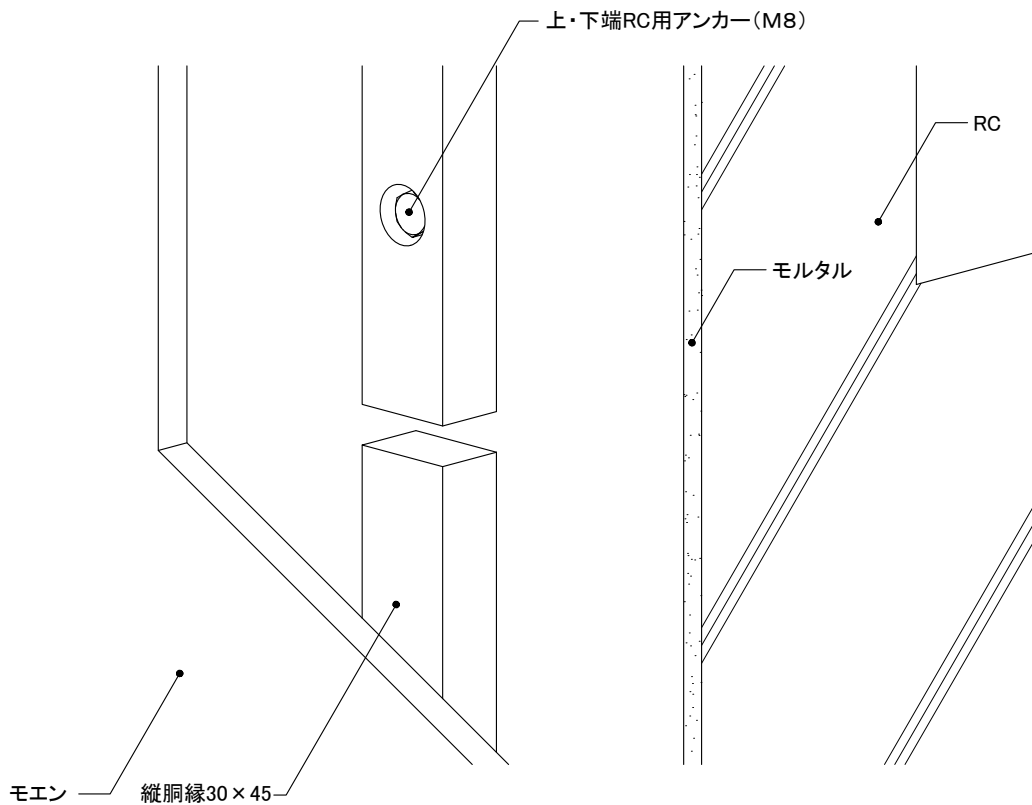
胴縁組

縦胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

① 木胴縁

●木胴縁の上下接合部では、RC用アンカーが留付金具EXの施工に干渉しないようにします。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

横

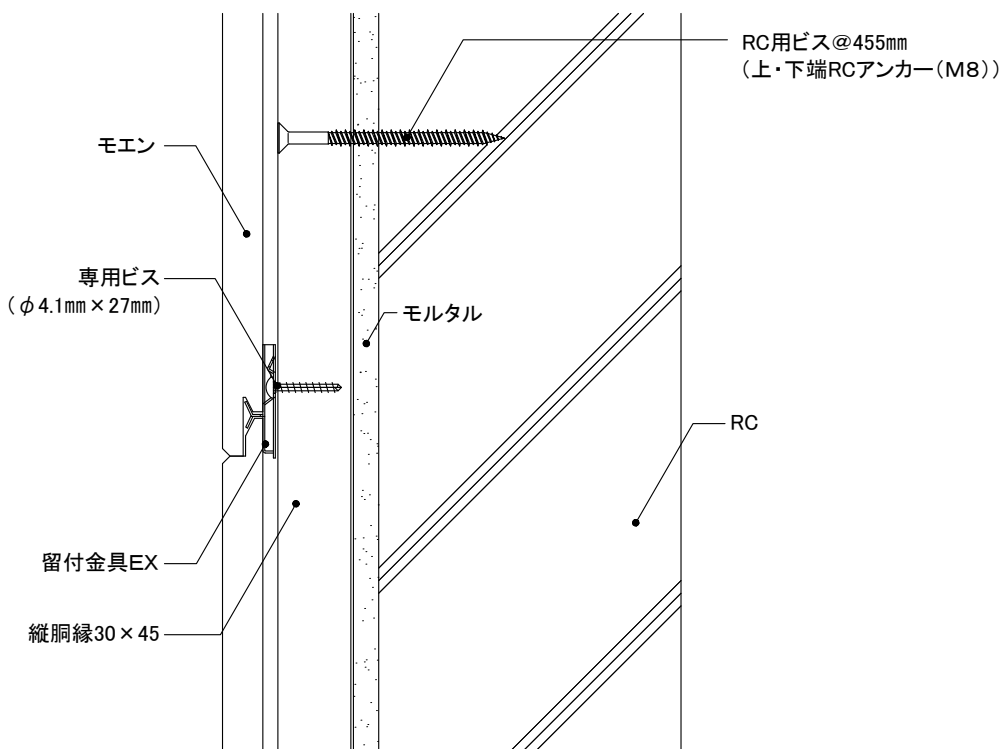
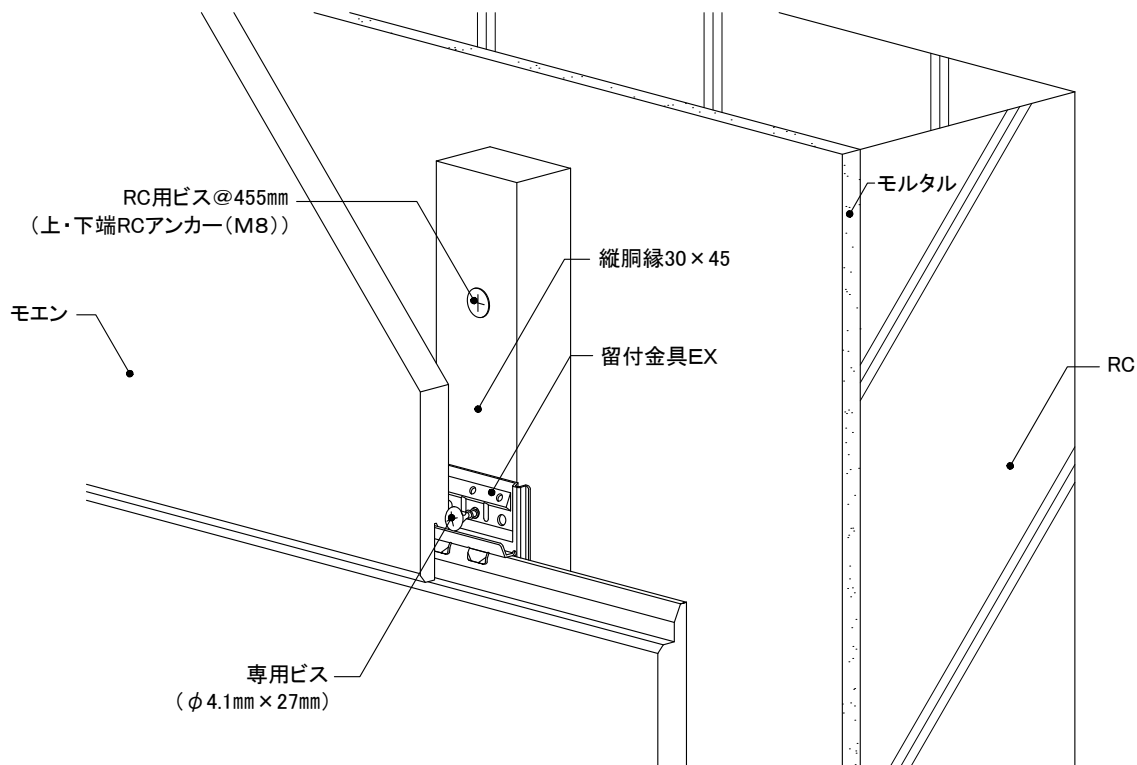
胴縁組

縦胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

②モエン

● 実には留付金具EXを確実に納め、専用ビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

横

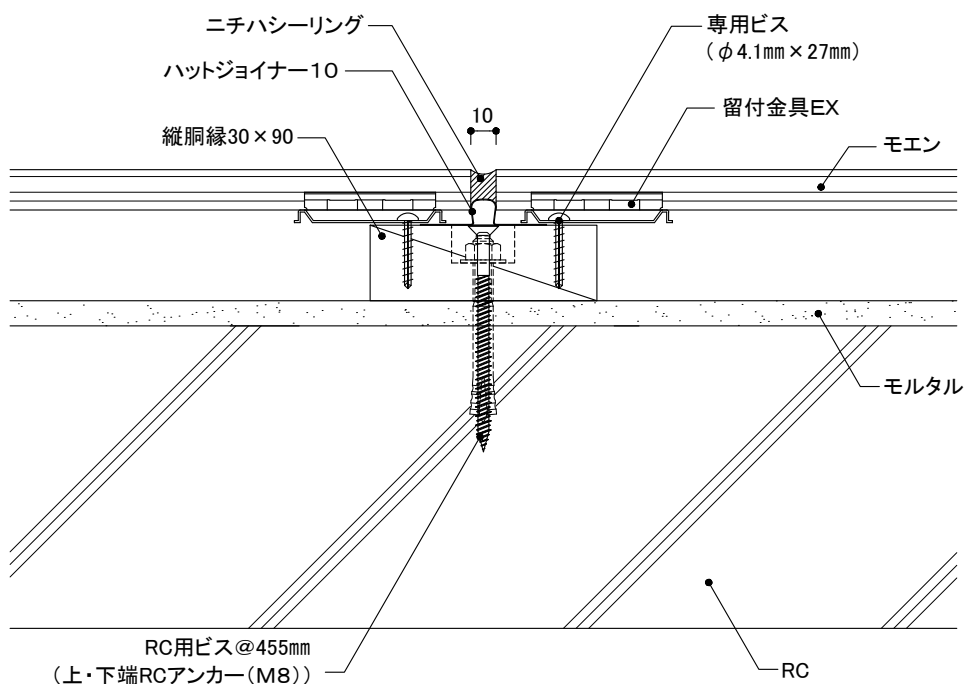
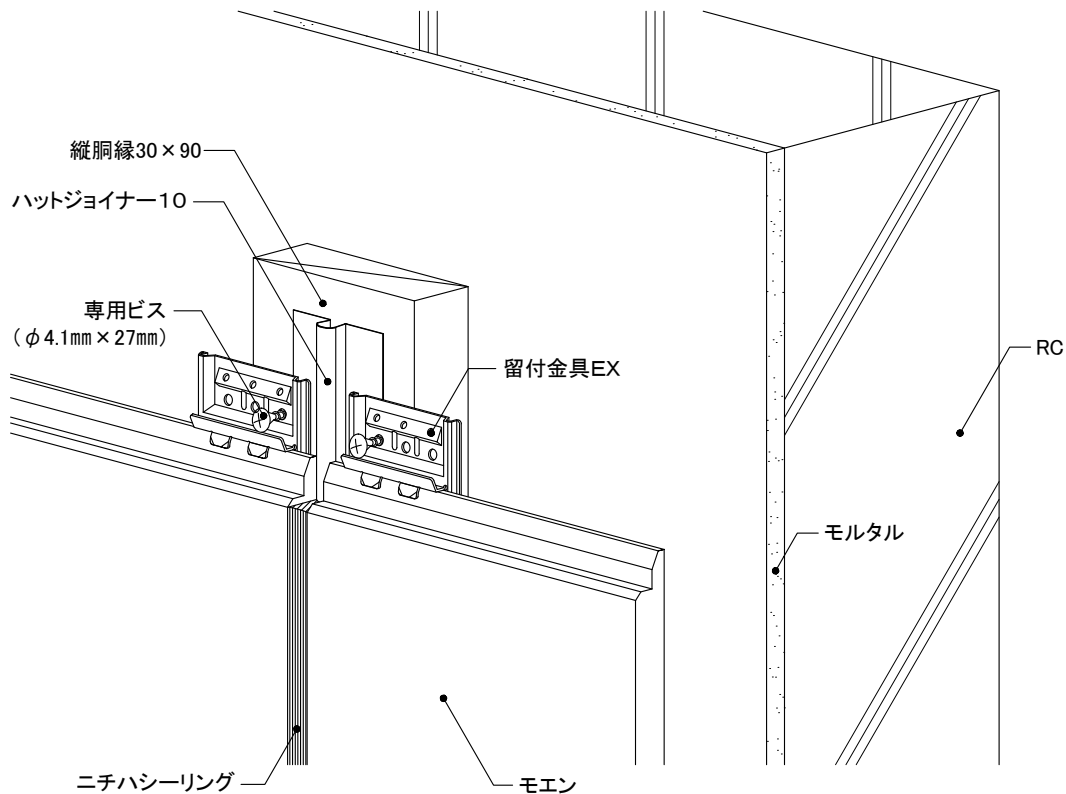
胴縁組

縦胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

① 1.5尺×10尺

- 左右接合部に、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部には必ずハットジョイナー10を用い、10mm程度の隙間を設けて施工します。
- 実に留付金具EXを確実に納め、専用ビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。



16~21mm厚品

EX

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

横

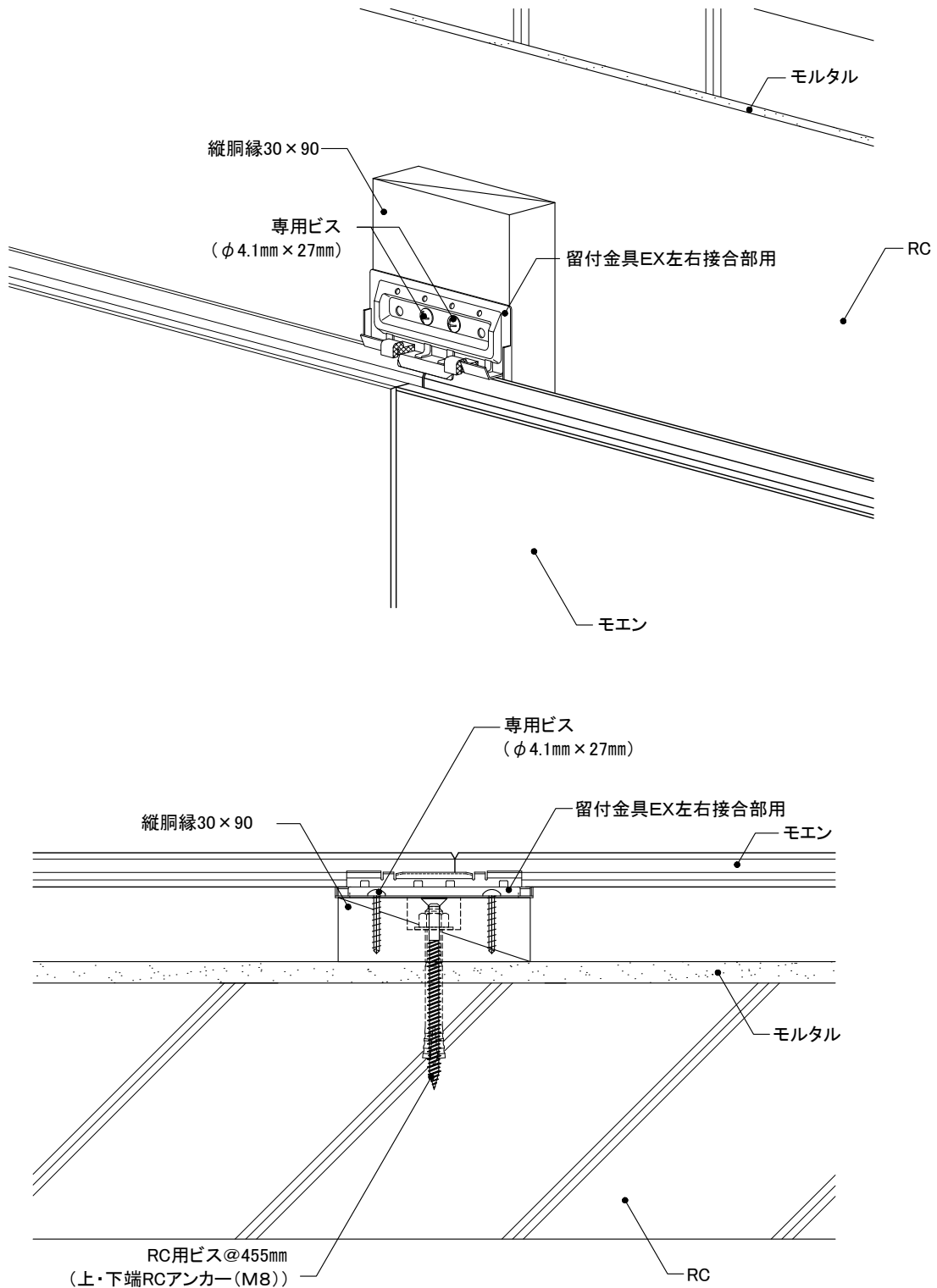
胴縁組

縦胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

②1.5尺×6尺

- 左右接合部に、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部には必ず留付金具EX左右接合部用を用い、専用ビス(φ4.1mm×27mm)2本で留め付けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

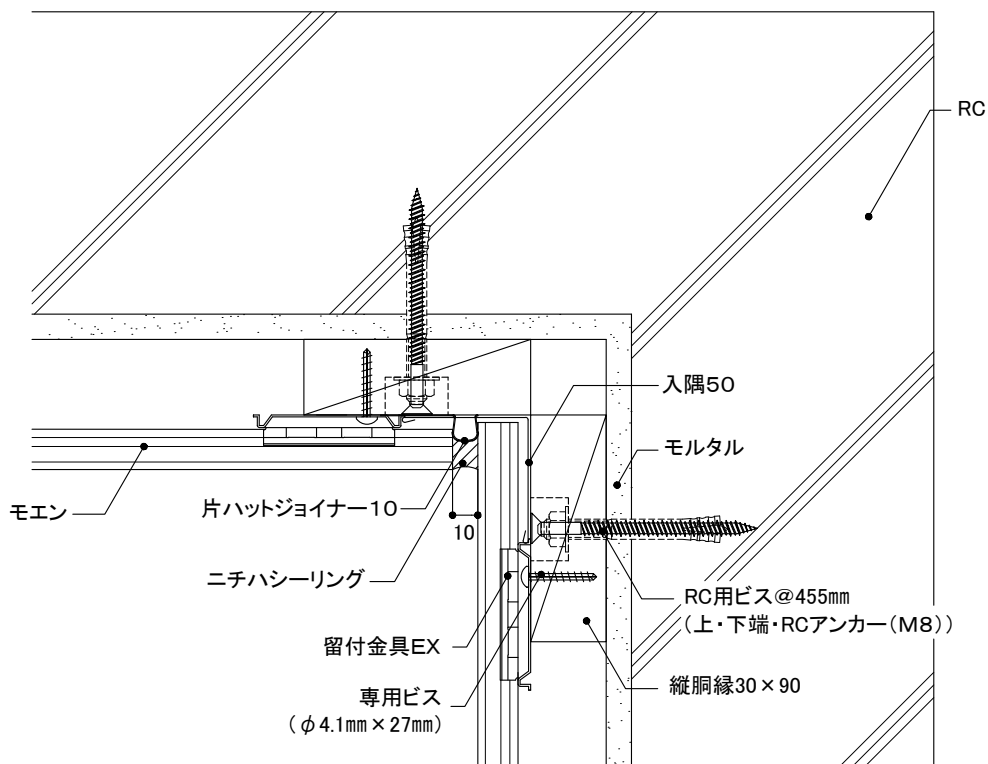
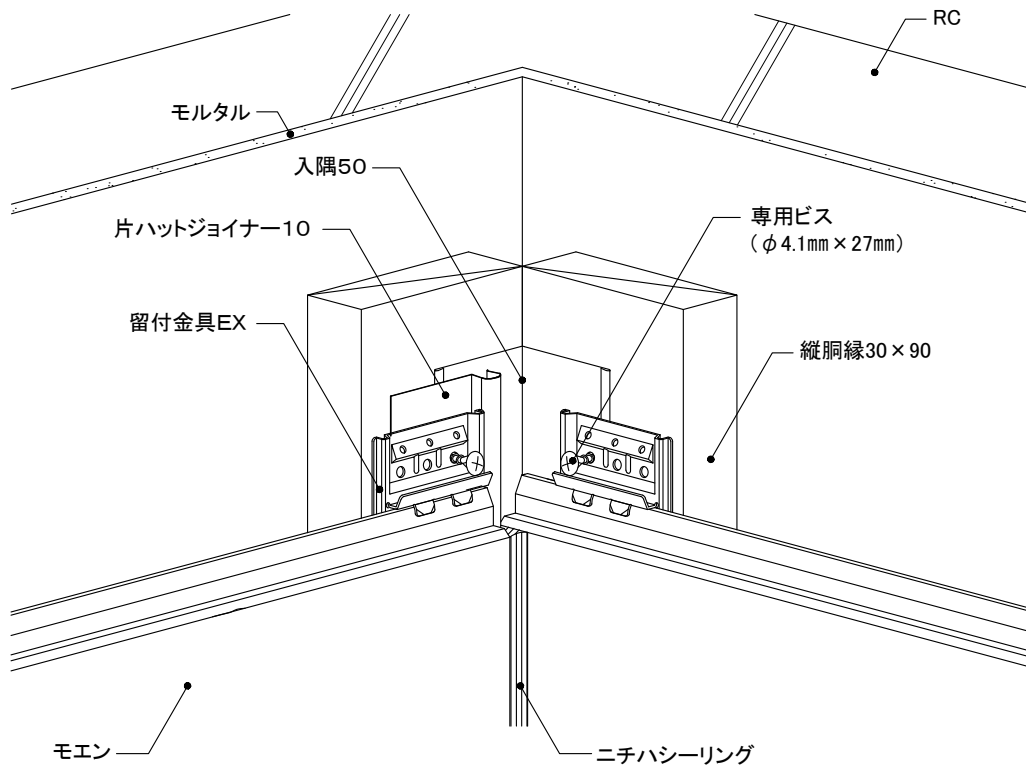
横

胴縁組

縦胴縁@606mm以下

7) 入隅部

- 入隅部に、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 入隅50を取り付けた後、片ハットジョイナー10を用い、図のように10mm程度の隙間を設けて施工します。
- 実に留付金具EXを確実に納め、専用ビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

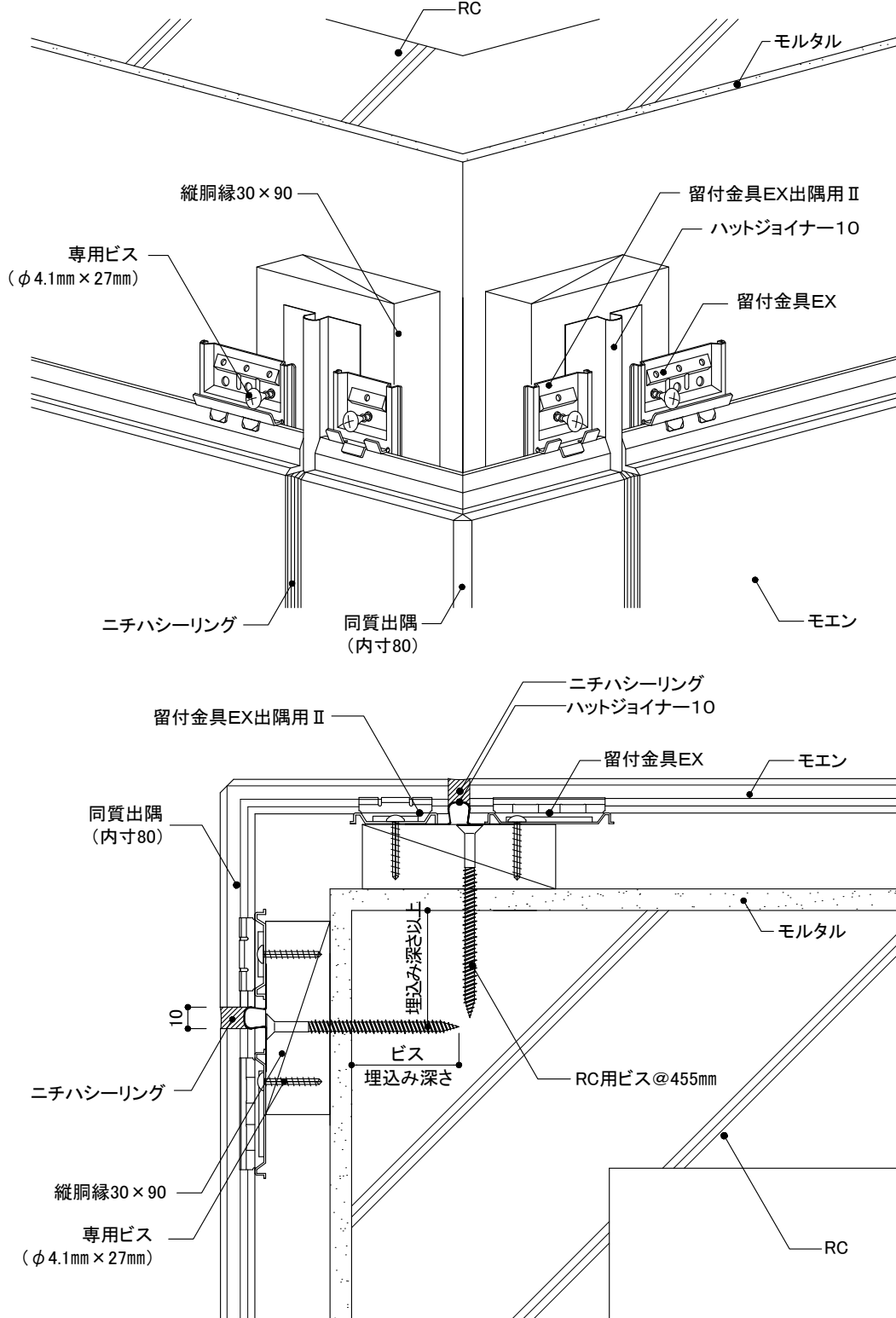
横

胴縁組

縦胴縁@606mm以下

8) 出隅部

- 出隅部に、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 既存モルタル厚みを考慮し、同質出隅の内寸で決定します。(図は内寸80で表現しています)
同質出隅は、留付金具EX出隅用IIで留め付けます。
- 実に留付金具EXを確実に納め、専用ビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- 同質出隅との取り合い部には、必ずハットジョイナー10を用い、10mm程度の隙間を設けて施工します。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

横

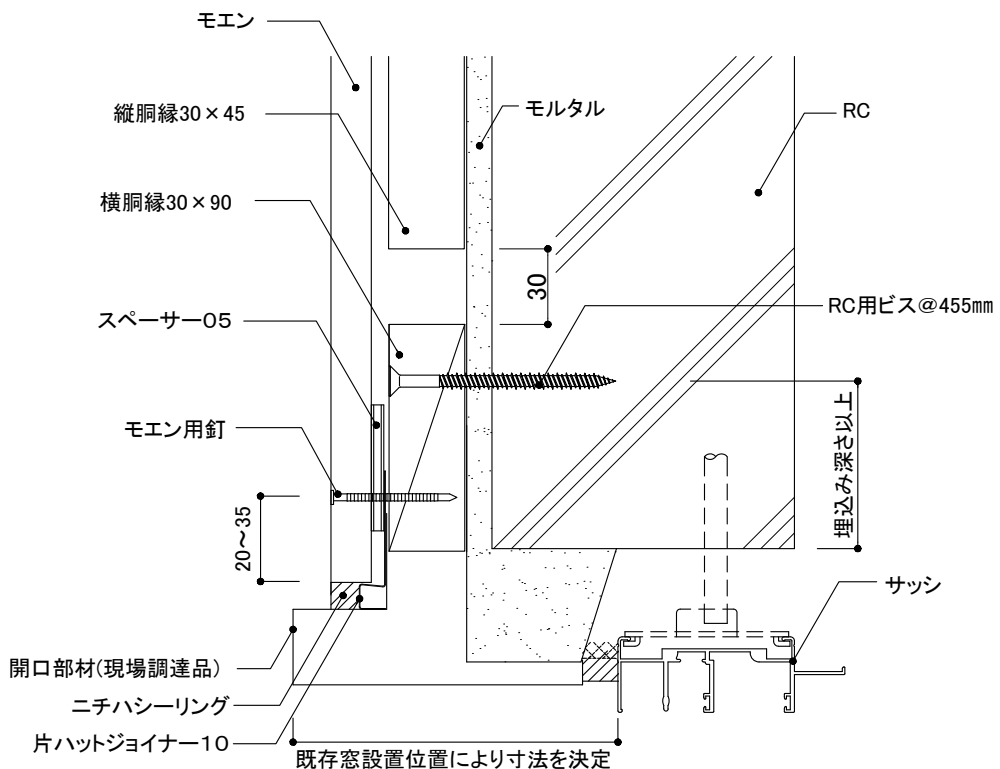
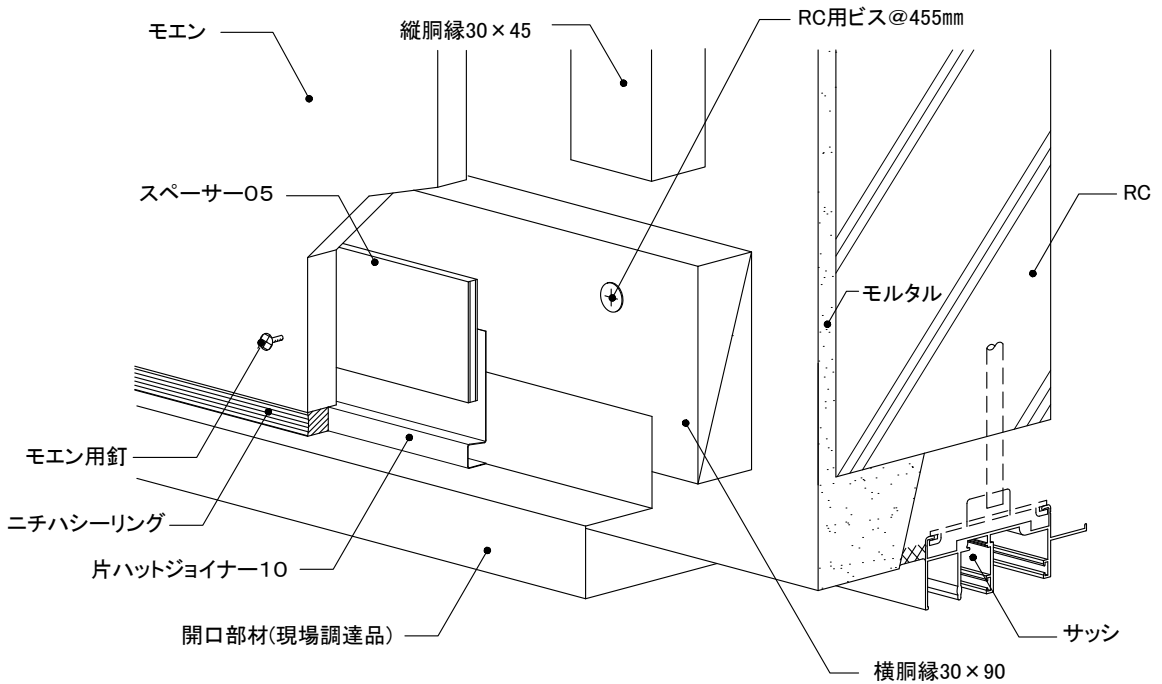
胴縁組

縦胴縁@606mm以下

9)開口部

①上側

- 開口部まわりに、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

横

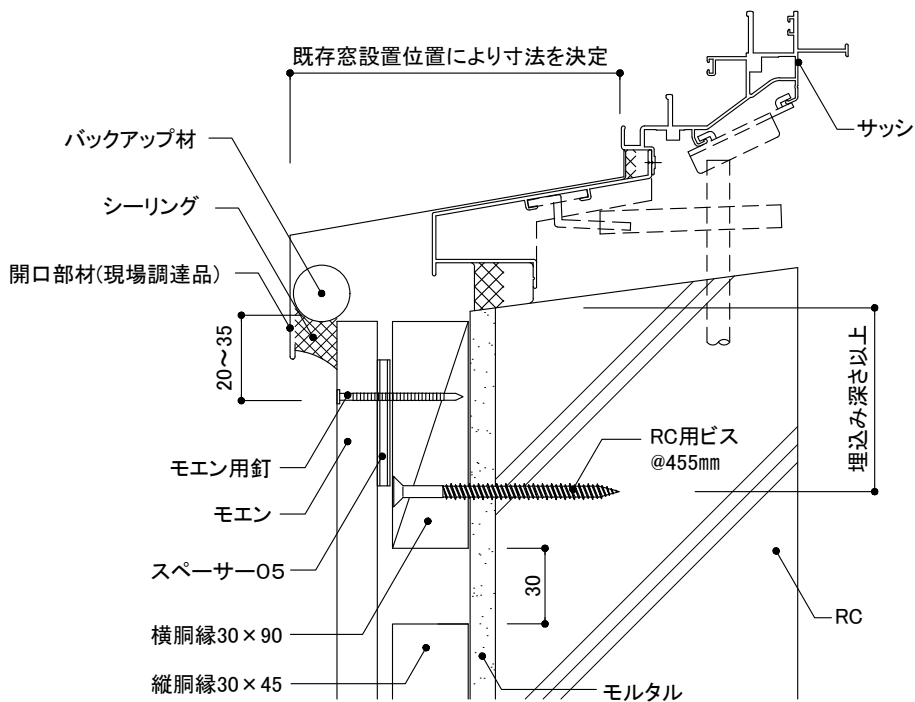
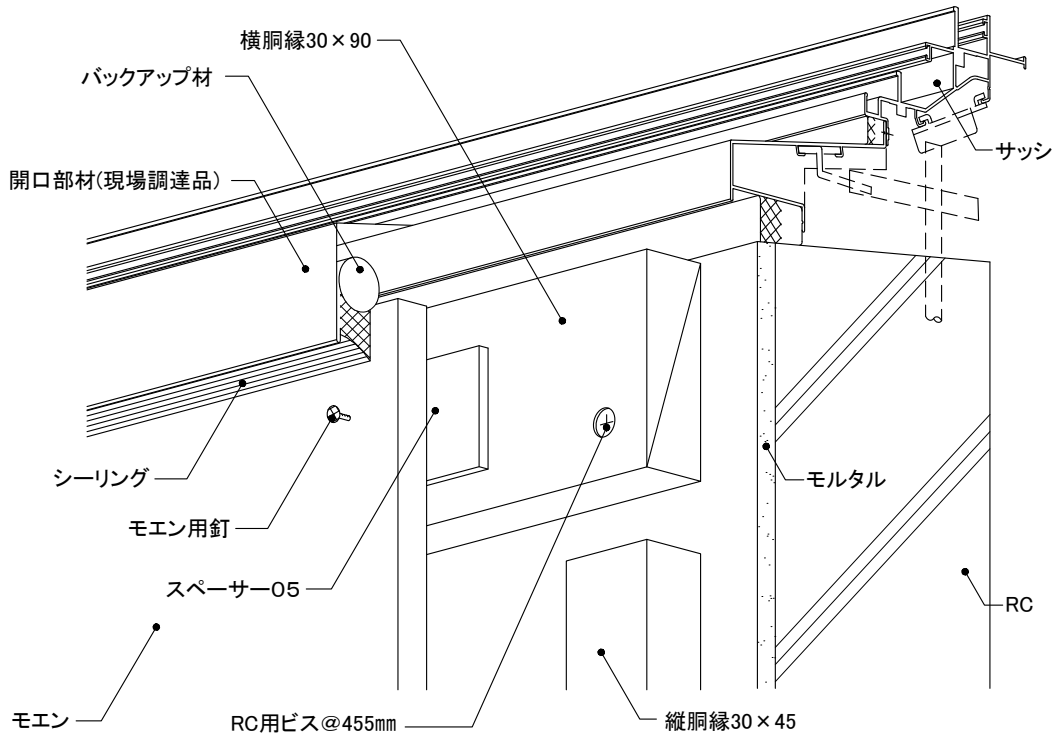
胴縁組

縦胴縁@606mm以下

9)開口部

②下側

- 開口部まわりに、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

横

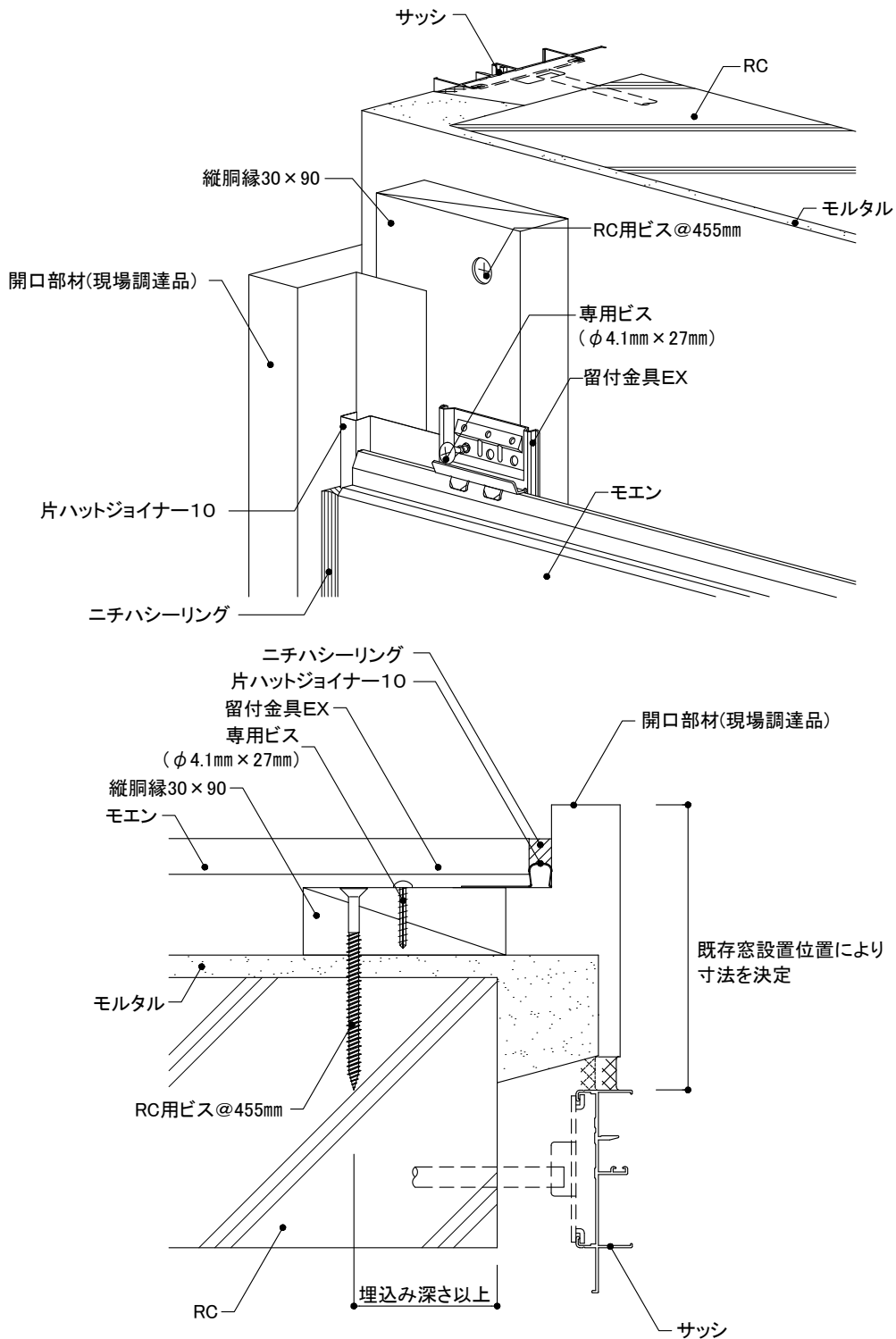
胴縁組

縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

③ 左右側

- 開口部まわりに、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

RC
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

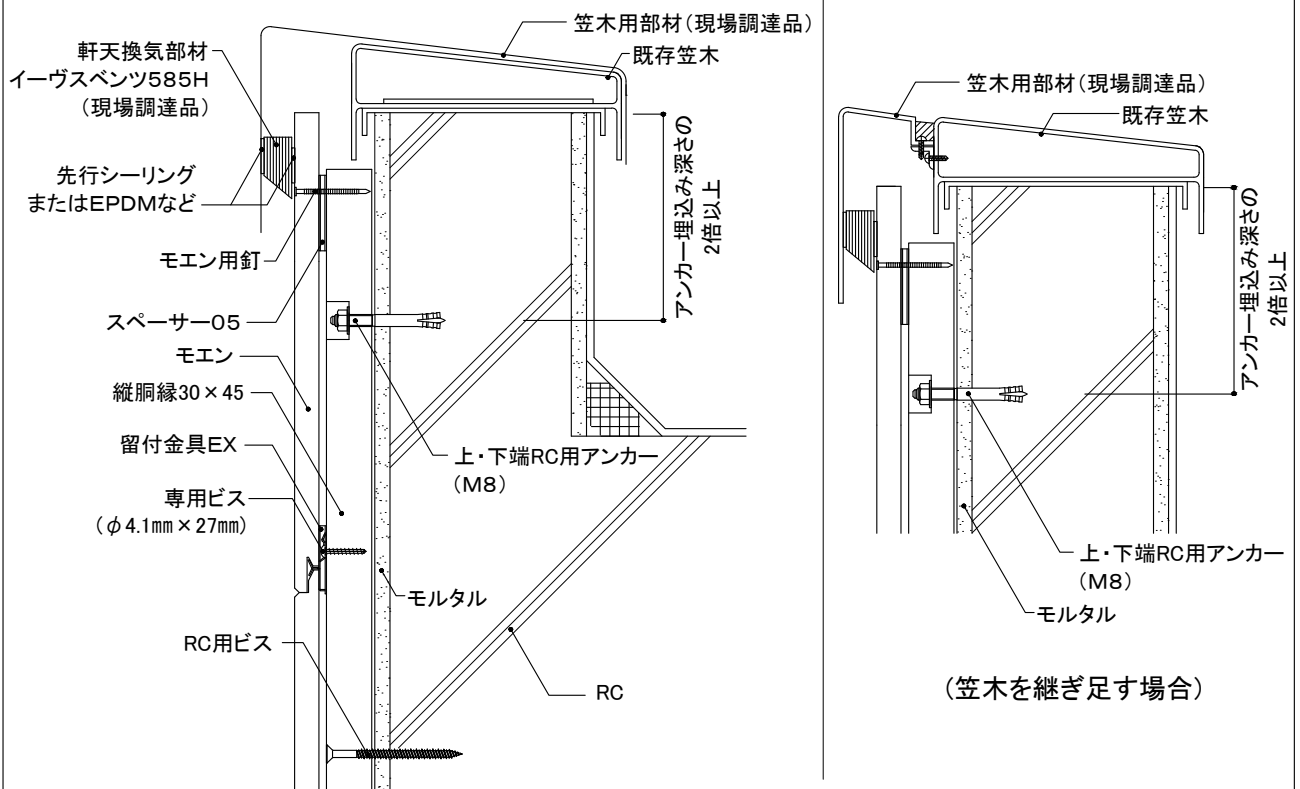
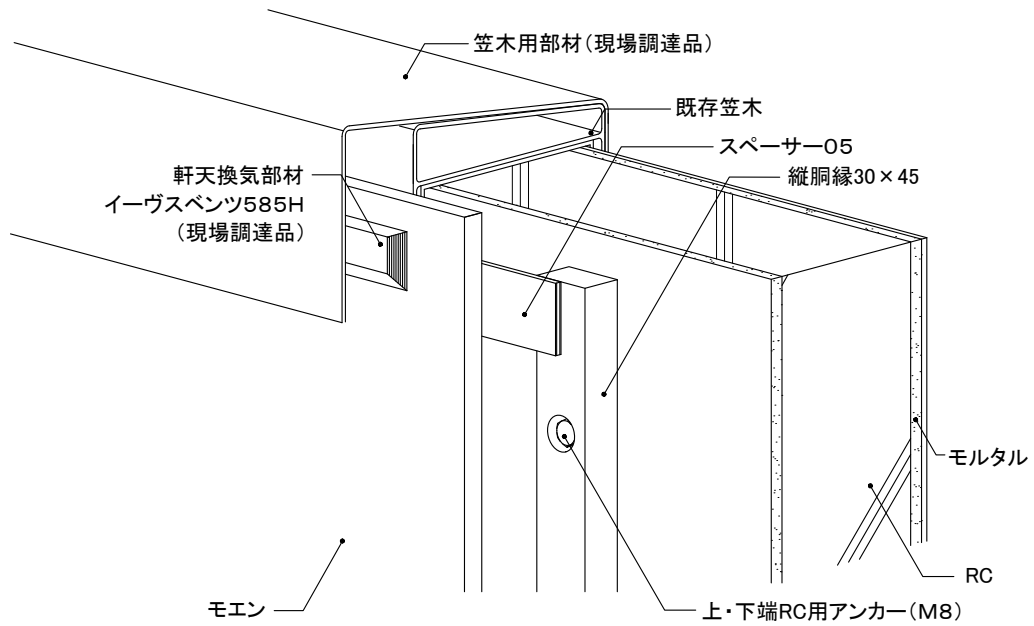
横

胴縁組

縦胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木全体にかぶせる、継ぎ足す、あるいは既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます。
- 上端部には通気確保のため、イーヴスベントツ585Hを用いて施工します。
(笠木をかぶせる場合)



2 各部の納まり詳細図

RC

木胴縁工法

モエン横張り

釘打ち施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)各部の納まり概要図	

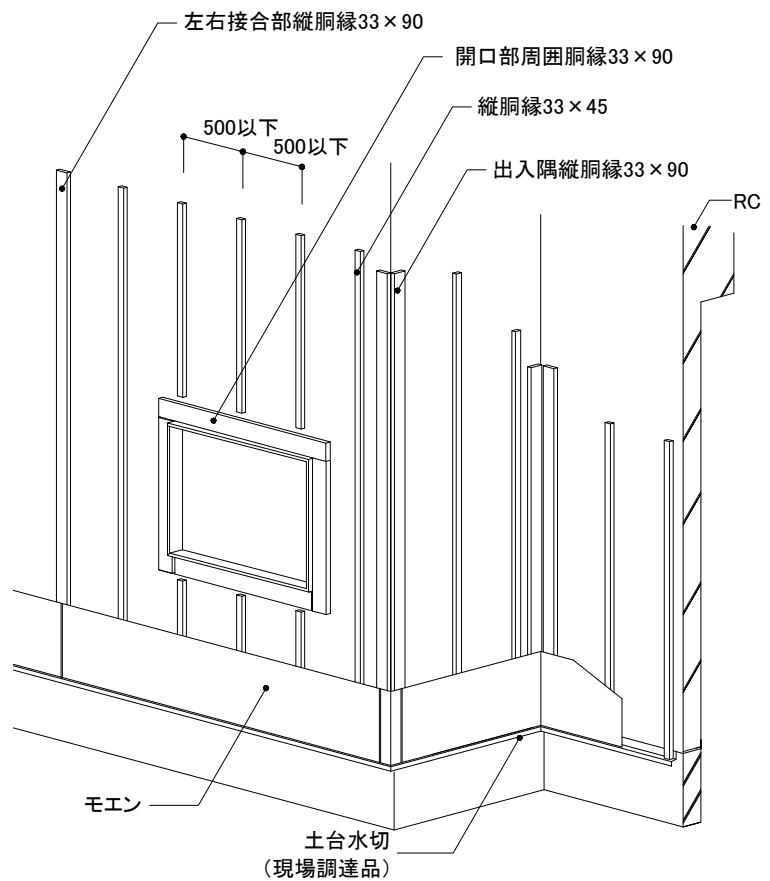
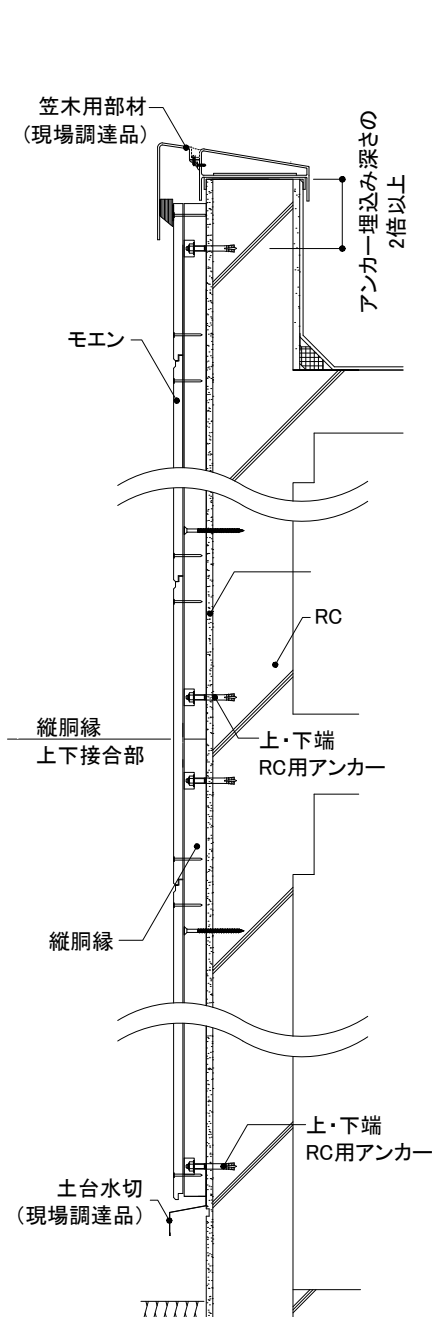
本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	釘	横	縦胴縁@500mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどが無い確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。

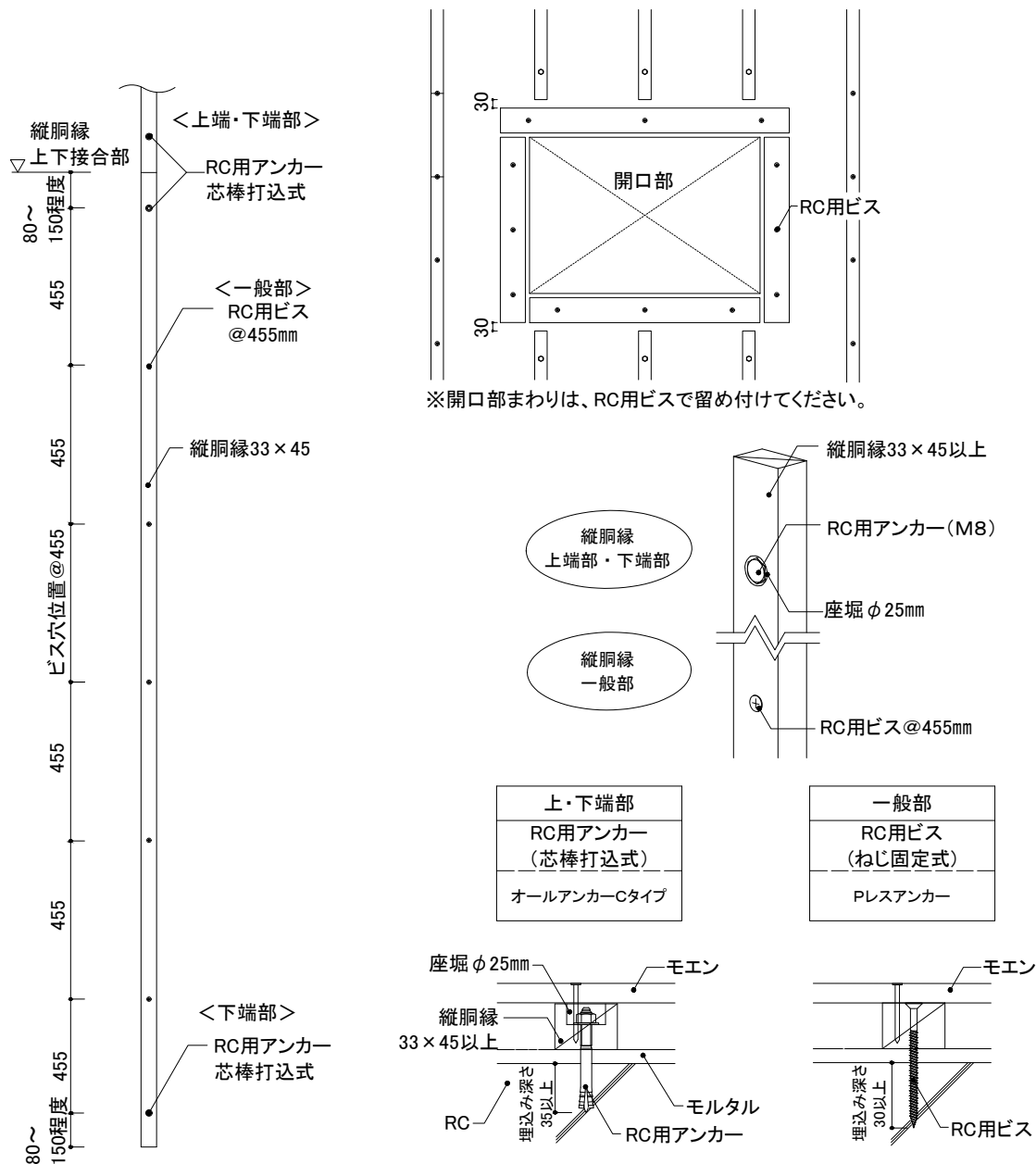


14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	釘	横	縦胴縁@500mm以下

2) 胴縁概要図

- 木胴縁はRC用ビスを用い、455mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき両端部の2ヶ所RC用アンカーとします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめRC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、RC用ビスで留め付けます。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、RC用アンカーは1ヶ所留めとします。
- RC外壁がモルタルで仕上げられている場合などは、モルタルの塗り厚さに注意してRC用アンカー・ビスのサイズを選定します。
- RC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

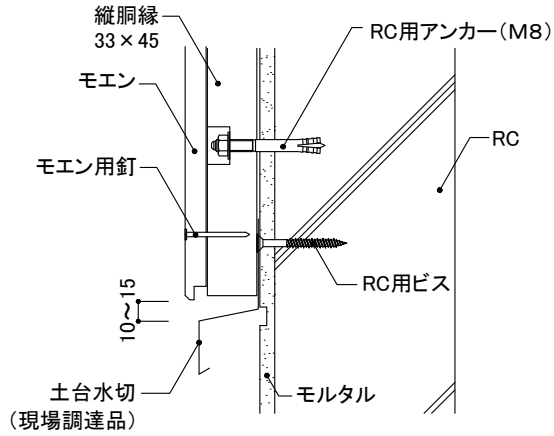
開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)



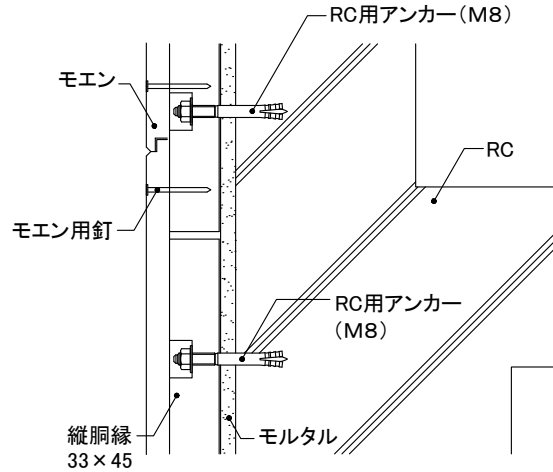
14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	釘	横	縦胴縁@500mm以下

3) 各部の納まり概要図

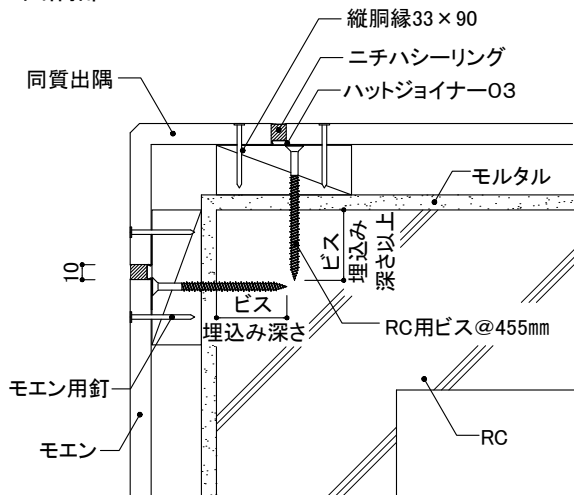
■土台部



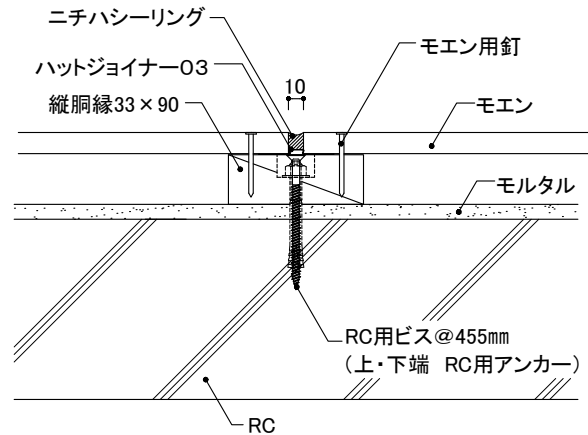
■上下接合部 (胴縁)



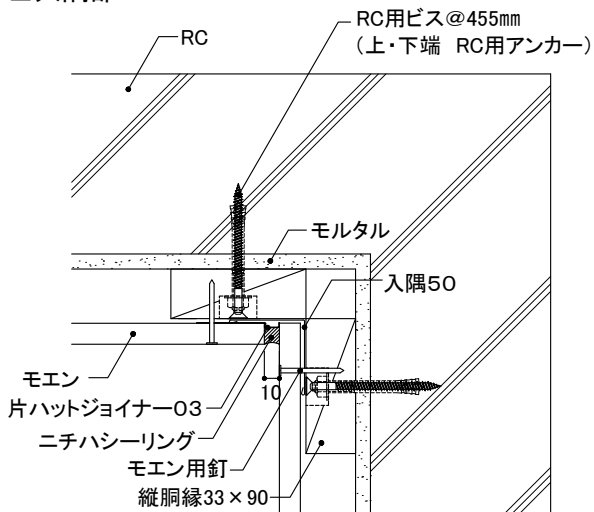
■出隅部



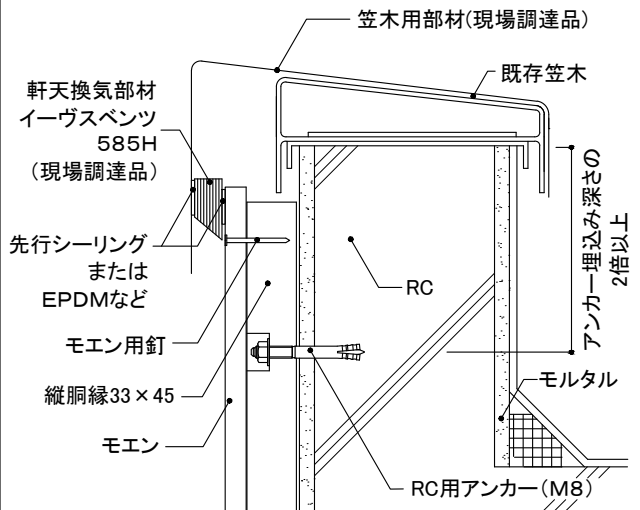
■左右接合部



■入隅部



■笠木部 (笠木をかぶせる場合)



3 各部の納まり詳細図

RC

木胴縁工法

モエン縦張り

金具施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部(モエン)	
6)左右接合部	①木胴縁 ②モエン
7)入隅部	
8)出隅部	同質出隅
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	

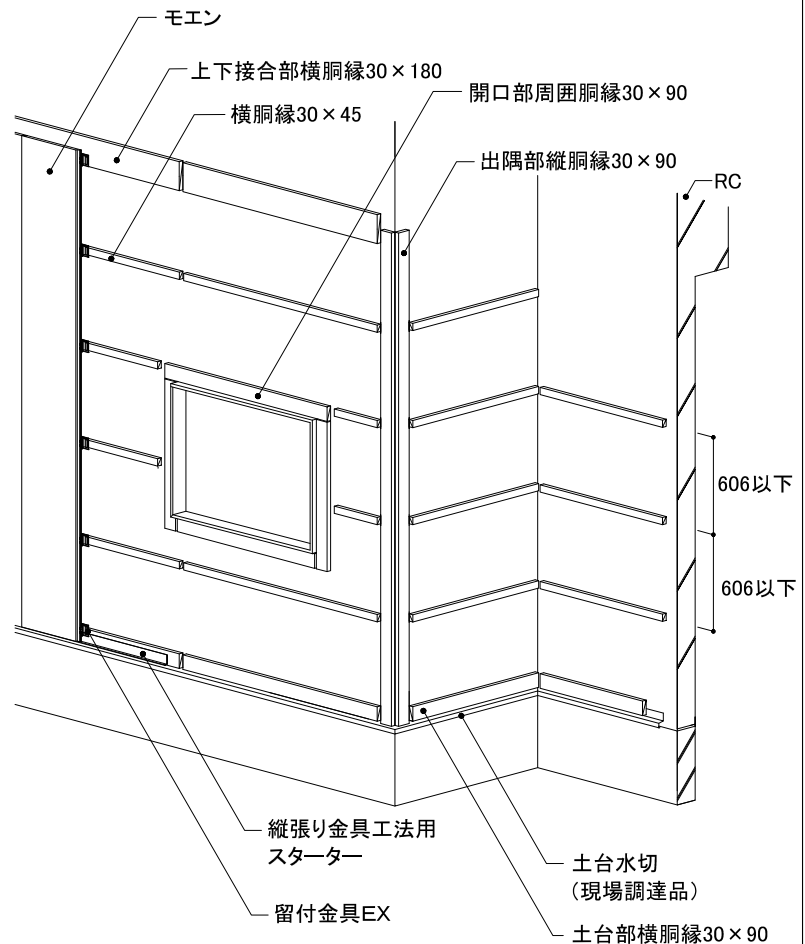
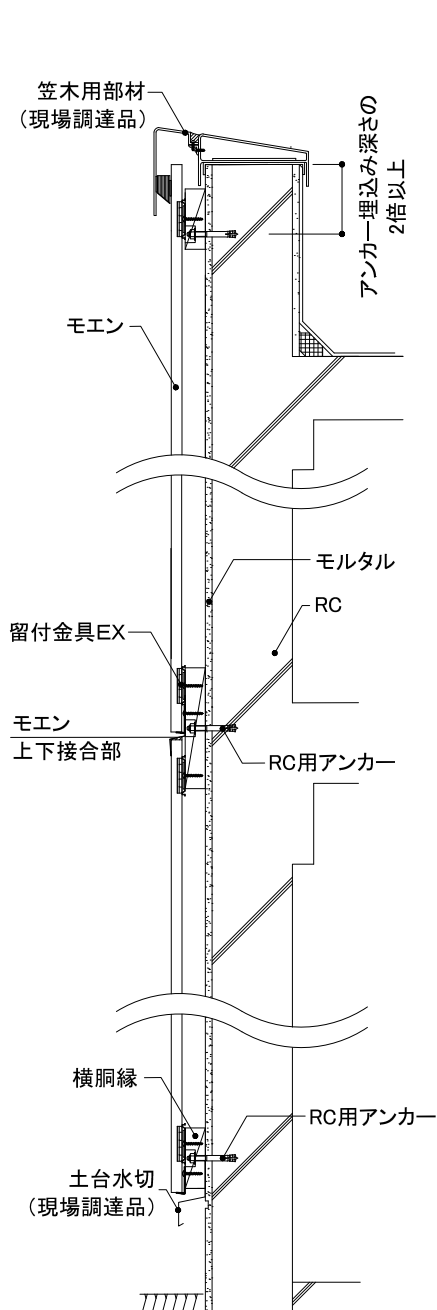
本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

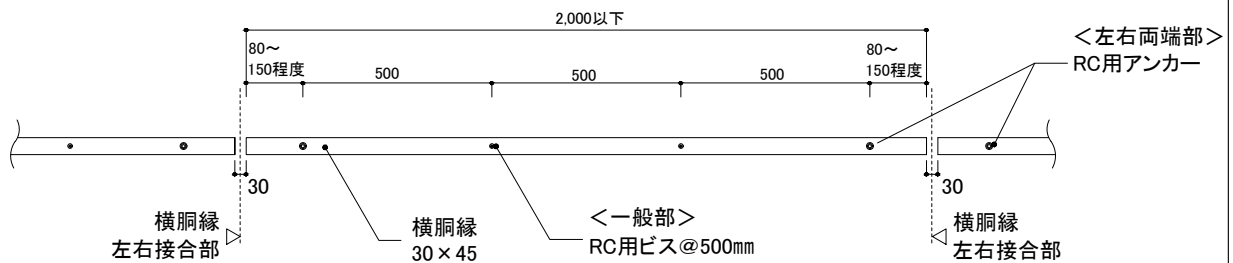
- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- 横胴縁は必ず通気ができるように、2,000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
- 横胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。



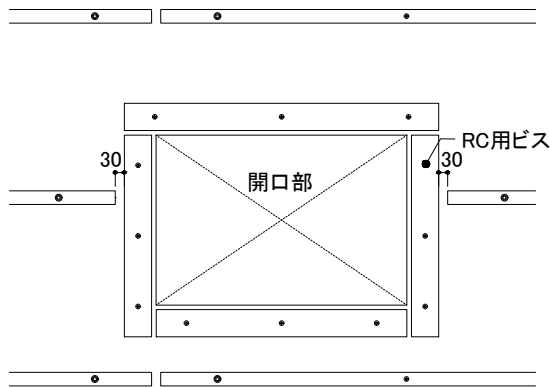
16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

2) 胴縁概要図

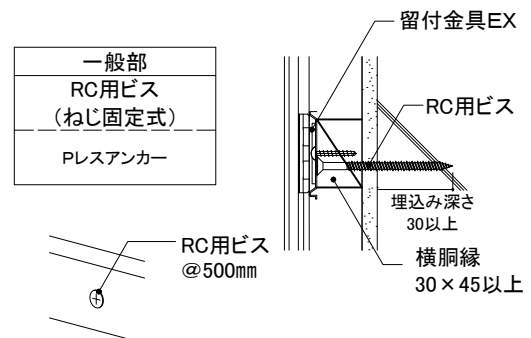
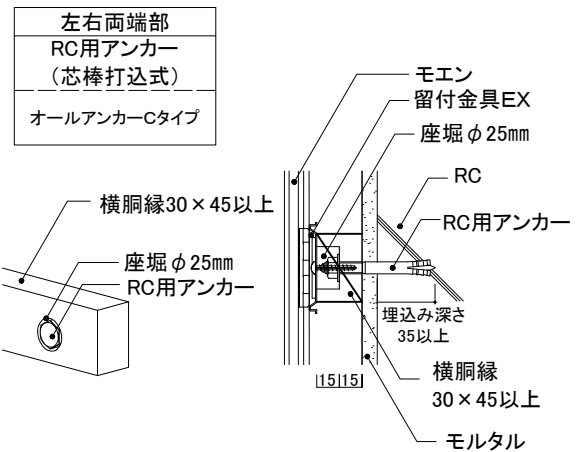
- 木胴縁はRC用ビスを用い、500mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき両端部の2ヶ所をRC用アンカーとします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめRC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、RC用ビスで留め付けます。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、RC用アンカーは1ヶ所留めとします。
- RC外壁がモルタルで仕上げられている場合などは、モルタルの塗り厚さに注意してRC用アンカー・ビスのサイズを選定します。
- RC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。



開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)

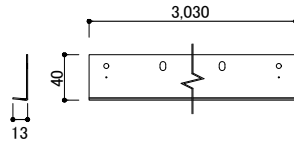
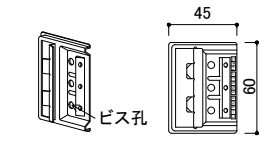
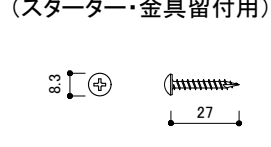
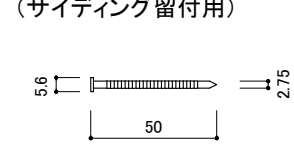
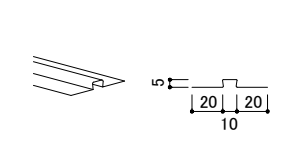
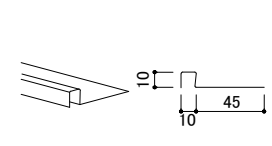
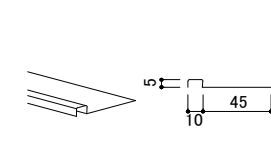
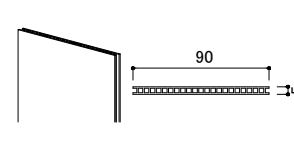
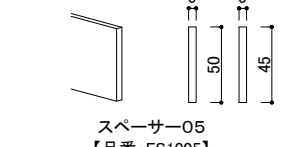
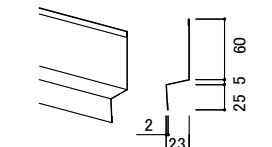
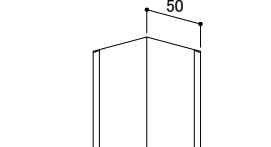


※開口部まわりは、RC用ビスで留め付けてください。



16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

<p>■スターター</p>  <p>5mm浮きタイプ縦張り金具工法用スターター 【品番:FA350T】 厚み:1.2mm 長さ:3,030mm 材質:高耐食めっき鋼板 備考:同梱ビスではなく専用ビスで留め付ける</p>	<p>■一般部金具</p>  <p>縦張り用留付金具EX (16mm厚品用5mm浮き) 【品番:JE555T】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:同梱ビスではなく専用ビスで留め付ける</p>	<p>■専用ビス (スターター・金具留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>	<p>■専用釘 (サイディング留付用)</p>  <p>モエン用釘(ステンレスリング釘) 【品番:JKW840Bなど】 材質:ステンレス サイズ:φ2.75mm×50mm</p>
<p>■ハットジョイナー</p>  <p>ハットジョイナー05 【品番:FH1005R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:3,030mm 表面色:クリアレッド着色</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー10 【品番:FHK1110R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアレッド着色</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー05 【品番:FHK1105R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアレッド着色</p>	<p>■スペーサー</p>  <p>スペーサー05T 【品番:FS1005T】 材質:ポリプロピレン 長さ:2,000mm</p>
<p>■スペーサー</p>  <p>スペーサー05 【品番:FS1005】 長さ:1,200mm 材質:ポリプロピレン スペーサー05(ピースタイプ) 【品番:FSP1005】 長さ:1,000mm 材質:ポリプロピレン</p>	<p>■中間水切</p>  <p>中間水切23E 【品番:FTA****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm</p>	

※各部材は2024年5月時点のものです。最近の情報はNICHIIHA内外建材総合カタログでご確認ください。

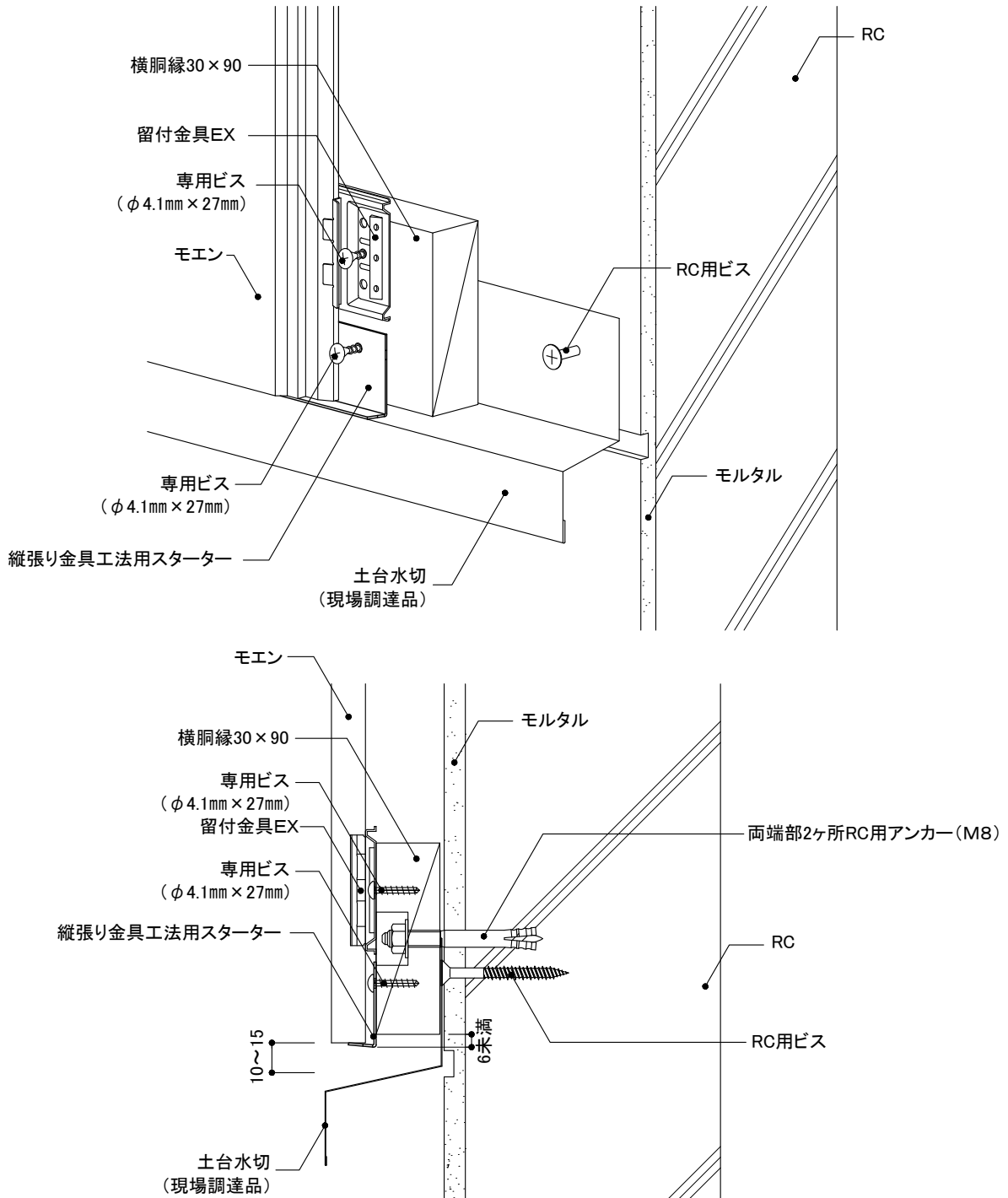
16mm厚品

EX

下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

4) 土台部

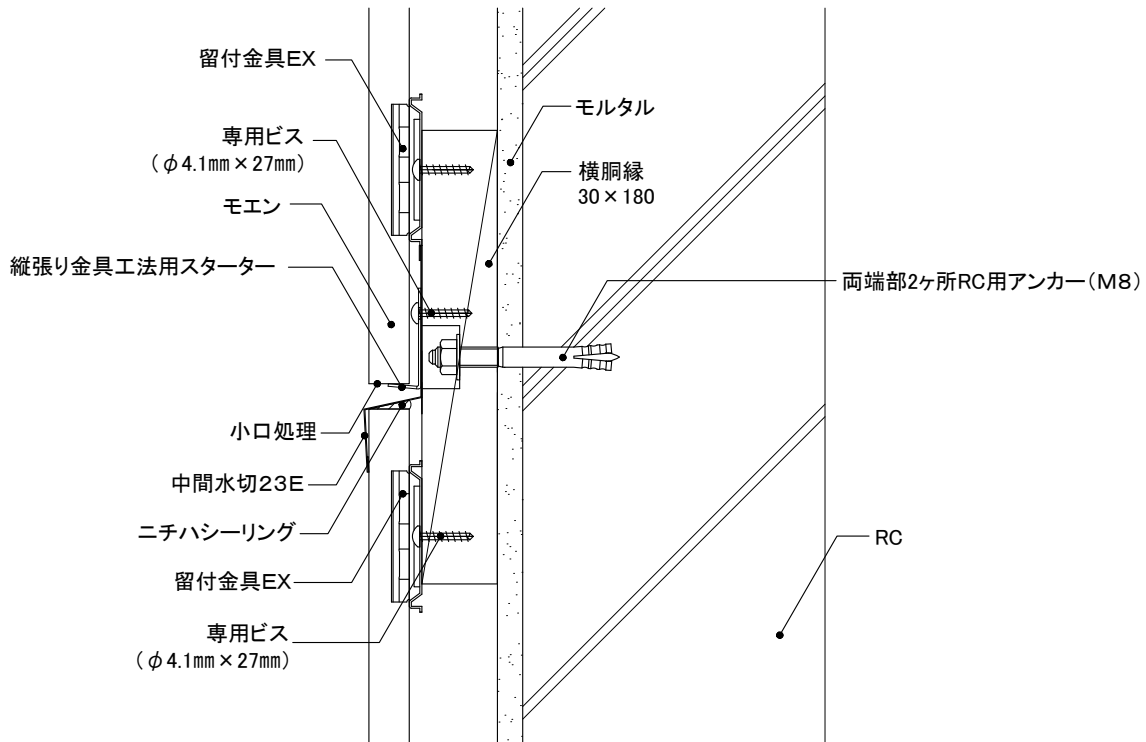
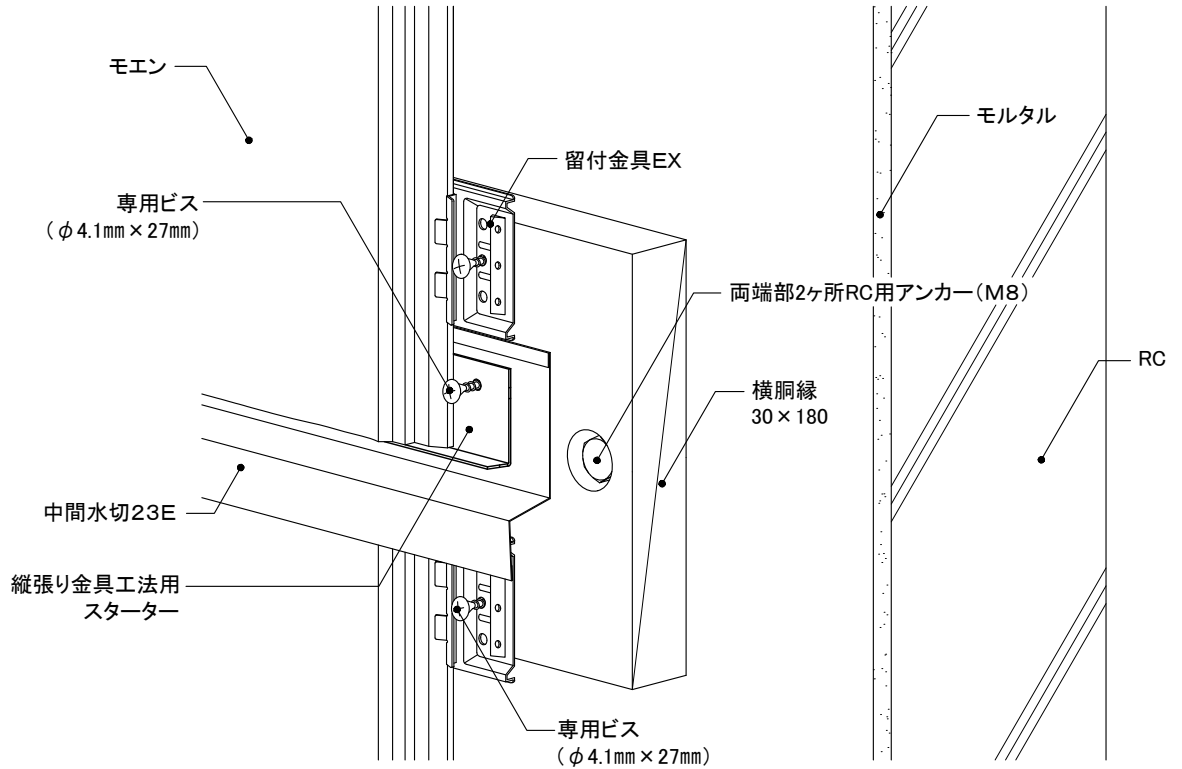
- 土台水切はRC用ビスで留め付けてから、木胴縁を施工します。
- 縦張り金具工法用スターターは専用ビス(φ4.1mm×27mm)を用い、胴縁に250mm間隔で水平に留め付けます。(スターターには留め付け目安のマークが250mm間隔で入っています)。釘打ちは厳禁です。また、縦張り金具工法用スターターは土台部の横胴縁下端より6mm以上下げないでください。
- モエンは縦張り金具工法用スターターの上側に留付金具EXを確実に納め、専用ビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- モエン下端と土台水切の間は、10~15mm程度の隙間を設けます。



16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

5) 上下接合部(モエン)

- 実に留付金具EXを確実に納め、専用ビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- 中間水切23Eはモエン用釘などを用い、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- 縦張り金具工法用スターターは専用ビス(φ4.1mm×27mm)を用い、胴縁に250mm間隔で水平に留め付けます。(スターターには留め付け目安のマークが250mm間隔で入っています)。釘打ちは厳禁です。

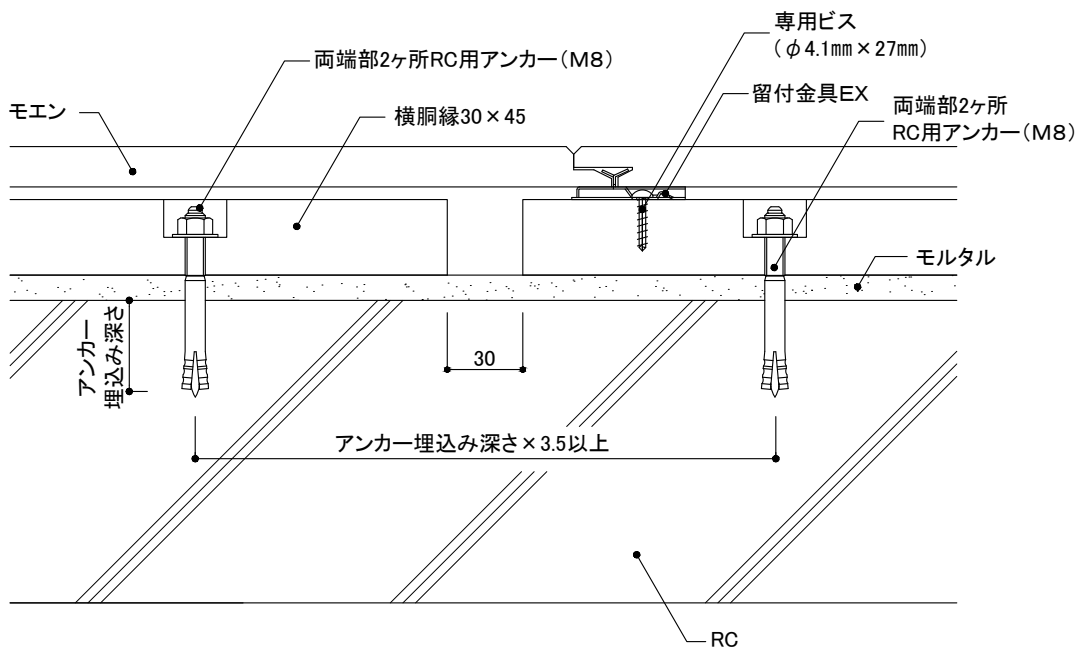
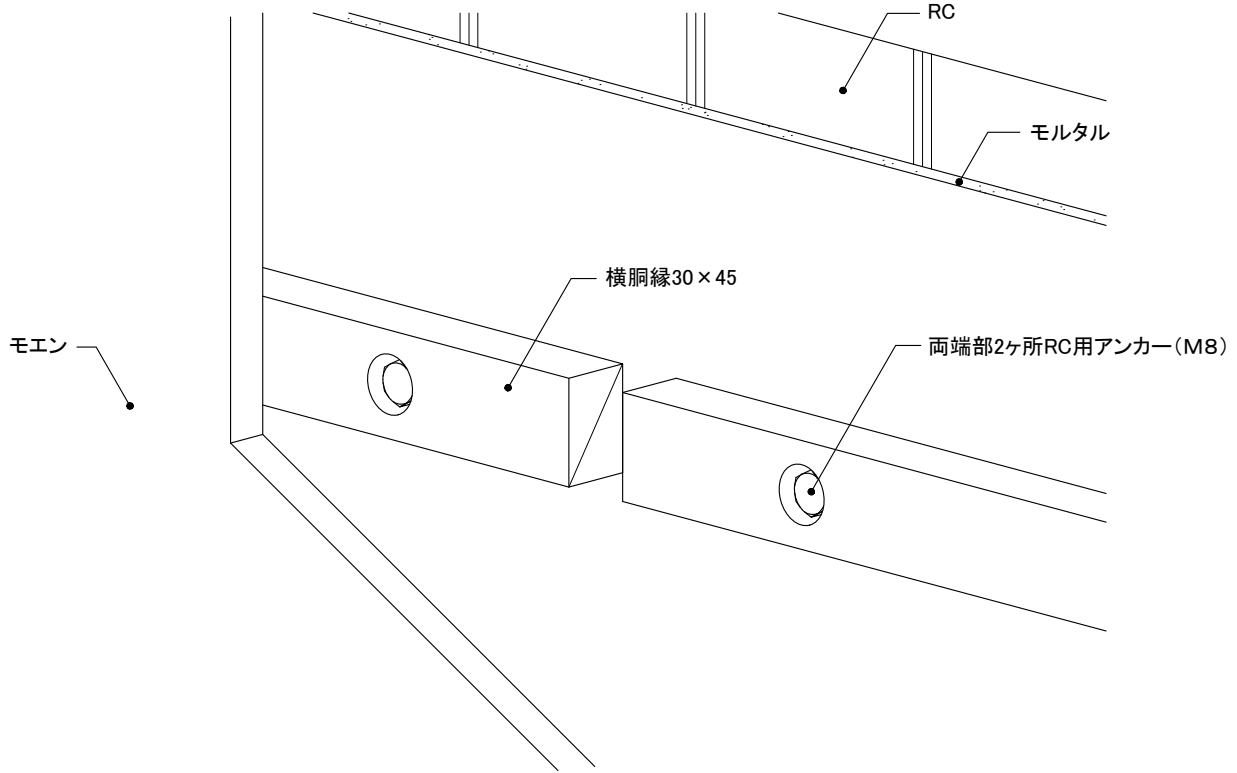


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

① 胴縁

●横胴縁接合部は、必ず通気ができるように30mm程度の隙間を設け、胴縁1本につき両端部の2ヶ所をRC用アンカーで留め付けます。

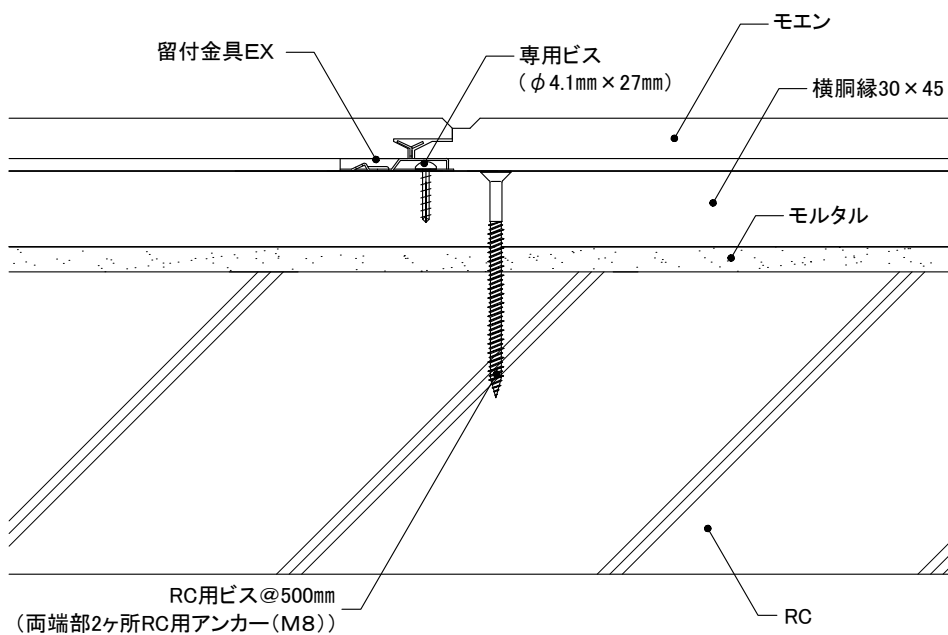
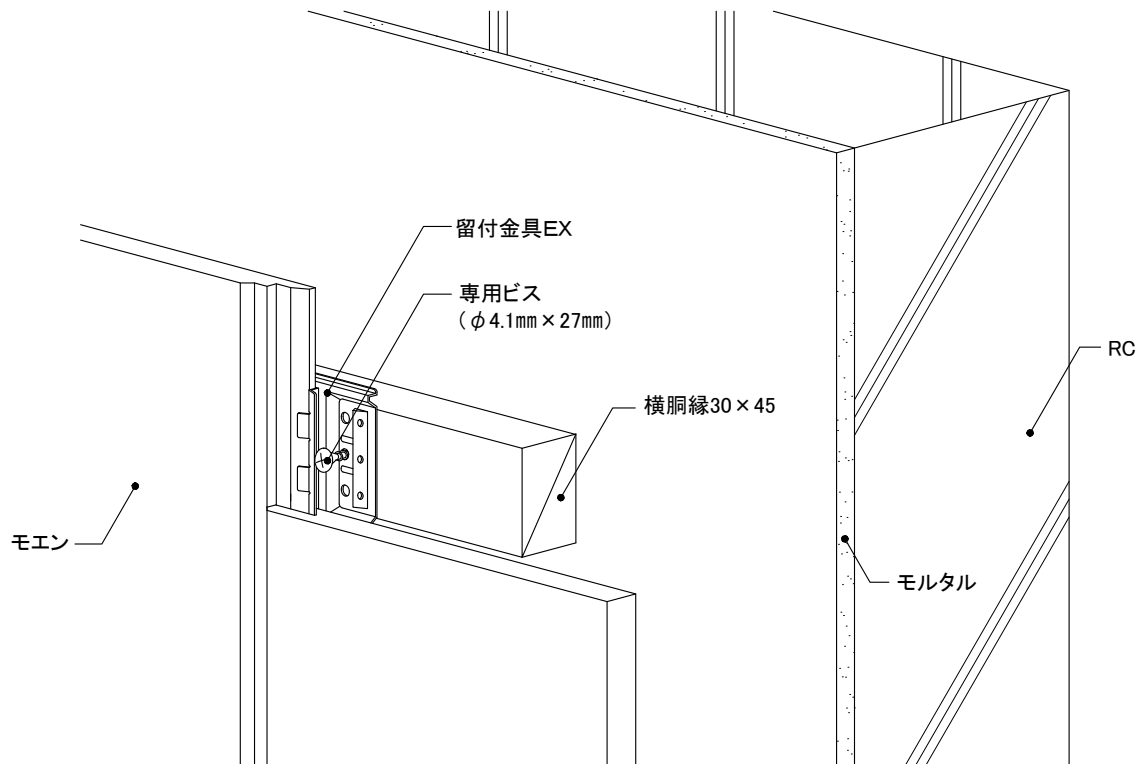


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

②モエン

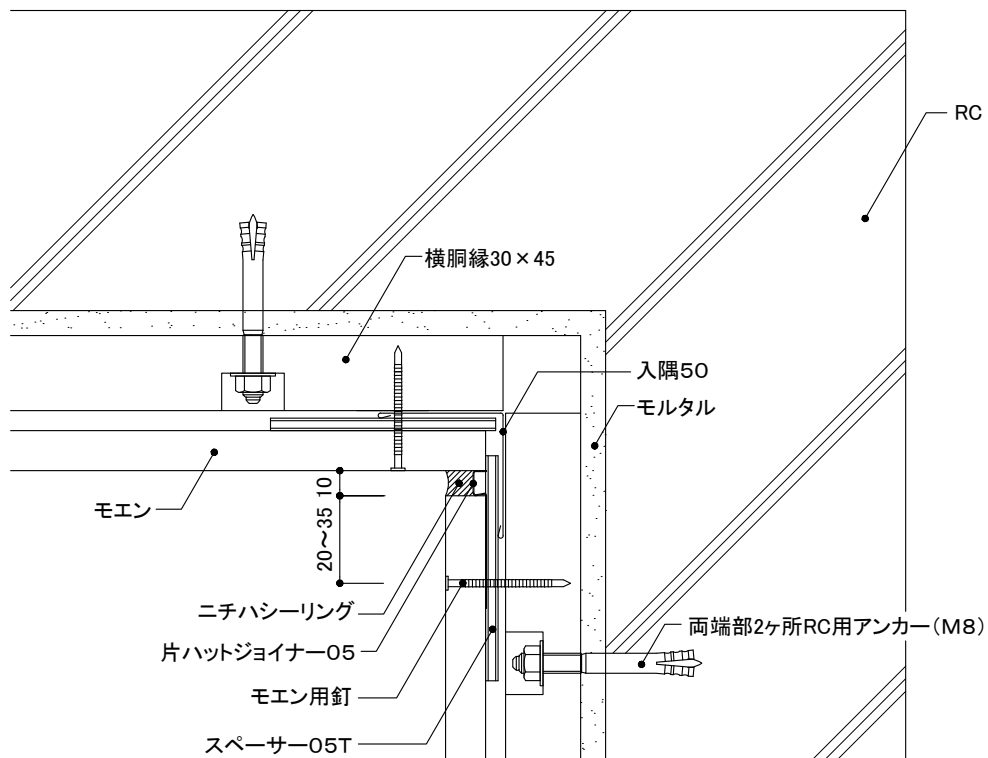
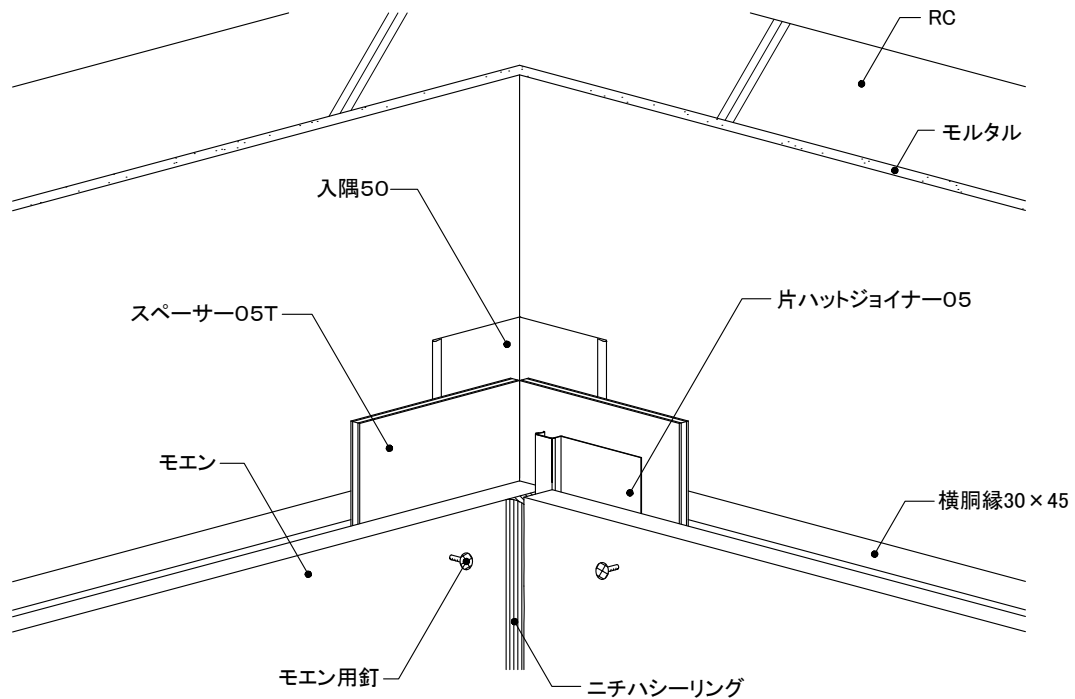
● 実には留付金具EXを確実に納め、専用ビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。



16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

7) 入隅部

- 入隅50・スペーサー05Tを取り付けた後、片ハットジョイナー05を用い、図のように10mm程度の隙間を設けて施工します。
- モエンは、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。

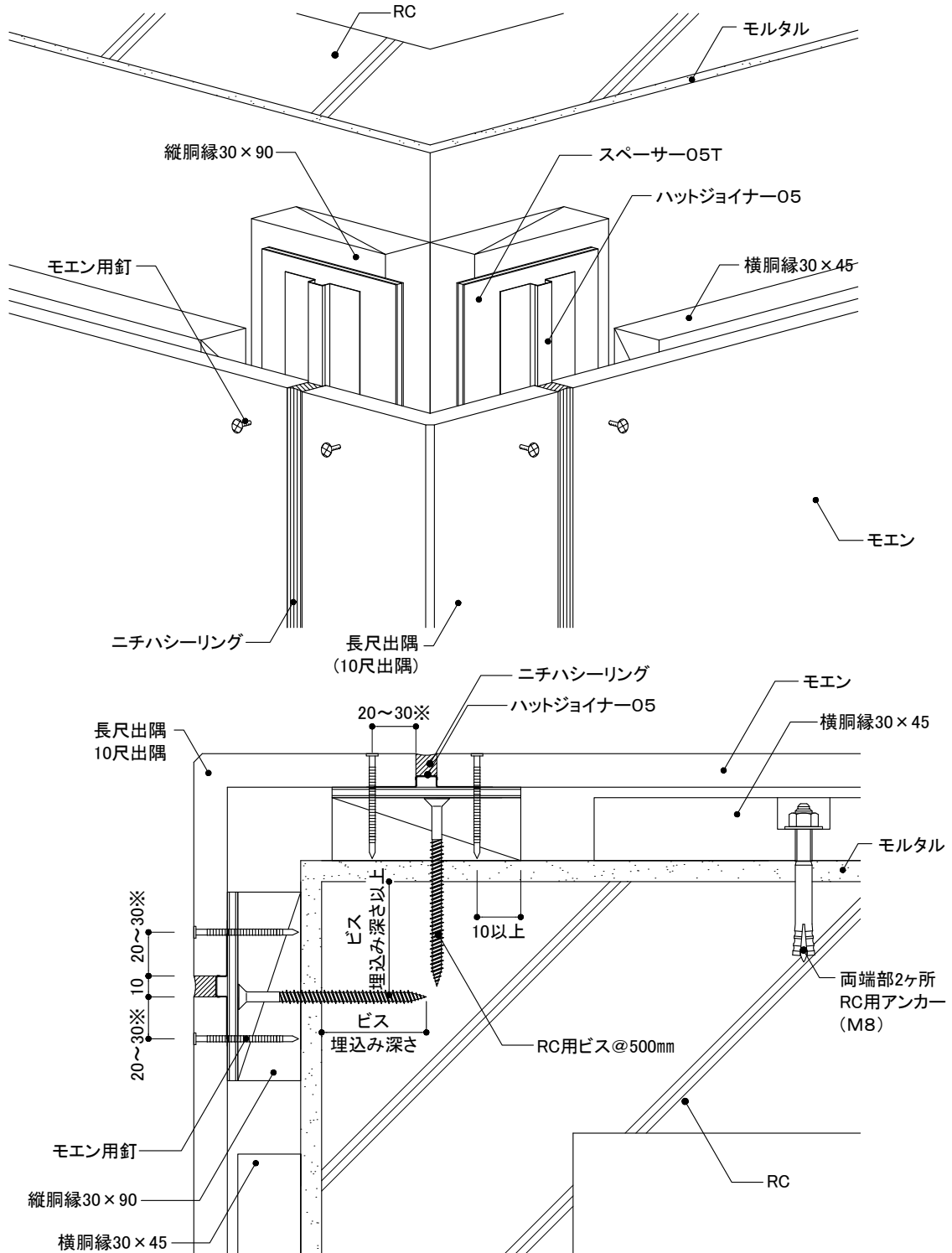


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

8) 出隅部

同質出隅

- 出隅部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- モエン本体と長尺出隅は、スペーサー-O5Tを取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。
- ※ 縦胴縁の端あきが10mm以上になるよう釘打ちします。
- 長尺出隅との取り合い部には必ずハットジョイナー-O5を用い、10mm程度の隙間を設けて施工します。

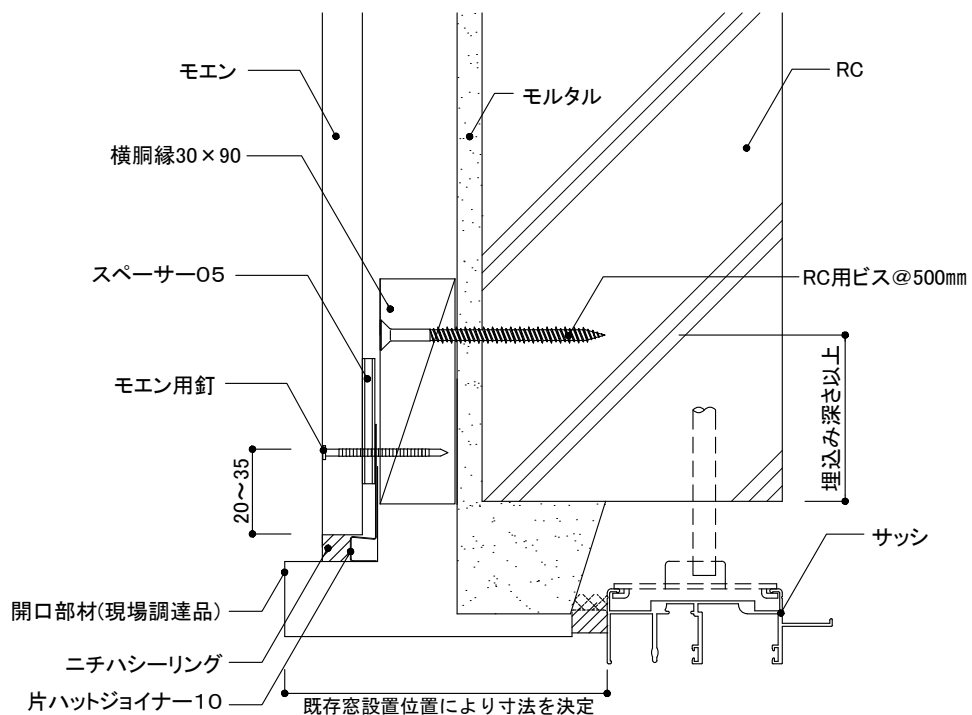
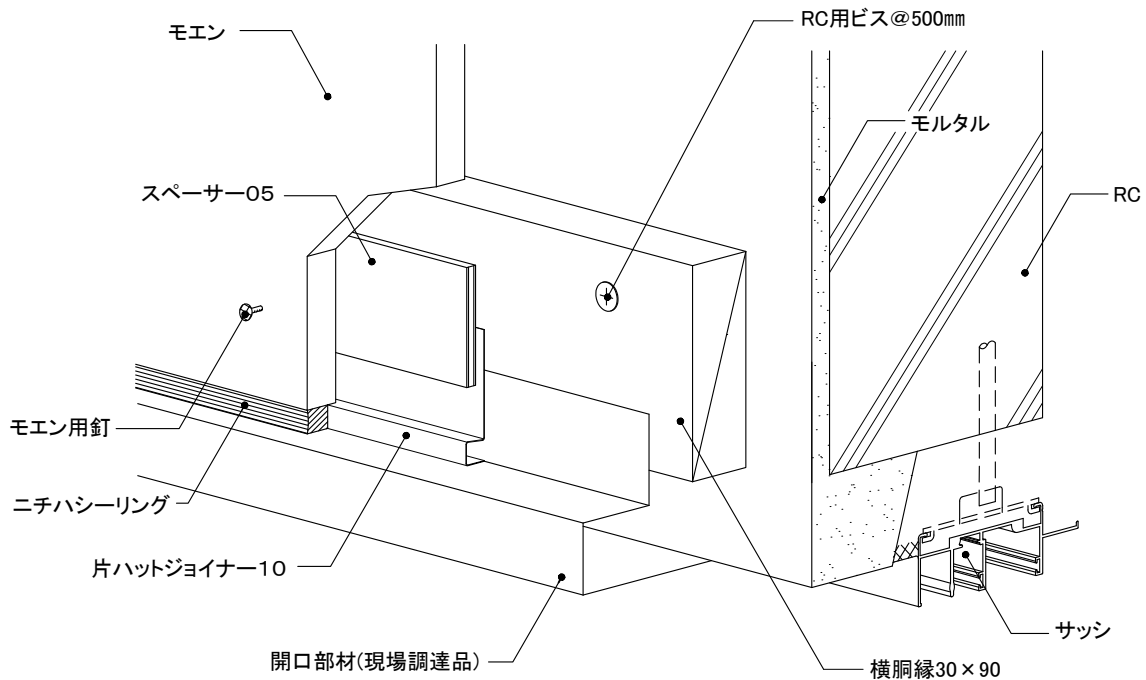


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

① 上側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。

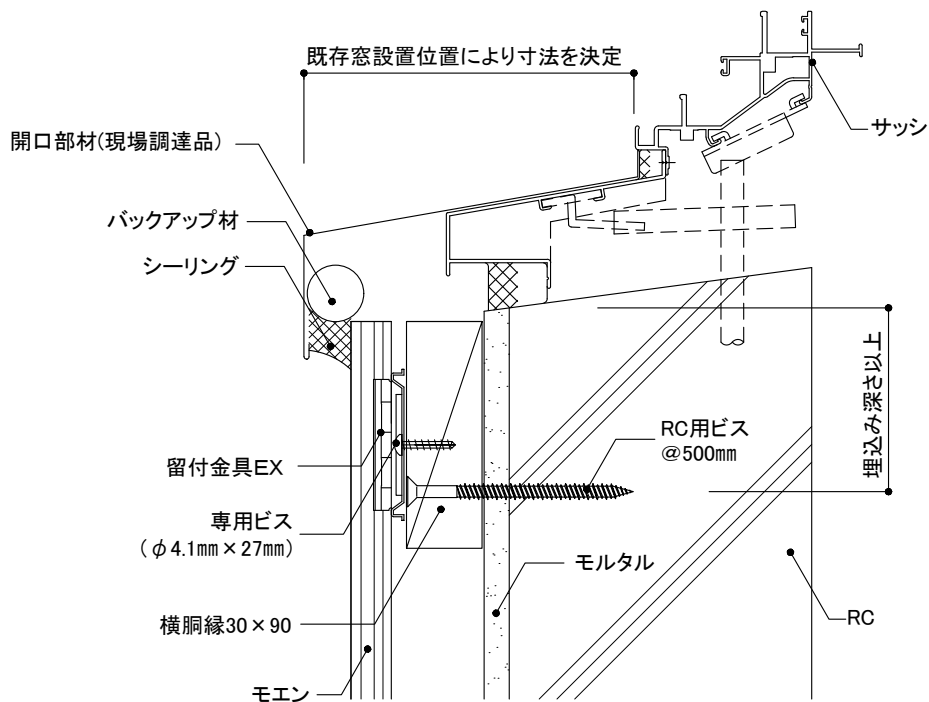
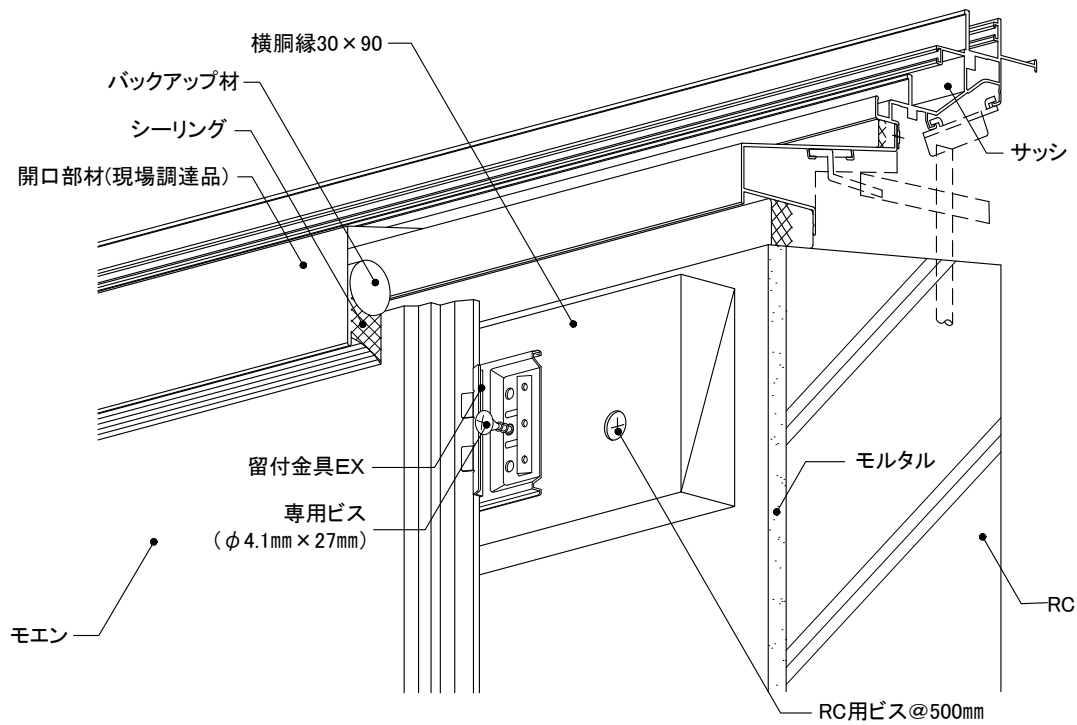


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

② 下側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。

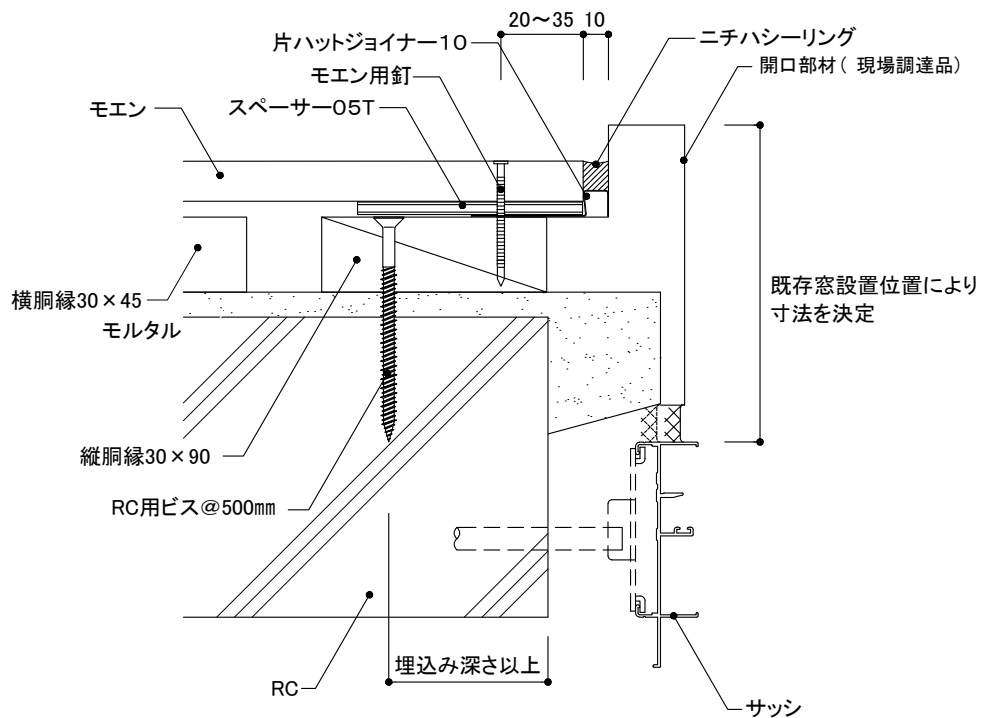
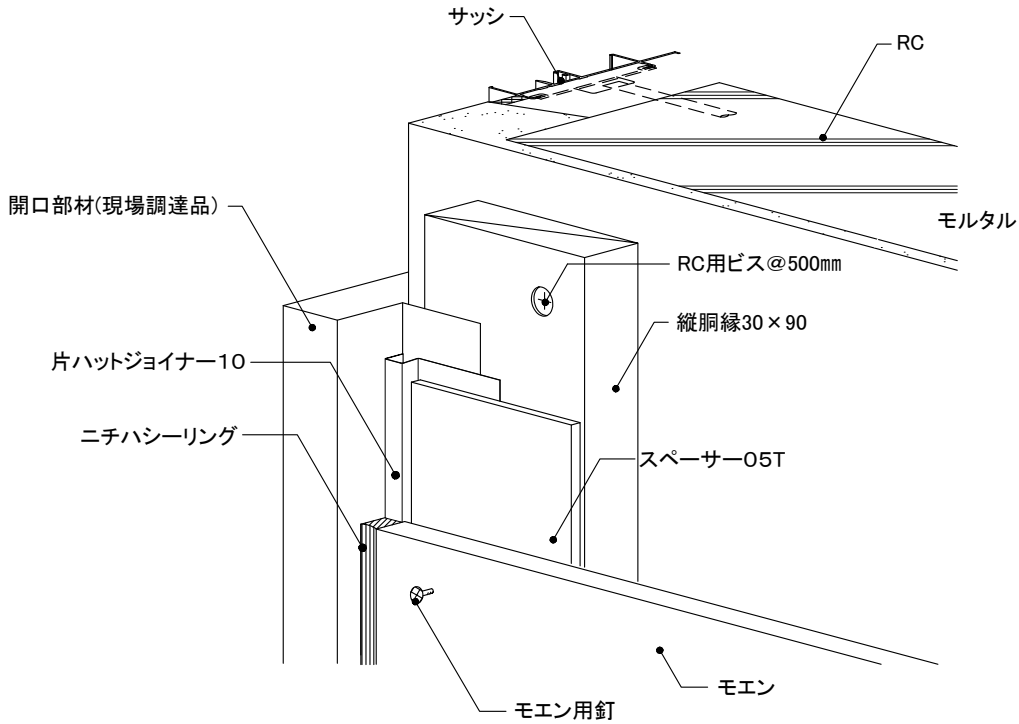


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

③ 左右側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。

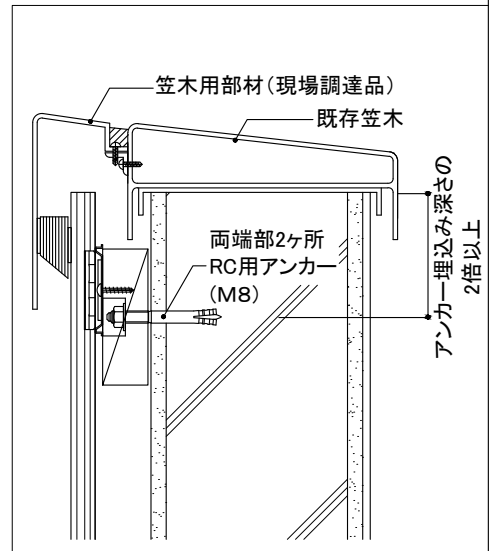
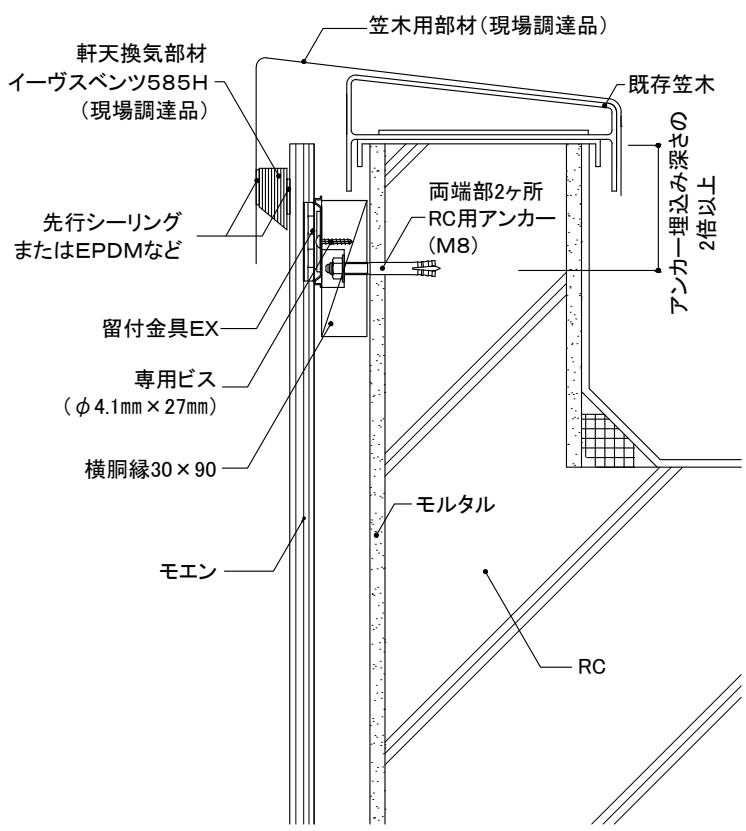
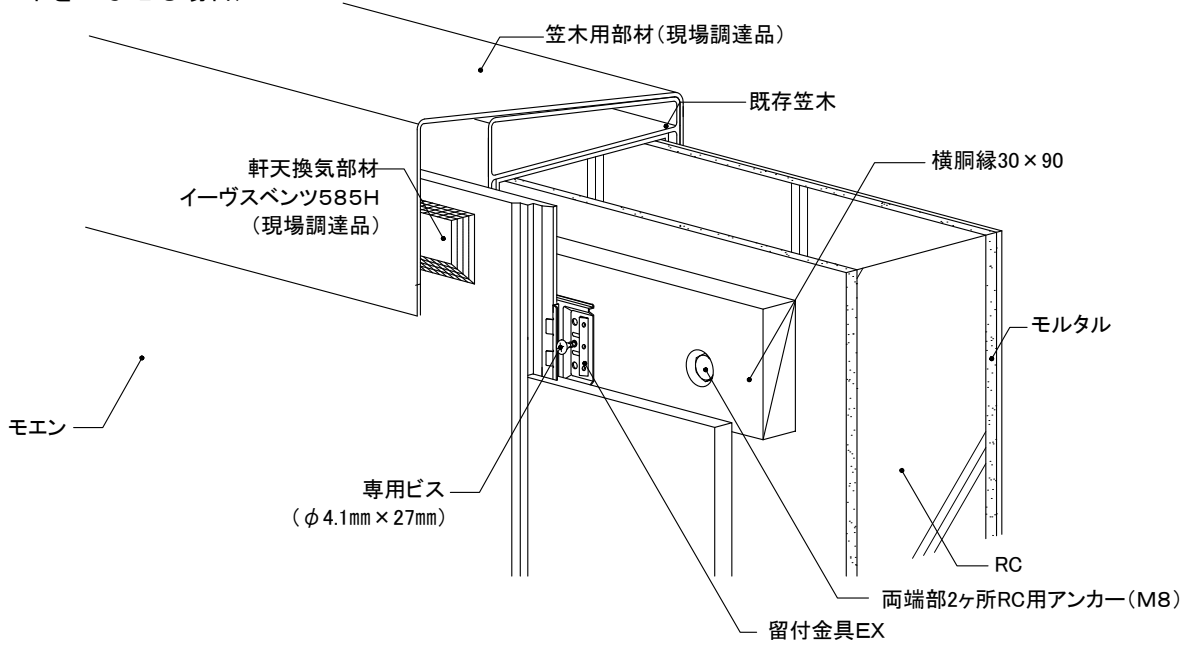


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木全体にかぶせる、継ぎ足す、あるいは既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます。
- 上端部には通気確保のため、イーヴスペッツ585Hを用いて施工します。

(笠木をかぶせる場合)



(笠木を継ぎ足す場合)

4 各部の納まり詳細図

RC

木胴縁工法

モエン縦張り

釘打ち施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)各部の納まり概要図	

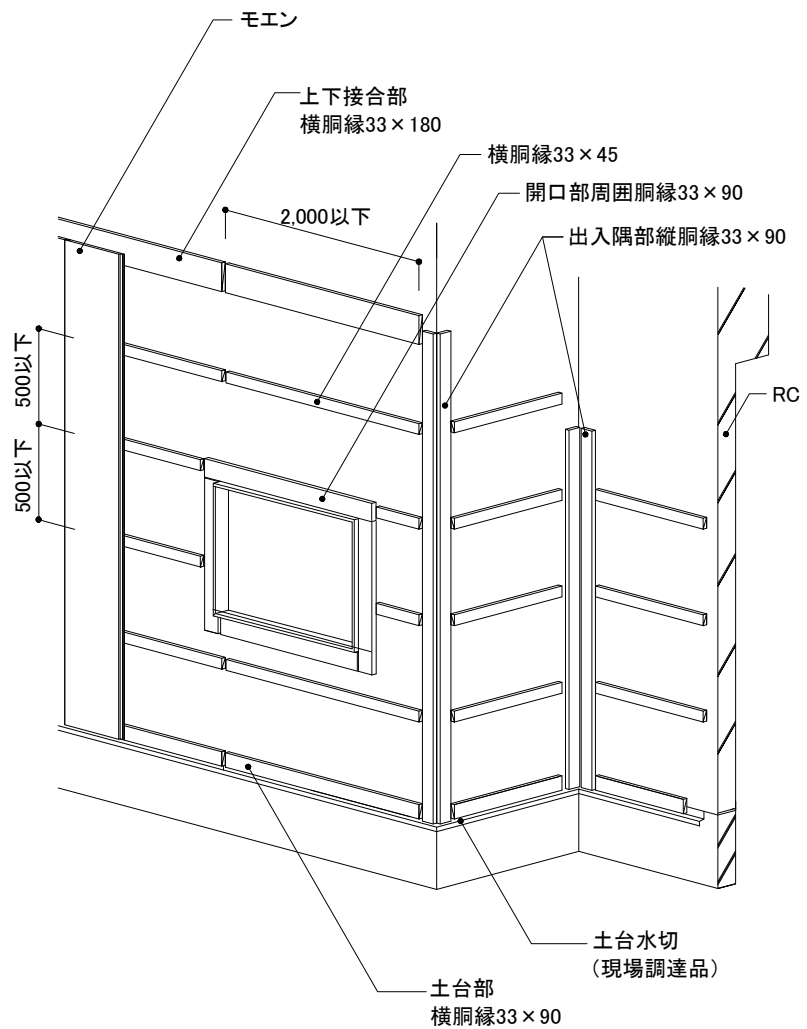
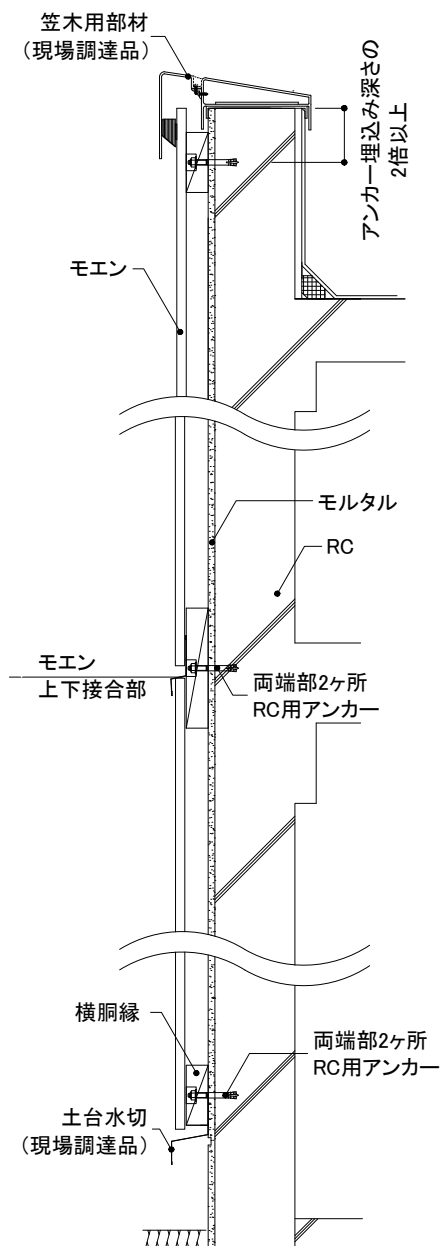
本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

1) 基本構成図

構成断面

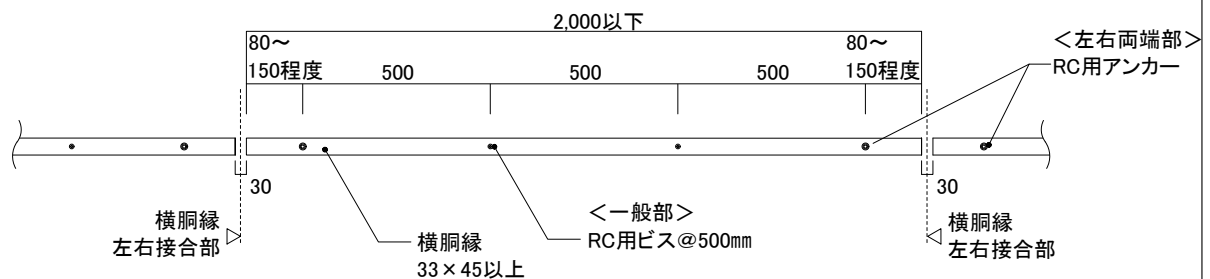
- 下地外壁材にひび割れなどが無い確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、500mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- 横胴縁は必ず通気ができるように2,000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
- 横胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。



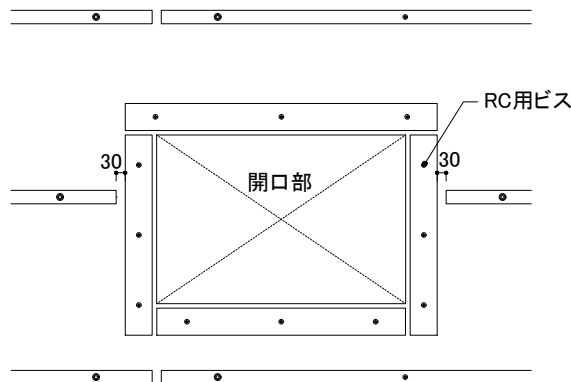
14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

2) 胴縁概要図

- 木胴縁はRC用ビスを用い、500mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき両端部の2ヶ所をRC用アンカーとします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめRC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、RC用ビスで留め付けます。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、RC用アンカーは1ヶ所留めとします。
- RC外壁がモルタルで仕上げられている場合などは、モルタルの塗り厚さに注意し、RC用アンカー・ビスのサイズを選定します。
- RC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

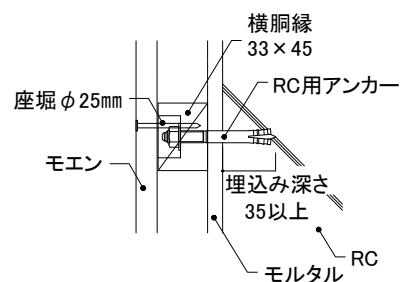
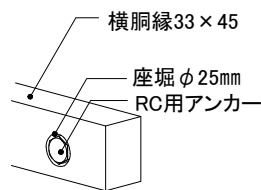


開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)

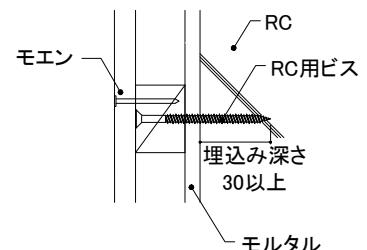
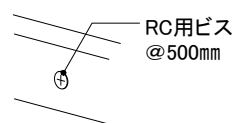


※開口部まわりは、RC用ビスで留め付けてください。

左右両端部
RC用アンカー (芯棒打込式)
オールアンカーCタイプ



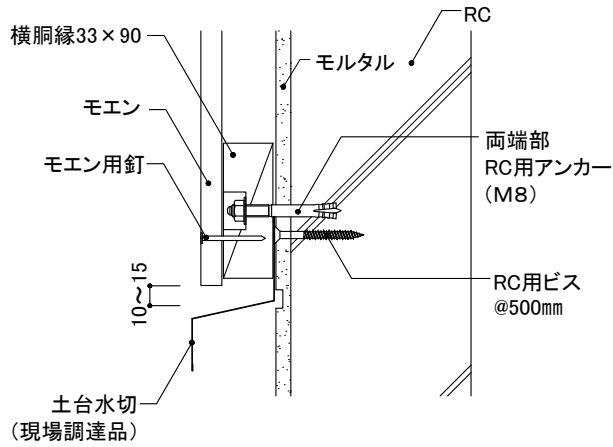
一般部
RC用ビス (ねじ固定式)
プレスアンカー



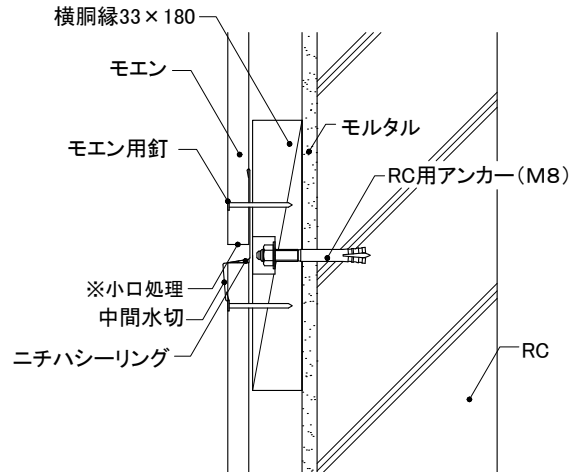
14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

3) 各部の納まり概要図

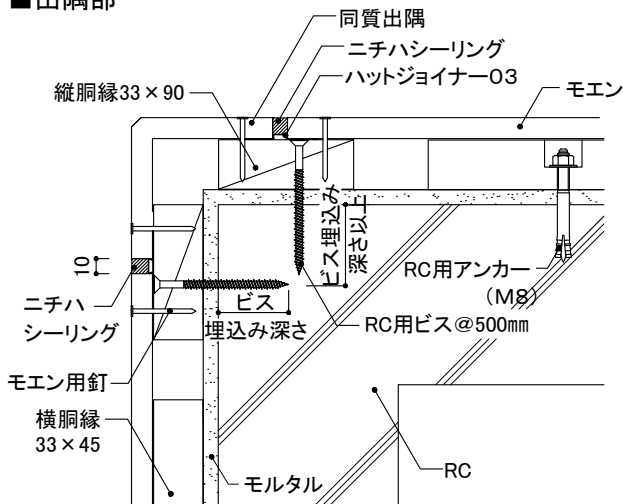
■土台部



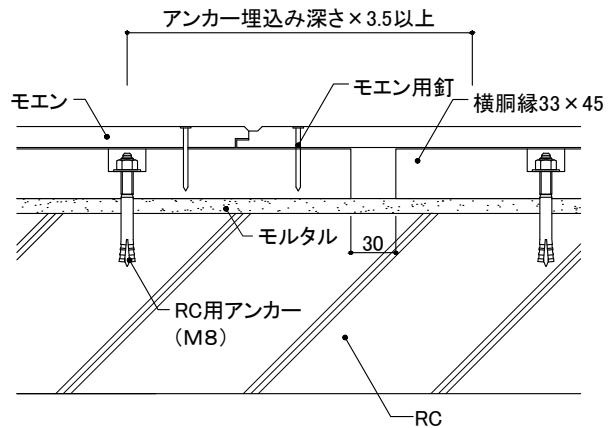
■上下接合部(モエン)



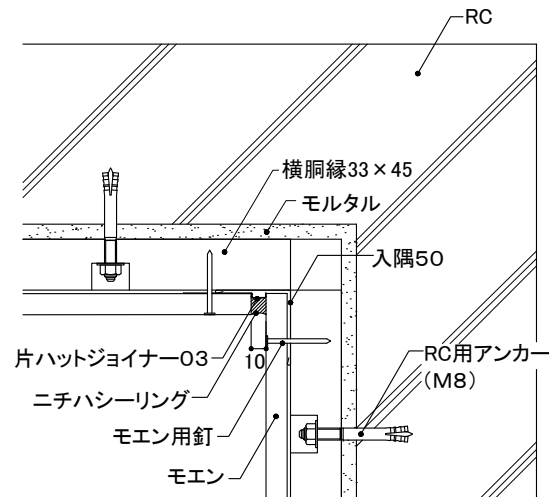
■出隅部



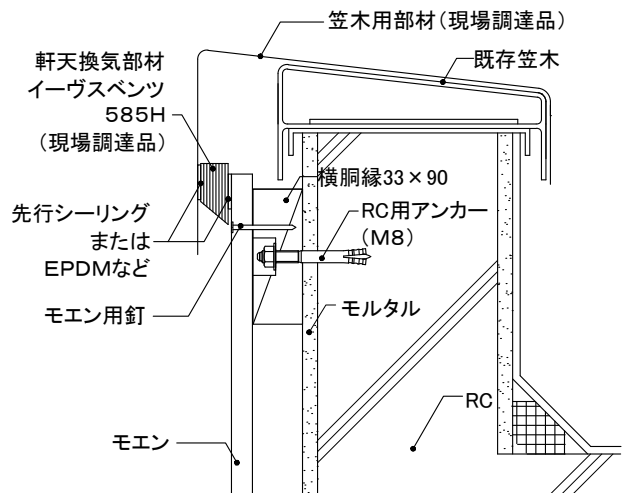
■左右接合部



■入隅部



■笠木部(笠木をかぶせる場合)



5 各部の納まり詳細図

S造(ALC厚100mm)
挿入筋構法・ロッキング構法

木胴縁工法

モエン 横張り

金具施工

1)基本構成図	1.5尺×10尺 1.5尺×6尺
2)胴縁概要図	ロッキング構法 挿入筋構法
3)主要部材一覧	
4)各部の納まり概要図	

本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

16~21mm厚品

EX S

下地・工法

S造 (ALC厚100mm挿入筋・ロッキング)
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

横

胴縁組

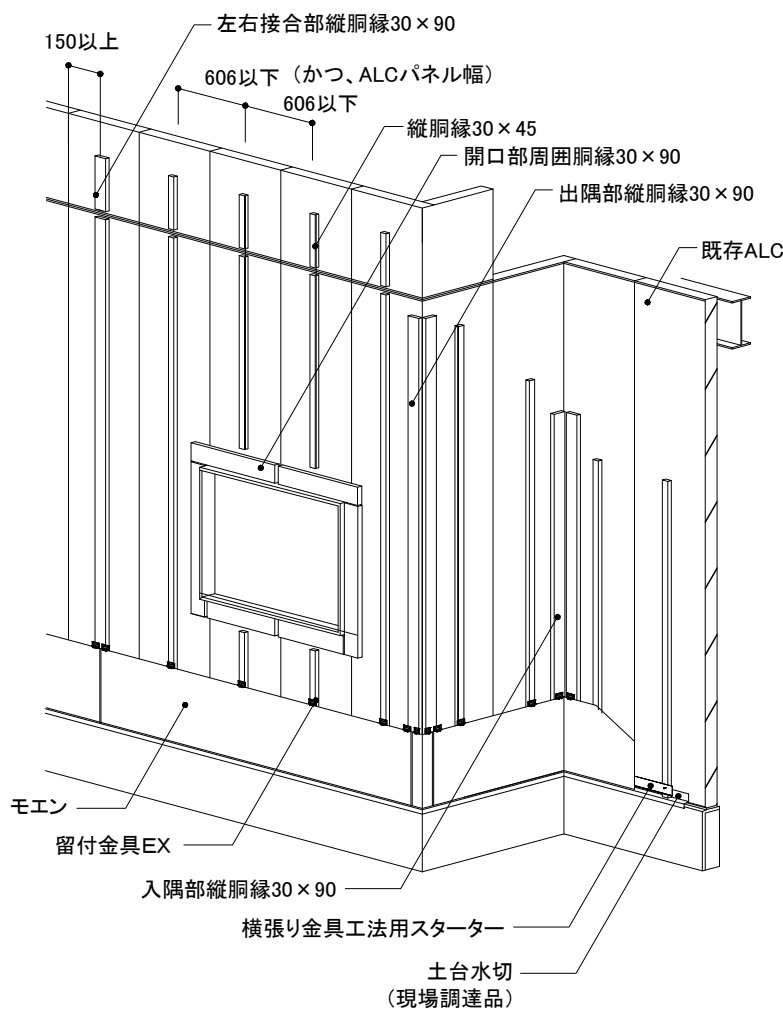
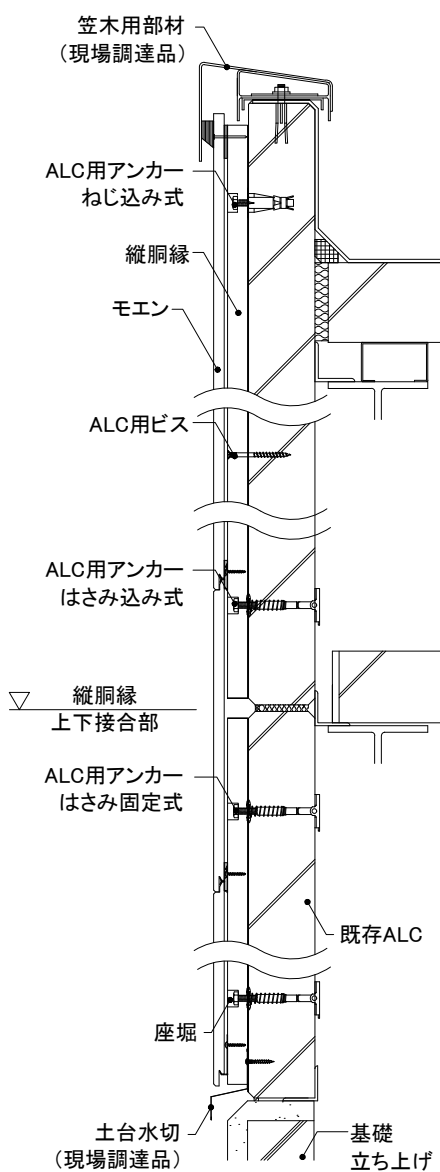
縦胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

1.5尺×10尺

- ALC用アンカー・ビスの設定は物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。
- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 木胴縁は606mm以下の間隔で、ALC端部から150mm以上離して取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- ALCパネル上下ジョイント部は縦胴縁を通さずに、縁を切ります。

ALC用アンカーはさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込みで施工します。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法

S造 (ALC厚100mm挿入筋・ロッキング)
木胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

横

胴縁組

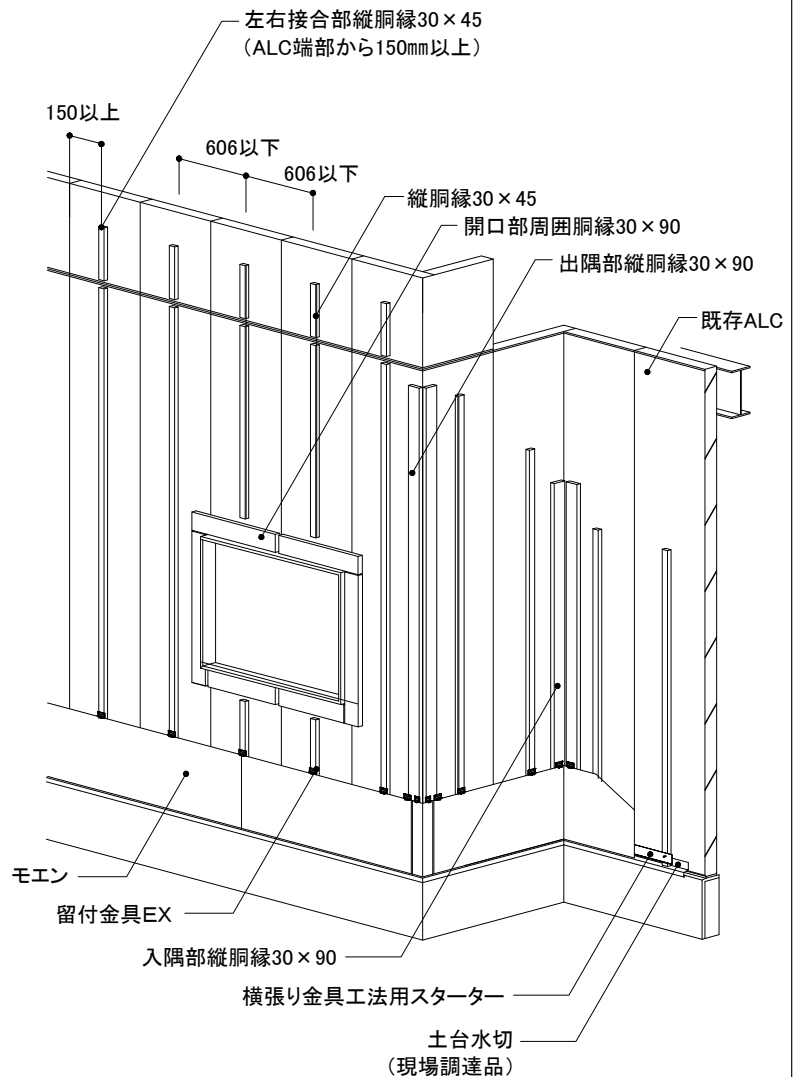
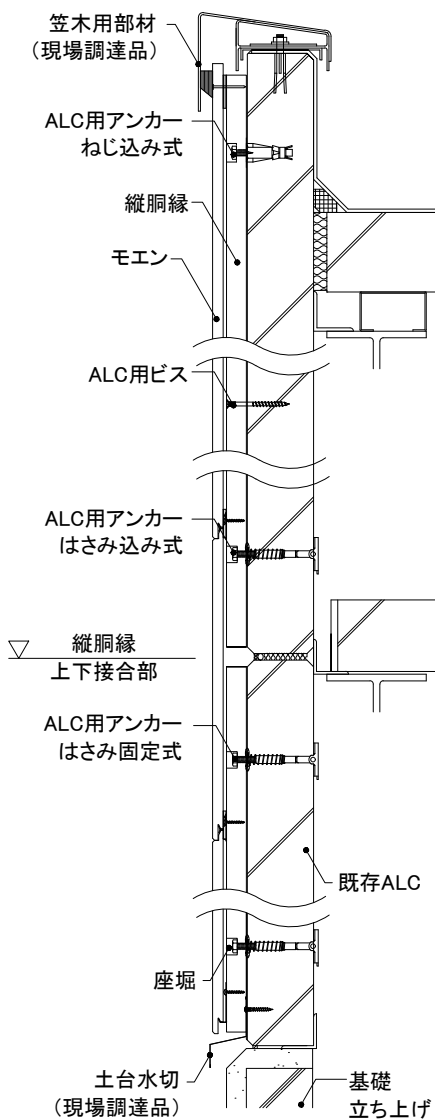
縦胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

1.5尺×6尺

- ALC用アンカー・ビスの設定は物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。
- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 木胴縁は606mm以下の間隔で、ALC端部から150mm以上離して取り付けます。
- (左右接合部)・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- ALCパネル上下ジョイント部は縦胴縁を通さずに、縁を切ります。
- モエン6尺品を連続して施工する場合、製品長さ(1820mm)と、ALCの製品幅(例:600mm)の違いにより、ALC端部から胴縁までの位置がズれていきます。胴縁位置(アンカー位置)がALC端部から150mm未満になる場合は、150mm以上離れた位置に倍幅90mmの木胴縁を施工し、シーリング目地を設けてください。

ALC用アンカーはさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込みで施工します。



16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング)
木胴縁工法

留付方法
金具

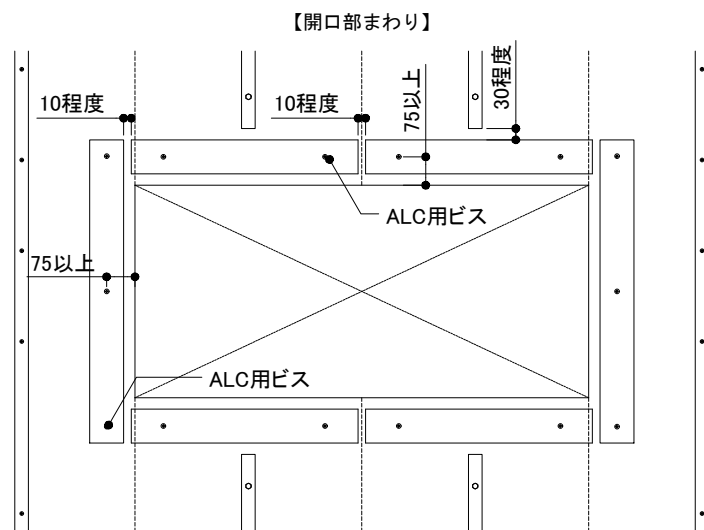
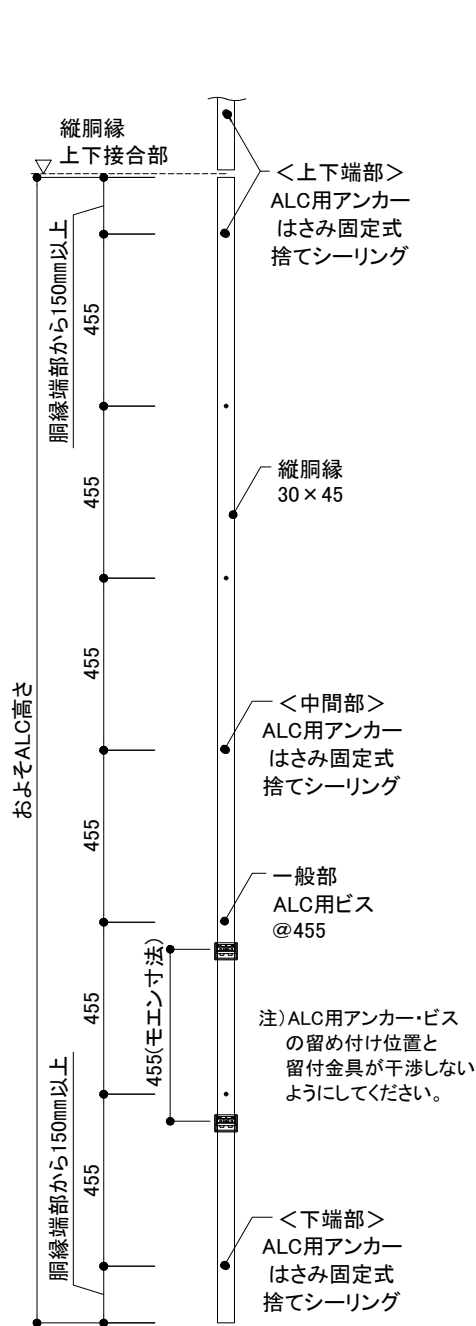
張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

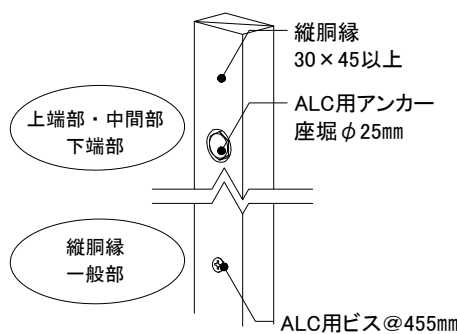
2) 胴縁概要図

ロッキング構法

- 木胴縁はALC用ビスを用い、455mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき 上端部・中間部・下端部の3ヶ所をALC用アンカーとします。原則、ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用し、屋内側に躯体や内装材があり施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。
- 木胴縁の長さが2m未満の場合はアンカーは2ヶ所、1m未満の場合はアンカーは1ヶ所留めとします。
- モエントとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- 開口部上下の横胴縁はALCのジョイント部をまたがないように縁を切って施工してください。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。

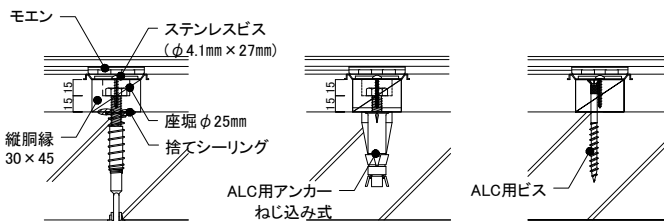


※開口部まわりの胴縁はALC用ビスで留め付けます
※横胴縁はALC左右ジョイント部で縁を切って施工してください



上端部・中間部・下端部	
ALC用アンカー (はさみ固定式)	ALC用アンカー (ねじ込み式)
ITハンガー	エーエルシーアンカー AXタイプ

一般部
ALC用ビス (ねじ固定式)
ALCドライブ



16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング)
木胴縁工法

留付方法
金具

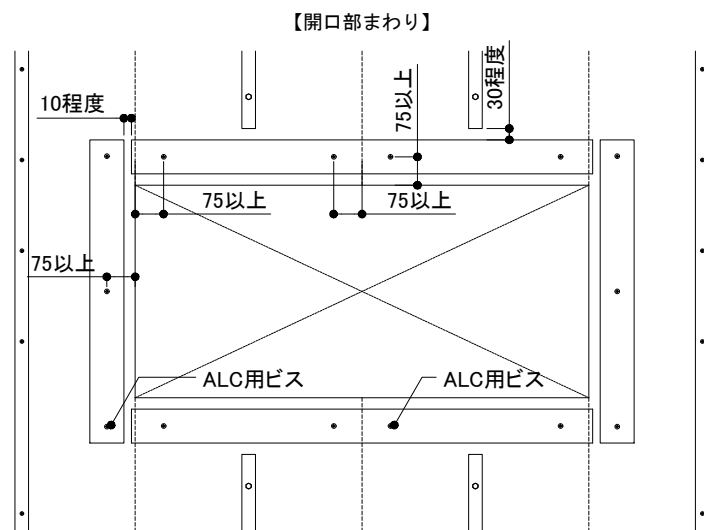
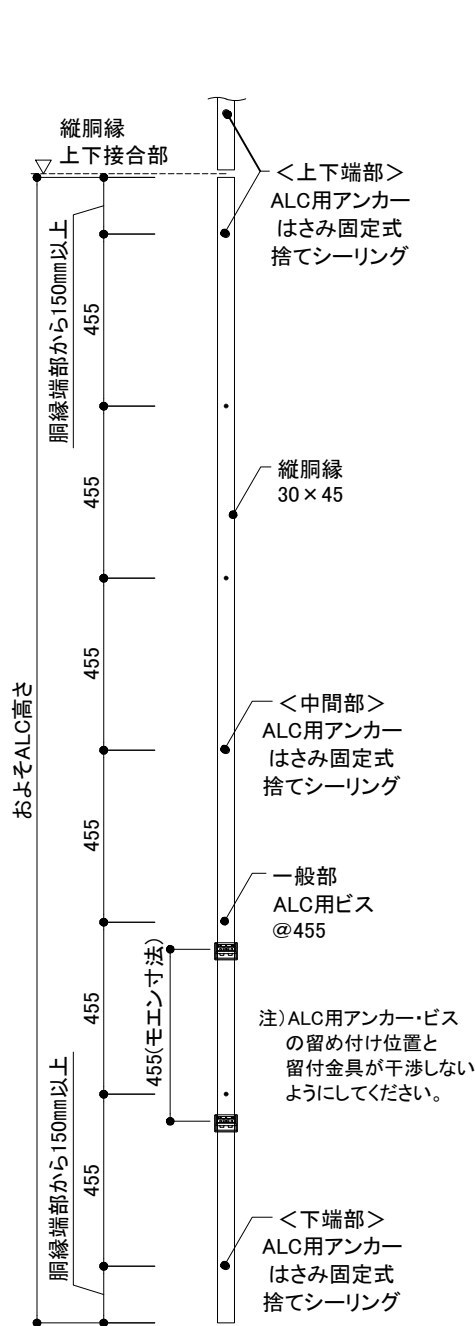
張り方向
横

胴縁組
縦胴縁@606mm以下

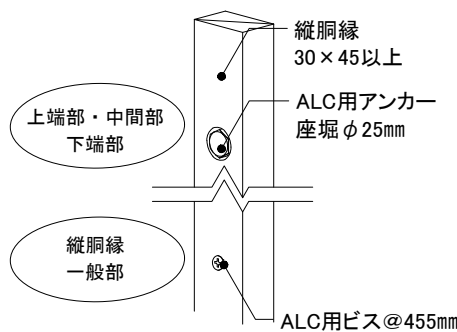
2) 胴縁概要図

挿入筋構法

- 木胴縁はALC用ビスを用い、455mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき 上部部・中間部・下部部の3ヶ所をALC用アンカーとします。原則、ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用し、屋内側に躯体や内装材があり施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。
- 木胴縁の長さが2m未満の場合はアンカーは2ヶ所、1m未満の場合はアンカーは1ヶ所留めとします。
- モエントとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。

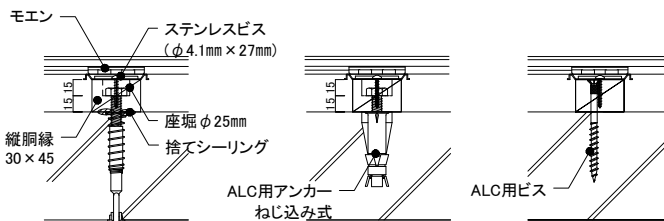


※開口部まわりの胴縁はALC用ビスで留め付けます
※横胴縁はALC左右ジョイント部で縁を切って施工してください



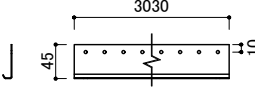
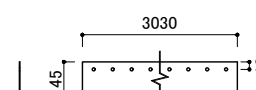
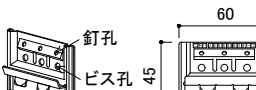
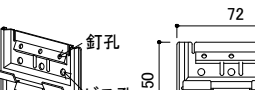
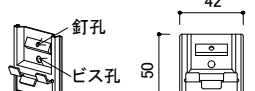
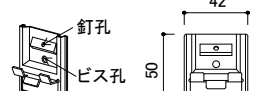
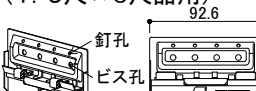
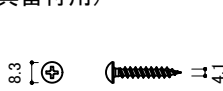
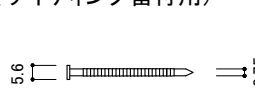
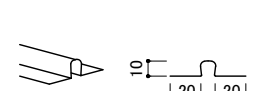
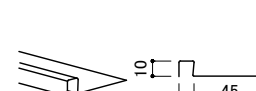

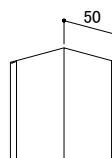
上端部・中間部・下端部	
ALC用アンカー (はさみ固定式) ITハンガー	ALC用アンカー (ねじ込み式) エーエルシーアンカー AXタイプ

一般部
ALC用ビス (ねじ固定式) ALCドライブ



16~21mm厚品 EX S	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

<p>■スターター</p>  <p>横張り金具工法用スターターA (エクセラード用) (モエンS18:ハルモニアシリーズ用) 【品番:FA150A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.8mm 長さ:3,030mm 備考:専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ:胴縁ごと(606mm以下)</p>	<p>■スターター</p>  <p>横張り金具工法用スターターB (モエンS18:ハルモニアシリーズ以外用) 【品番:FA150B】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.8mm 長さ:3,030mm 備考:専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ:胴縁ごと(606mm以下)</p>	<p>■一般部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX (エクセラード用) (モエンS18:ハルモニアシリーズ用) 【品番:JE555】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビスで留め付ける</p>	<p>■一般部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX (モエンS18:ハルモニアシリーズ以外用) 【品番:JE650】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビスで留め付ける</p>
<p>■出隅部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX出隅用II (エクセラード用) (モエンS18:ハルモニアシリーズ用) 【品番:JE552C】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:本体には使用できません</p>	<p>■出隅部金具</p>  <p>横張り用留付金具EX出隅用II (モエンS18:ハルモニアシリーズ以外用) 【品番:JE652C】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:本体には使用できません</p>	<p>■左右接合部金具 (1.5尺×6尺品用)</p>  <p>横張り用留付金具EX左右接合部用 (16mm厚品用5mm浮き) 【品番:JEJ565】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:専用ビス2本で留め付ける</p>	<p>■専用ビス (金具留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>
<p>■専用釘 (サイディング留付用)</p>  <p>モエン用釘(ステンスリング釘) 【品番:JKW840Bなど】 材質:ステンレス サイズ:φ2.75mm×50mm</p>	<p>■ハットジョイナー</p>  <p>ハットジョイナー10 【品番:FH1010R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:3,030mm 表面色:クリアーレッド着色</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー10 【品番:FHK1110R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアーレッド着色</p>	<p>■スペーサー</p>  <p>スペーサー05 【品番:FS1005】 長さ:1,200mm 材質:ポリプロピレン スペーサー05(ピースタイプ) 【品番:FSP1005】 長さ:1,000mm 材質:ポリプロピレン</p>
<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm</p>			

※各部材は2024年5月時点のものです。最近の情報はNICHIIHA内外建材総合カタログでご確認ください。

16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造 (ALC厚100mm挿入筋・ロッキング)
木胴縁工法

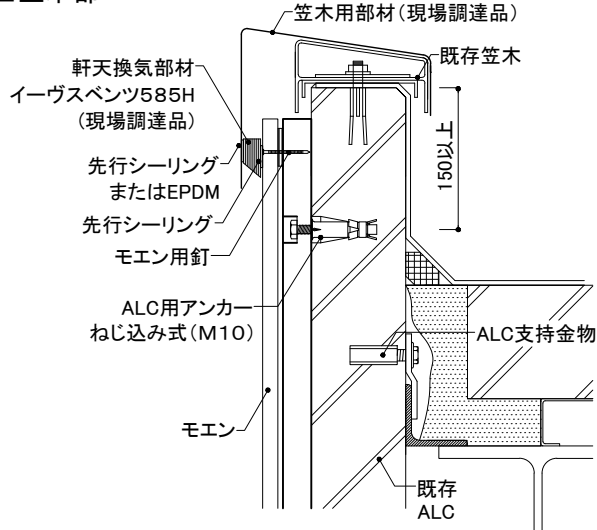
留付方法
金具

張り方向
横

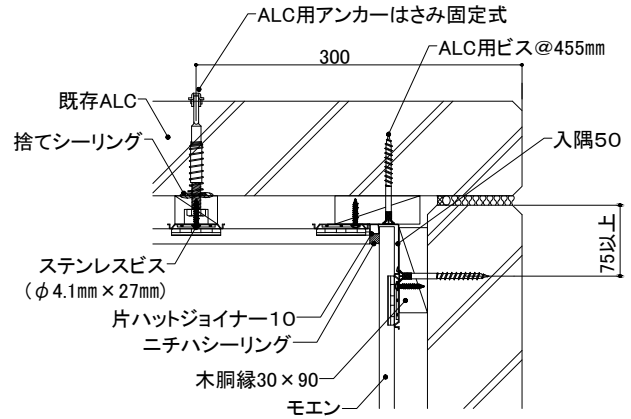
胴縁組
縦胴縁@606mm以下

4) 各部の納まり概要図

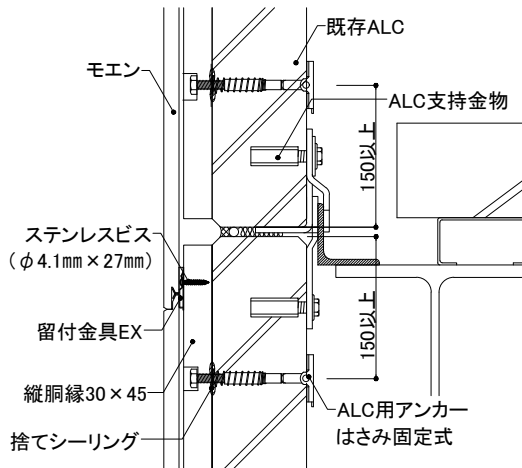
■ 笠木部



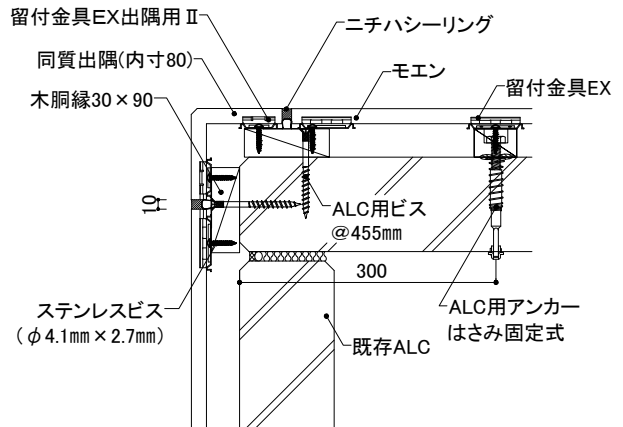
■ 入隅部



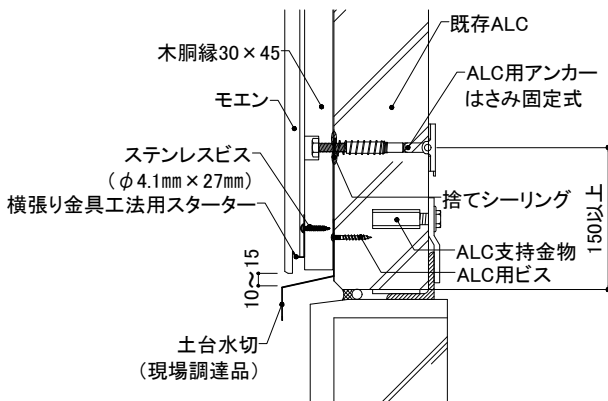
■ 上下接合部



■ 出隅部



■ 土台部



16~21mm厚品

EX S

下地・工法
S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング)
木胴縁工法

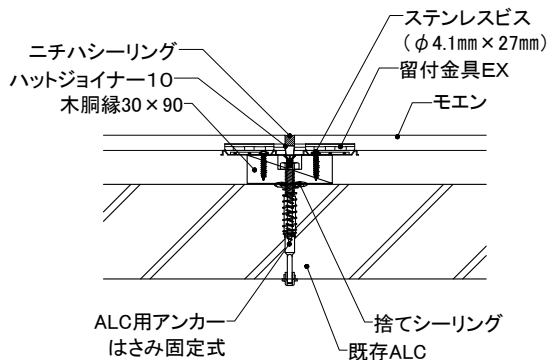
留付方法
金具

張り方向
横

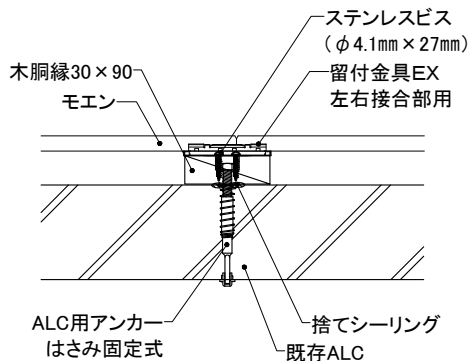
胴縁組
縦胴縁@606mm以下

4) 各部の納まり概要図

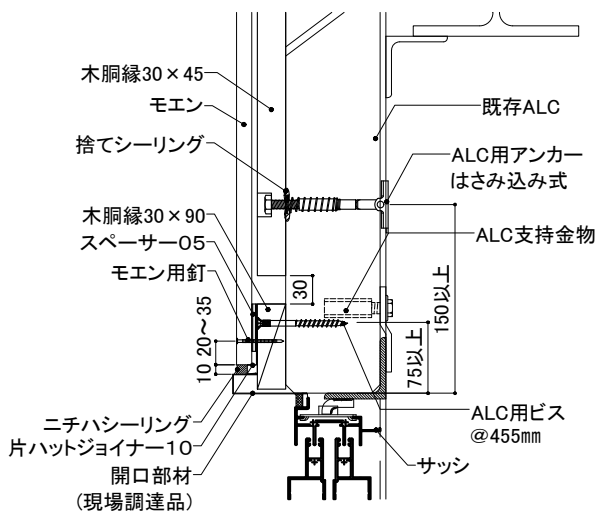
■左右接合部(1.5尺×10尺)



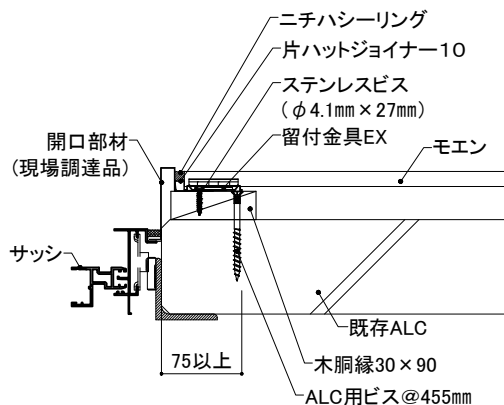
■左右接合部(1.5尺×6尺)



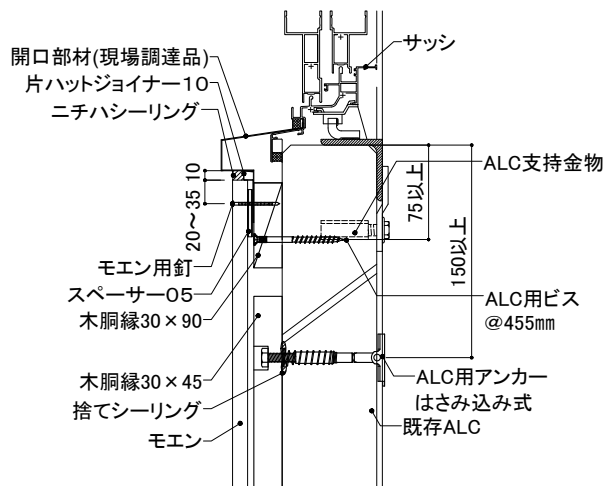
■開口部(上側)



■開口部(左右側)



■開口部(下側)



6 各部の納まり詳細図

S造(ALC厚100mm)
挿入筋構法・ロッキング構法

木胴縁工法

モエン横張り

釘打ち施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)各部の納まり概要図	

本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

14mm厚品

M W

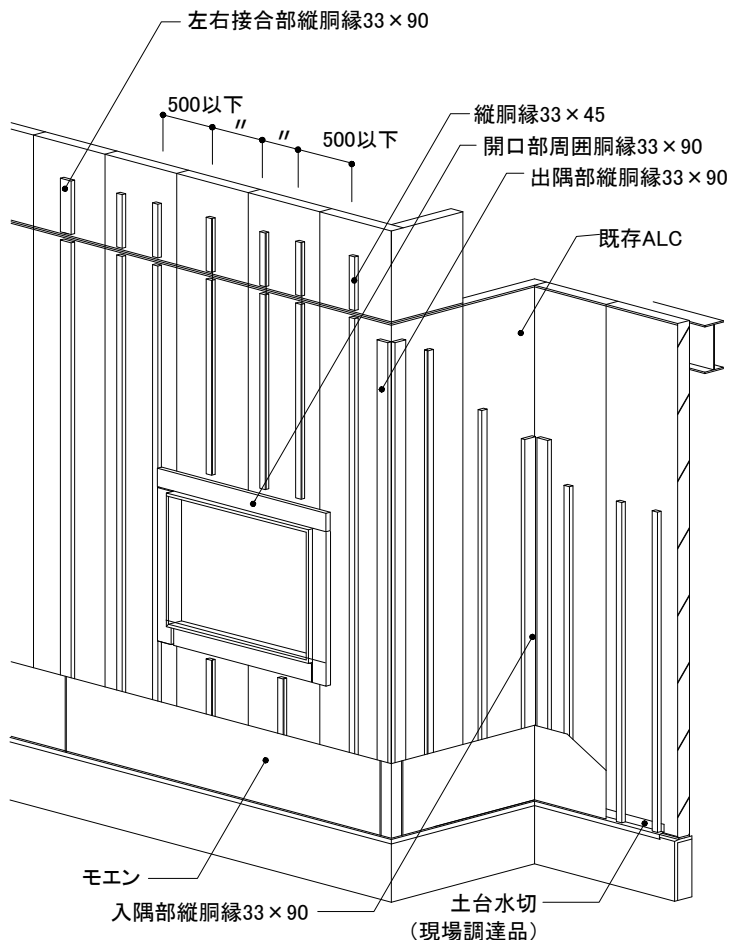
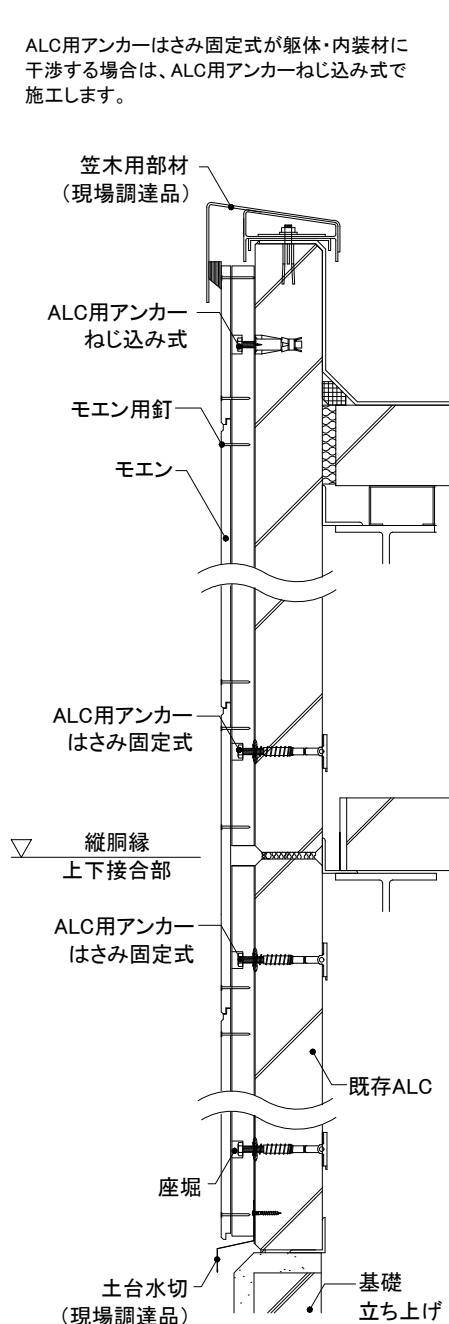
下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 木胴縁工法	釘	横	縦胴縁@500mm以下

1) 基本構成図

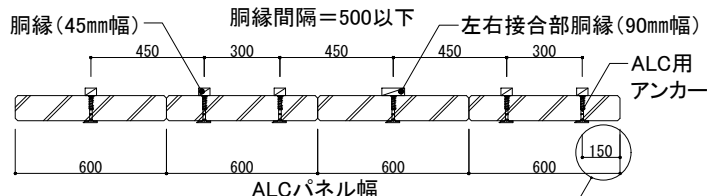
構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように500mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。ALCパネルの幅を考慮し、胴縁の間隔を決定することが重要です。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- ALCパネル上下ジョイント部は木胴縁を通さず、縁を切ります。

ALC用アンカーははさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込み式で施工します。



※ALCパネルへの縦胴縁(モエン釘打ち施工)の割り付け



※アンカーの端部からの必要距離

- ・モエンの釘打ち施工の胴縁間隔は、500mm以下
 - ・ALCパネルの標準パネル幅は、600mm(が多い)
 - ・ALC用アンカーの施工基準は、ALC端部から150mm以上
- 上記の施工基準から、胴縁の割り付けは、
- パネル中央の胴縁とパネル中央振り分けの2本の胴縁を交互に施工
 - 全てのALCパネル中央振り分けで2本の胴縁施工のどちらかとしてください。

14mm厚品

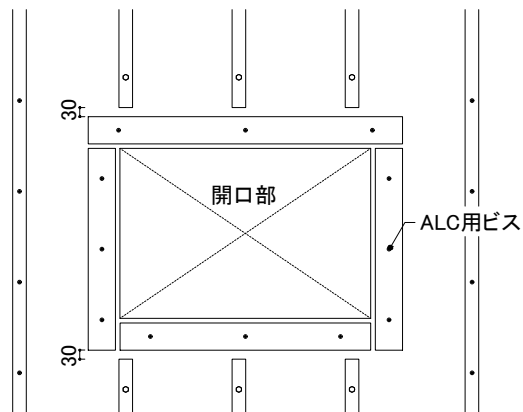
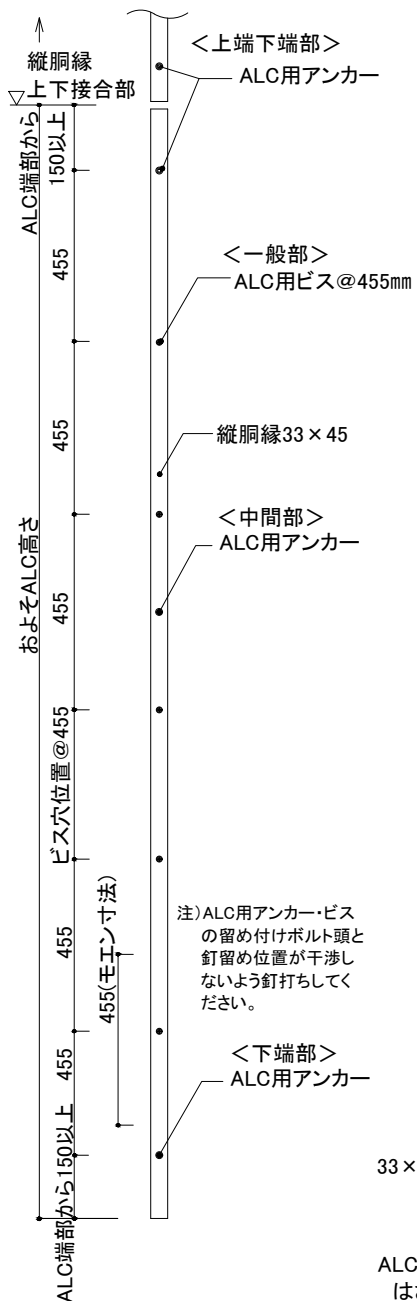
M W

下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 木胴縁工法	釘	横	縦胴縁@500mm以下

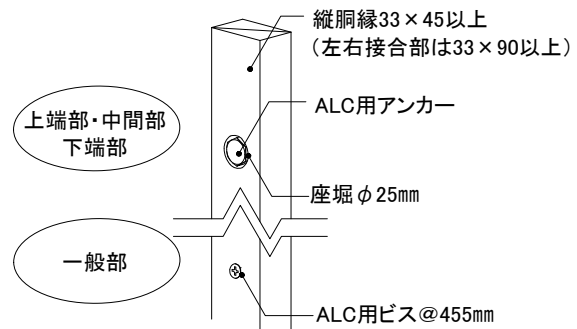
2) 胴縁概要図

- 木胴縁はALC用ビスを用い、455mm以下で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき上端部・中間部・下端部の3ヶ所をALC用アンカーとします。原則、ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用し、屋内側に躯体や内装材があり施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、ALC用アンカーはさみ固定式は1ヶ所留めとします。
- ALC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)

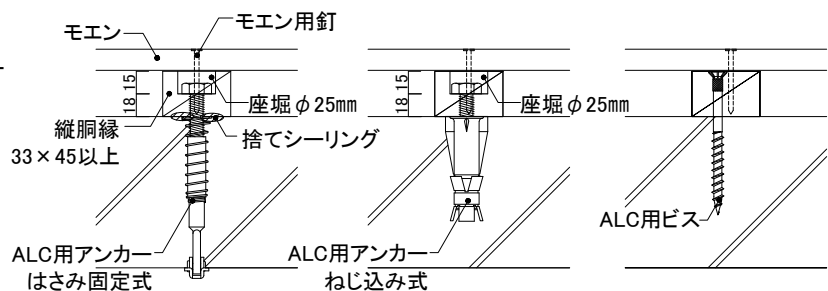


※開口部まわりは、ALC用ビスで留め付けてください。



上端部・中間部・下端部	
ALC用アンカー (はさみ固定式)	ALC用アンカー (ねじ込み式)
ITハンガー	エーエルシーアンカー AXタイプ

一般部
ALC用ビス (ねじ固定式)
ALCドライブ



14mm厚品

M W

下地・工法

S造 (ALC厚100mm挿入筋・ロッキング)
木胴縁工法

留付方法

釘

張り方向

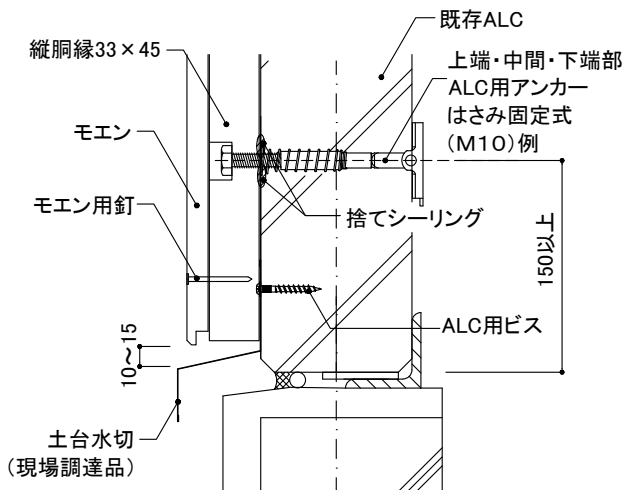
横

胴縁組

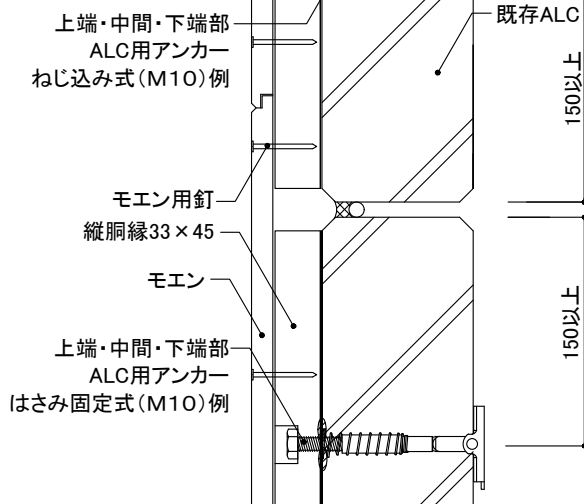
縦胴縁@500mm以下

3) 各部の納まり概要図

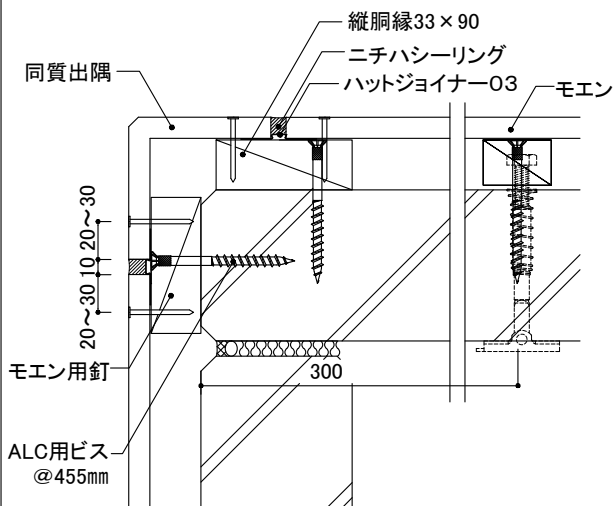
■ 土台部



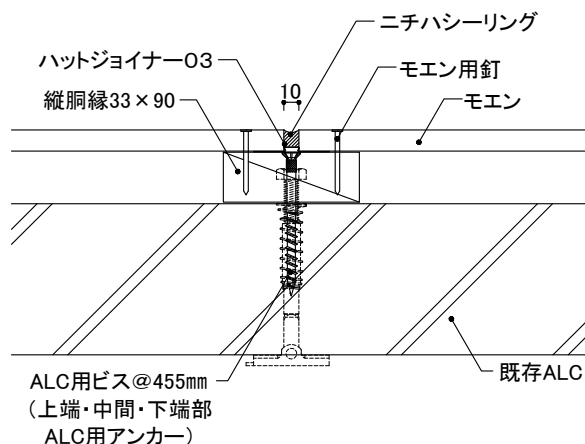
■ 上下接合部 (胴縁)



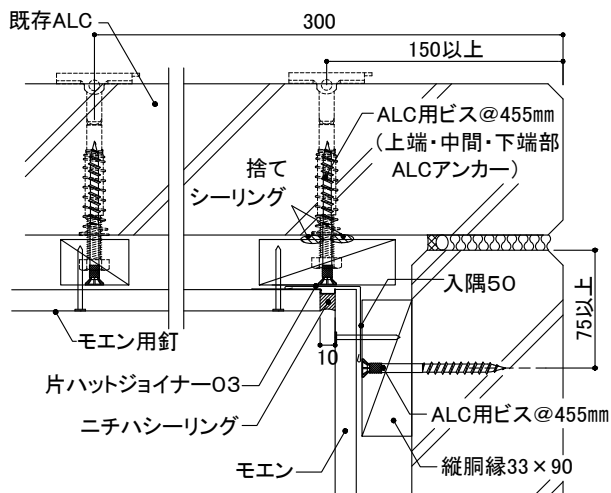
■ 出隅部



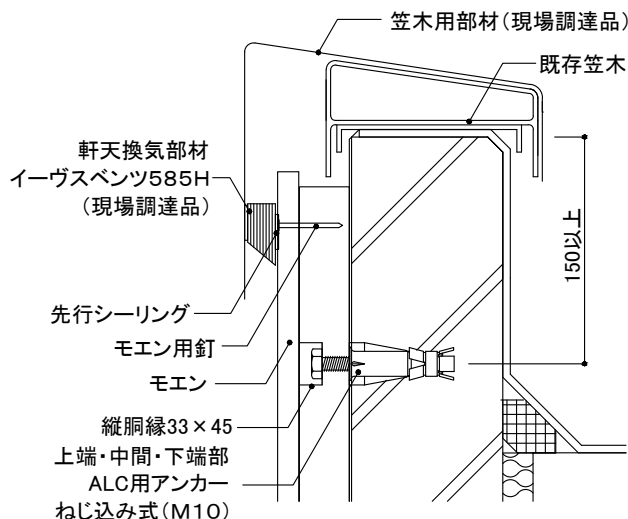
■ 左右接合部



■ 入隅部



■ 笠木部 (笠木をかぶせる場合)



7 各部の納まり詳細図

S造(ALC厚100mm)

木胴縁工法

モエン縦張り

金具施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部	モエン
6)左右接合部	①胴縁 ②モエン
7)入隅部	
8)出隅部	同質出隅
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	

本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

横胴縁仕様挿入筋構法のみで、ロッキング構法の重ね張りはできません。

16mm厚品

EX

下地・工法
S造(ALC厚100mm挿入筋)
木胴縁工法

留付方法
金具

張り方向
縦

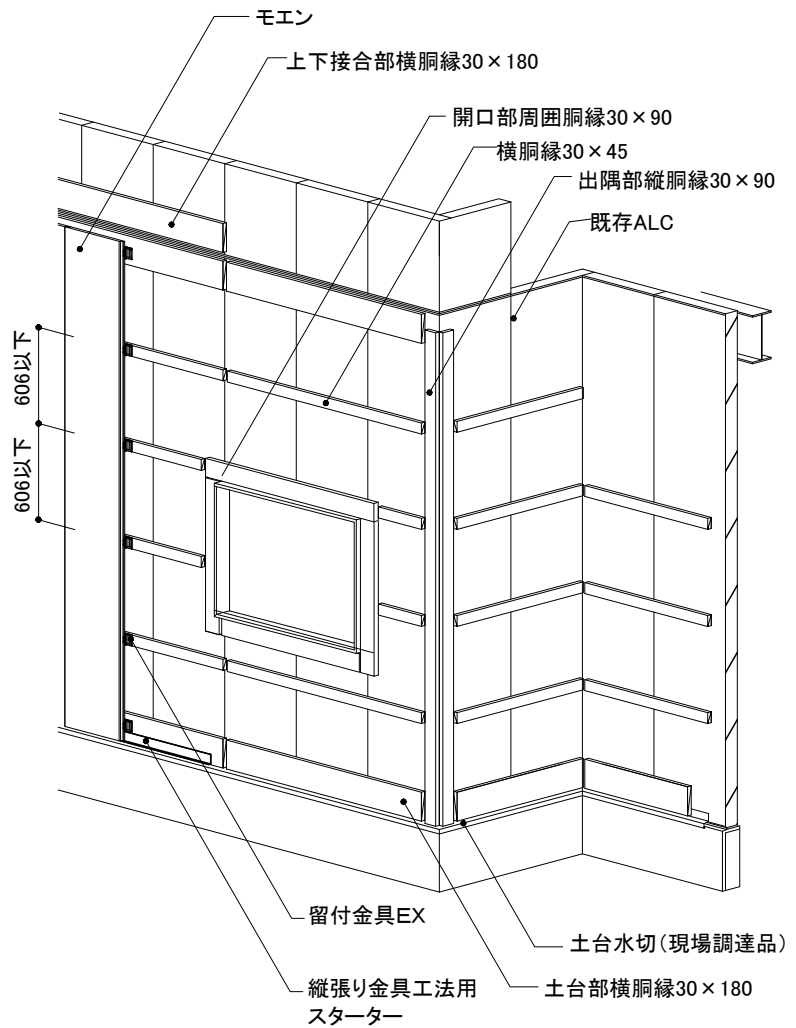
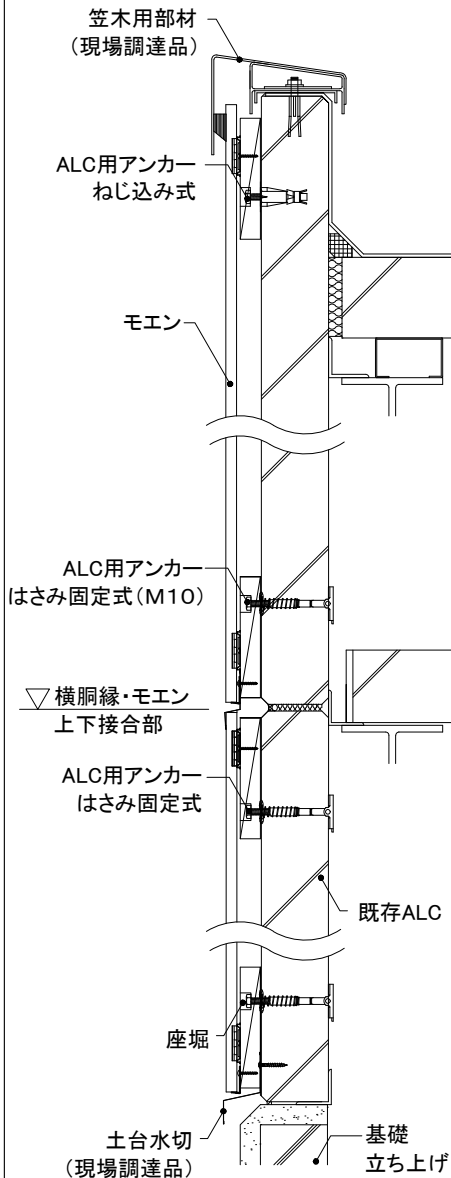
胴縁組
横胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
土台部・上下接合部などALCパネルの上下端部には、幅180mm程度の木胴縁を使用します。
- 横胴縁は必ず通気ができるように2,000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
- 横胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
- ALCパネル上下ジョイント部は木胴縁とモエンを通さず、縁を切ります。

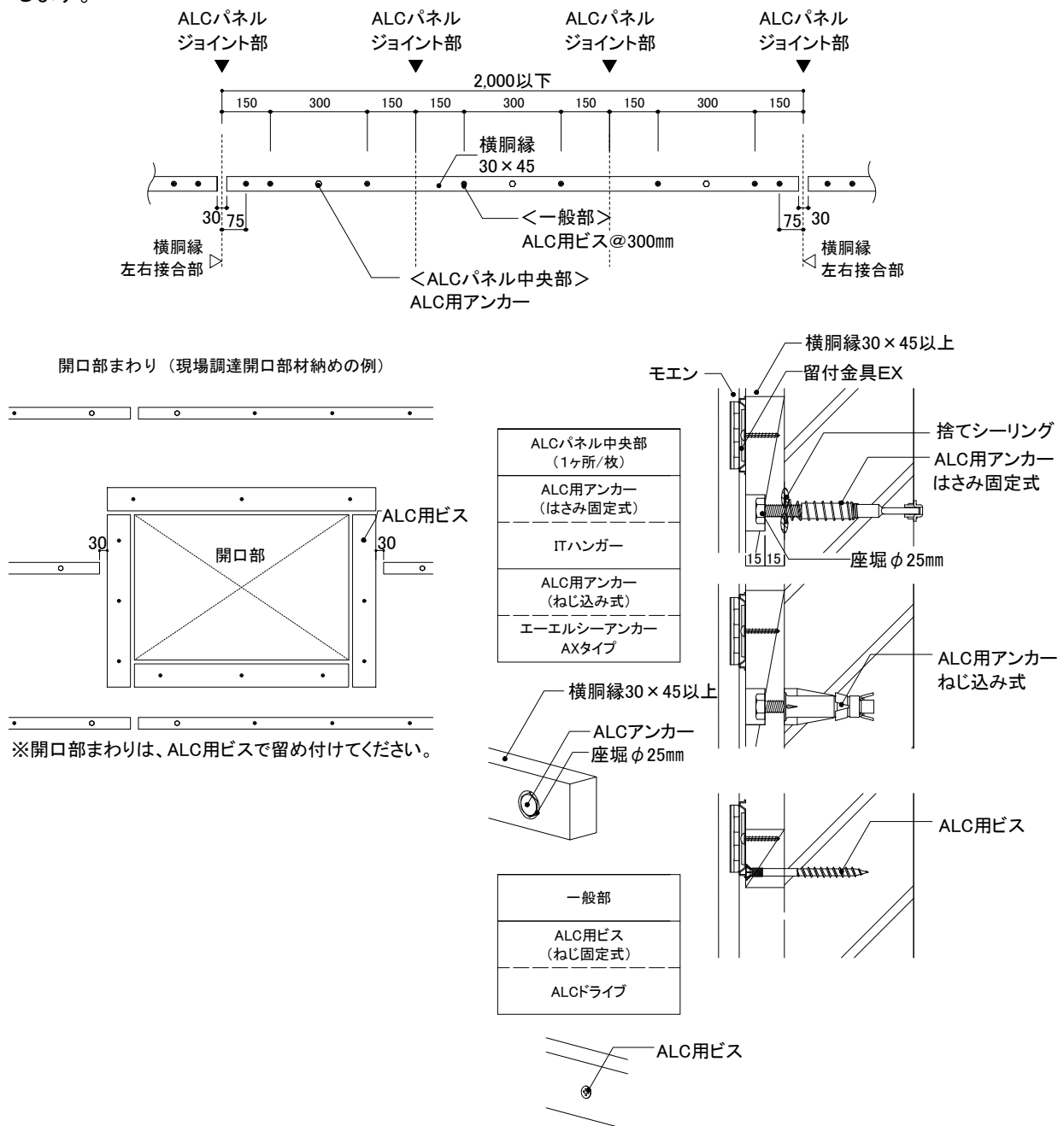
ALC用アンカーはさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込み式で施工します。



16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

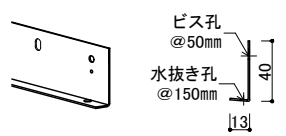
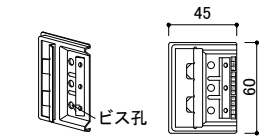
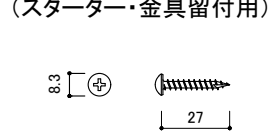
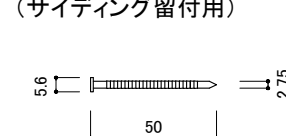
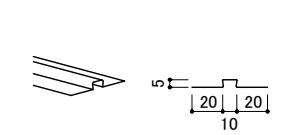
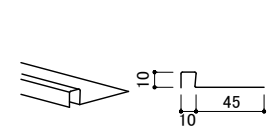
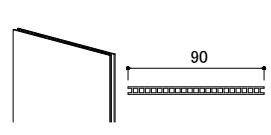
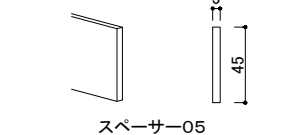
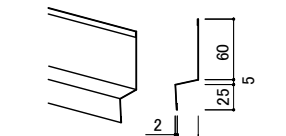
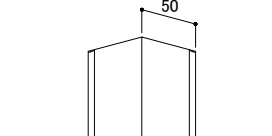
2) 胴縁概要図

- 木胴縁をALCパネル1枚につき中央部1ヶ所に、ALC用アンカーで留め付けます。原則、ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、屋内側に躯体や内装材があり、施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。(最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用します。)
- ALC用ビスは300mm以下の間隔で木胴縁に留め付けます。ただし、胴縁の両端部はALCパネルの端部から75mm程度の位置にALC用ビスを1本増し打ちします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。
- ALC用アンカー・ビスの設定は物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。



16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

<p>■スターター</p>  <p>ビス孔 @50mm 水抜き孔 @150mm 13</p> <p>縦張り金具工法用スターター 【品番:FA350T】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:1.0mm 長さ:3,030mm 備考:専用ビスで留め付ける ビス留めピッチ:250mm以下</p>	<p>■一般部金具</p>  <p>45 60 10 ビス孔</p> <p>縦張り用留付金具EX (16mm厚品用5mm浮き) 【品番:JE555T】 材質:高耐食めっき鋼板 備考:同梱ビスではなく専用ビスで 留め付ける</p>	<p>■専用ビス (スターター・金具留付用)</p>  <p>8.3 27</p> <p>ステンレスビス 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>	<p>■専用釘 (サイディング留付用)</p>  <p>5.6 50 2.75</p> <p>モエン用釘(ステンレスリング釘) 【品番:JKW840Bなど】 材質:ステンレス サイズ:φ2.75mm×50mm</p>
<p>■ハットジョイナー</p>  <p>20 10 10</p> <p>ハットジョイナー05 【品番:FH1005R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:3,030mm 表面色:クリアレッド着色</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>10 45 10</p> <p>片ハットジョイナー10 【品番:FHK1110R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアレッド着色</p>	<p>■スペーサー</p>  <p>90 10</p> <p>スペーサー05T 【品番:FS1005T】 材質:ポリプロピレン 長さ:2,000mm</p>	<p>■スペーサー</p>  <p>5 45</p> <p>スペーサー05 【品番:FS1005】 長さ:1,200mm 材質:ポリプロピレン スペーサー05(ピースタイプ) 【品番:FSP1005】 長さ:1,000mm 材質:ポリプロピレン</p>
<p>■中間水切</p>  <p>23 25 60</p> <p>中間水切23E 【品番:FTA****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>50 50</p> <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm</p>		

※各部材は2024年5月時点のものです。最近の情報はNICHIIHA内外建材総合カタログでご確認ください。

16mm厚品

EX

下地・工法
S造(ALC厚100mm挿入筋)
木胴縁工法

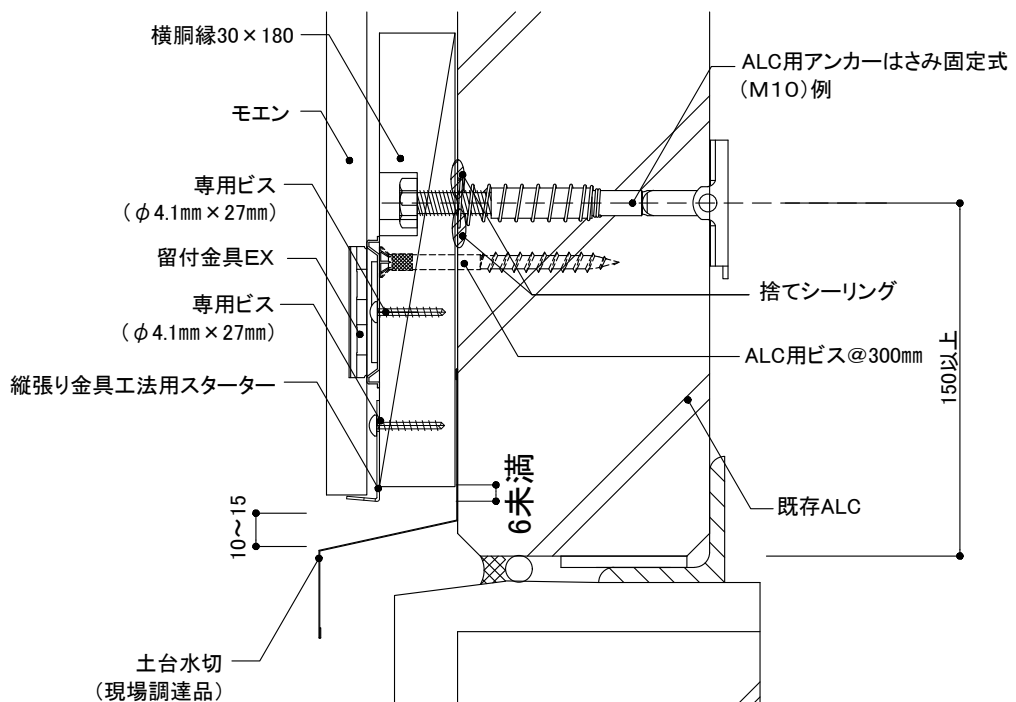
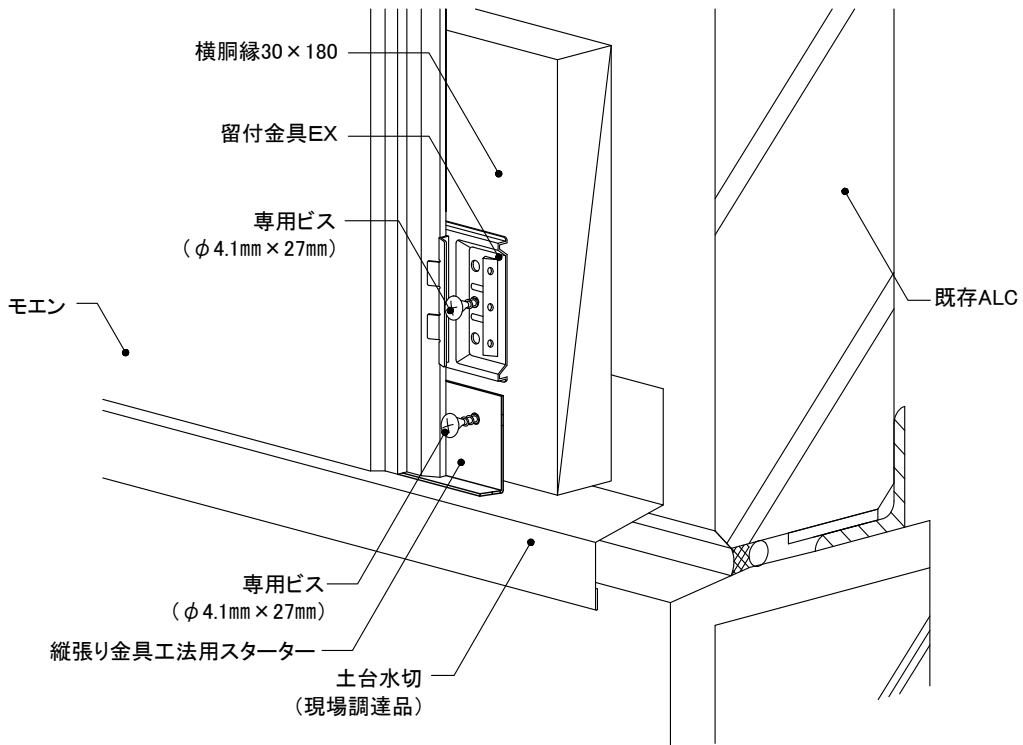
留付方法
金具

張り方向
縦

胴縁組
横胴縁@606mm以下

4) 土台部

- 土台水切をALC用ビスで留め付けてから、木胴縁を施工します。
- 縦張り金具工法用スターターは専用ビス(φ4.1mm×27mm)を用い、胴縁に250mm間隔で水平に留め付けます(スターターには留め付け目安のマークが250mm間隔で入っています)。釘打ちは厳禁です。
また、縦張り金具工法用スターターは土台部の横胴縁下端より6mm以上下げないでください。
- モエンは縦張り金具工法用スターターの上側に留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- モエン下端と土台水切の間は、10~15mm程度の隙間を設けます。

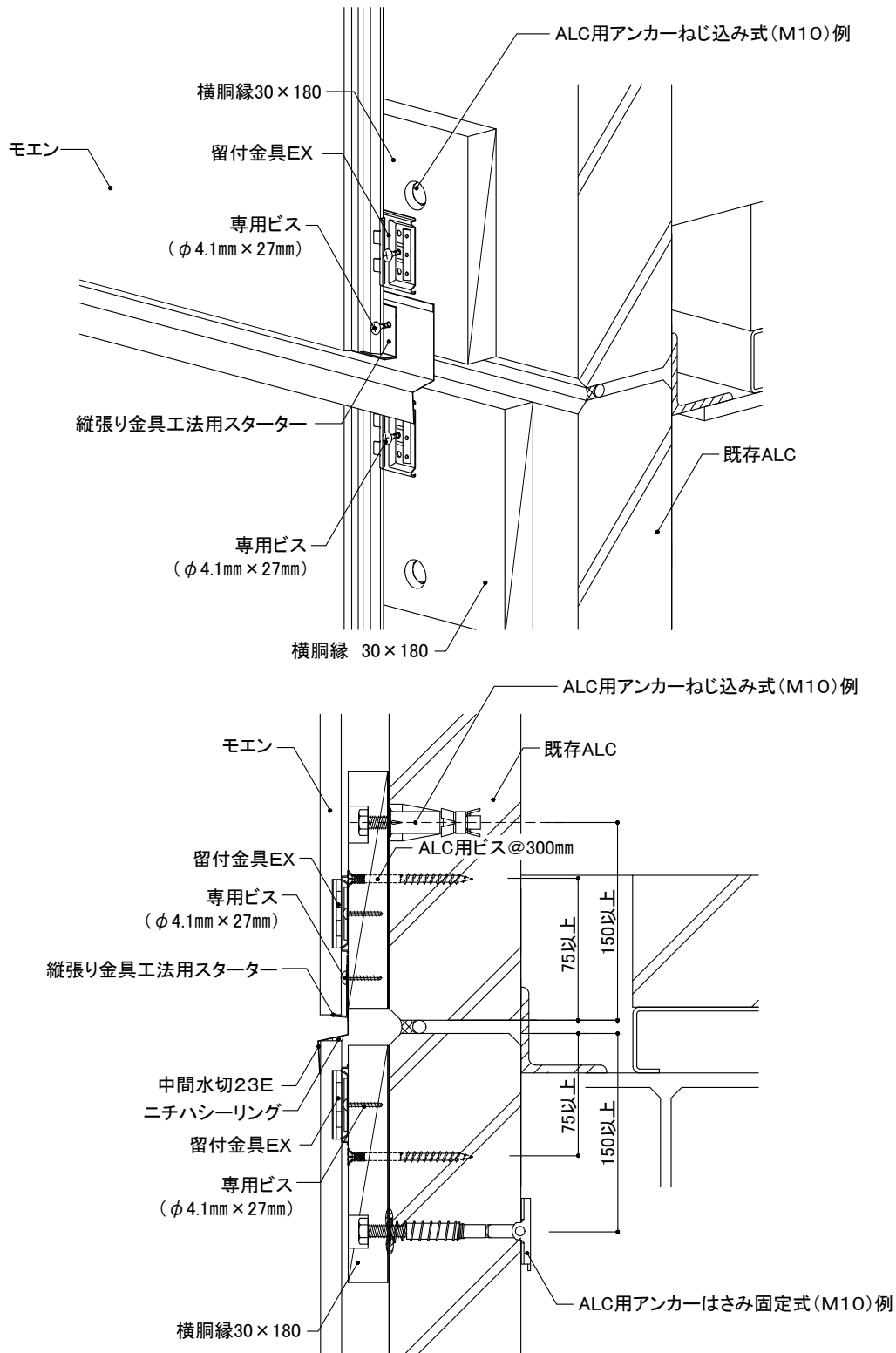


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

モエン

- ALCジョイント部は横胴縁とモエンを通さずに、縁を切ります。
- 中間水切23Eはモエン用釘などを用い、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- 縦張り金具工法用スターターは専用ビス(φ4.1mm×27mm)を用い、胴縁に250mm間隔で水平に留め付けます(スターターには留め付け目安のマークが250mm間隔で入っています)。釘打ちは厳禁です。また、縦張り金具工法用スターターは土台部の横胴縁下端より6mm以上下げないでください。

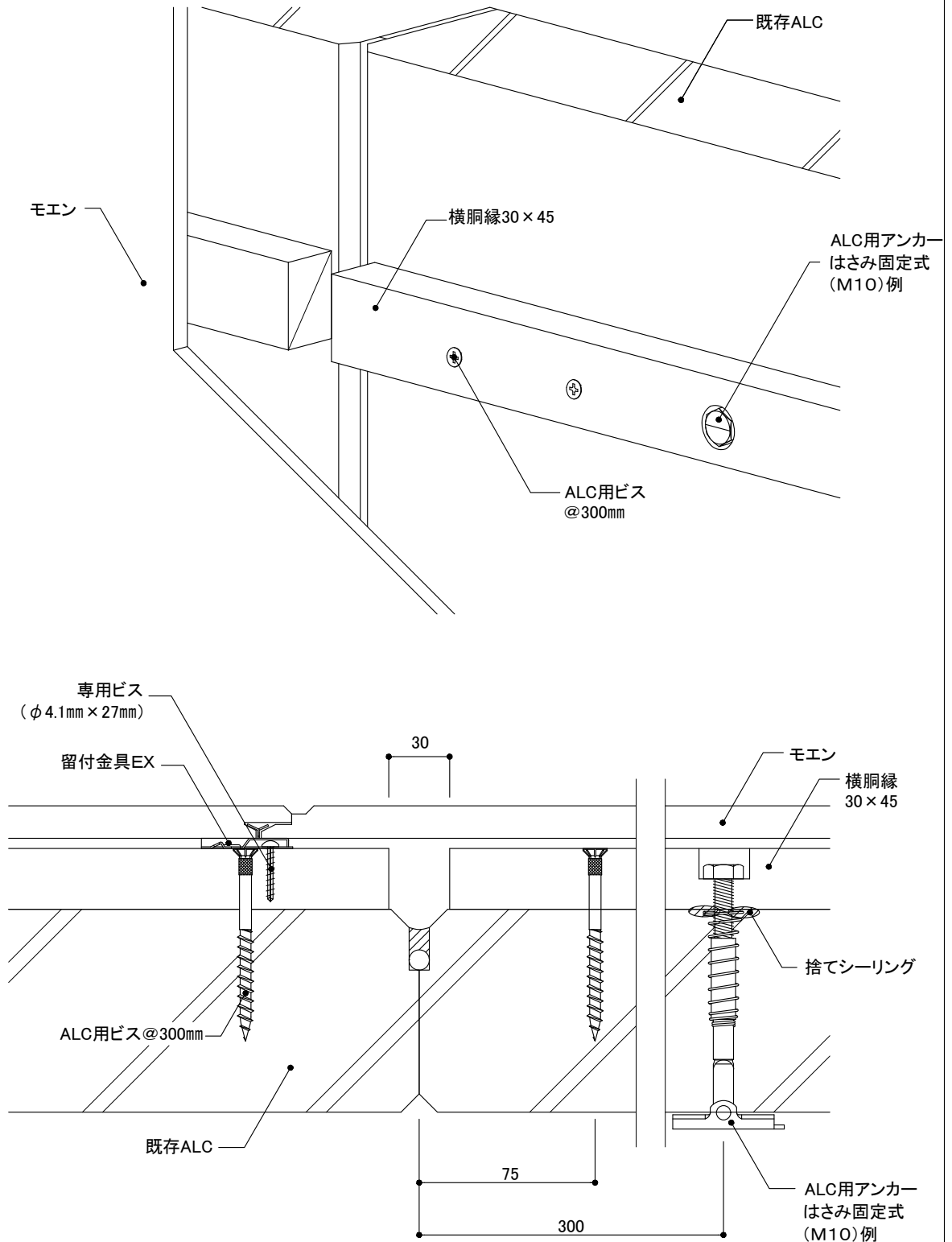


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

① 胴縁

●横胴縁接合部は必ず通気ができるように30mm程度の隙間を設けます。胴縁の両端部はALCパネル端部から75mm程度の位置にALC用ビスを1本増し打ちします。

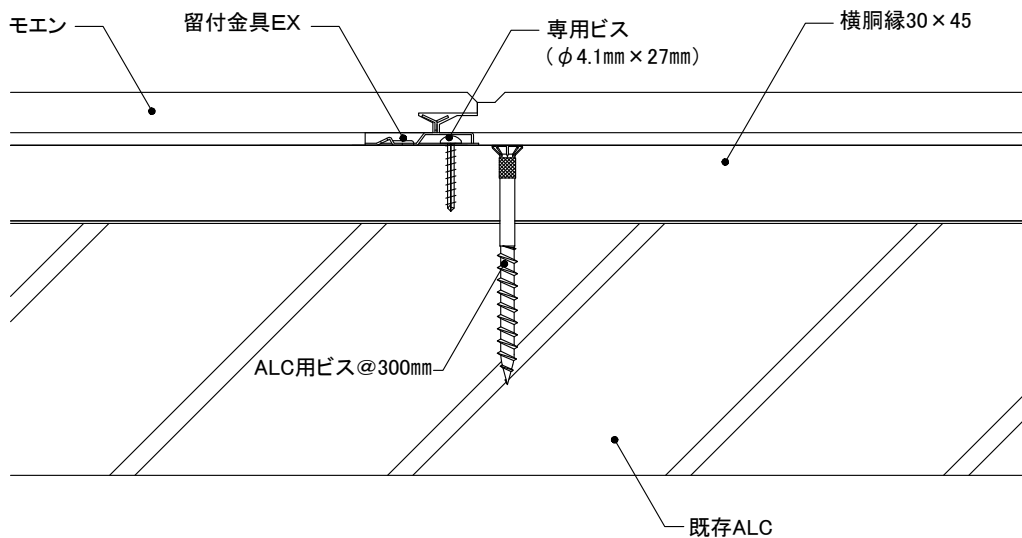
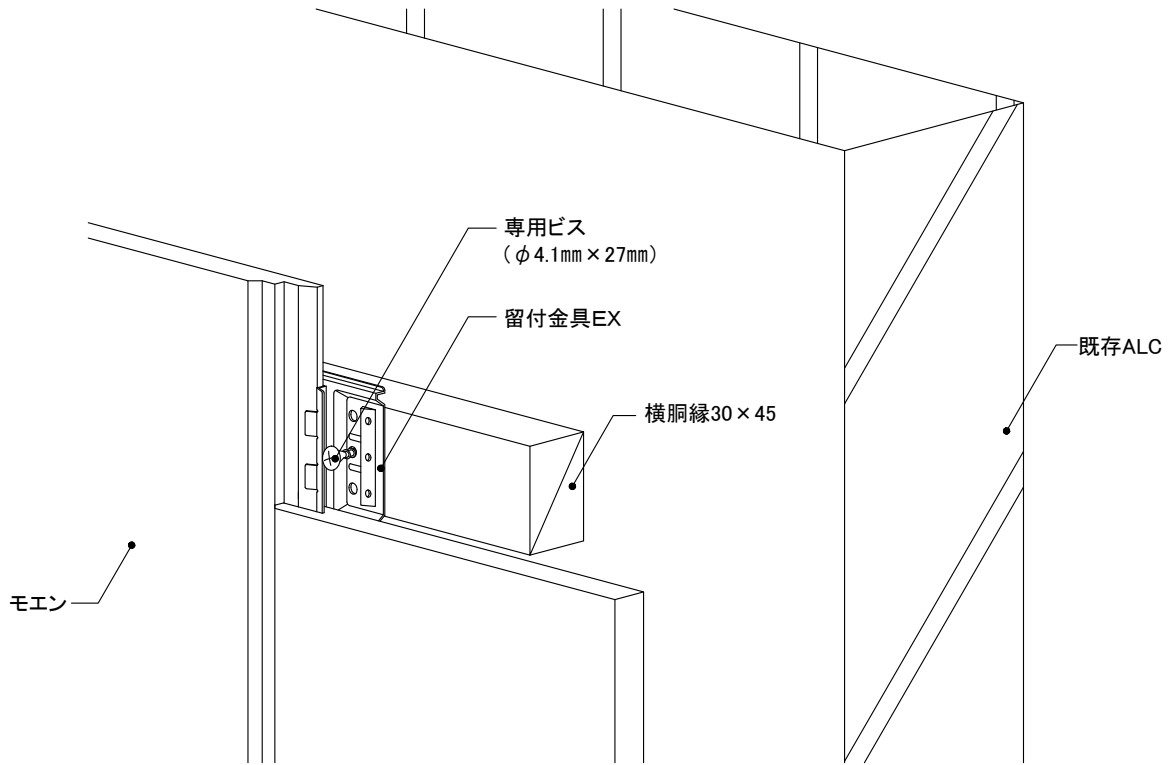


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

②モエン

● 実にて留付金具EXを確実に納め、重ね張り専用ビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。



16mm厚品

EX

下地・工法
S造(ALC厚100mm挿入筋)
木胴縁工法

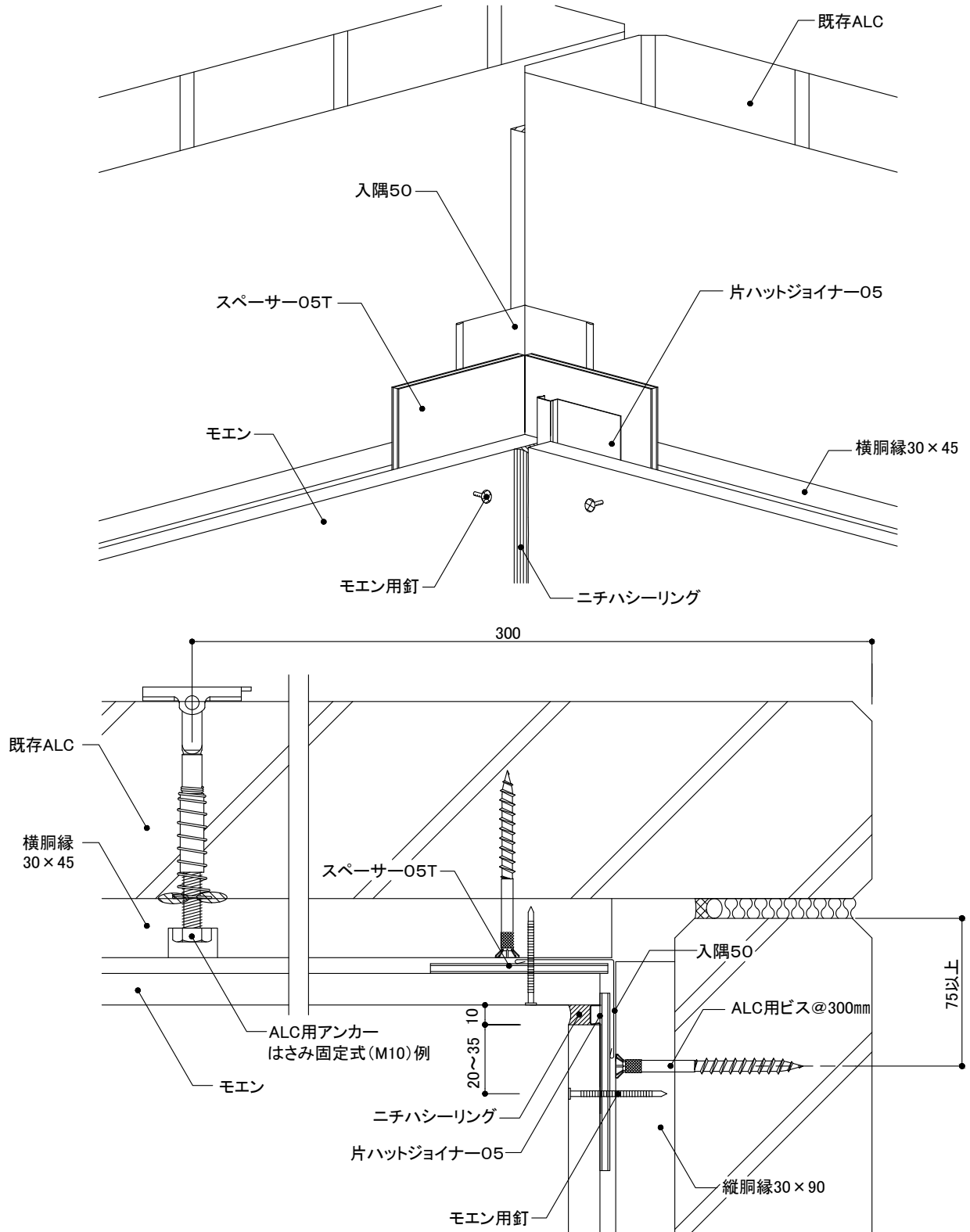
留付方法
金具

張り方向
縦

胴縁組
横胴縁@606mm以下

7)入隅部

- 入隅50・スペーサー05Tを取り付けた後、片ハットジョイナー05を用い、図のように10mm程度の隙間を設けて施工します。
- モエンは、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘 $\phi 2.75\text{mm} \times 50\text{mm}$)で留め付けます。



16mm厚品

EX

下地・工法
S造(ALC厚100mm挿入筋)
木胴縁工法

留付方法
金具

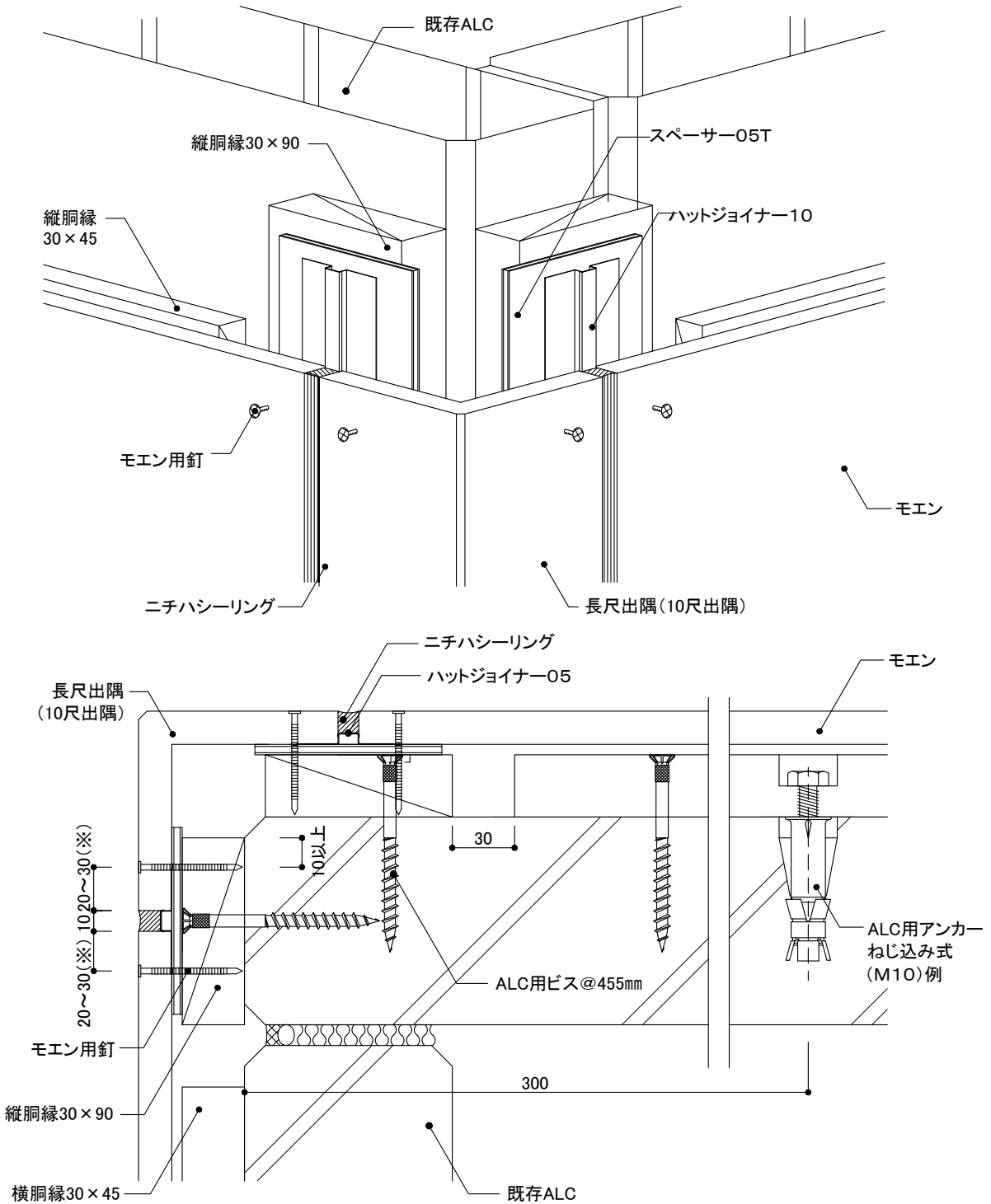
張り方向
縦

胴縁組
横胴縁@606mm以下

8) 出隅部

同質出隅

- 出隅部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- モエン本体、長尺出隅材はスペーサー05Tを取り付けた後、先孔をあけてからモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.75mm×50mm)で留め付けます。
- ※縦胴縁の端あきが10mm以上になるよう釘打ちします。
- 長尺出隅との取り合い部には、必ずハットジョイナー05を用い、10mm程度の隙間を設けて施工します。



16mm厚品

EX

下地・工法
S造(ALC厚100mm挿入筋)
木胴縁工法

留付方法
金具

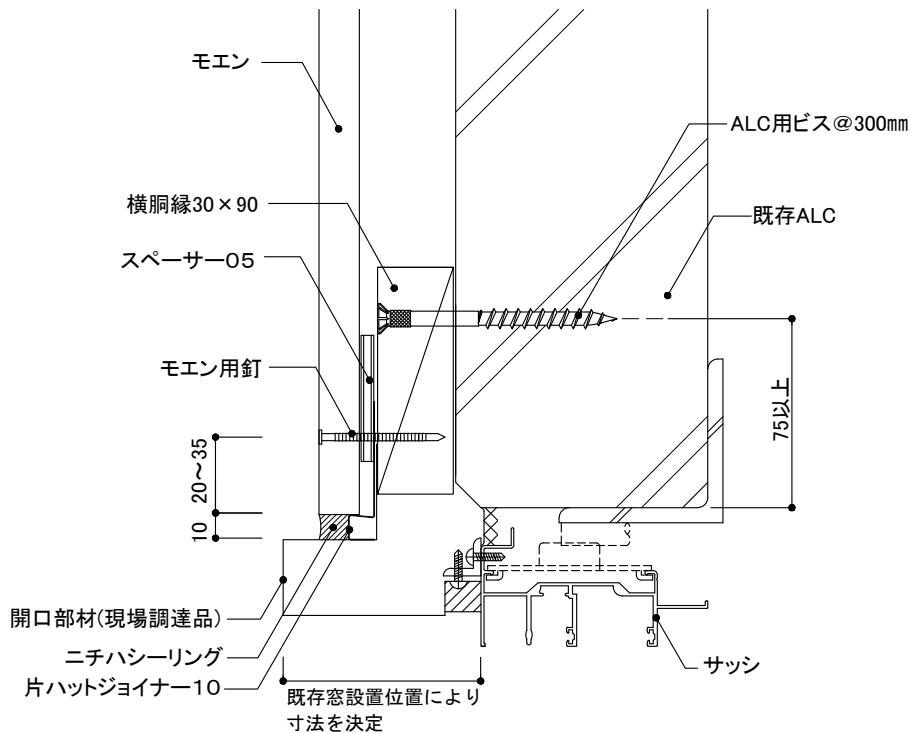
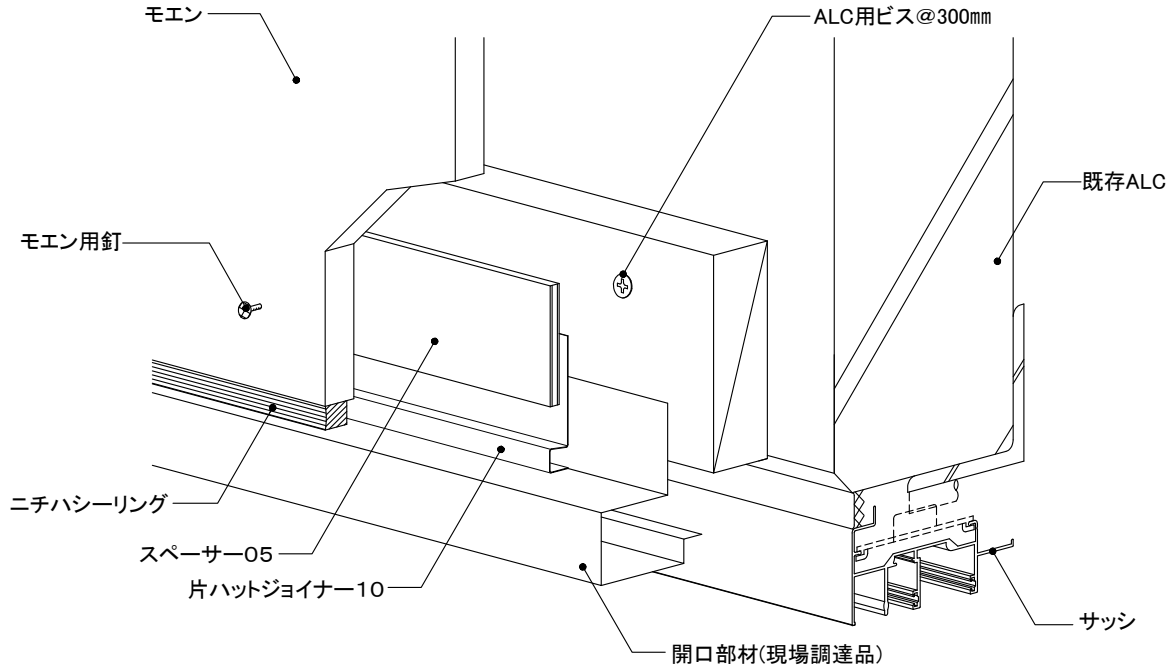
張り方向
縦

胴縁組
横胴縁@606mm以下

9) 開口部

① 上側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。

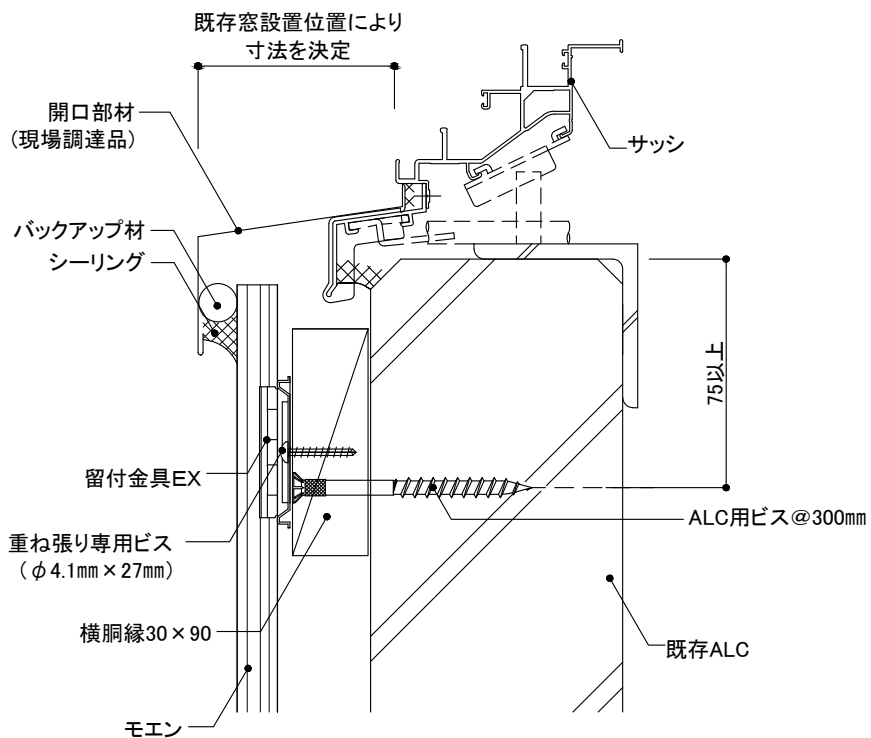
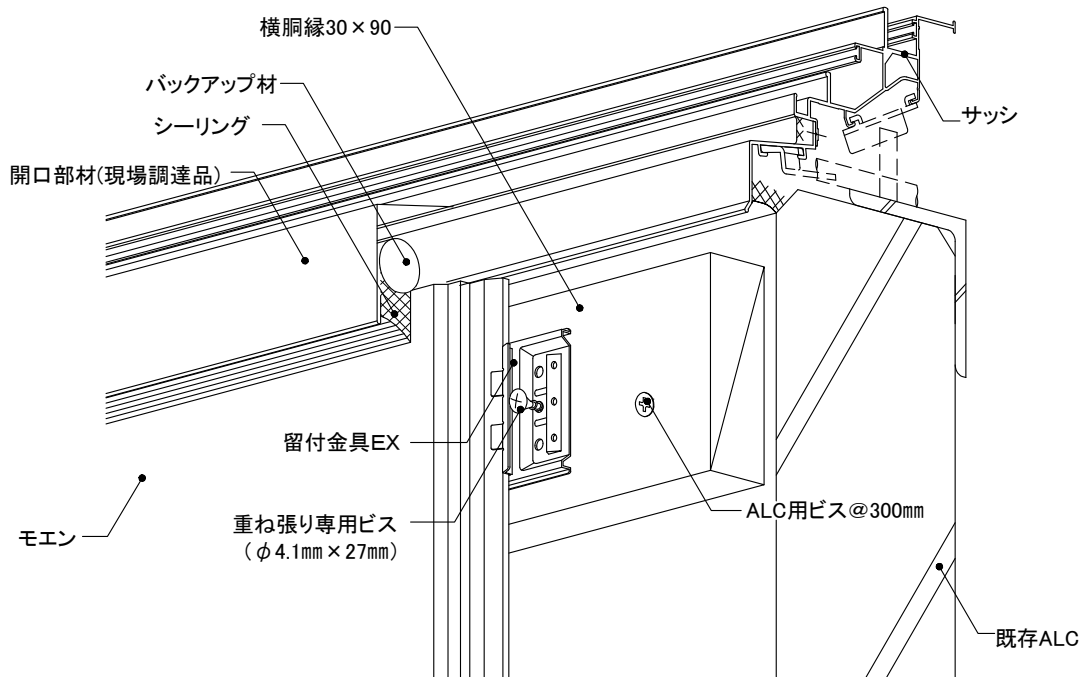


16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

② 下側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。



16mm厚品

EX

下地・工法
S造(ALC厚100mm挿入筋)
木胴縁工法

留付方法
金具

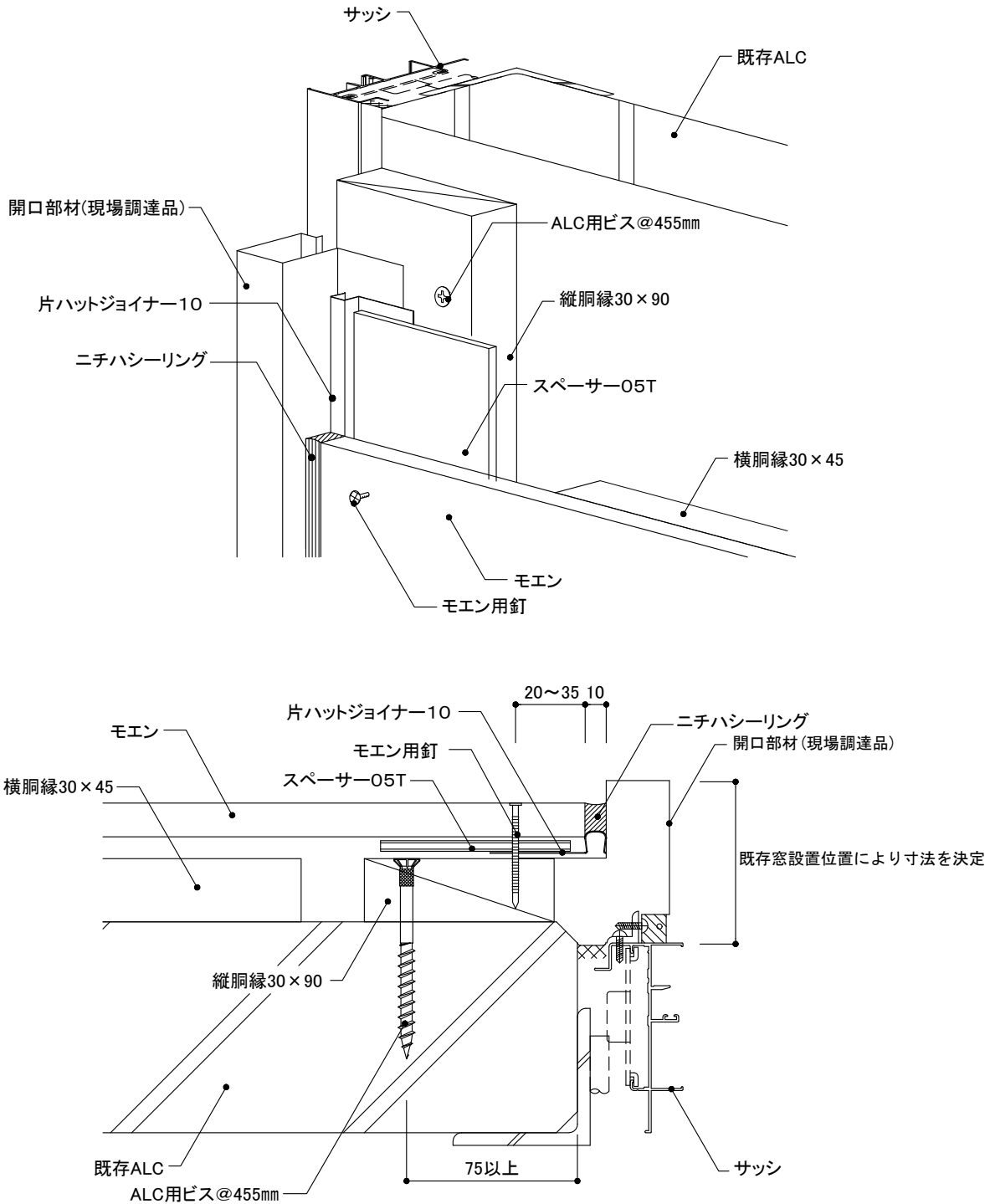
張り方向
縦

胴縁組
横胴縁@606mm以下

9) 開口部

③ 左右側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。



16mm厚品

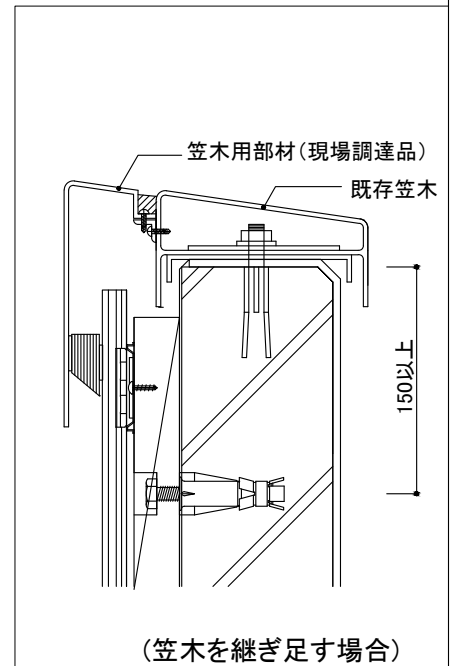
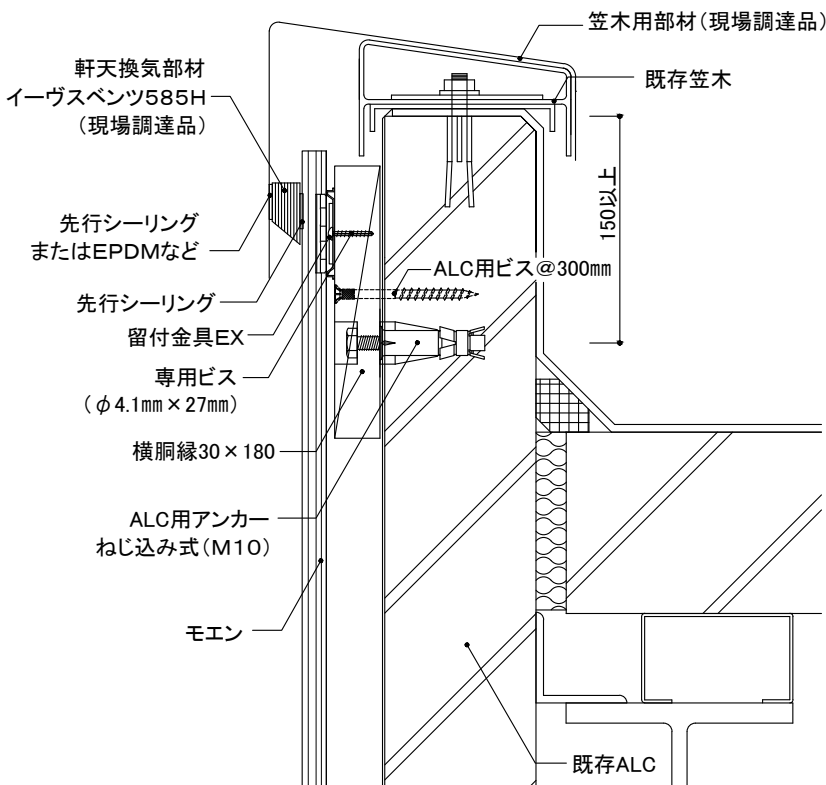
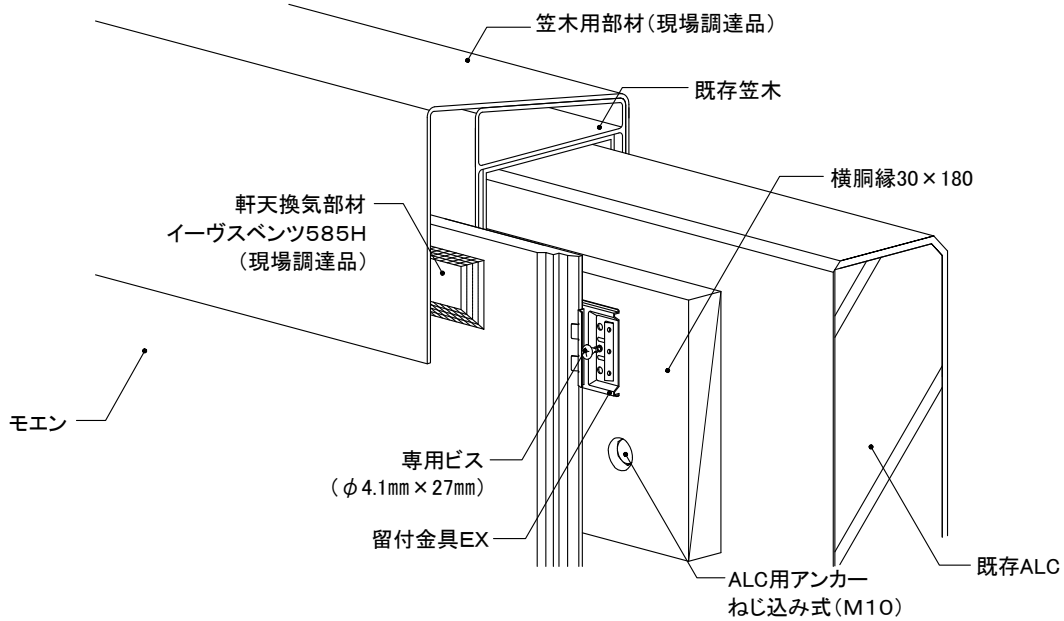
EX

16mm厚品 EX	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	金具	縦	横胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木全体にかぶせる、継ぎ足す、あるいは既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます。
- 上端部には通気確保のため、イーヴスベントツ585Hを用いて施工します。

(笠木をかぶせる場合)



8 各部の納まり詳細図

S造(ALC厚100mm)

木胴縁工法

モエン縦張り

釘打ち施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	挿入筋構法のみ
3)各部の納まり概要図	

本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

横胴縁仕様挿入筋構法のみで、ロッキング構法の重ね張りはできません。

14mm厚品

M W

下地・工法
S造(ALC厚100mm挿入筋)
木胴縁工法

留付方法
釘

張り方向
縦

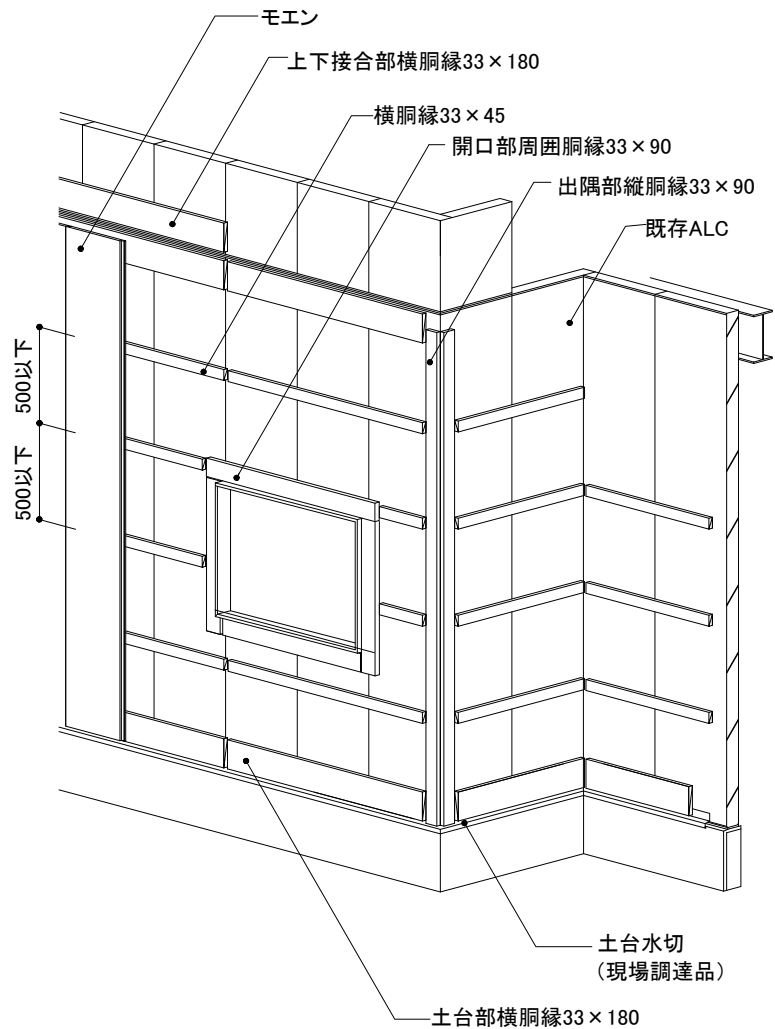
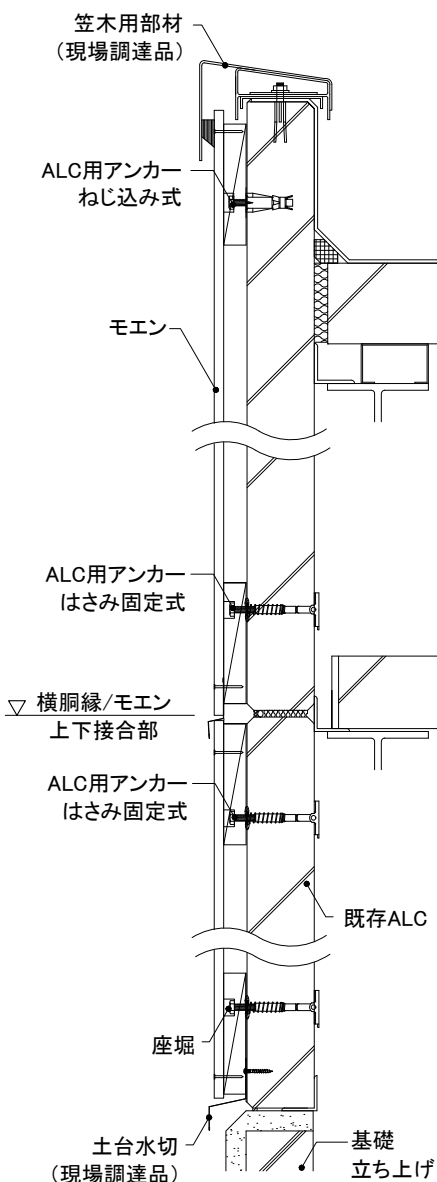
胴縁組
横胴縁@500mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように500mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
土台部・上下接合部などALCパネル上下端部には、幅180mm程度の木胴縁を使用します。
- 横胴縁は必ず通気ができるように、2,000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
- 横胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
- ALCパネル上下ジョイント部は木胴縁とモエンを通さず、縁を切ります。

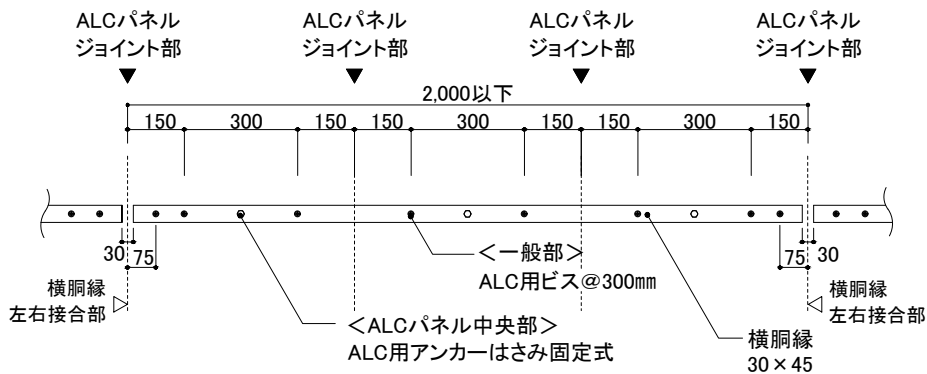
ALC用アンカーはさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込み式で施工します。



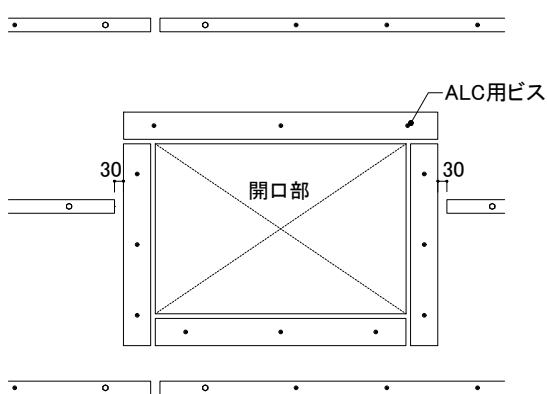
14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

2) 胴縁概要図

- 木胴縁をALCパネル1枚につき中央部1ヶ所に、ALC用アンカーで留め付けます。原則、ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、屋内側に躯体や内装材があり、施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。(最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用します。)
- ALC用ビスは300mm以下の間隔で留め付けます。ただし、胴縁の両端はALCパネルの端部から75mm程度の位置にALC用ビスを1本増し打ちします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめ、ALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。
- ALC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

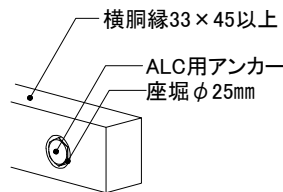


開口部まわり (現場調達開口部材納めの例)

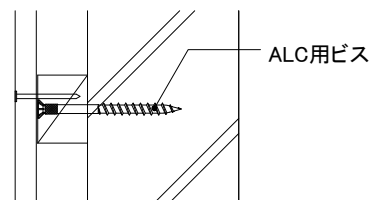
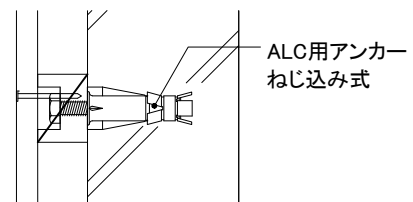
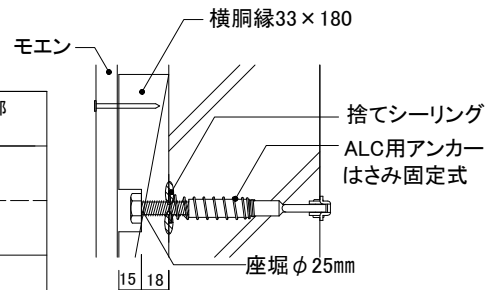
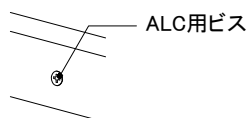


※開口部まわりは、ALC用ビスで留め付けてください。

ALCパネル中央部 (1ヶ所/枚)
ALC用アンカー (はさみ固定式)
ITハンガー
ALC用アンカー (ねじ込み式)
エーエルシーアンカー AXタイプ



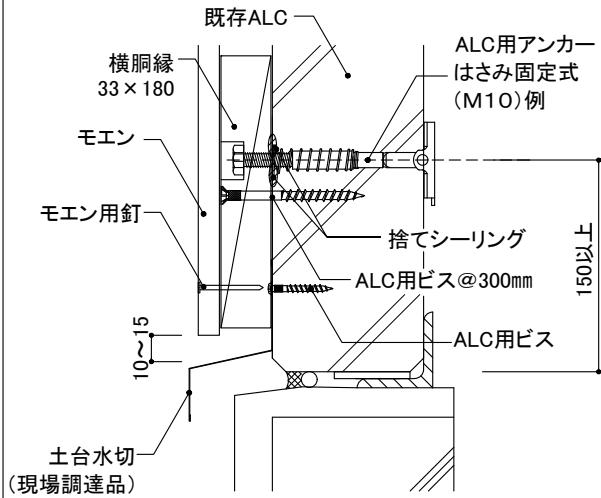
一般部
ALC用ビス (ねじ固定式)
ALCドライブ



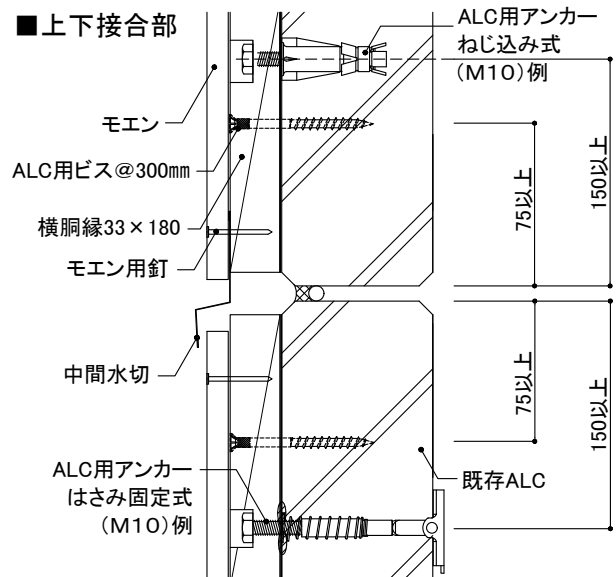
14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

3) 各部の納まり概要図

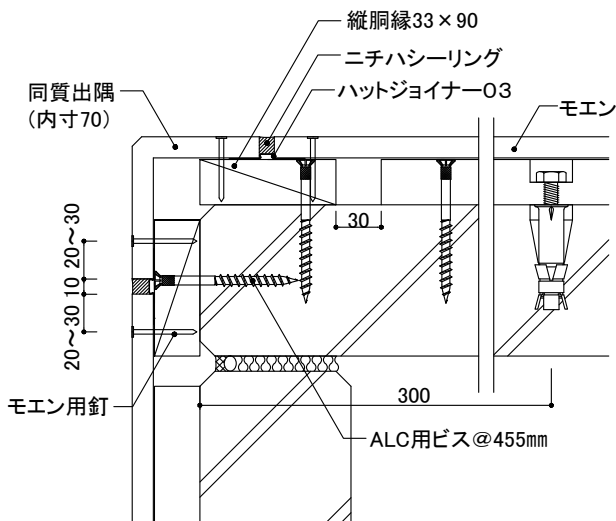
■土台部



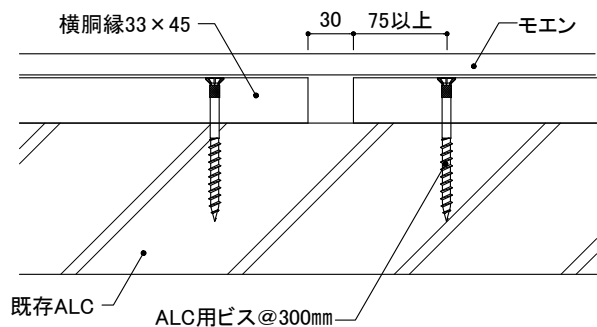
■上下接合部



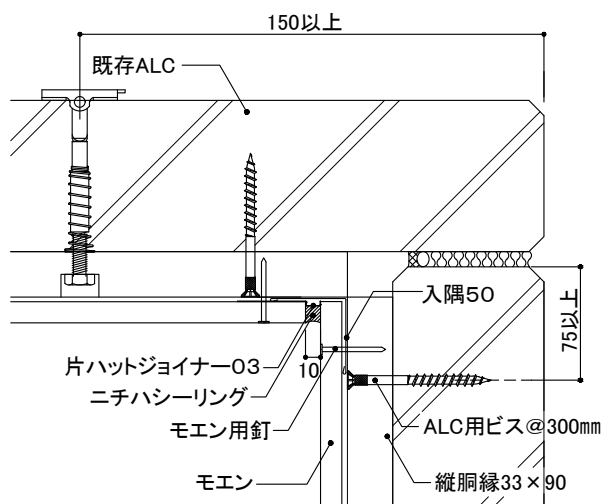
■出隅部



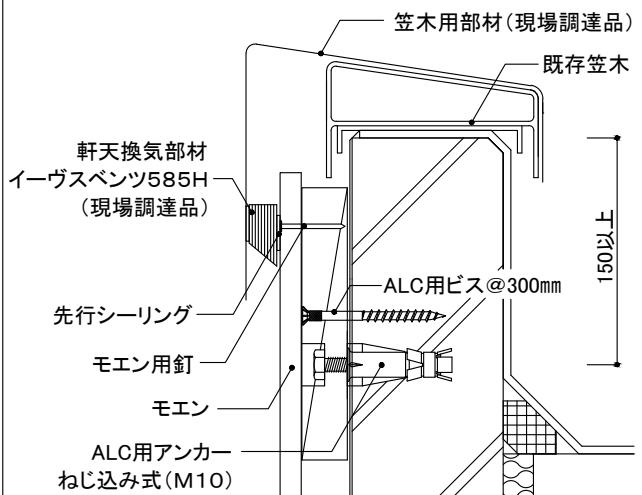
■左右接合部(胴縁)



■入隅部



■笠木部(笠木をかぶせる場合)



9 各部の納まり詳細図

RC

木胴縁工法

センターサイディング
横張り

ビス留め施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部	①胴縁 ②センターサイディング
6)左右接合部	
7)入隅部	
8)出隅部	
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	
11)補強工法による施工	

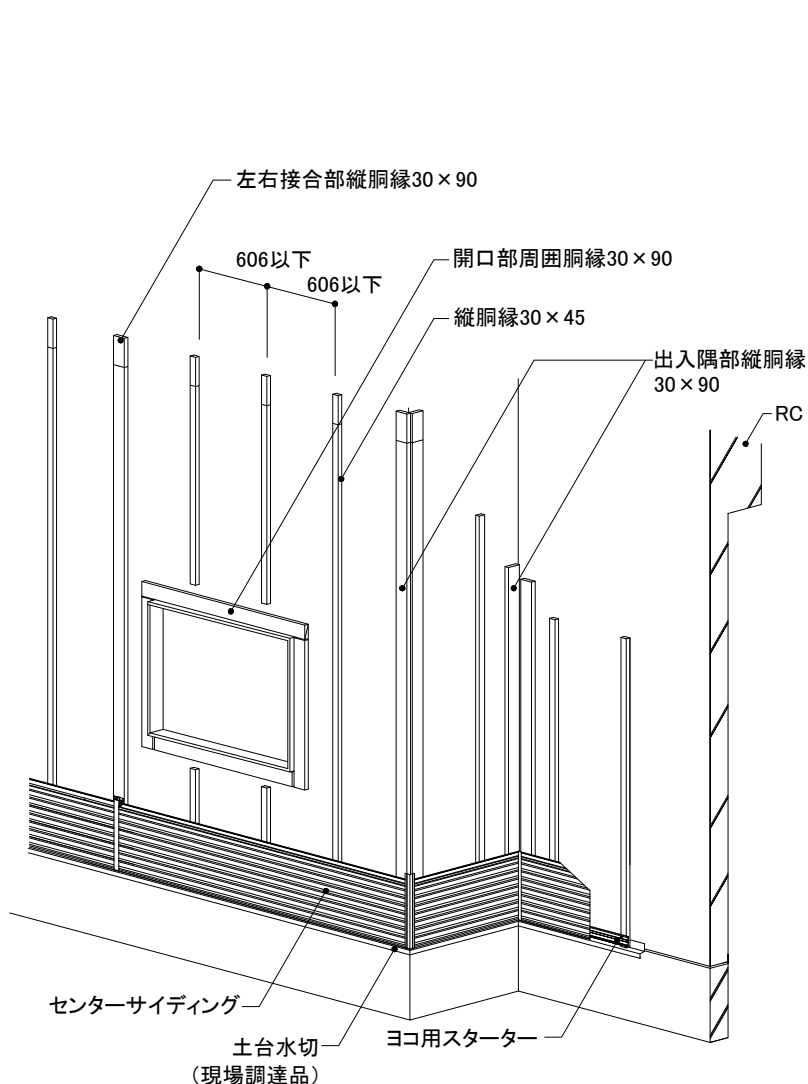
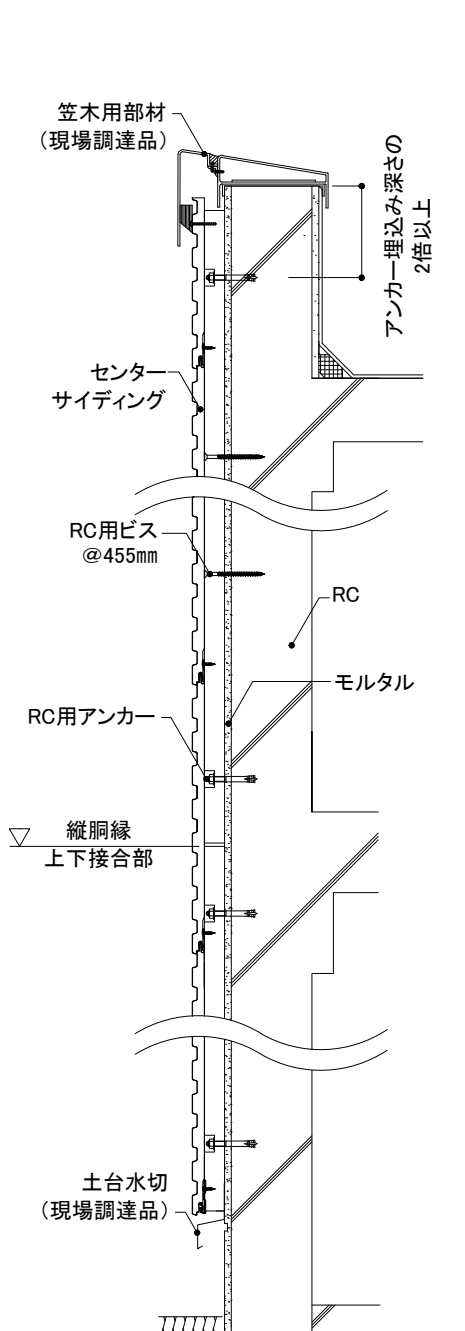
本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- 木胴縁の上下接合部に、センターサイディングの嵌合部が干渉しないようにします。

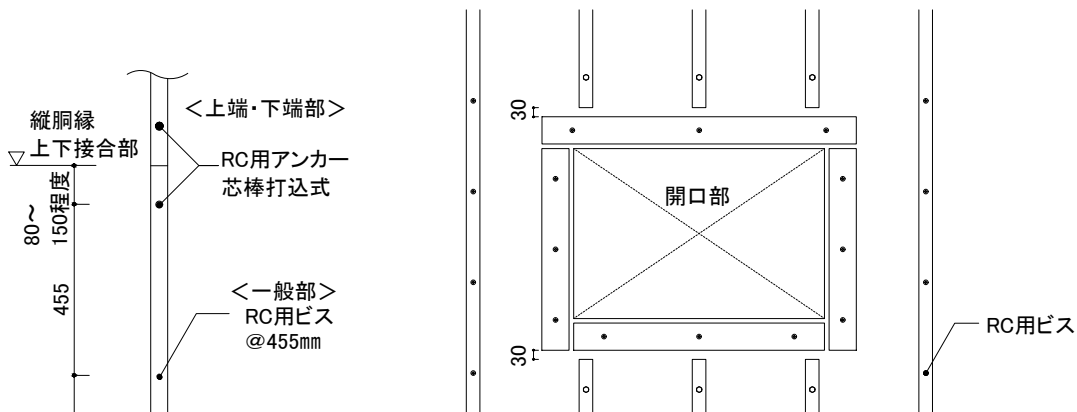


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

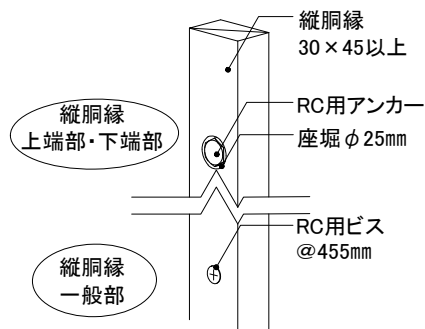
2) 胴縁概要図

- 木胴縁はRC用ビスを用い455mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき上端部、下端部の2ヶ所はRC用アンカーとします。
- センターサイディングとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめRC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、RC用ビスで留め付けます。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、RC用アンカーは1ヶ所留めとします。
- RC外壁がモルタルで仕上げられている場合などは、モルタルの塗り厚さに注意し、RC用アンカー・ビスのサイズを選定します。
- RC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)



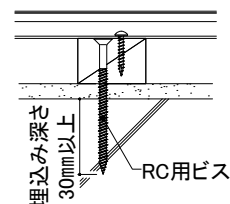
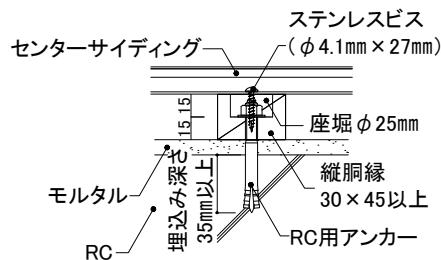
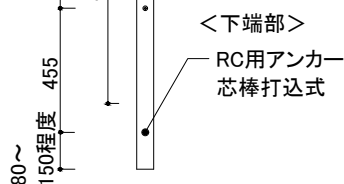
※開口部まわりは、RC用ビスで留め付けてください。



上端・下端部
RC用アンカー (芯棒打込式)
オールアンカーCタイプ

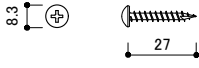
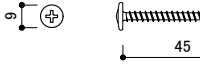
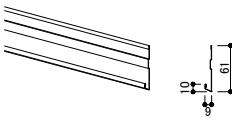
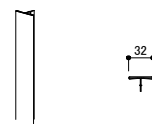
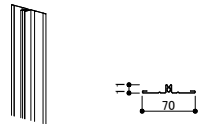
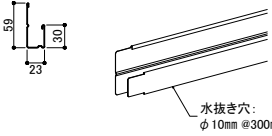
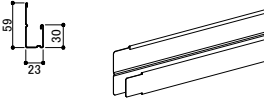
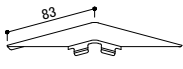
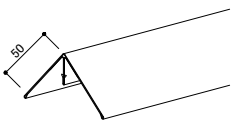
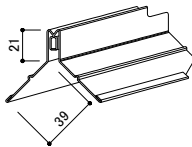
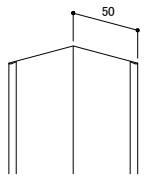
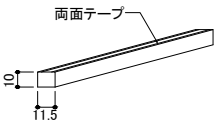
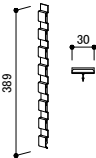
一般部
RC用ビス (ねじ固定式)
プレスアンカー

注)RC用アンカー・ビスの留付位置とセンターサイディング留付ビスが干渉しないようにしてください。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

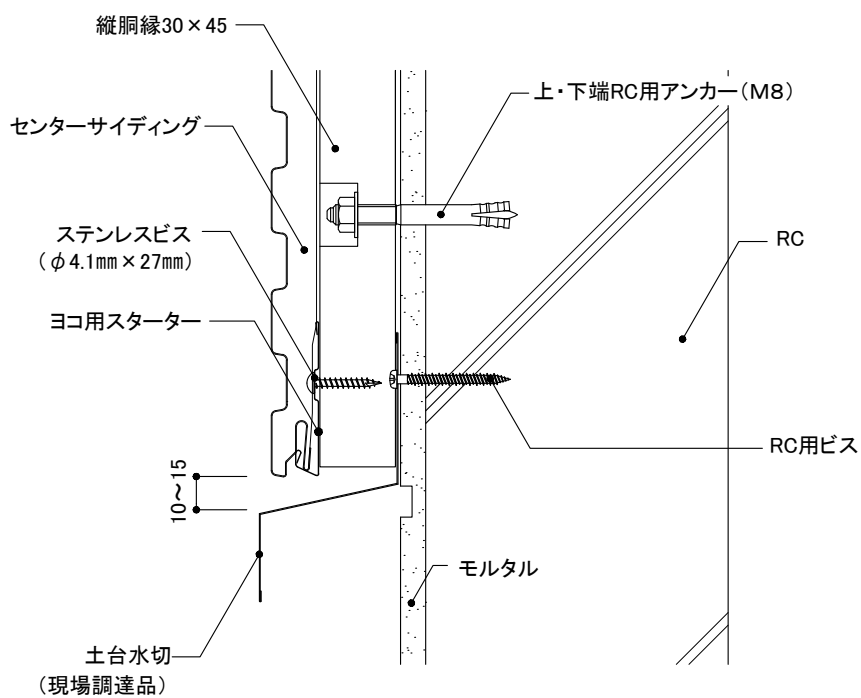
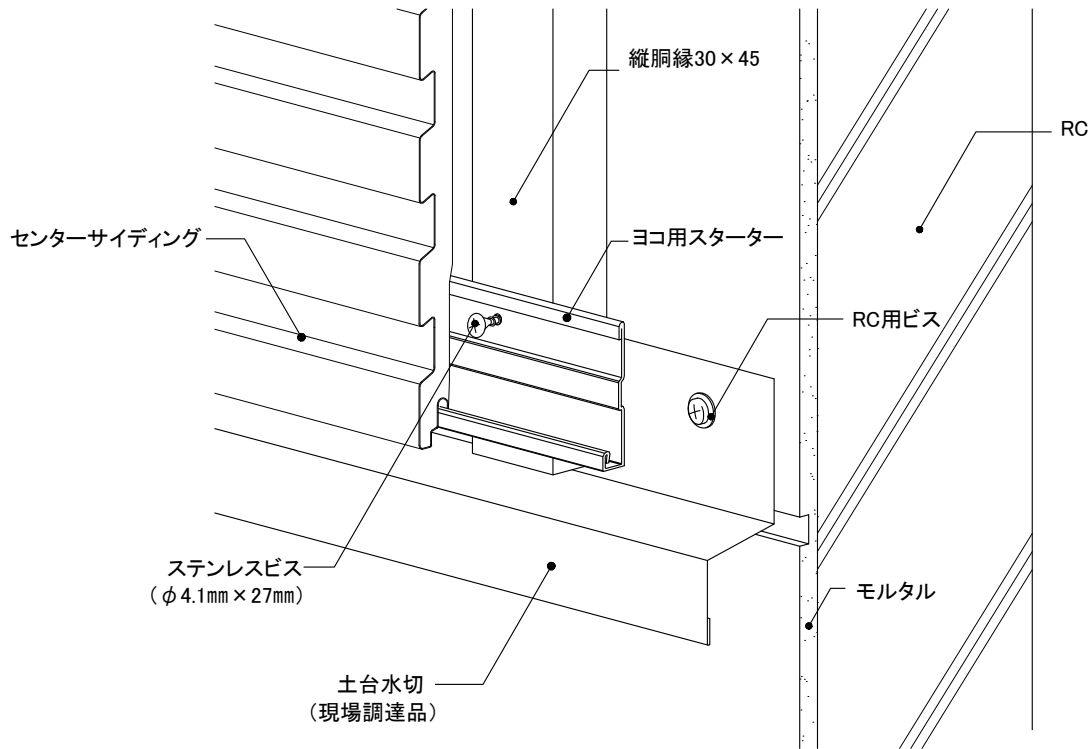
<p>■専用ビス (本体実部留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>	<p>■専用ビス (本体表面留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1720】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×45mm</p>	<p>■スターター</p>  <p>ヨコ用スターター 【品番:AST2F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3.030mm</p>	<p>■目地カバー</p>  <p>NS目地カバー 【品番:AMJ3F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3.030mm</p>
<p>■目地受け</p>  <p>目地鋼板受け 【品番:AMU6F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 働き長さ:3.030mm</p>	<p>■端部カバー</p>  <p>N端部カバー 【品番:AMKFF0**】 【品番:AMKHF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3.030mm 水抜き穴:φ10mm @300mm</p>	<p>■見切縁</p>  <p>N見切縁18 【品番:AMKEF0**】 【品番:AMKGF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3.030mm</p>	<p>■見切コーナー</p>  <p>N見切コーナー 【品番:AMC****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>
<p>■出隅カバー</p>  <p>S出隅カバー 【品番:ADS2F***】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3.030mm</p>	<p>■出隅鋼板受け</p>  <p>S出隅鋼板受け18 【品番:ADU1F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 働き長さ:3.030mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3.030mm</p>	<p>■バックカー材</p>  <p>CSバックカー材 【品番:ABK5Q0J3】 材質:EPDM 幅:11.5mm 厚み:13mm 長さ:2.000mm</p>
<p>■段付バックカー材</p>  <p>NS段目地 【品番:ADM5F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:389mm</p>			

※各部材は、2024年5月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA内外装建材総合カタログでご確認ください。

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

4) 土台部

- 土台水切はRC用ビスで留め付けてから、木胴縁を施工します。
- ヨコ用スターターは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で、胴縁ごとに留め付けます。
- センターサイディング下端と土台水切の間は、10~15mm程度の隙間を設けます。

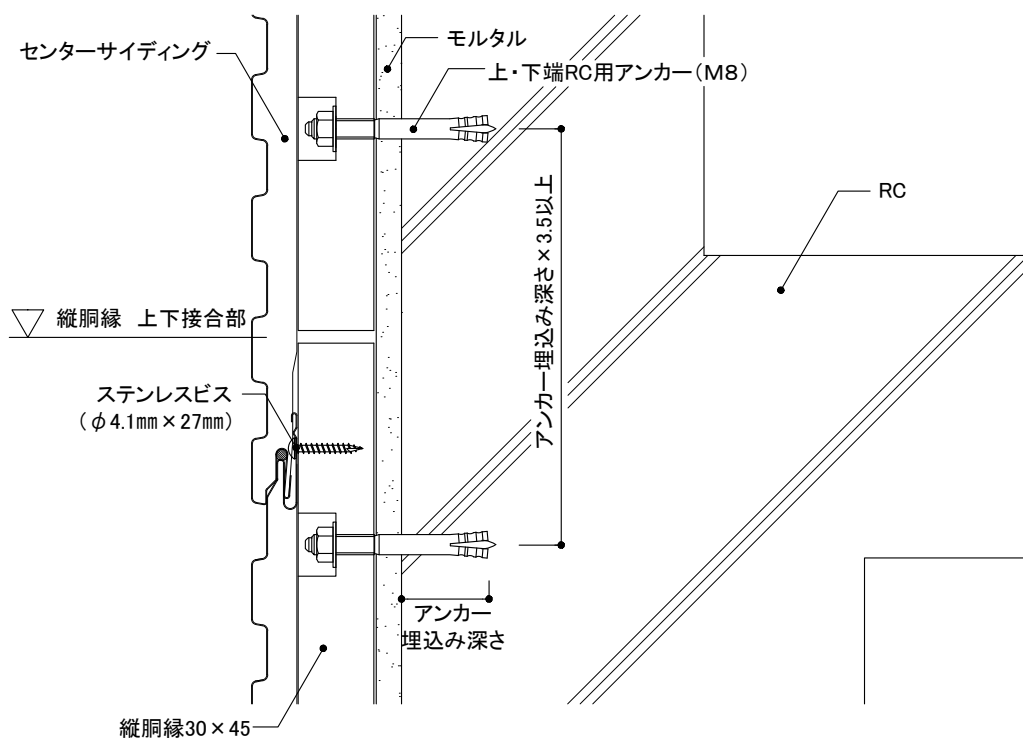
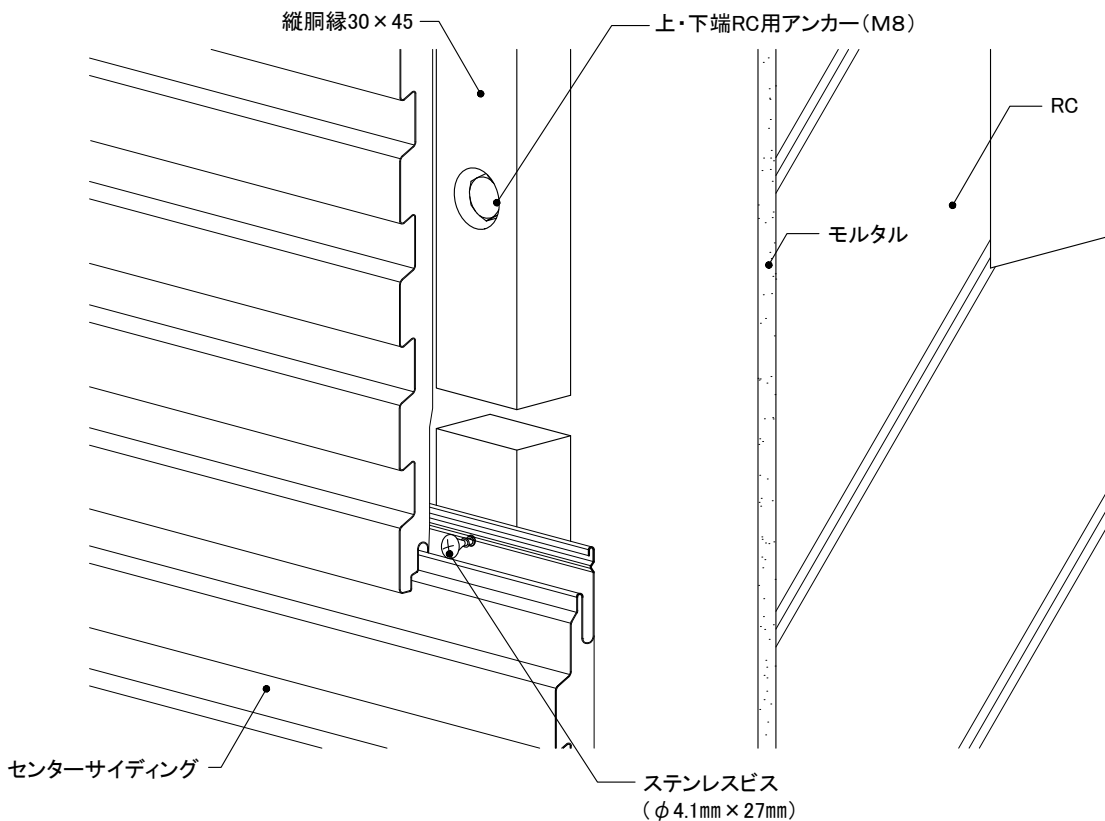


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

① 胴縁

●木胴縁の上下接合部に、センターサイディングの嵌合部が干渉しないようにします。

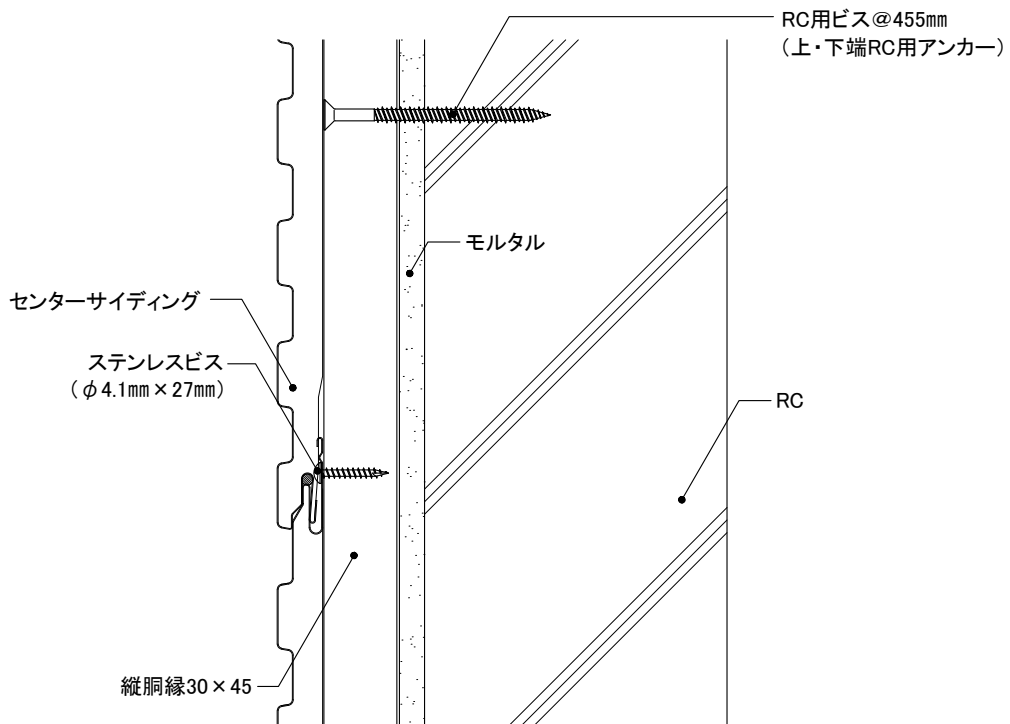
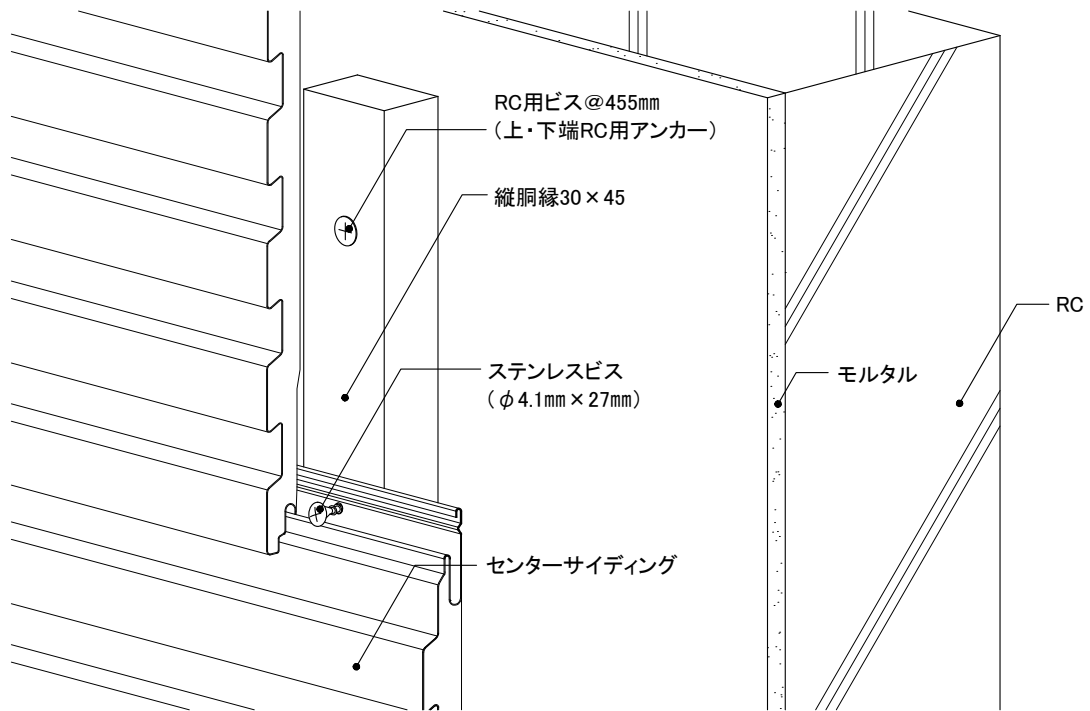


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

②センターサイディング

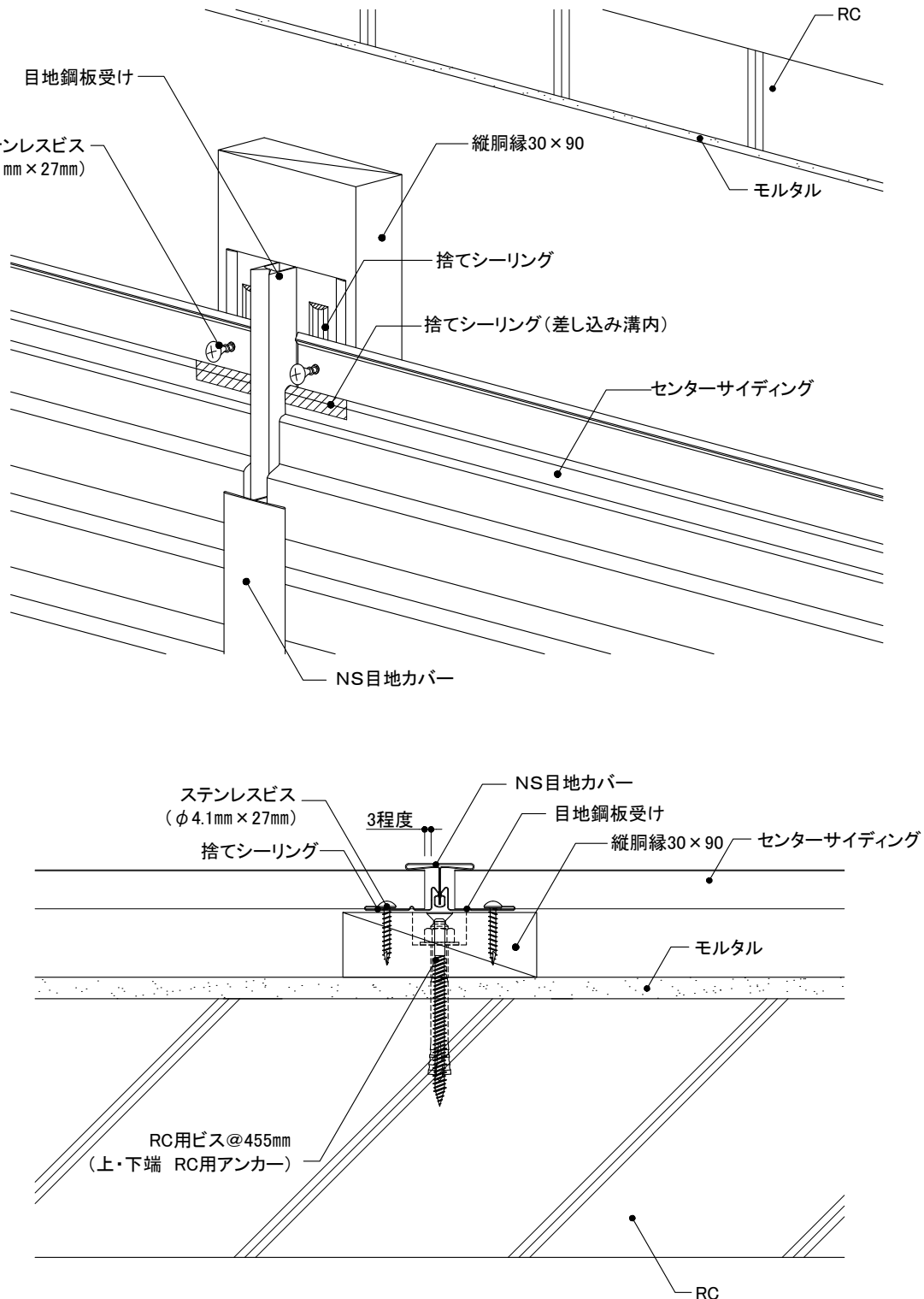
●センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で胴縁ごとに留め付けます。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

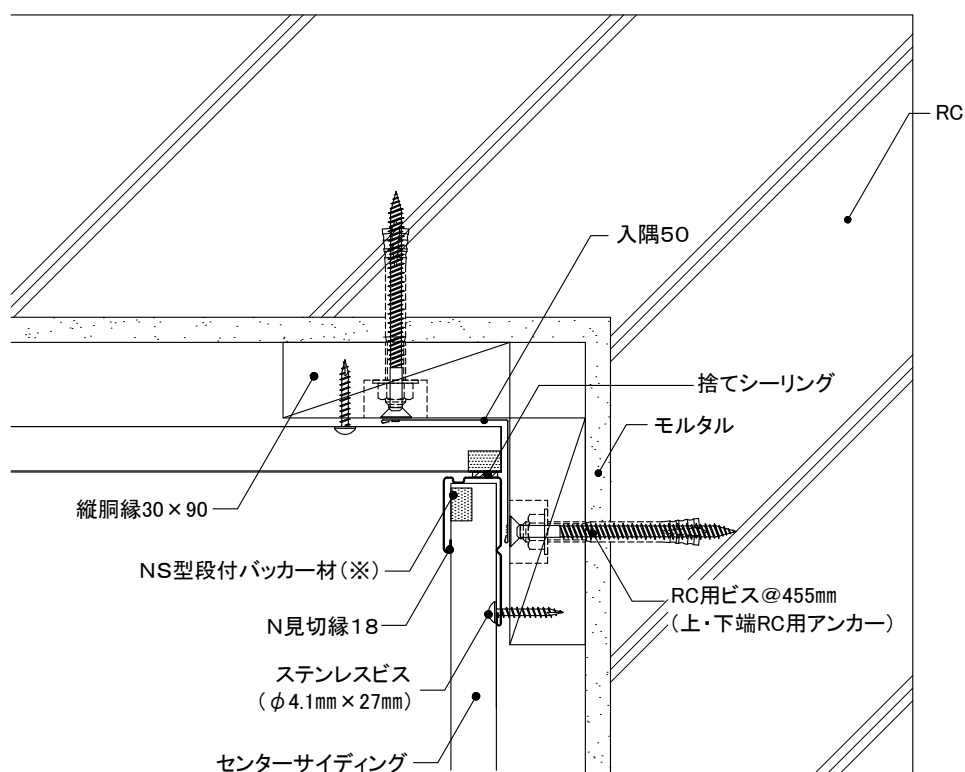
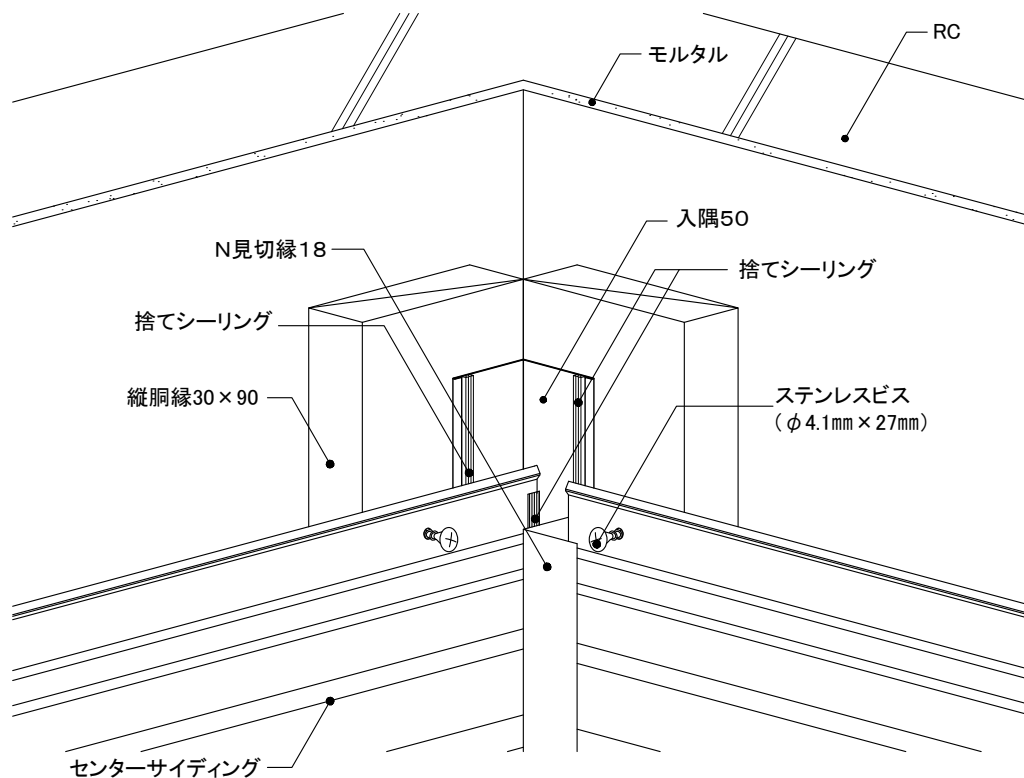
- 目地鋼板受けを取り付け、捨てシーリングを施工します。センターサイディングをステンレスビス (φ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- センターサイディングと目地鋼板受けは、図のように3mm程度隙間を設けます。
- NS目地カバーは浮きのないように差し込みます。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

7) 入隅部

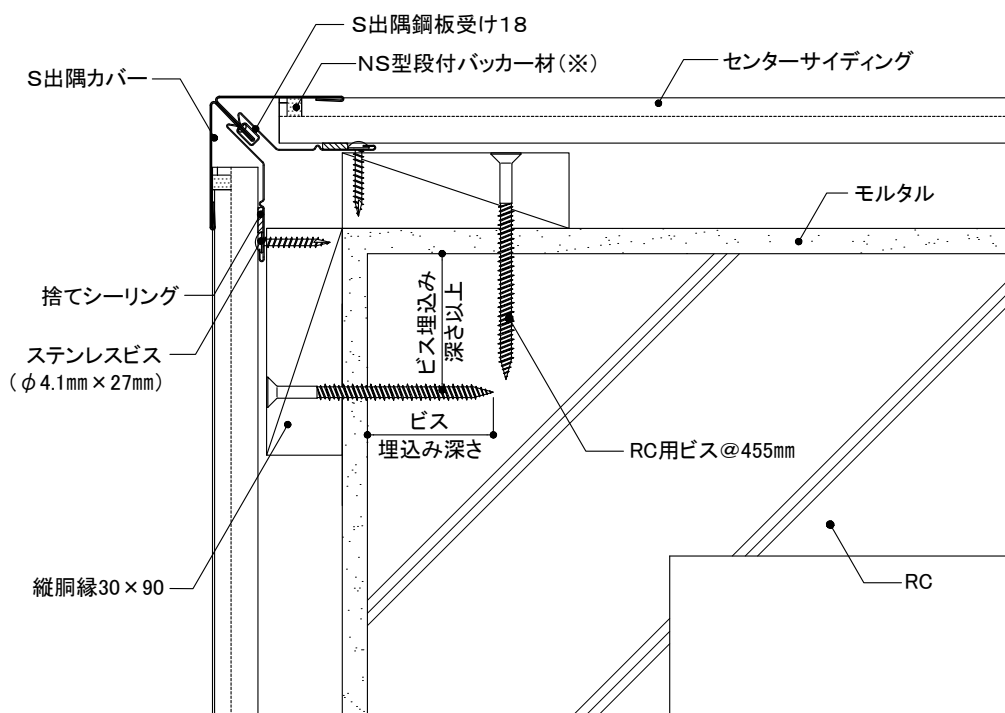
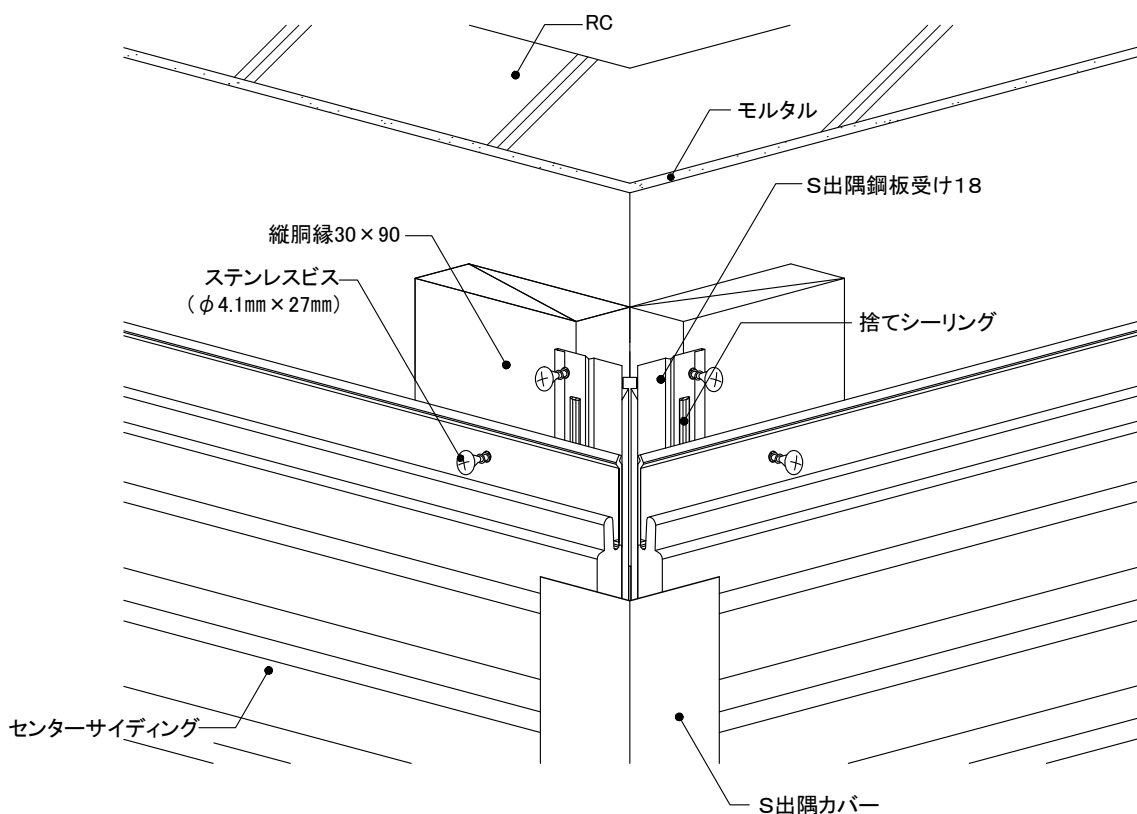
- 入隅部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてNS段付パッカー材を貼り付けます。(※)



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

8) 出隅部

- S出隅鋼板受け18を取り付け、捨てシーリングを施工します。センターサイディングをステンレスビス (φ4.1mm×27mm) で留め付けます。
- センターサイディングの施工後、S出隅カバーを差し込みます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてNS型段付パッカー材を貼り付けます。(※)

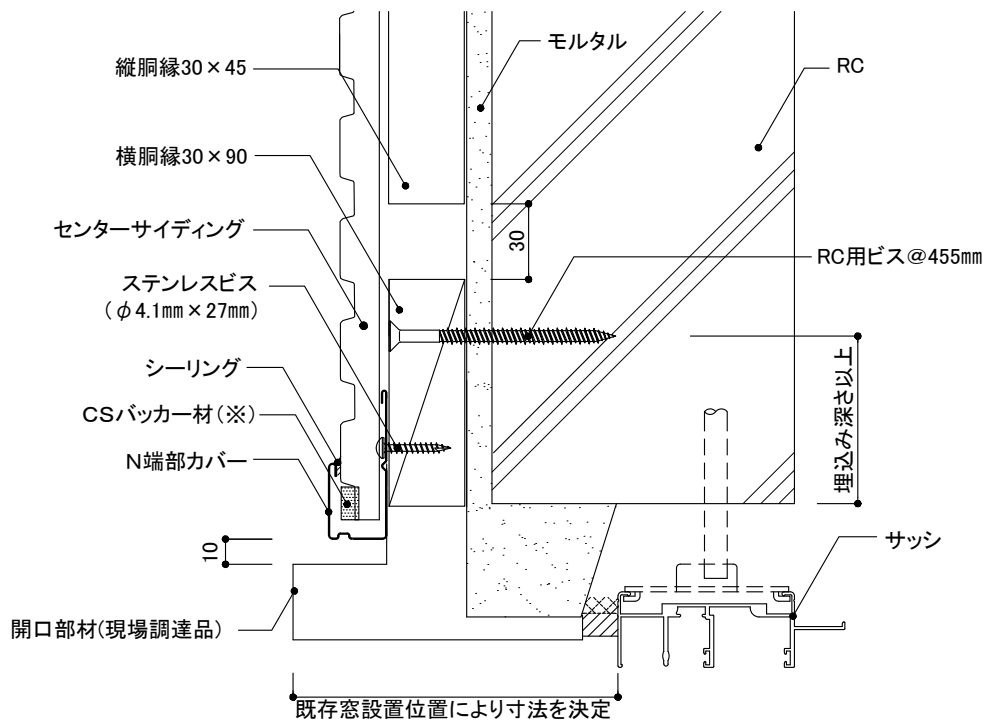
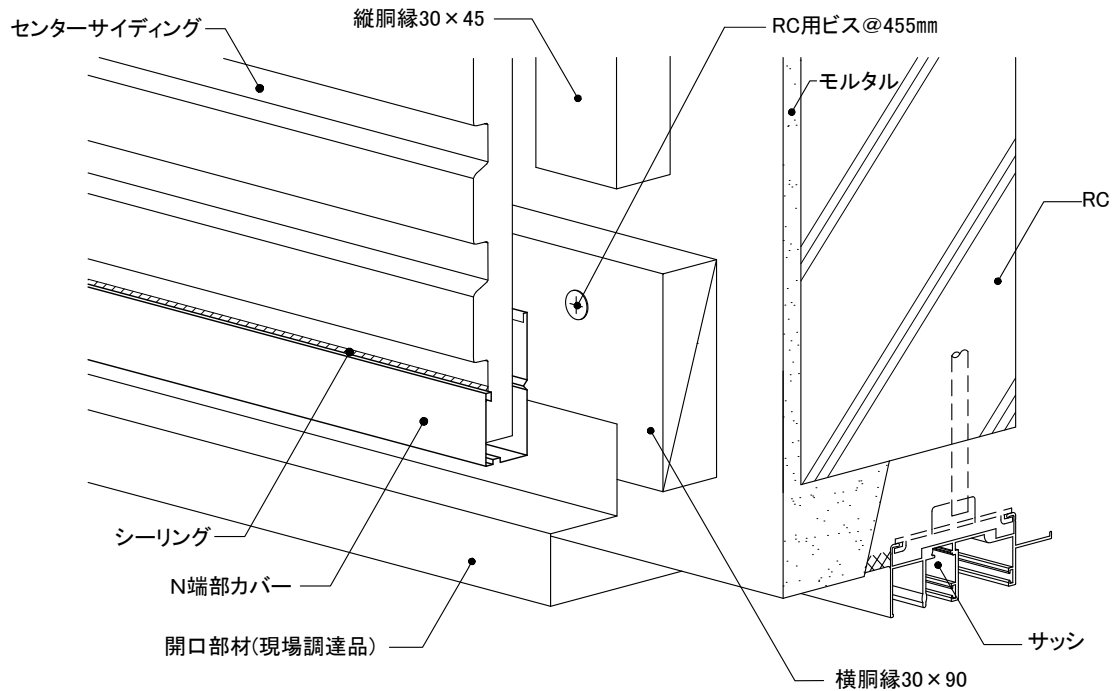


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

① 上側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。
- センターサイディング下端が柄凹部となる場合は、CSパッカー材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングとN端部カバーの取り合い部にシーリングを施工します。

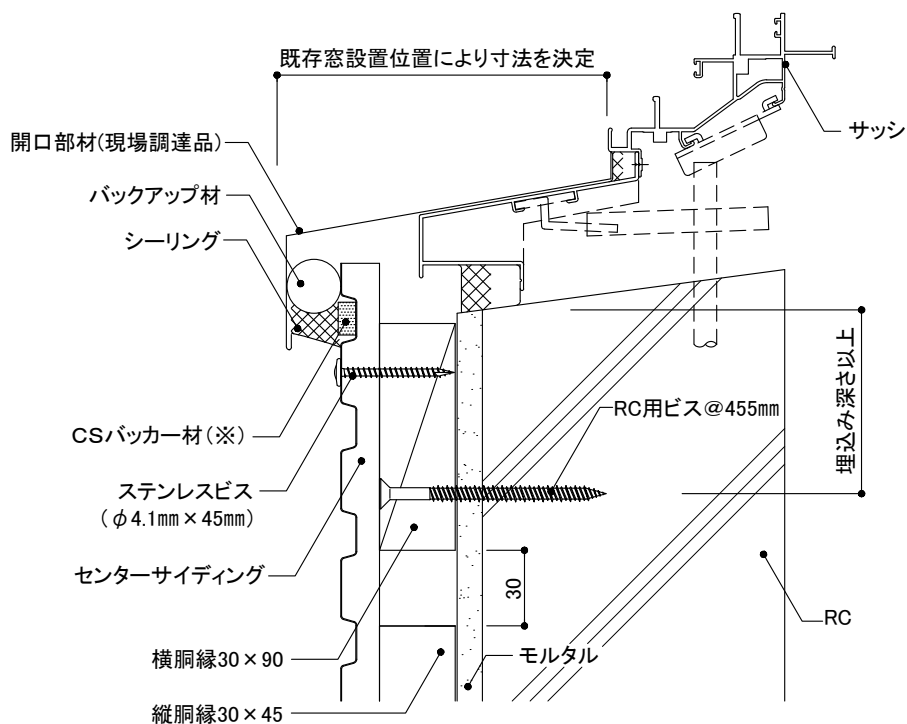
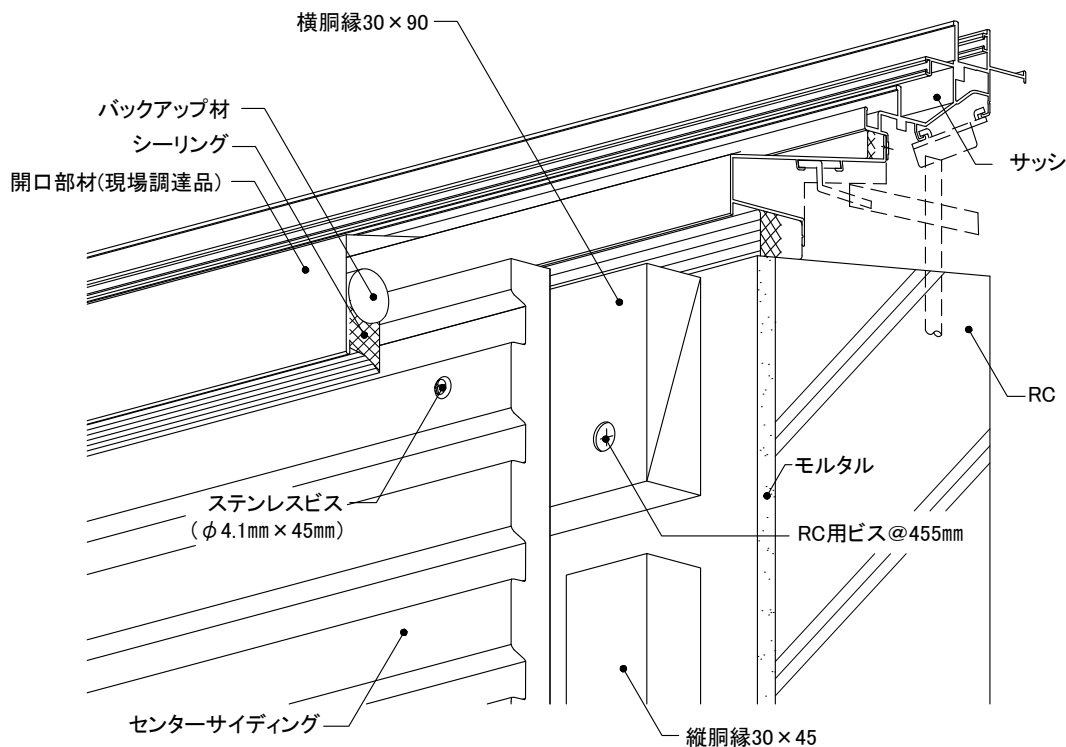


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

② 下側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- センターサイディング上端が柄凹部となる場合、CSバッカー材を貼り付けます。(※)

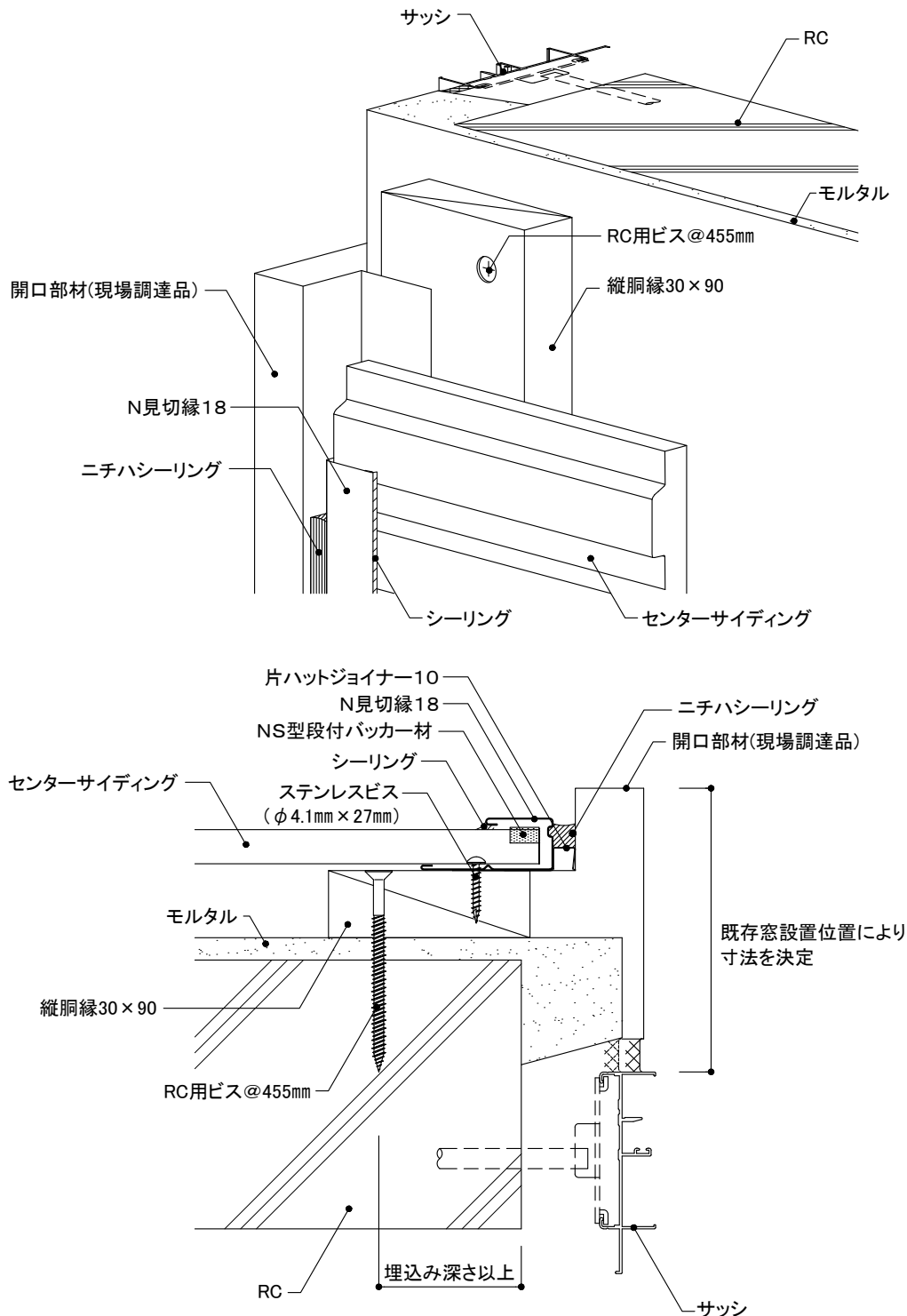


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

9) 開口部

③ 左右側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- センターサイディング端部にNS型段付きバッカー材を貼付、N見切縁18に差し込みます。
- センターサイディングとN見切縁18の取り合い部にシーリングを施工します。

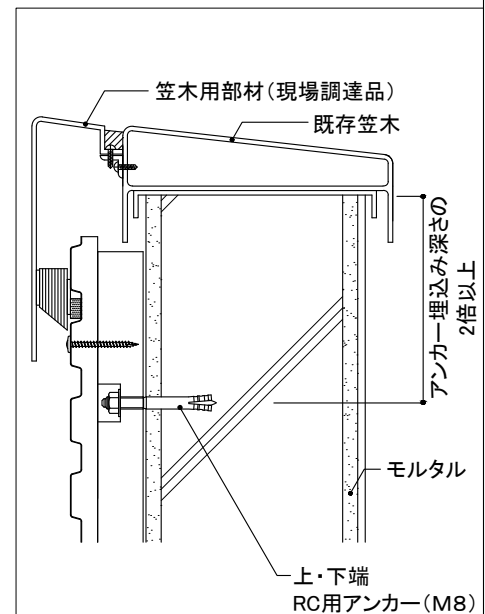
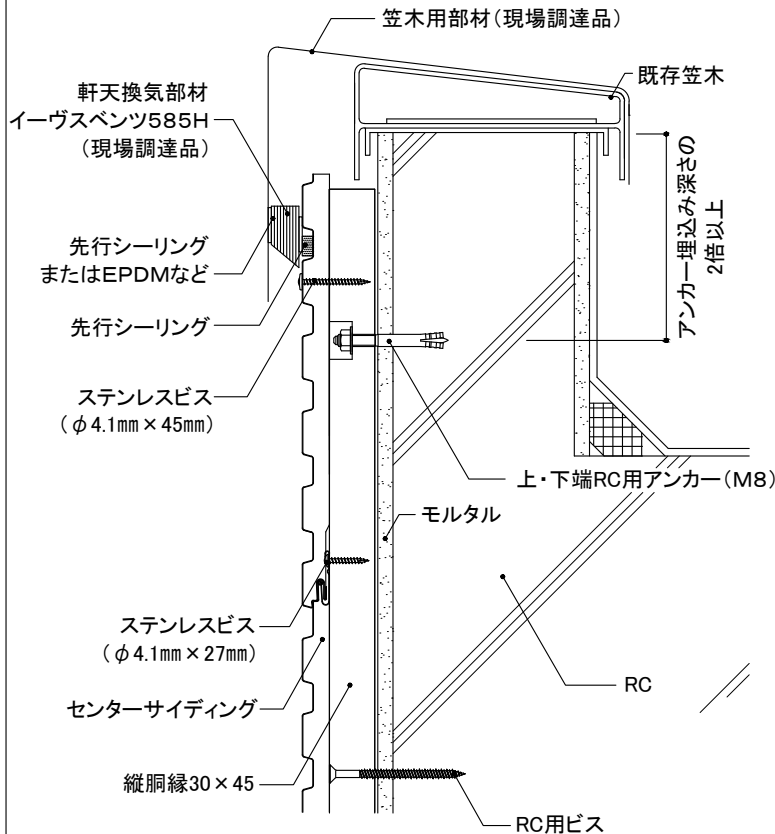
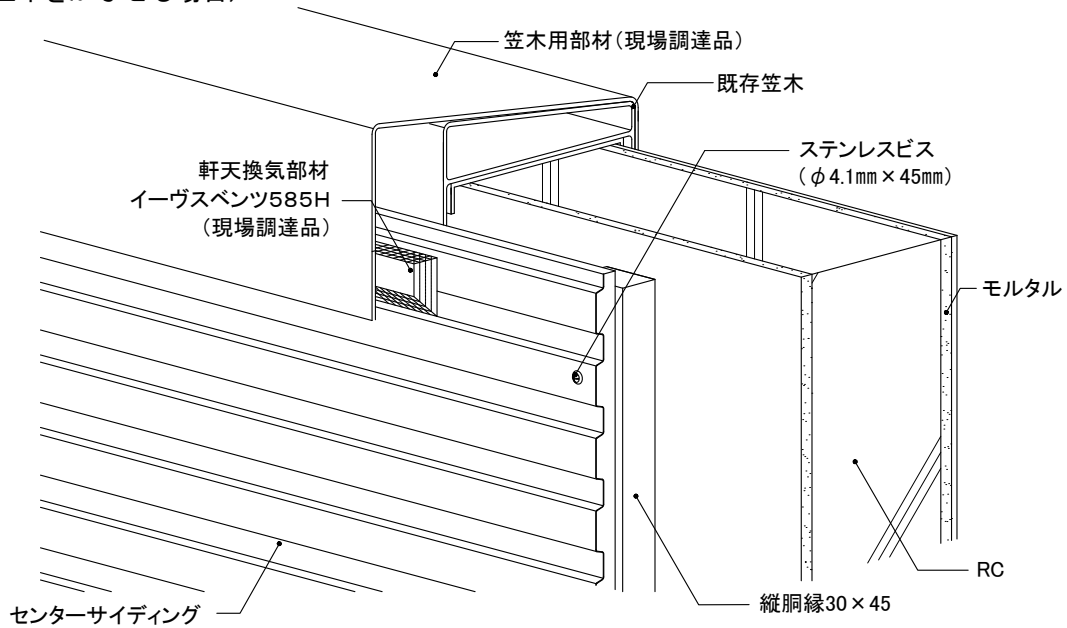


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木全体にかぶせる、継ぎ足す、あるいは既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます
- 上端部には通気確保のため、イーヴスベントツ585Hを用いて施工します。

(笠木をかぶせる場合)



(笠木を継ぎ足す場合)

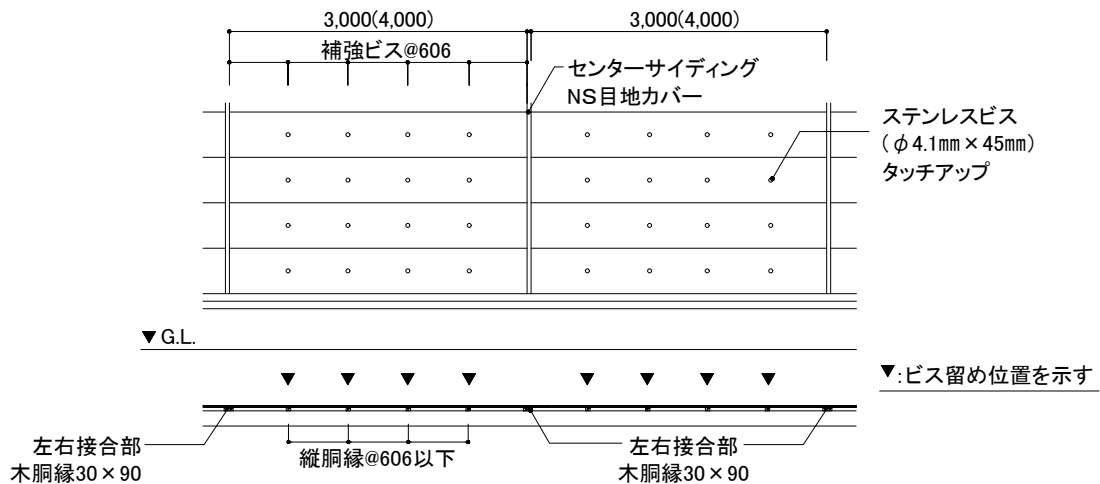
センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

11) 補強工法による施工

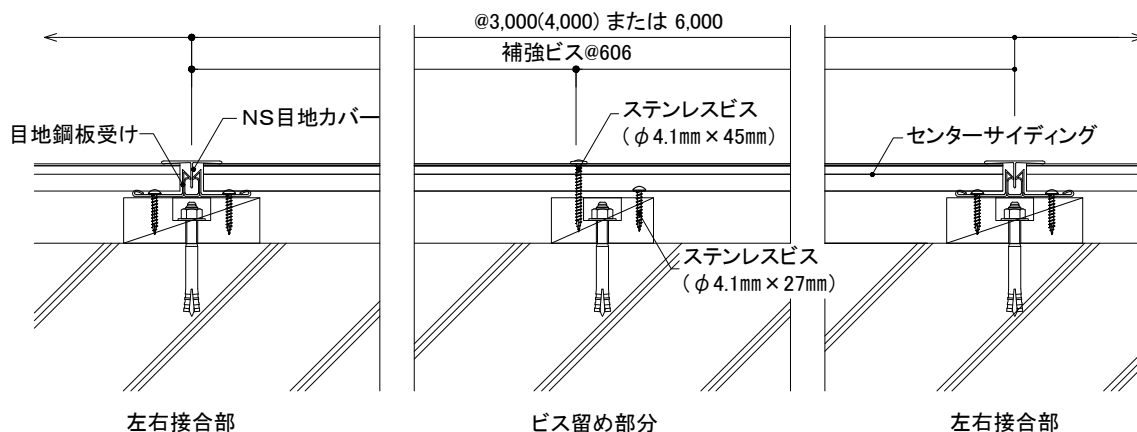
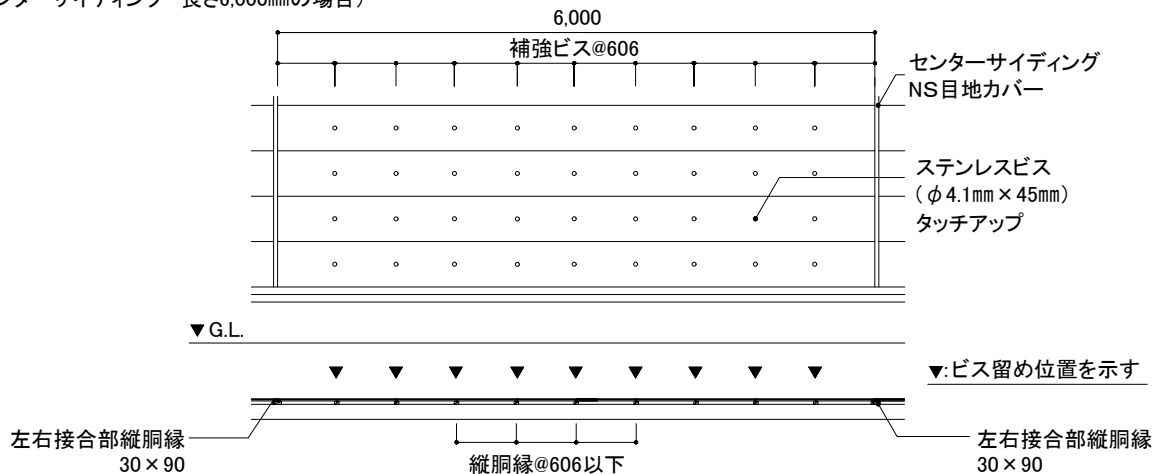
外装リフォーム②RC・S造編の「1-1適用条件 3) 適合地域 耐風圧条件」において、『補強工法』で施工する場合は以下の施工法としてください。

- 補強工法部分は、センターサイディング表面からのビス留めによる補強を行います。
- ステンレスビス(φ4.1mm×45mm)を用い、胴縁ごと(606mm以下)の間隔で留め付けます。
- ビス留め位置は、センターサイディングの幅の中央とします。
- ビス頭の補修は、専用補修塗料を必要最小限の範囲に塗布します。

(センターサイディング 長さ3,000(4,000)mmの場合)



(センターサイディング 長さ6,000mmの場合)



10 各部の納まり詳細図

RC

木胴縁工法

センターサイディング
縦張り

ビス留め施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部	
6)左右接合部	①胴縁 ②センターサイディング
7)入隅部	
8)出隅部	
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	
11)補強工法による施工	

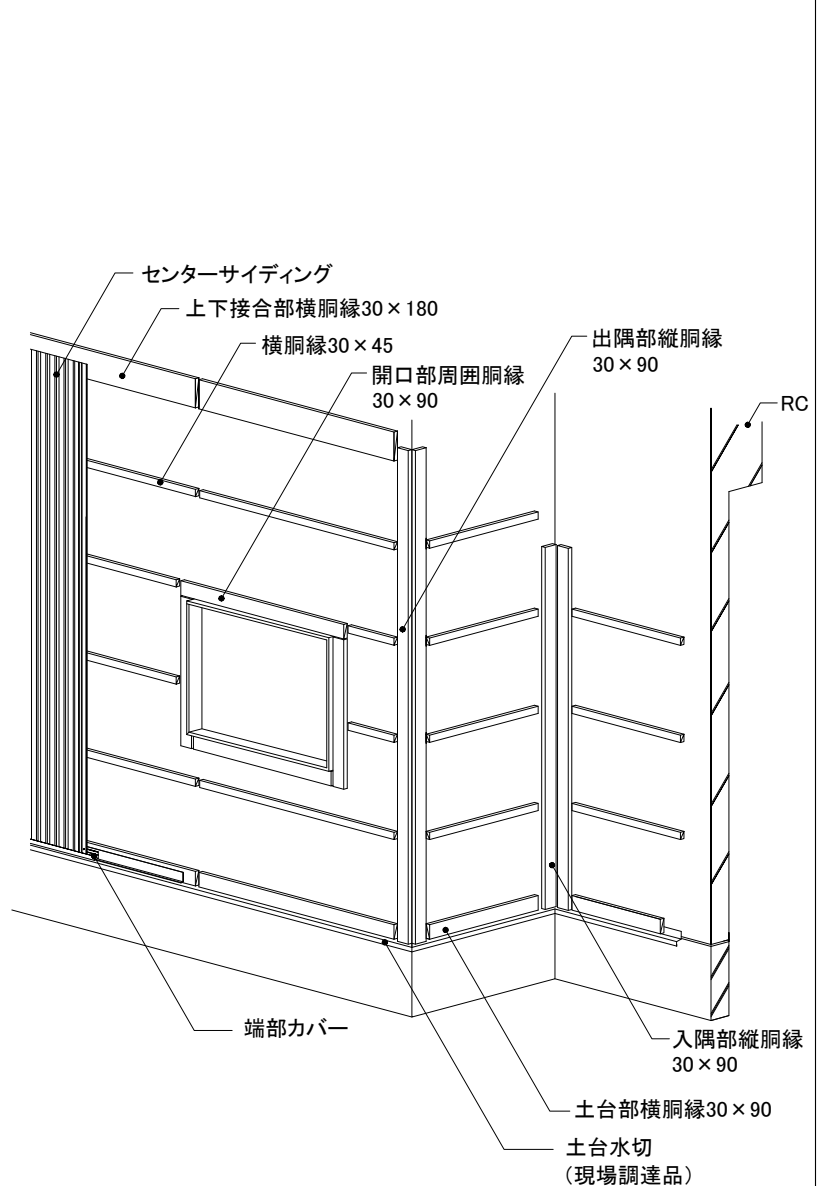
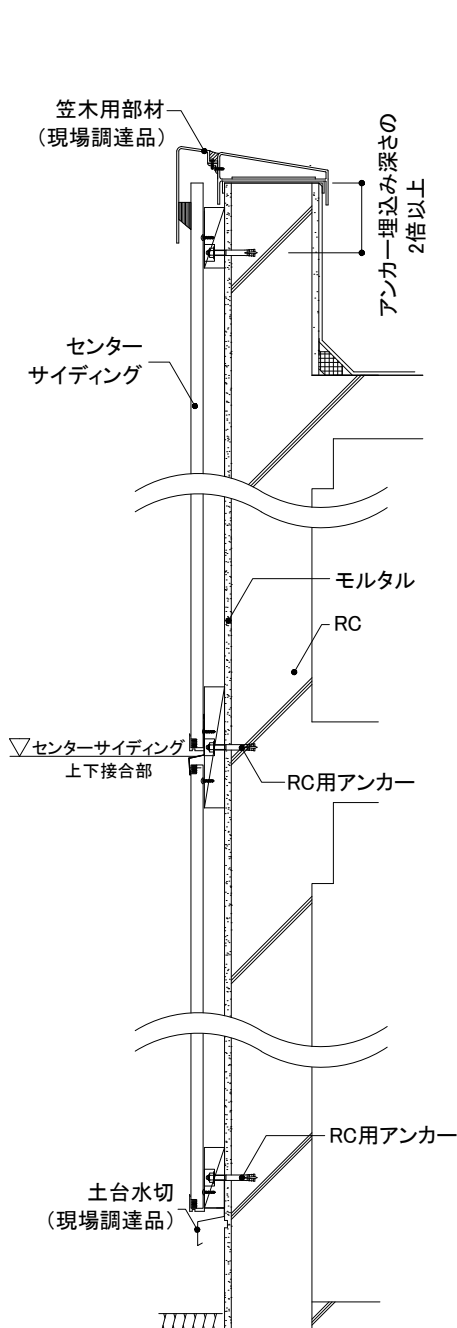
本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

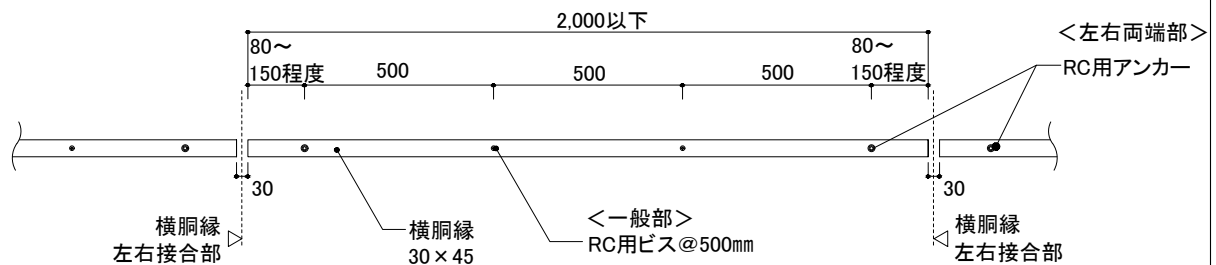
- 下地外壁材にひび割れなどが確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- 横胴縁は必ず通気ができるように、2,000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
- 横胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。



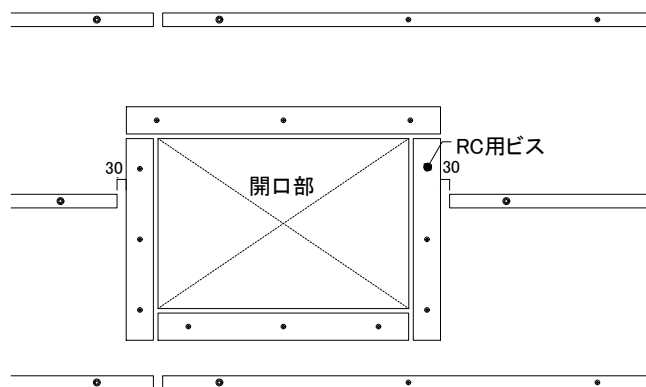
センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

2) 胴縁概要図

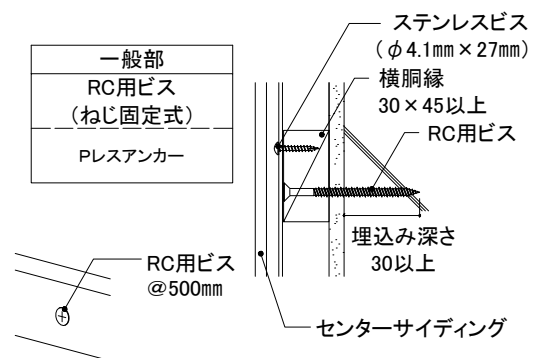
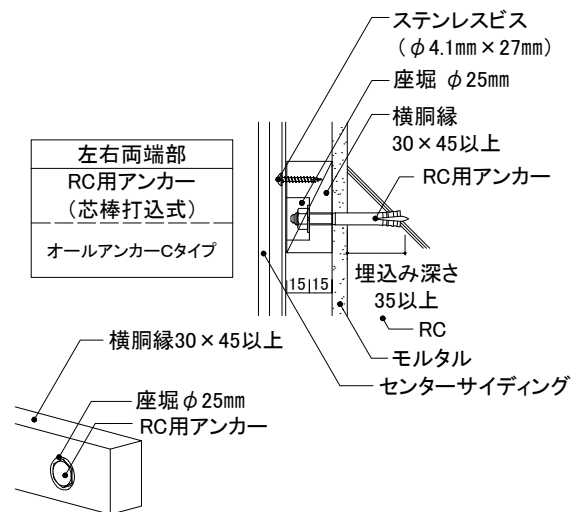
- 木胴縁はRC用ビスを用い、500mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき両端部の2ヶ所はRC用アンカーとします。
- センターサイディングとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめRC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、RC用ビスで留め付けます。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、RC用アンカーは1ヶ所留めとします。
- RC外壁がモルタルで仕上げられている場合などは、モルタルの塗り厚さに注意し、RC用アンカー・ビスのサイズを選定します。
- RC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い、決定します。



開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)

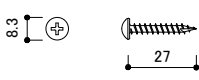
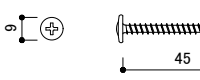
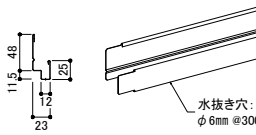
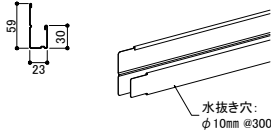
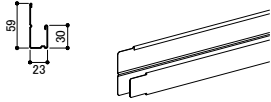
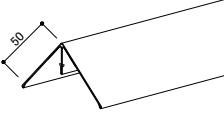
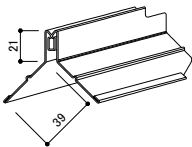
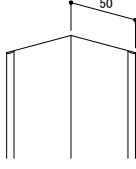
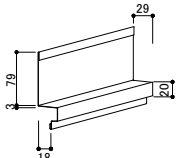
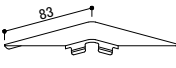
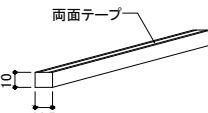



※開口部まわりは、RC用ビスで留め付けてください。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

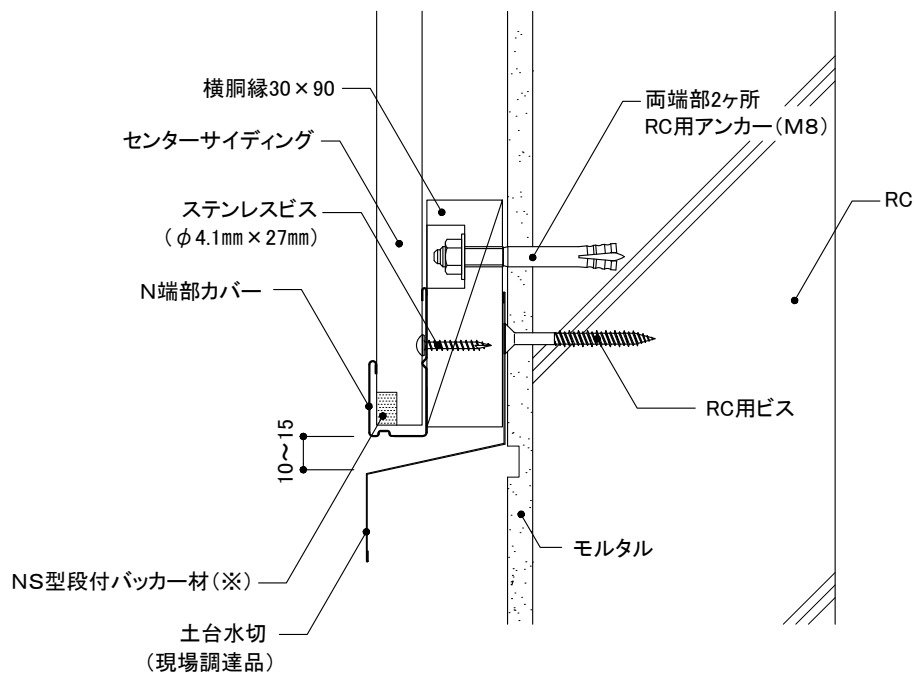
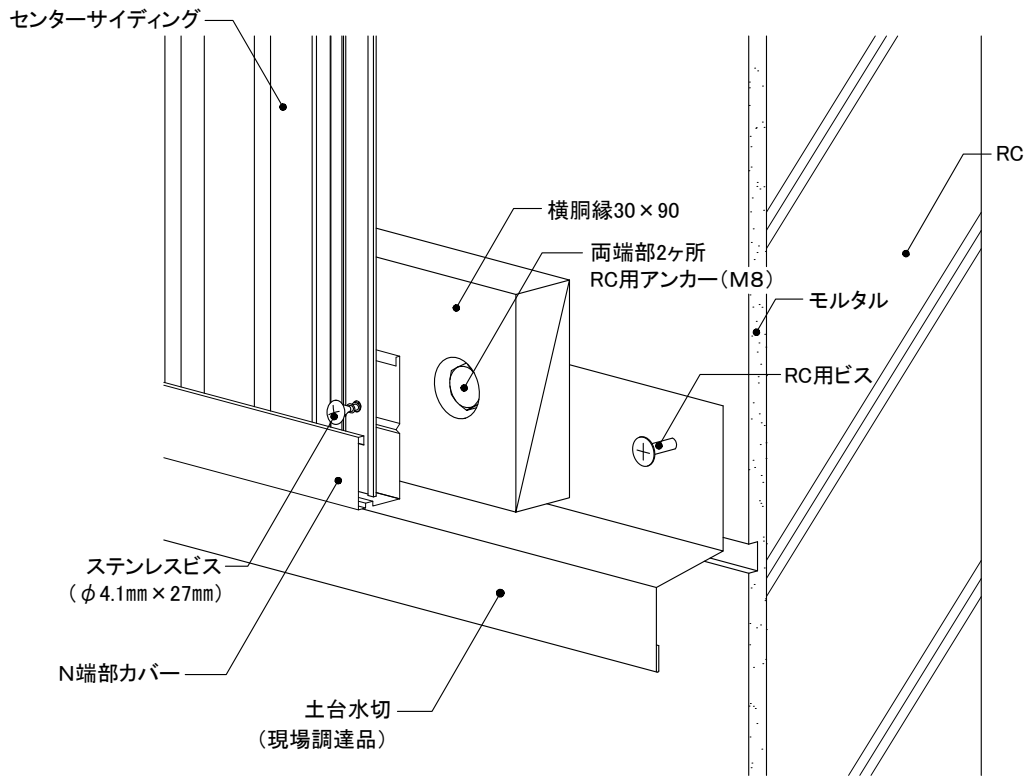
<p>■専用ビス (本体実部留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>	<p>■専用ビス (本体表面留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1720】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×45mm</p>	<p>■タテ用スターター</p>  <p>タテ用スターター 【品番:AST5F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm 水抜き穴:φ6mm @300mm 備考:左右継ぎ手加工あり</p>	<p>■端部カバー</p>  <p>N端部カバー 【品番:AMKFF0**】 【品番:AMKHF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm 水抜き穴:φ10mm @300mm</p>
<p>■見切縁</p>  <p>N見切縁18 【品番:AMKEF0**】 【品番:AMKGF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm</p>	<p>■出隅カバー</p>  <p>S出隅カバー 【品番:ADS2F***】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm</p>	<p>■出隅鋼板受け</p>  <p>S出隅鋼板受け18 【品番:ADU1F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 働き長さ:3,030mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm</p>
<p>■中間水切</p>  <p>中間水切18 【品番:ATM6F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■見切コーナー</p>  <p>N見切コーナー 【品番:AMC****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>	<p>■バック材</p>  <p>CSバック材 【品番:ABK5Q0J3】 材質:EPDM 幅:11.5mm 厚み:10mm 長さ:2,000mm</p>	<p>■段付バック材</p>  <p>NS型段付バック材 【品番:ABK8Q0JL】 材質:発泡ポリエチレン 幅:10mm 長さ:385mm</p>

※各部材は、2024年5月時点のものです。最新の情報はNICHIIHA内外装建材総合カタログでご確認ください。

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
		RC 木胴縁工法	ビス	縦

4) 土台部

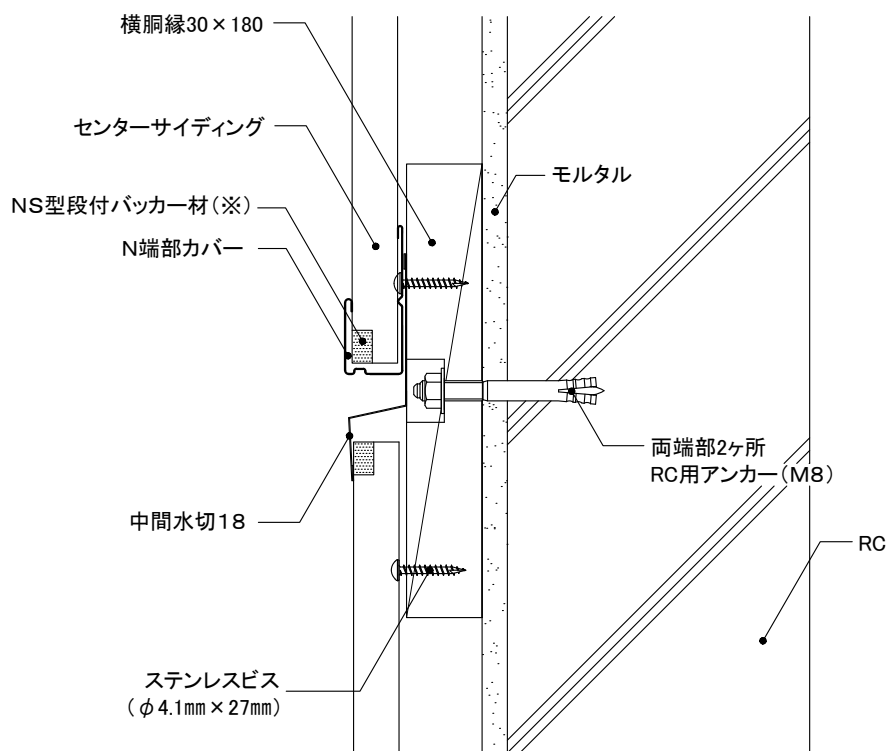
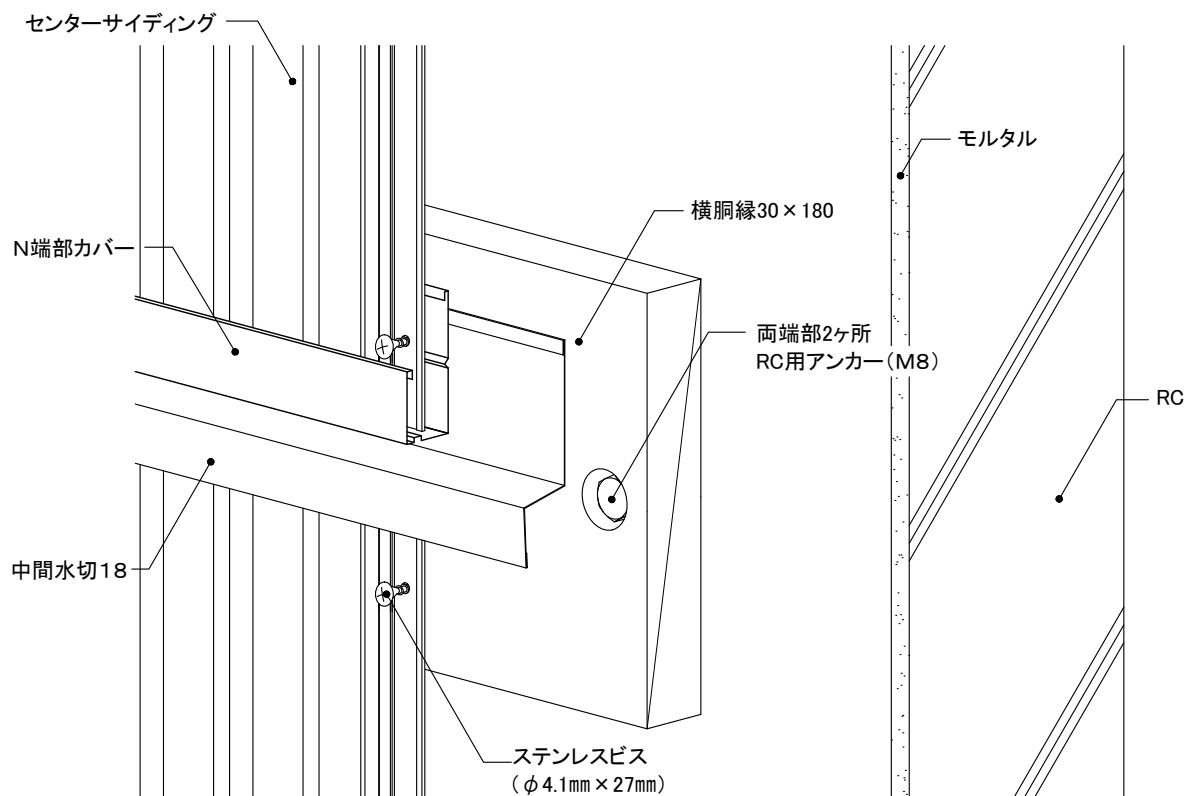
- 土台水切をRC用ビスで留め付けてから、木胴縁を施工します。
- センターサイディング下端と土台水切の間は、10～15mm程度の隙間を設けます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてNS型段付バック材を貼り付けます。(※)



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
		RC 木胴縁工法	ビス	縦

5) 上下接合部

- センターサイディングはステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてNS型段付パッカー材を貼り付けます。(※)

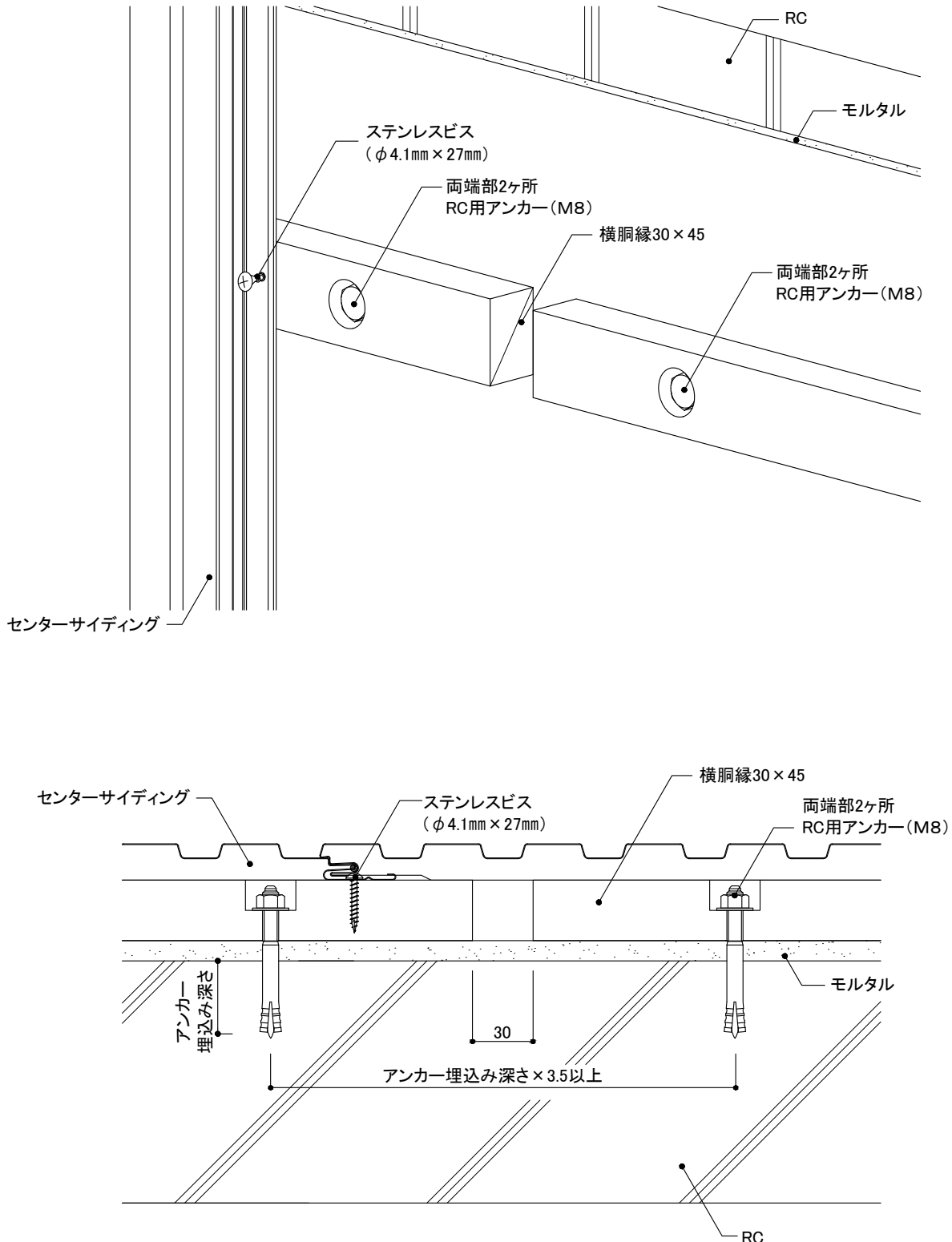


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

① 胴縁

- 横胴縁接合部は、必ず通気ができるように30mm程度の隙間を設け、胴縁1本につき両端部の2ヶ所をRC用アンカーとします。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。

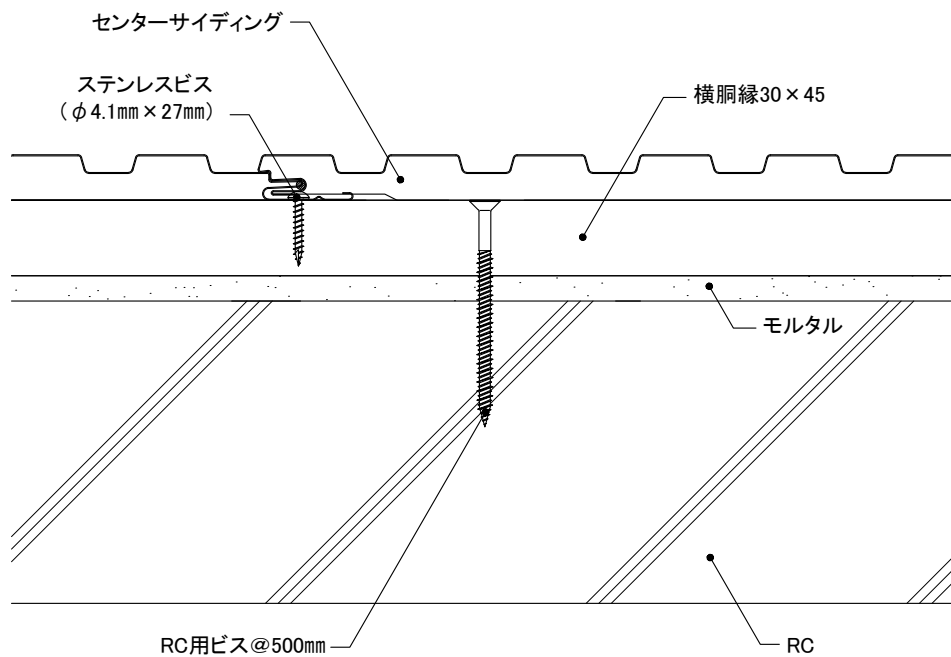
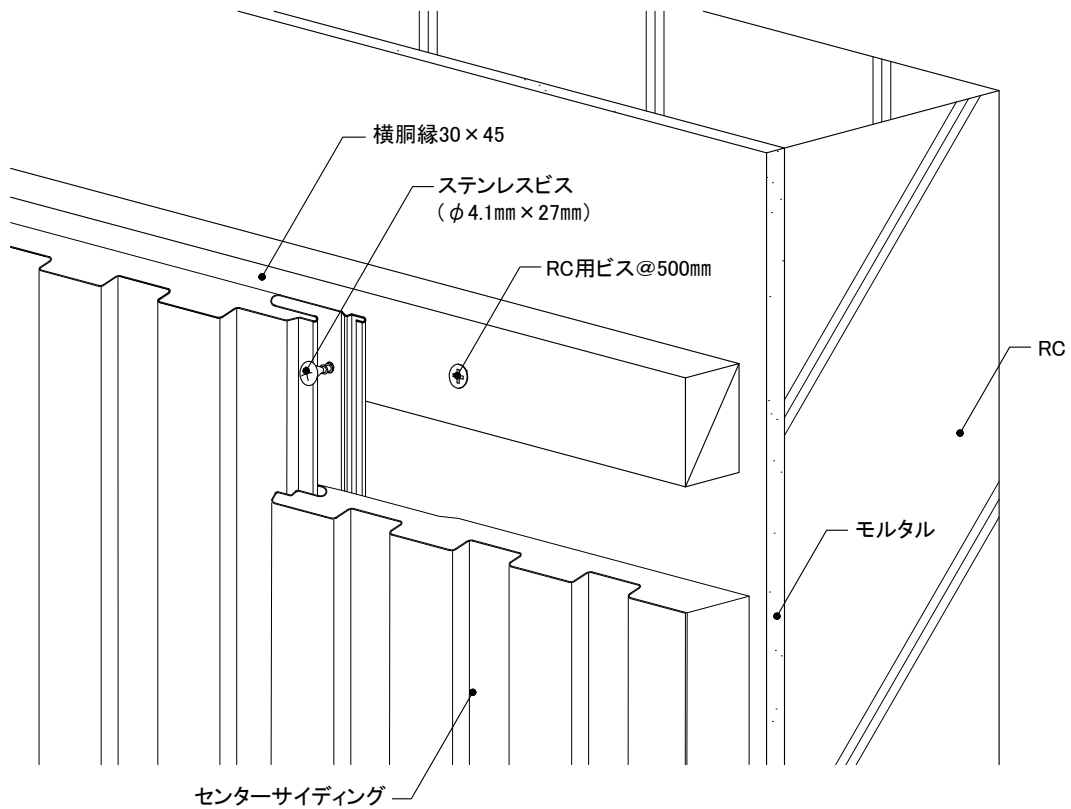


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

②センターサイディング

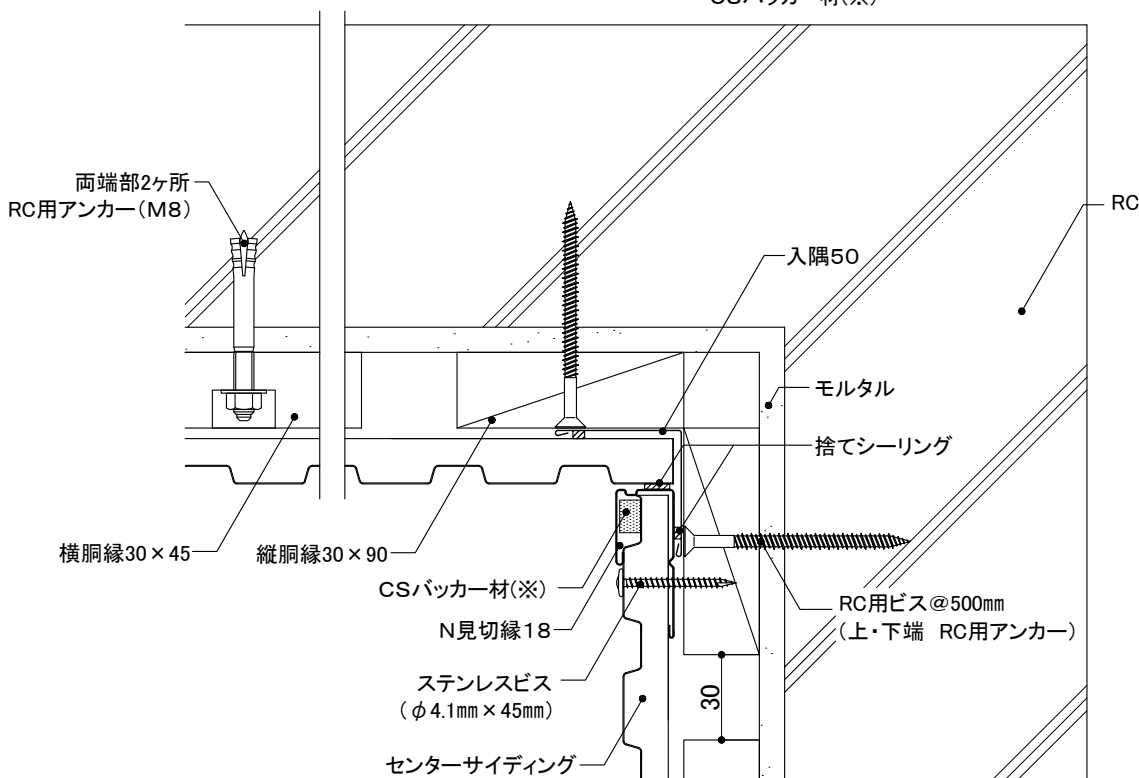
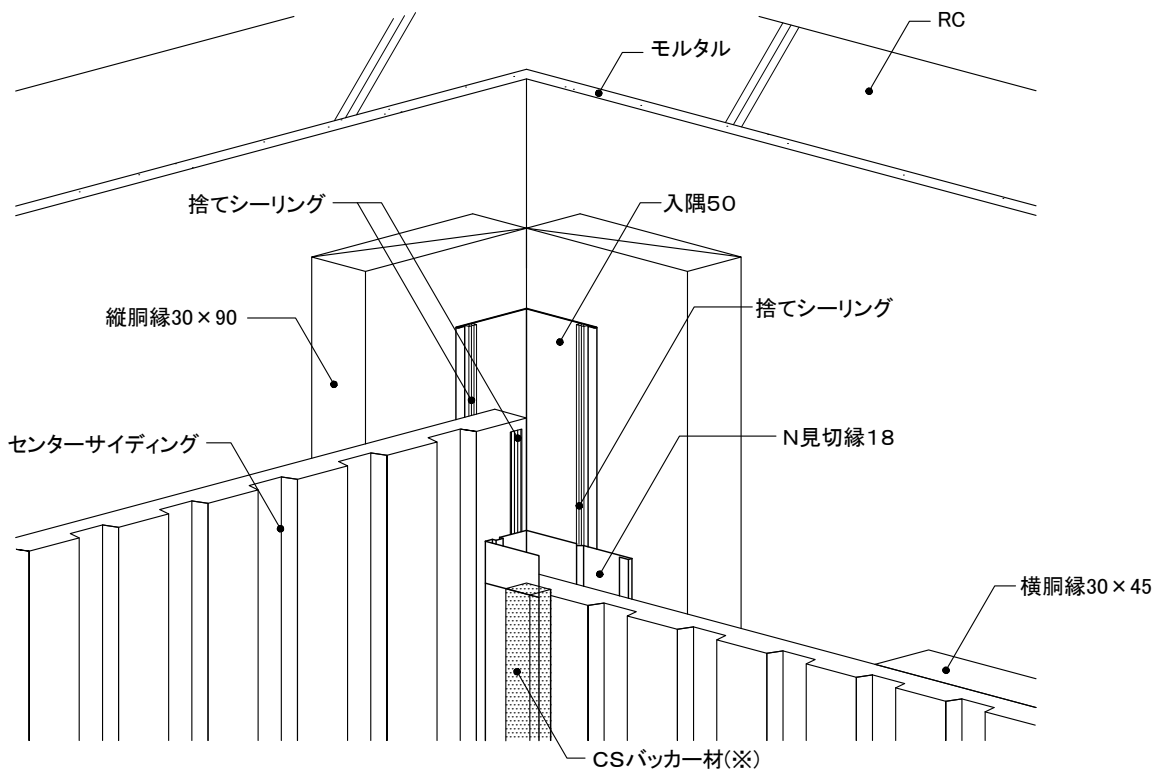
●センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
		RC 木胴縁工法	ビス	縦

7) 入隅部

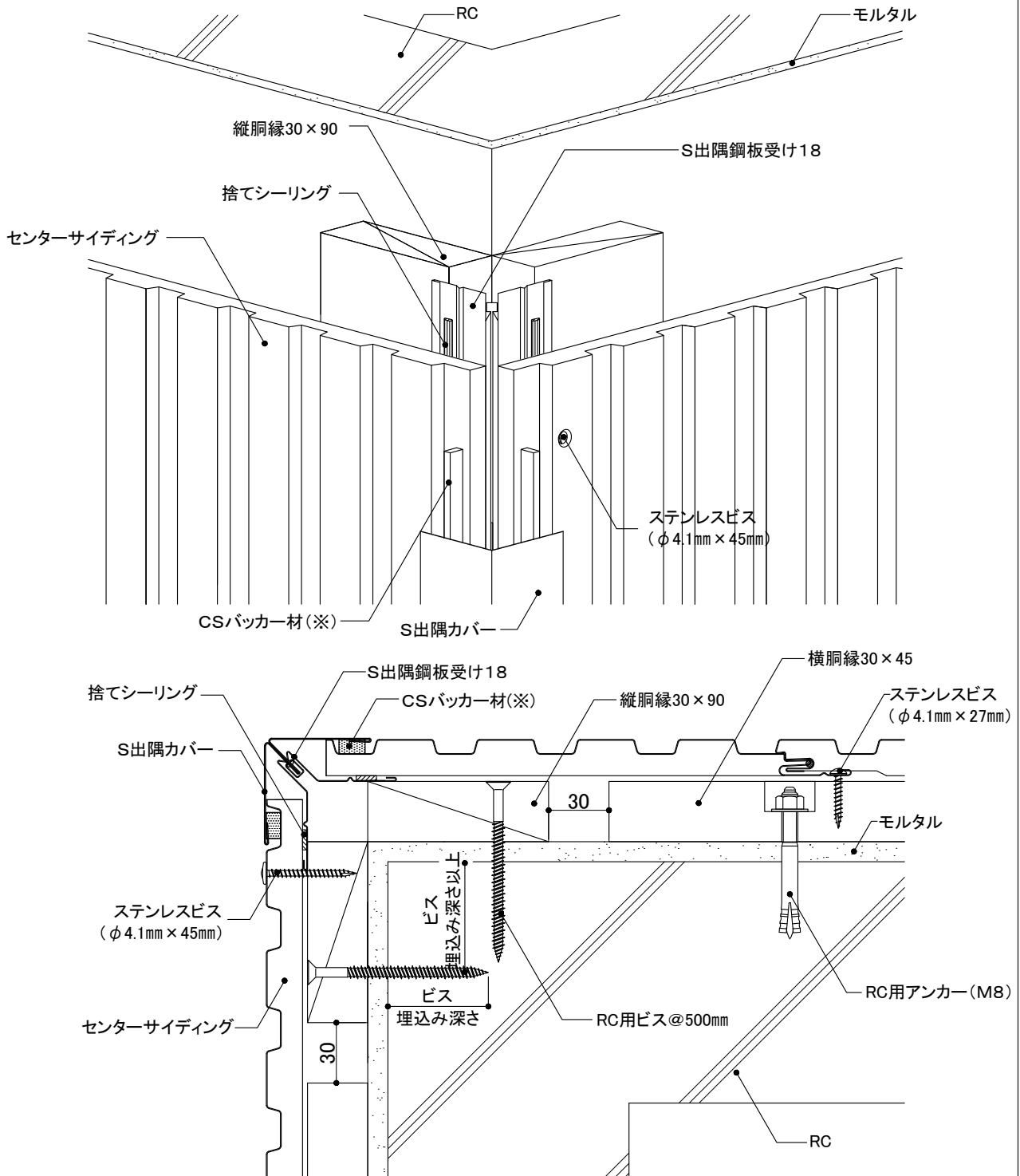
- 入隅部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面からステンレスビス(φ4.1mm×45mm)で留め付けます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてCSバッカー材を貼り付けます。(※)



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

8) 出隅部

- S出隅鋼板受け18を取り付け、捨てシーリングを施工します。センターサイディングをステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で留め付けます。
- センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面からステンレスビス(φ4.1mm×45mm)で留め付けます。
- センターサイディングの施工後、CS出隅カバーを差し込みます。
- 各センターサイディング端部は必要に応じてCSバック材を貼り付けます。(※)

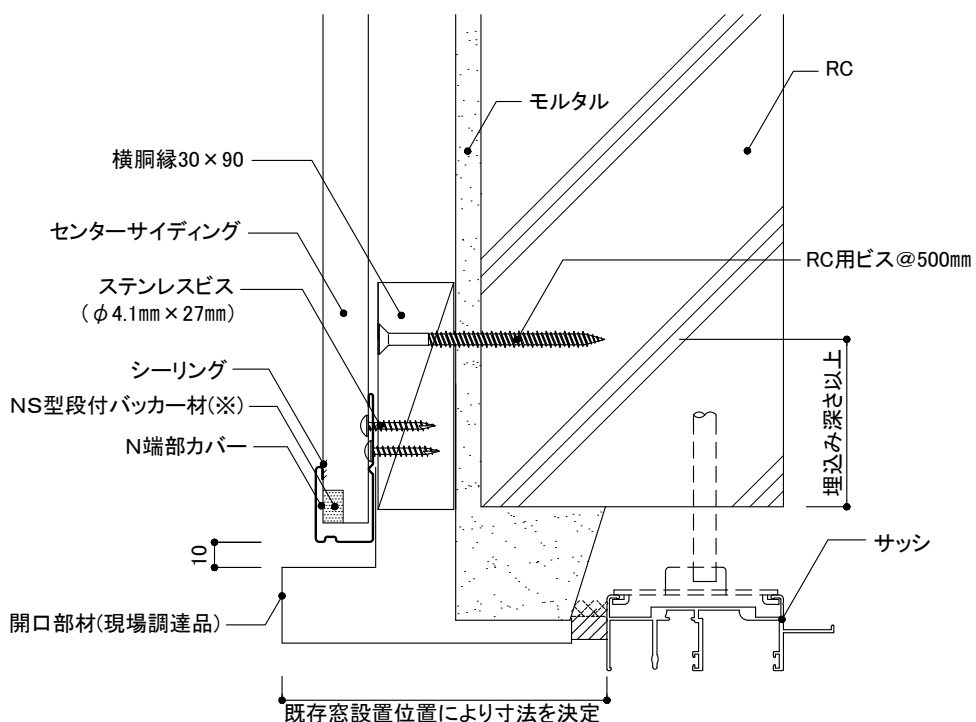
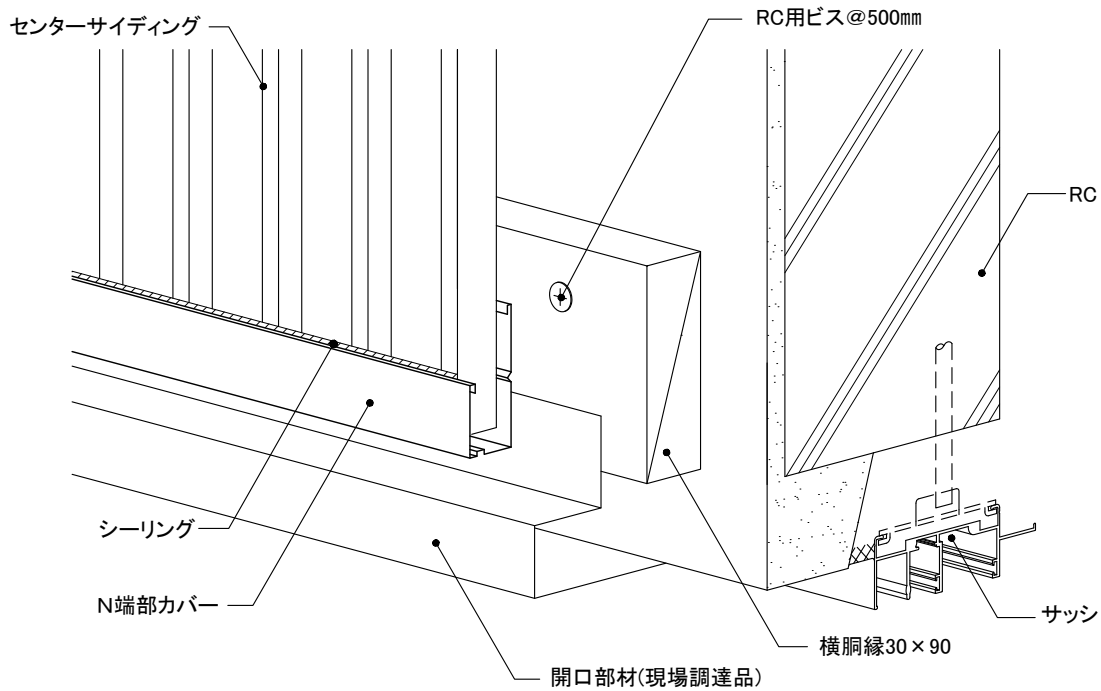


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

① 上側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。
- センターサイディング端部はNS型段付バッカー材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングとN端部カバーの取り合い部にシーリングを施工します。

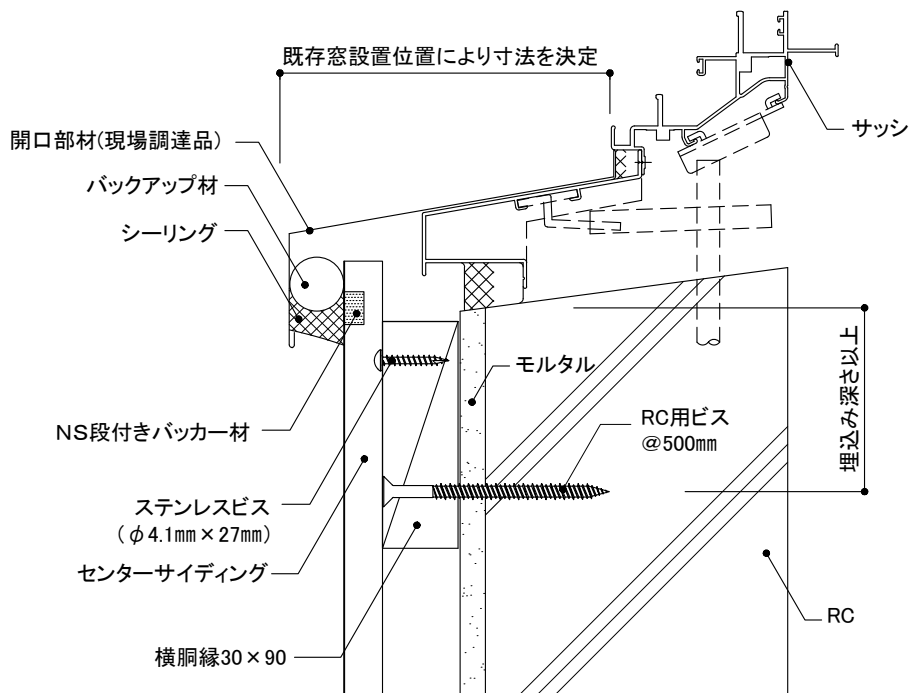
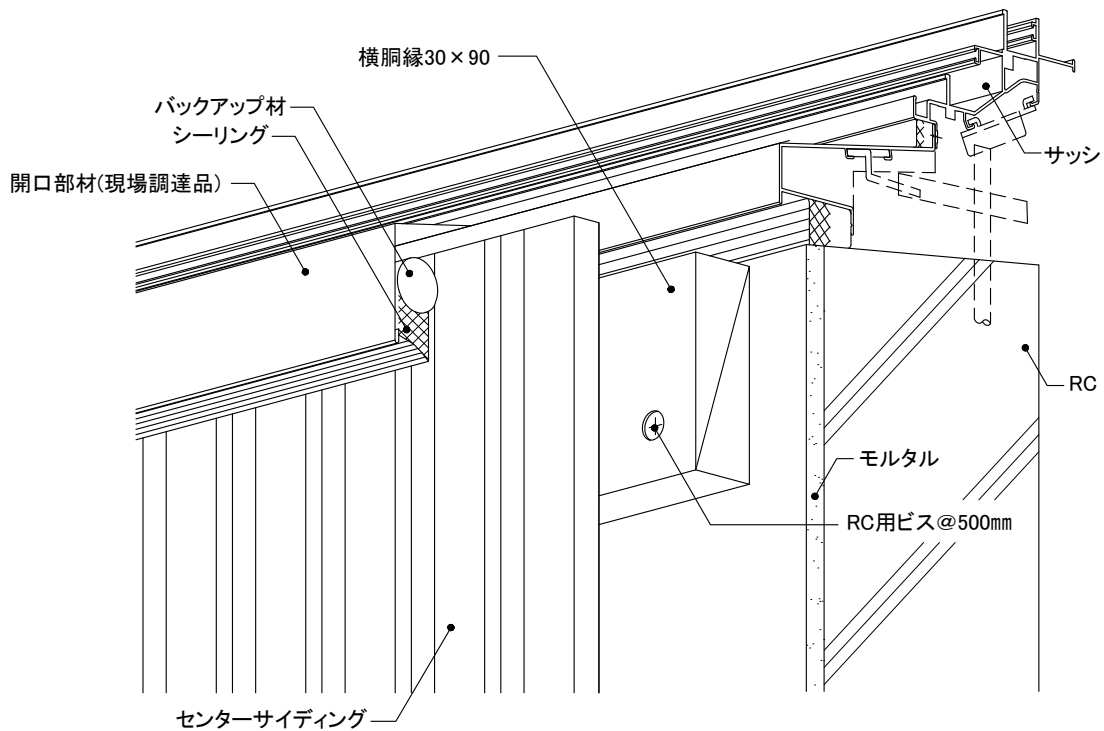


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

② 下側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- センターサイディング端部はNS型段付バック材を貼り付けます。

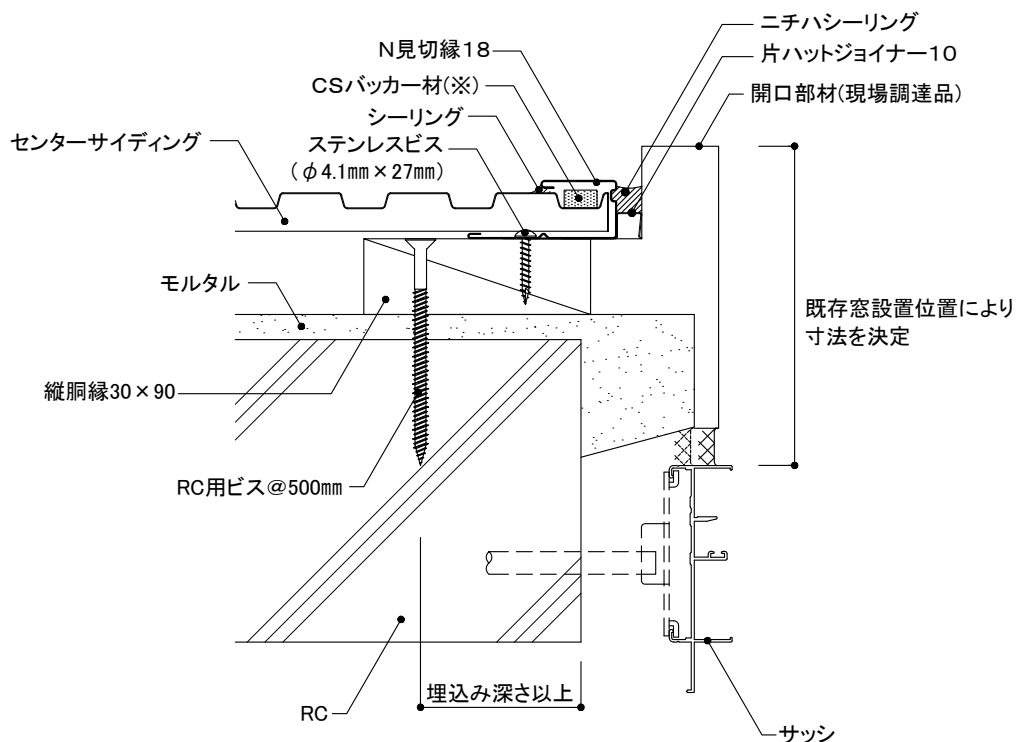
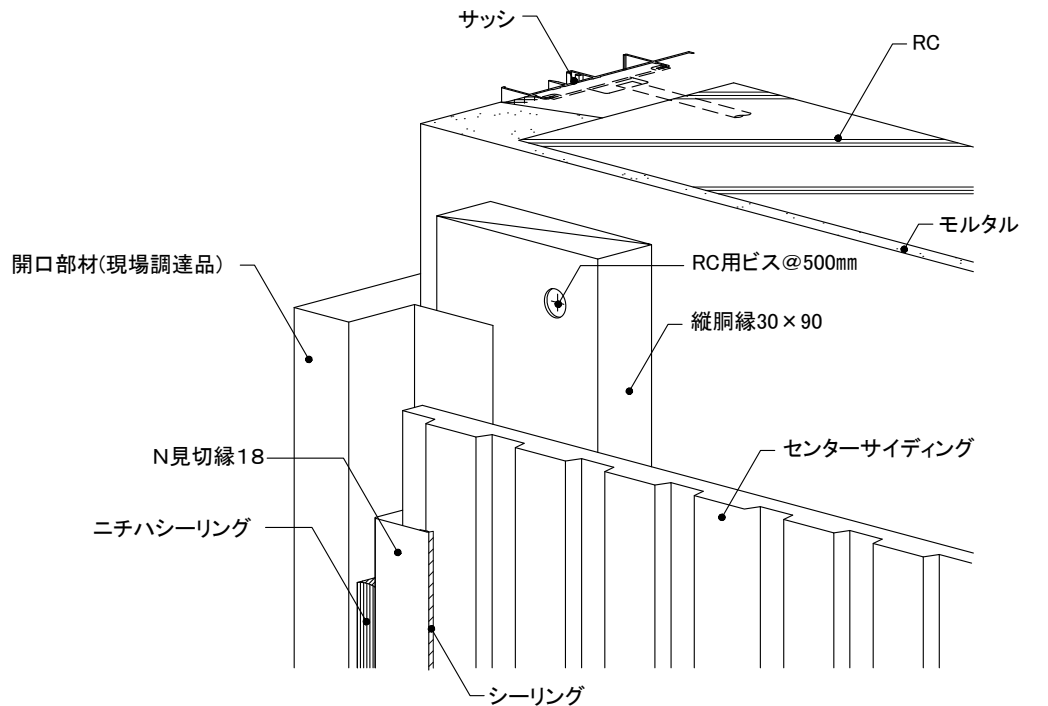


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

10) 開口部

③左右側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシ形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- センターサイディング端部が柄凹部となる場合、CSバッカー材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングとN見切縁18の取り合い部にシーリングを施工します。

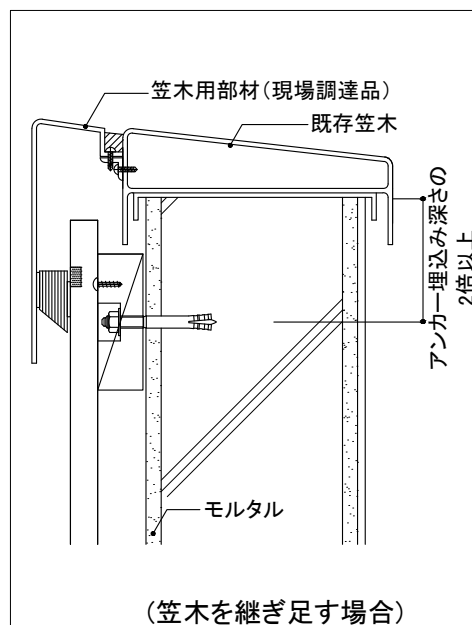
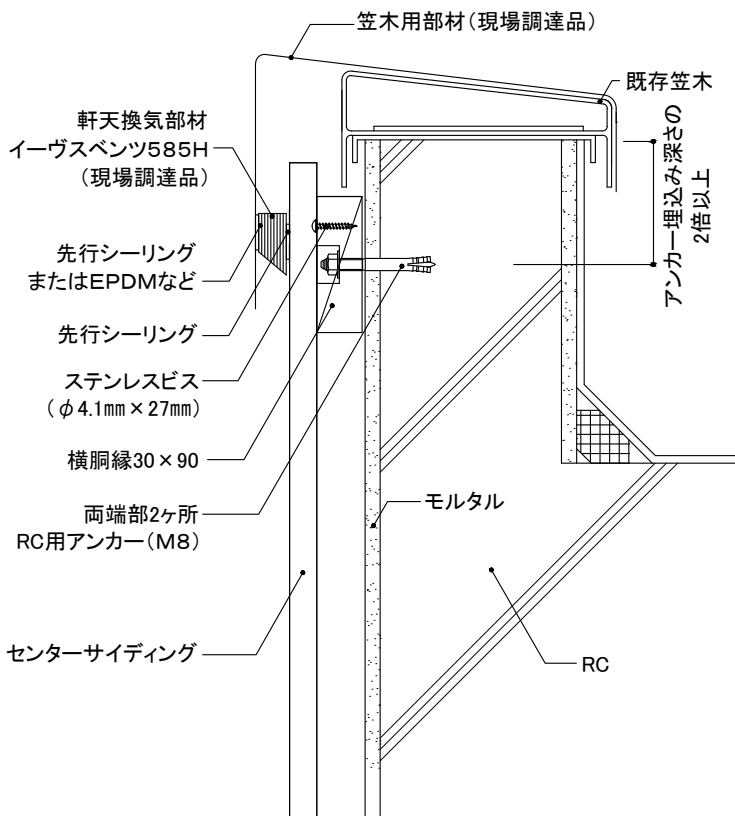
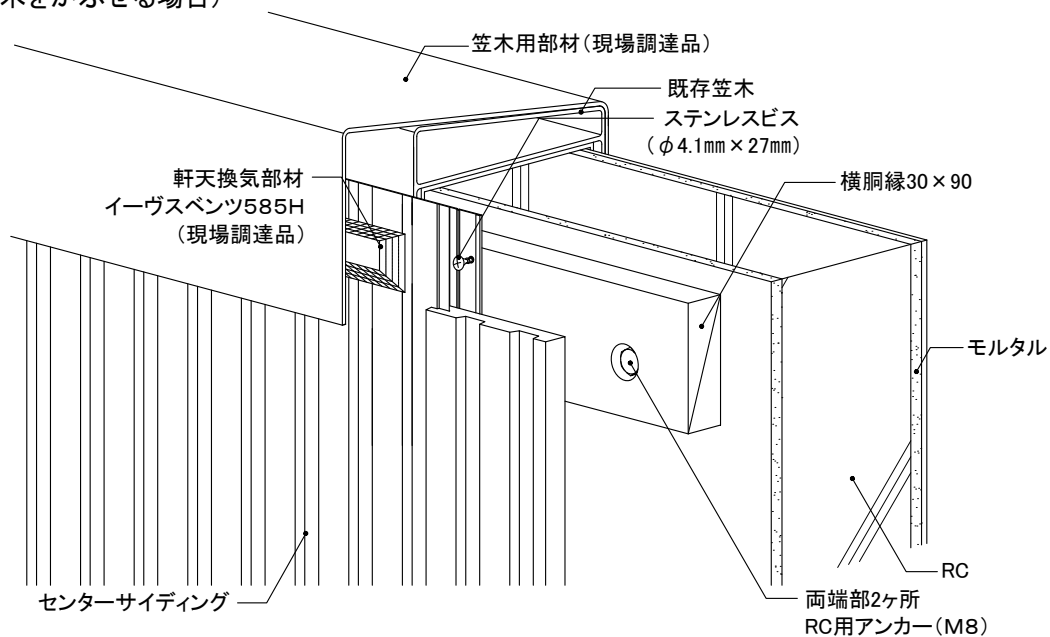


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木全体にかぶせる、継ぎ足す、あるいは既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます。
- 上端部には通気確保のため、イーヴスベンツ585Hを用いて施工します。

(笠木をかぶせる場合)



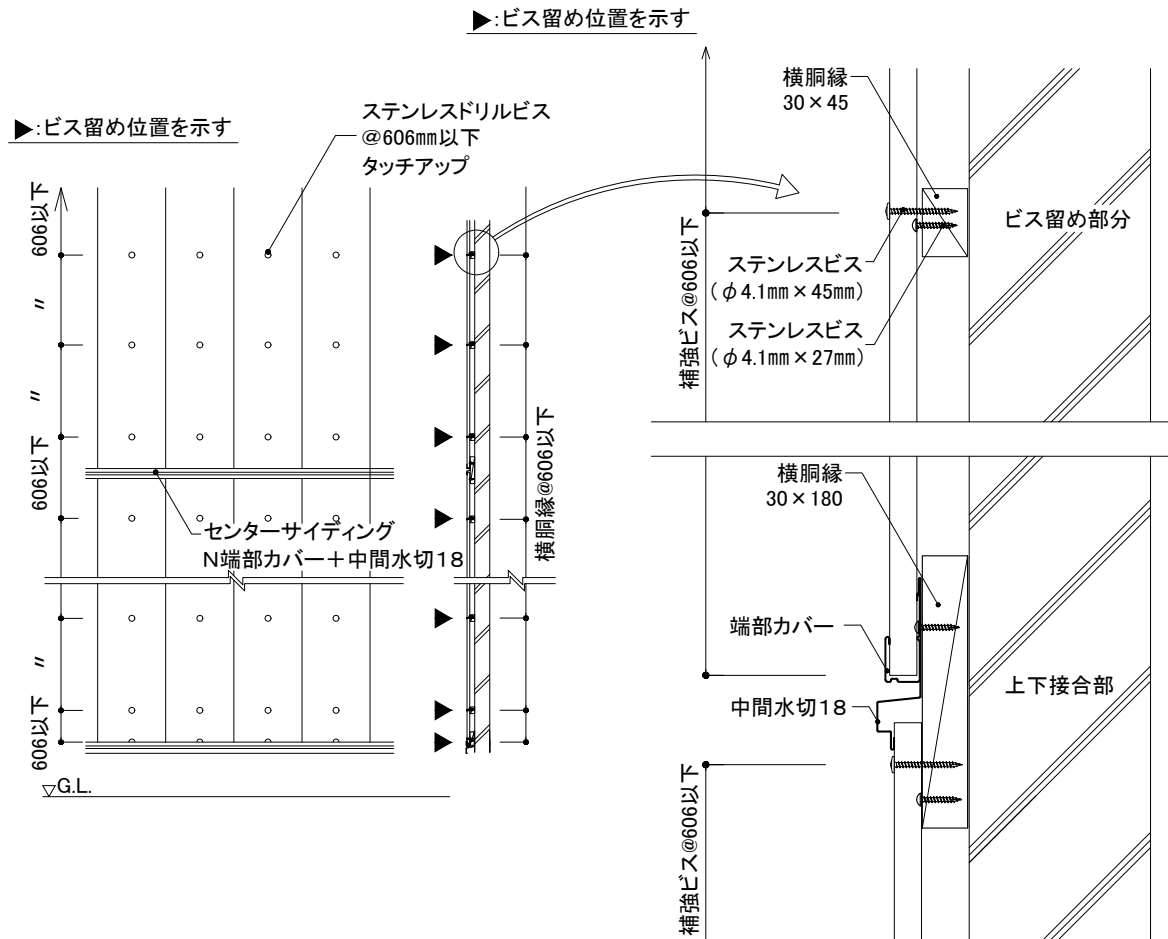
(笠木を継ぎ足す場合)

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

11)補強工法による施工

「1-1適用条件 3)適合地域 耐風圧条件(P21)」において、『補強工法』で施工する場合は以下の施工法とします。

- 補強工法部分は、センターサイディング表面からのビス留めによる補強を行います。
- ステンレスビス(φ4.1mm×45mm)を用い、胴縁ごと(606mm以下)の間隔で留め付けます。
- ビス留め位置は、センターサイディングの幅の中央とします。
- ビス頭の補修は、専用補修塗料を必要最小限の範囲に塗布します。



11 各部の納まり詳細図

S造(ALC厚100mm)

木胴縁工法

センターサイディング
横張り

ビス留め施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部	①胴縁 ②センターサイディング
6)左右接合部	
7)入隅部	
8)出隅部	
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	
11)補強工法による施工	

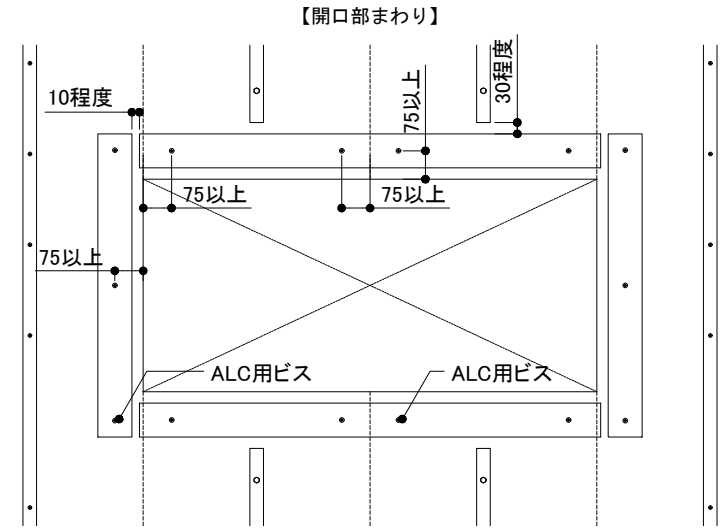
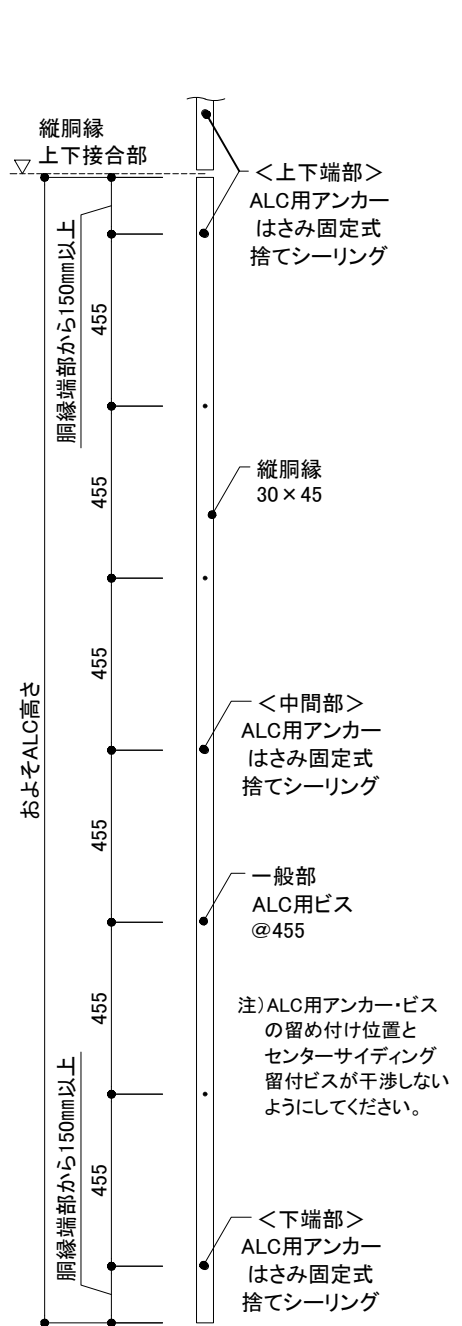
本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

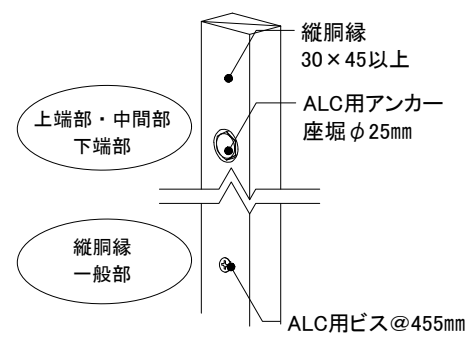
2) 胴縁概要図

挿入筋構法

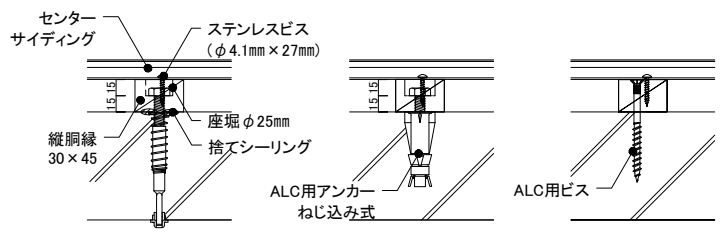
- 木胴縁はALC用ビスを用い、455mm以下の間隔で留め付けます。ただし、木胴縁1本につき 上部部・中間部・下部部の3ヶ所をALC用アンカーとします。原則、ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用し、屋内側に躯体や内装材があり施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。
- 木胴縁の長さが1m未満の場合、ALC用アンカーはさみ固定式は1ヶ所留めとします。
- センターサイディングとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。



※開口部まわりの胴縁はALC用ビスで留め付けます
 ※横胴縁はALC左右ジョイント部で縁を切って施工してください

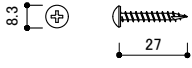
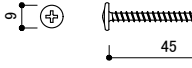
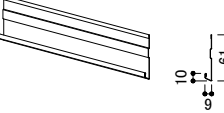
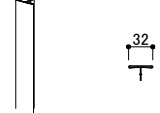
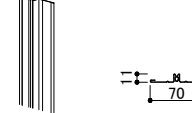
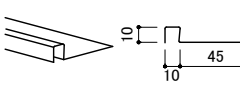
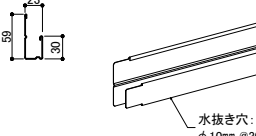
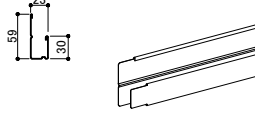
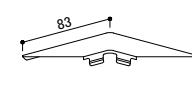
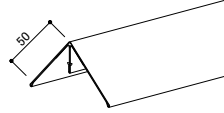
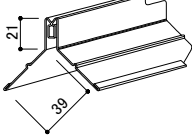
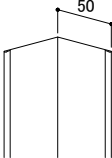

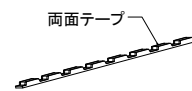


上端部・中間部・下部部		一般部
ALC用アンカー (はさみ固定式)	ALC用アンカー (ねじ込み式)	ALC用ビス (ねじ固定式)
ITハンガー	エーエルシーアンカー AXタイプ	ALCドライブ



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

3) 主要部材一覧

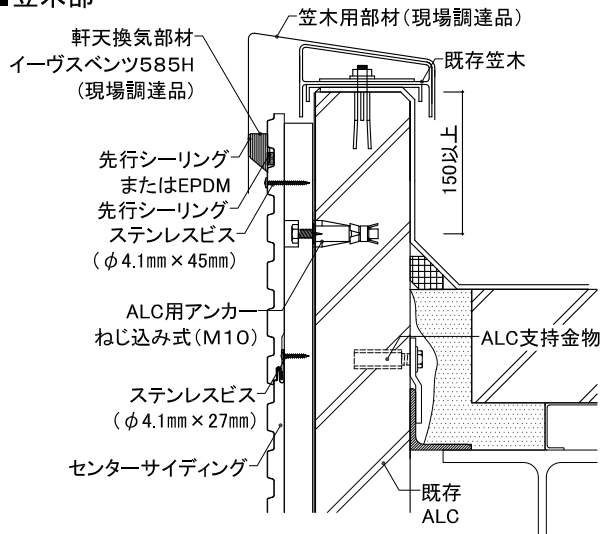
<p>■専用ビス (本体実部留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>	<p>■専用ビス (本体表面留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1720】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×45mm</p>	<p>■スターター</p>  <p>ヨコ用スターター 【品番:AST2F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3,030mm</p>	<p>■目地カバー</p>  <p>NS目地カバー 【品番:AMJ3F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>
<p>■目地鋼板受け</p>  <p>目地鋼板受け 【品番:AMU6F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3,030mm</p>	<p>■片ハットジョイナー</p>  <p>片ハットジョイナー10 【品番:FHK1110R】 材質:フッ素樹脂コート 高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm 長さ:2,000mm 表面色:クリアレッド着色</p>	<p>■端部カバー</p>  <p>N端部カバー 【品番:AMKFF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm 水抜き穴:φ10mm @300mm</p>	<p>■見切縁</p>  <p>N見切縁18 【品番:AMKEF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>
<p>■見切コーナー</p>  <p>N見切コーナー 【品番:AMC****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>	<p>■出隅カバー</p>  <p>S出隅カバー 【品番:ADS2F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■出隅鋼板受け</p>  <p>S出隅鋼板受け18 【品番:ADU1F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 長さ:3,030mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm</p>
<p>■バック材</p>  <p>CSバック材 【品番:ABK5Q0J3】 材質:EPDM 幅:11.5mm 厚み:13mm 長さ:2,000mm</p>	<p>■段付バック材</p>  <p>NS型段付バック材 【品番:ABK4Q0JL】 材質:発泡ポリエチレン 幅:13mm 長さ:385mm</p>	<p>■ALC用アンカー</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用 外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の 3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>	<p>■ALC用ビス</p> <p>(現場調達品)</p> <p>木胴縁取り付け用 外装リフォーム②RC・S造(ALC)編の 3-5 RC・S造(ALC) 金属(木)胴縁工法 各部材の施工をご参照ください。</p>

※各部材は、2022年3月時点のものです。最新のNICHIIHA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

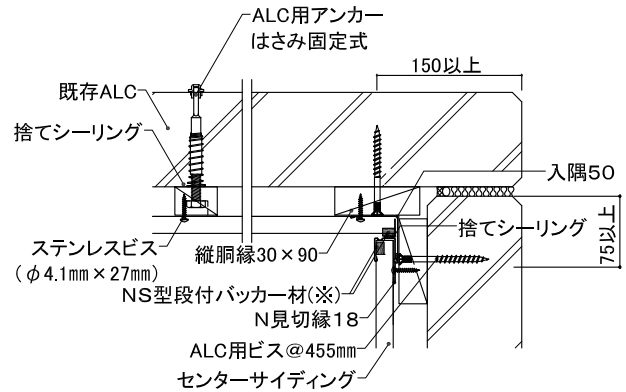
センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

4) 各部の納まり概要図

■ 笠木部

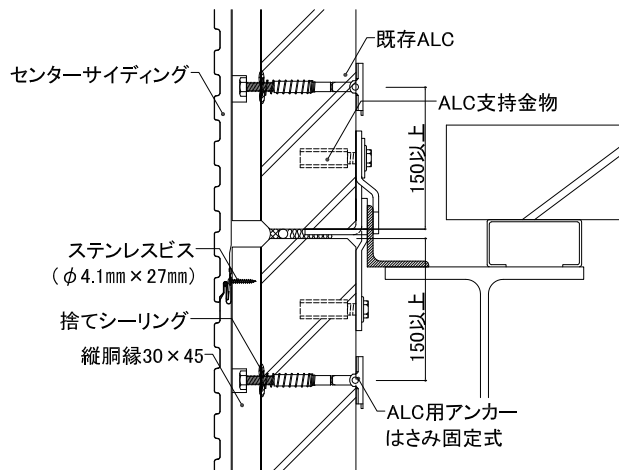


■ 入隅部

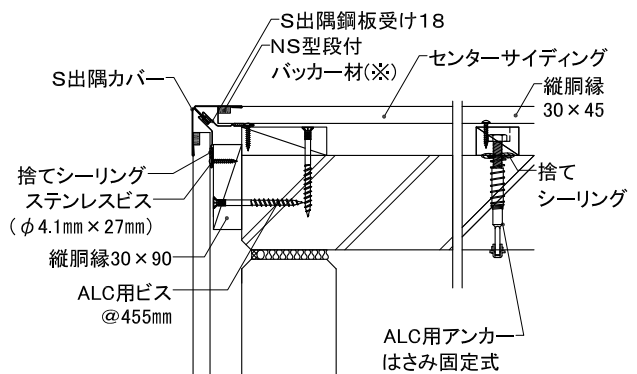


※ 各センターサイディング端部は必要に応じてNS段付バック材を貼り付けます

■ 上下接合部

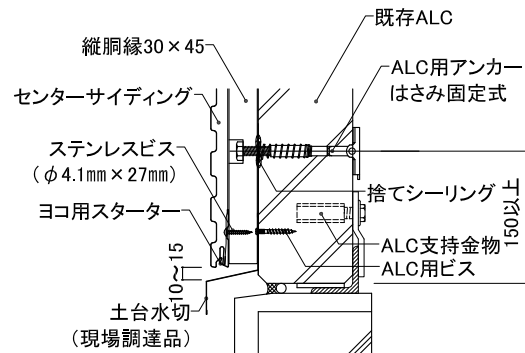


■ 出隅部

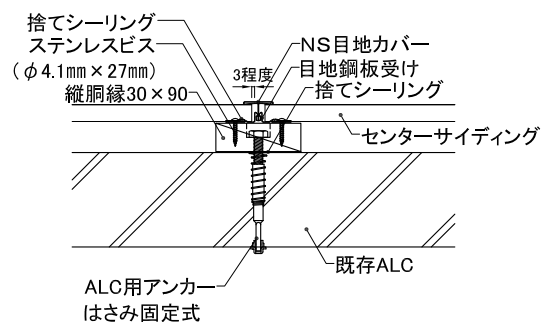


※ 各センターサイディング端部は必要に応じてNS段付バック材を貼り付けます

■ 土台部



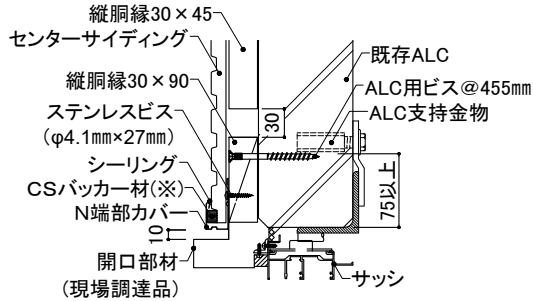
■ 左右接合部



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 木胴縁工法	ビス	横	縦胴縁@606mm以下

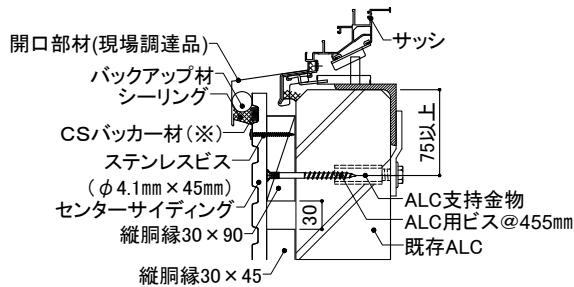
4) 各部の納まり概要図

■ 開口部(上側)



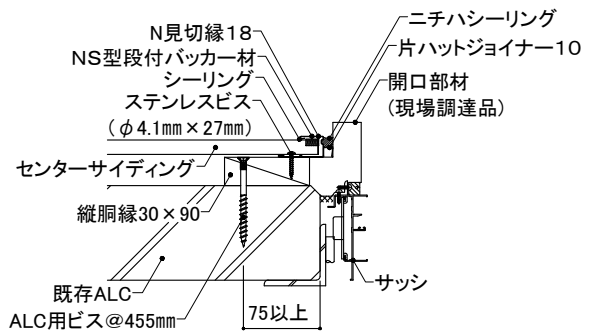
※下端が柄凹部となる場合は、CSバックカー材を貼り付けます

■ 開口部(下側)



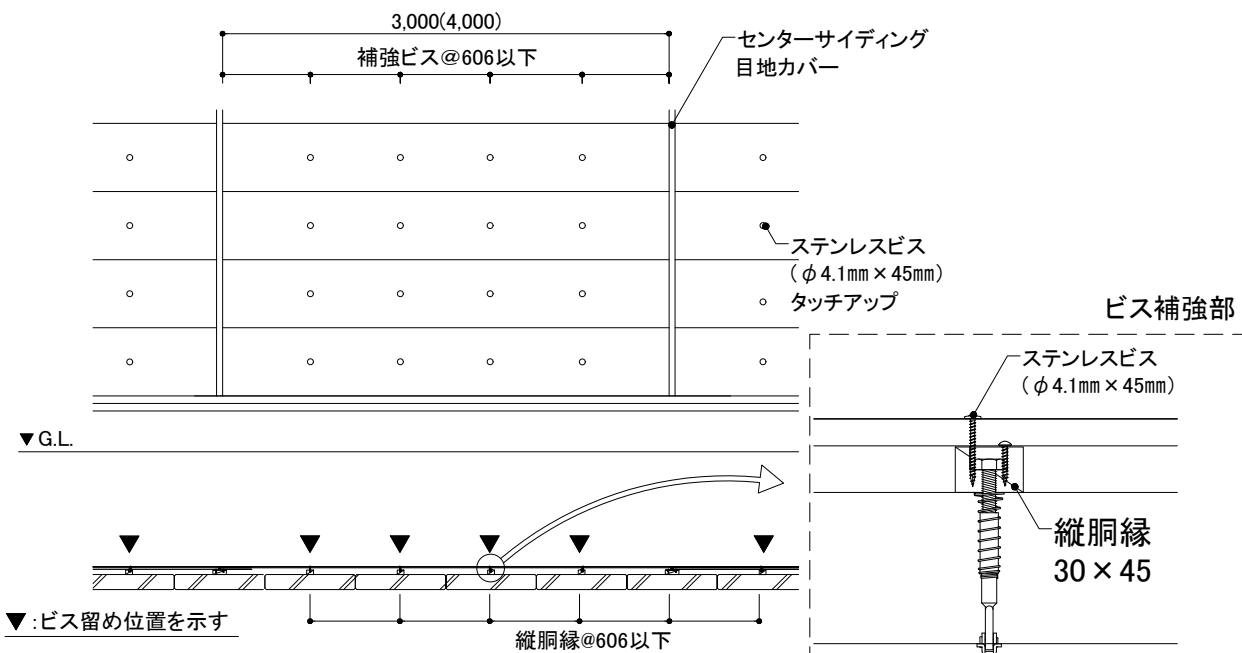
※上端が柄凹部となる場合は、CSバックカー材を貼り付けます

■ 開口部(左右側)



■ 補強工法

- 「1-1適用条件 3)適合地域 耐風圧条件」において、『補強工法』で施工する場合は以下の施工法とします。
- 補強工法は、センターサイディング表面からのビス留めし、補強します。
 - ステンレスビス(φ4.1mm×45mm)を用い、木胴縁ごと(606mm以下)の間隔で留め付けます。
 - ビス留め位置は、センターサイディングの幅の中央とします。
 - ビス頭の補修は、専用補修塗料を必要最小限の範囲に塗布します。



12 各部の納まり詳細図

S造(ALC厚100mm)

木胴縁工法

センターサイディング
縦張り

ビス留め施工

1)基本構成図	構成断面
2)胴縁概要図	
3)主要部材一覧	
4)土台部	
5)上下接合部	
6)左右接合部	①胴縁 ②センターサイディング
7)入隅部	
8)出隅部	
9)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
10)笠木部	
11)補強工法による施工	

本章は、基本的な納まり例を記載しています。注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。

横胴縁仕様挿入筋構法のみで、ロッキング構法の重ね張りはできません。

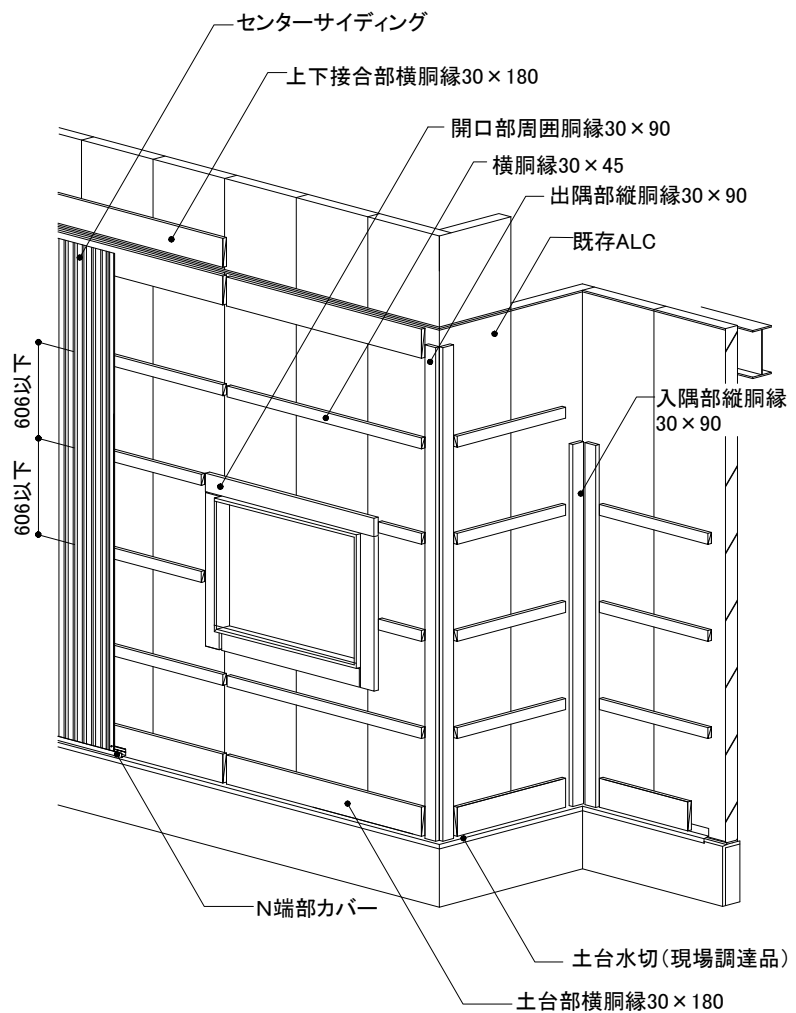
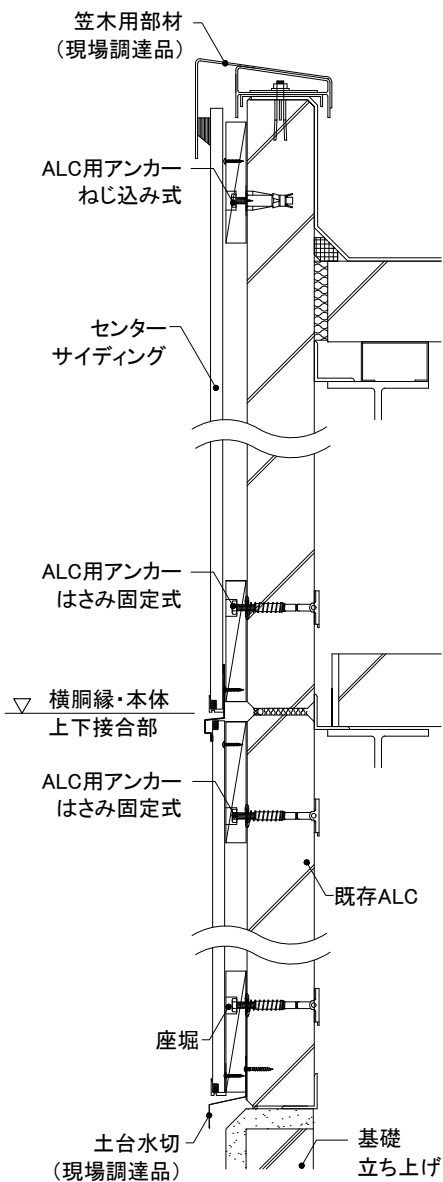
センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように、606mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- ALCパネル上下ジョイント部は木胴縁とセンターサイディングを通さず、縁を切ります。

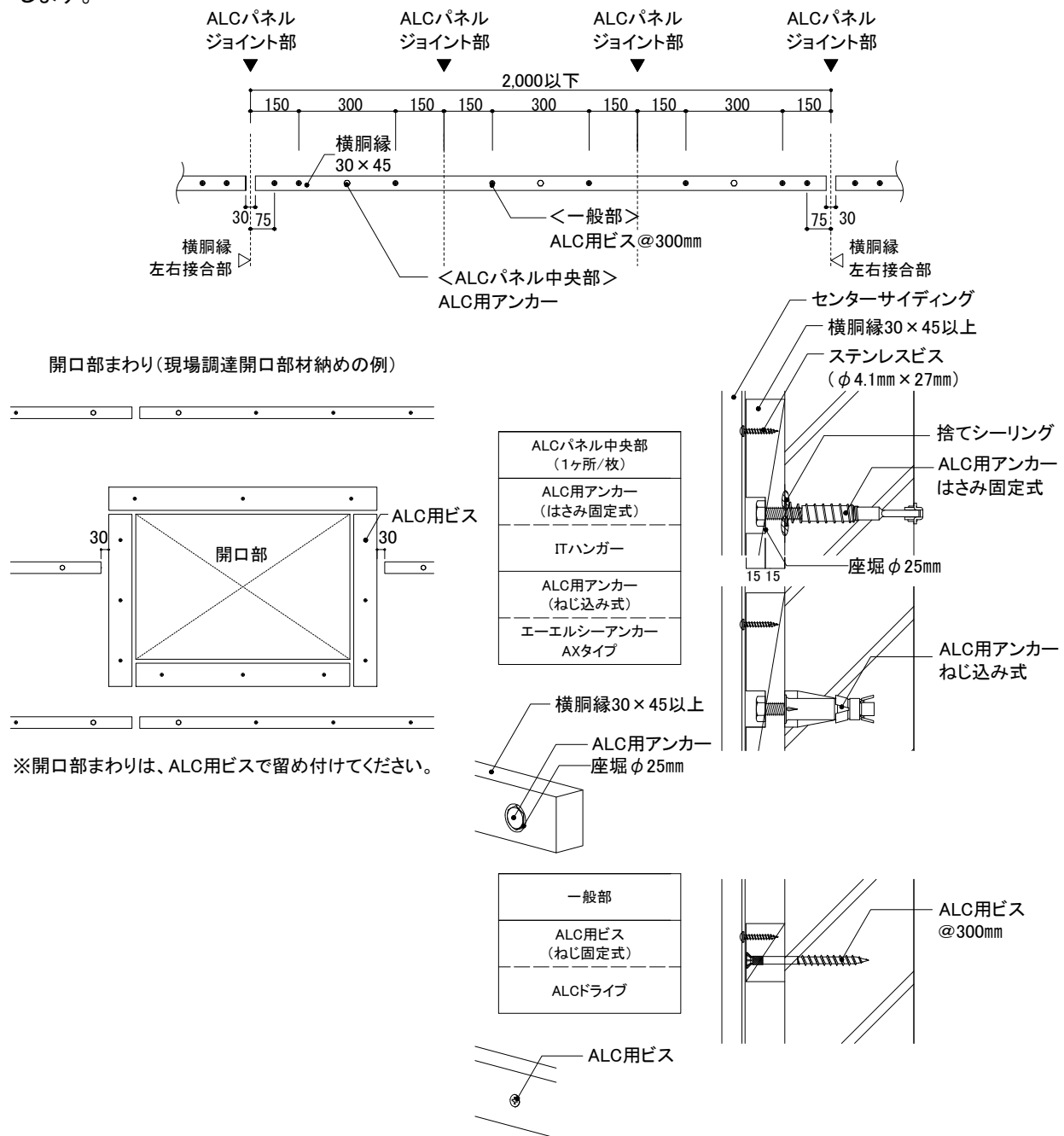
ALC用アンカーははさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込み式で施工します。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

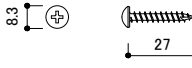

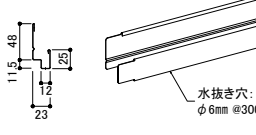
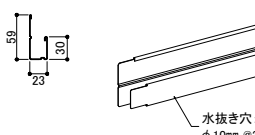
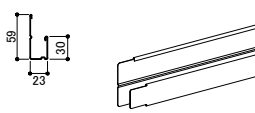
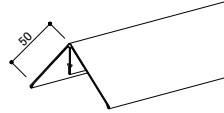
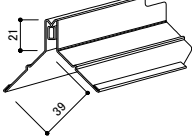
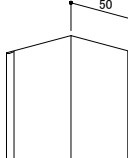
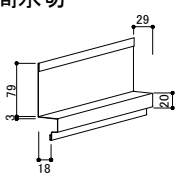
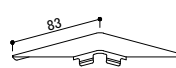
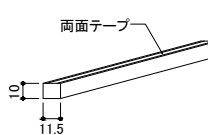

2) 胴縁概要図

- 木胴縁をALCパネル1枚につき中央部1ヶ所に、ALC用アンカーで留め付けます。原則、ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、屋内側に躯体や内装材があり、施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。(最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用します。)
- ALC用ビスは300mm以下の間隔で木胴縁に留め付けます。ただし、胴縁の両端部はALCパネルの端部から75mm程度の位置にALC用ビスを1本増し打ちします。
- センターサイディングとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部の木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。
- ALC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

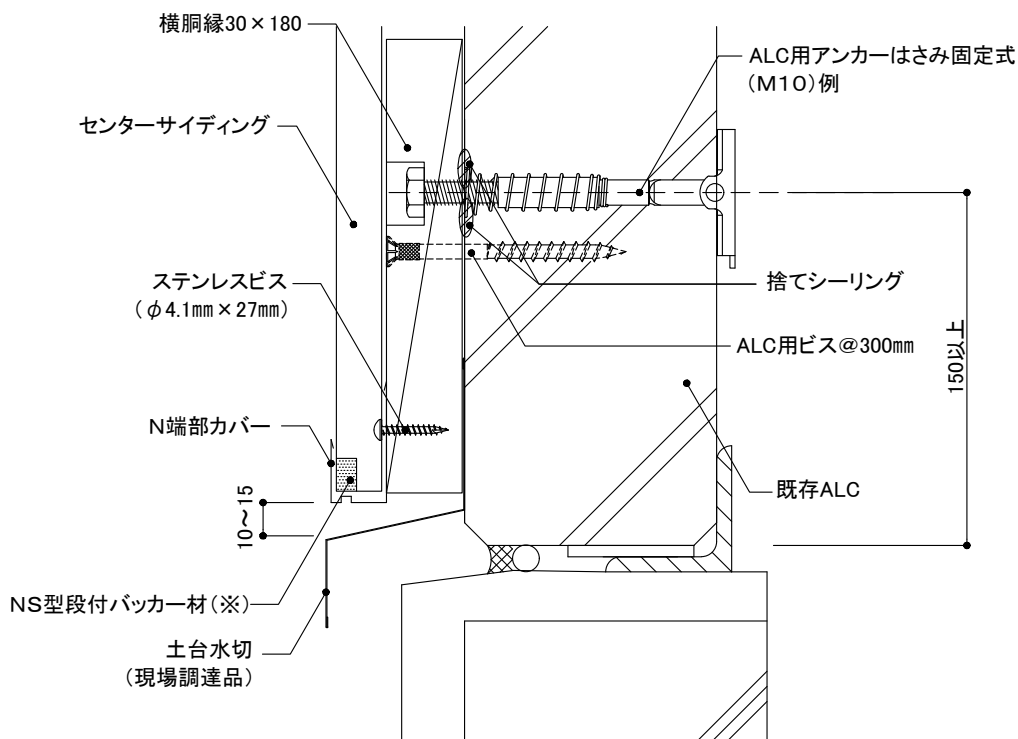
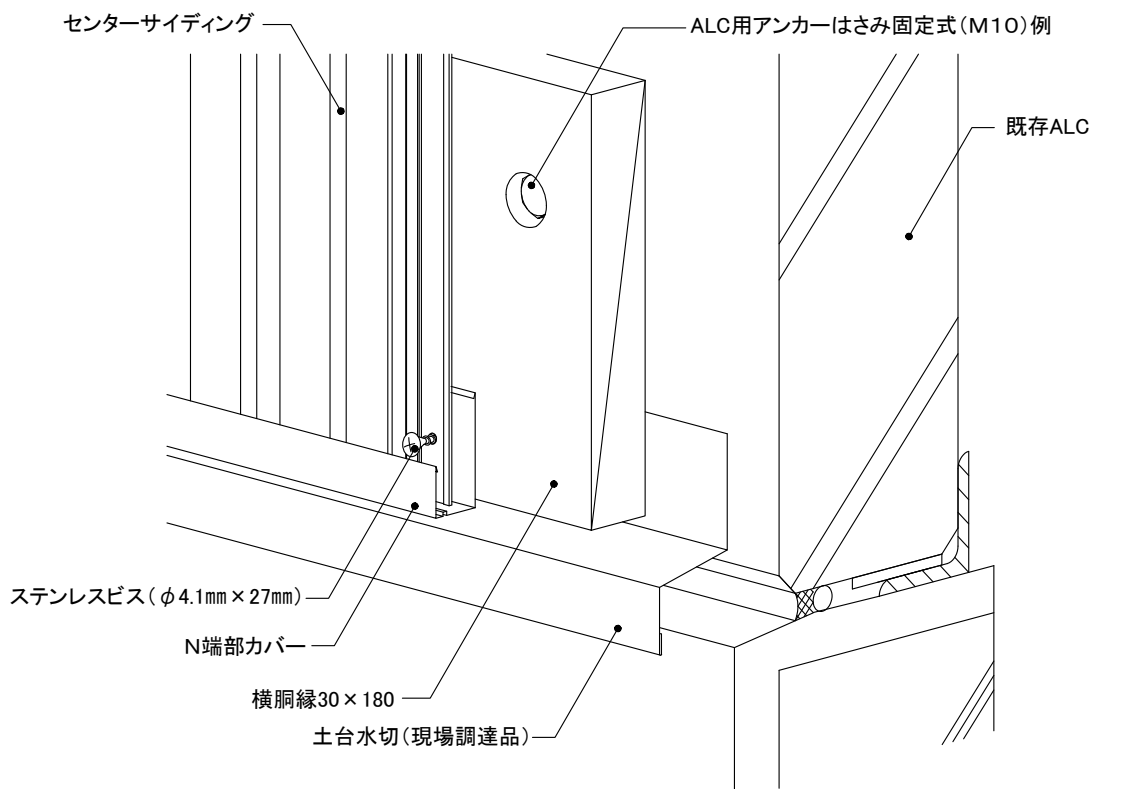
3) 主要部材一覧

<p>■専用ビス (本体実部留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1710】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×27mm</p>	<p>■専用ビス (本体表面留付用)</p>  <p>ステンレスビス 【品番:JK1720】 材質:ステンレス サイズ:φ4.1mm×45mm</p>	<p>■タテ用スターター</p>  <p>タテ用スターター 【品番:AST5F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm 水抜き穴:φ6mm @300mm 備考:左右継ぎ手加工あり</p>	<p>■端部カバー</p>  <p>N端部カバー 【品番:AMKFF0**】 【品番:AMKHF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm 水抜き穴:φ10mm @300mm</p>
<p>■見切縁</p>  <p>N見切縁18 【品番:AMKEF0**】 【品番:AMKGF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm</p>	<p>■出隅カバー</p>  <p>S出隅カバー 【品番:ADS2F***】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm</p>	<p>■出隅鋼板受け</p>  <p>S出隅鋼板受け18 【品番:ADU1F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 働き長さ:3,030mm</p>	<p>■入隅50</p>  <p>入隅50 【品番:JR1900】 材質:高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.27mm 長さ:3,030mm</p>
<p>■中間水切</p>  <p>中間水切18 【品番:ATM6F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■見切コーナー</p>  <p>N見切コーナー 【品番:AMC****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm</p>	<p>■バック材</p>  <p>CSバック材 【品番:ABK5Q0J3】 材質:EPDM 幅:11.5mm 厚み:10mm 長さ:2,000mm</p>	<p>■段付バック材</p>  <p>NS型段付バック材 【品番:ABK8Q0JL】 材質:発泡ポリエチレン 幅:10mm 長さ:385mm</p>

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

4) 土台部

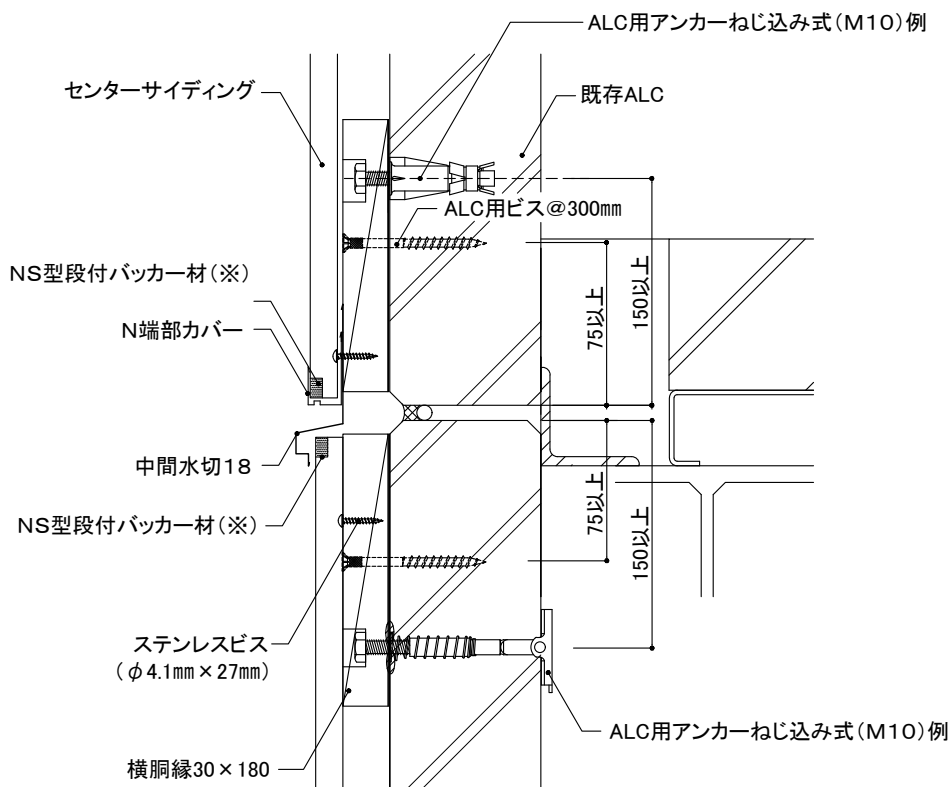
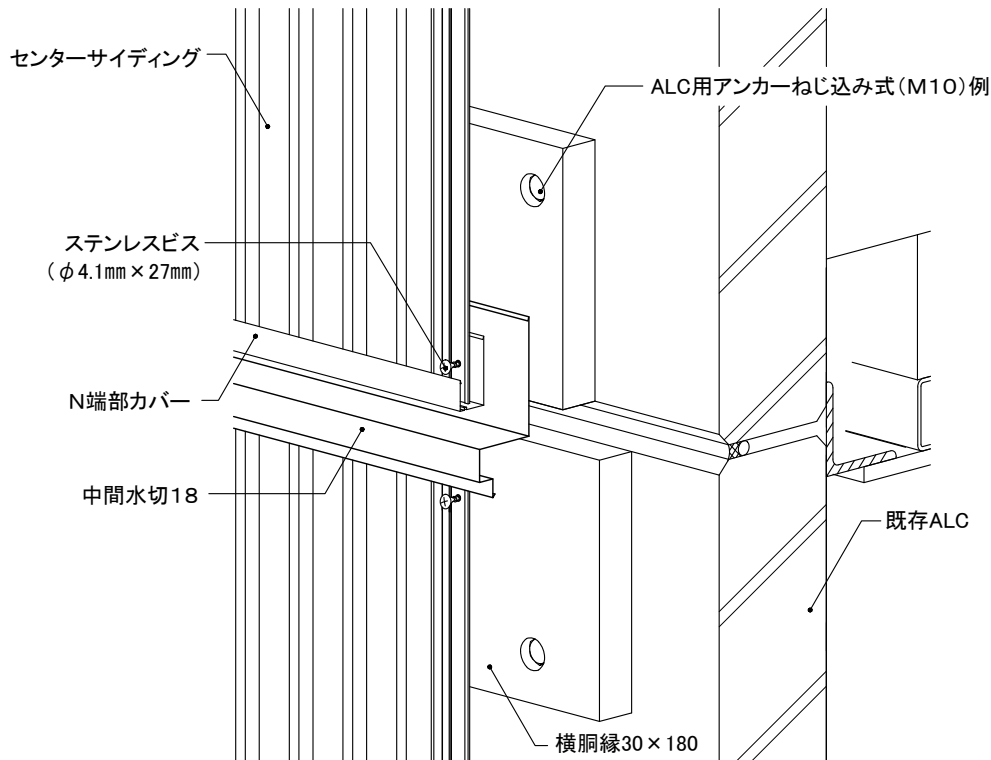
- 土台水切を留め付けてから、木胴縁を施工します。
- センターサイディング下端と土台水切の間は、10～15mm程度隙間を設けます。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。
- センターサイディング下端は必要に応じてNS型段付パッカー材を貼り付けます。(※)



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

5) 上下接合部

- ALCパネル上下ジョイント部は、横胴縁とセンターサイディングを通さずに縁を切ります。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。
- 中間水切18の下側に施工するセンターサイディングの上端および上側に施工するセンターサイディングの下端には、必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付けます。(※)

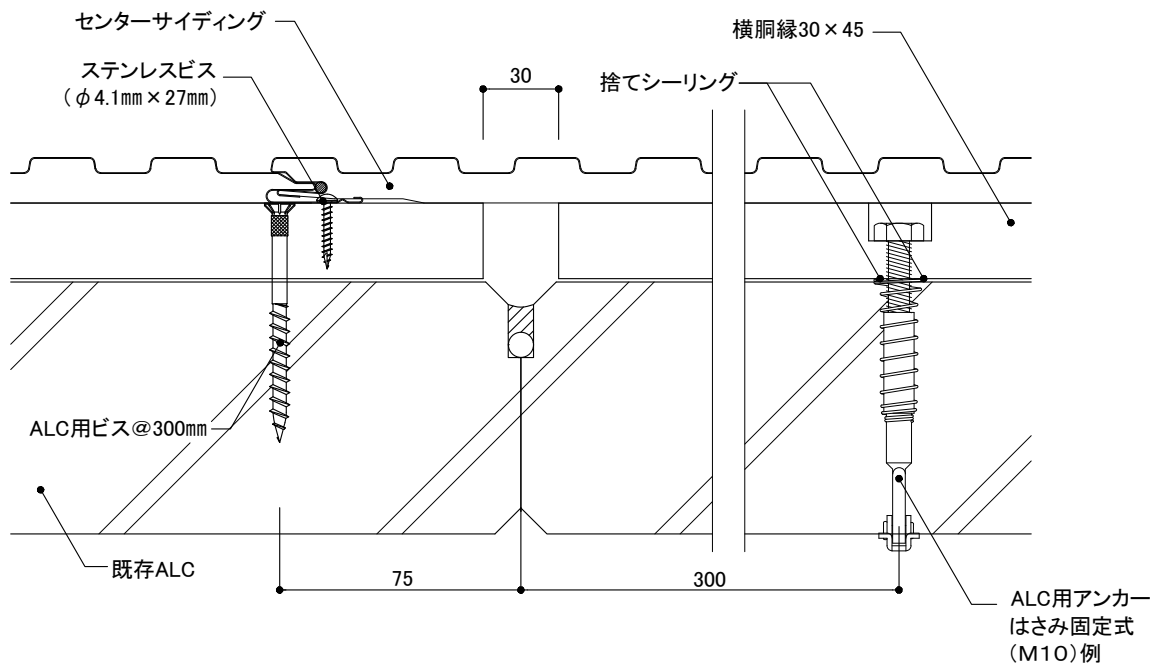
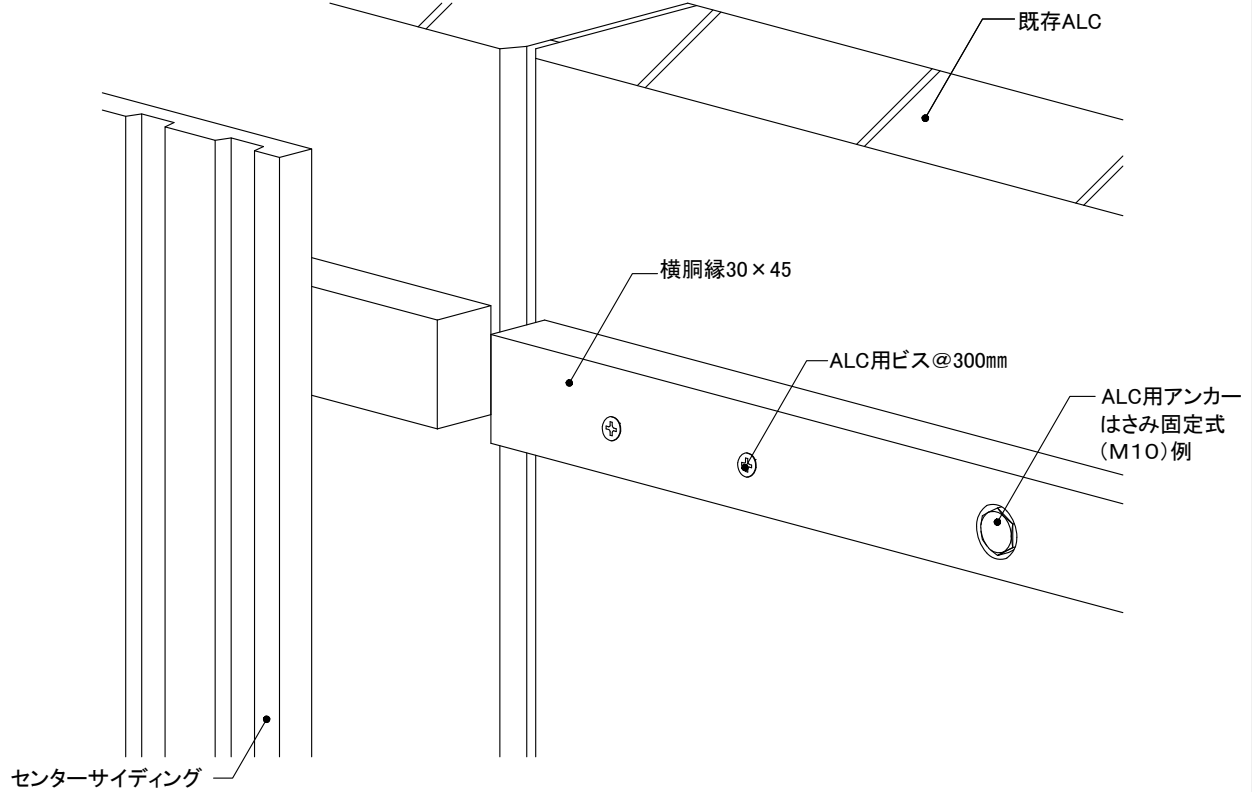


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

① 胴縁

- 横胴縁接合部は必ず通気ができるように30mm程度の隙間を設けます。胴縁の両端部はALCパネル端部から75mm程度の位置にALC用ビスを1本増し打ちします。
- ALCパネル中央部をALC用アンカーで留め付けます。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。

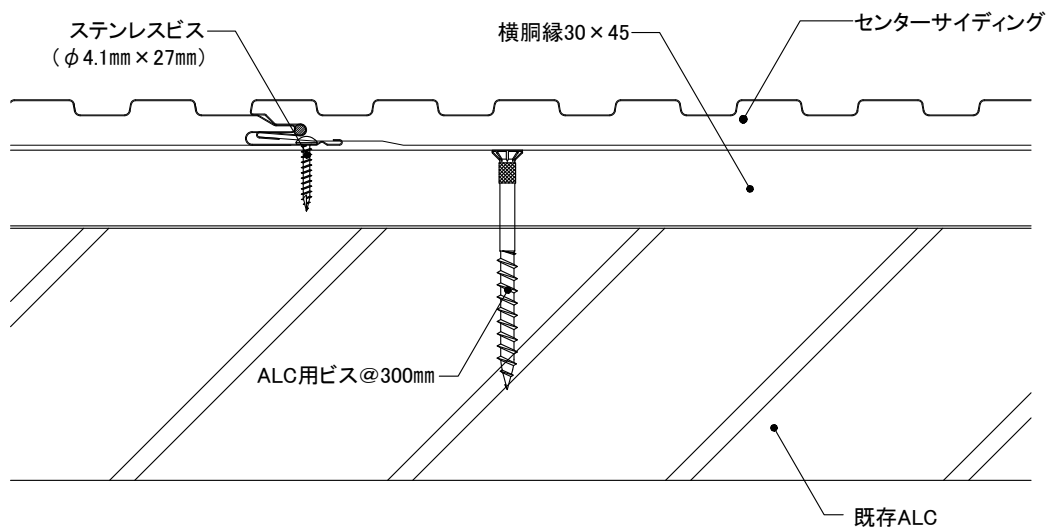
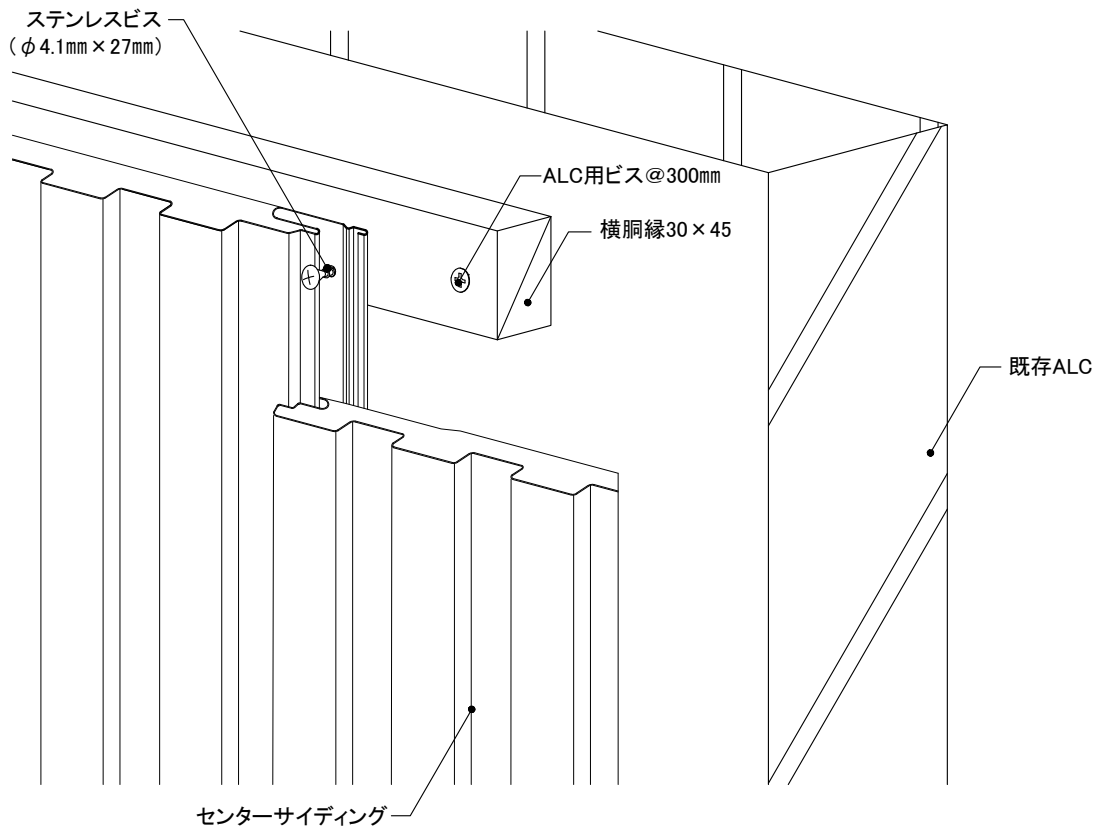


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

6) 左右接合部

②センターサイディング

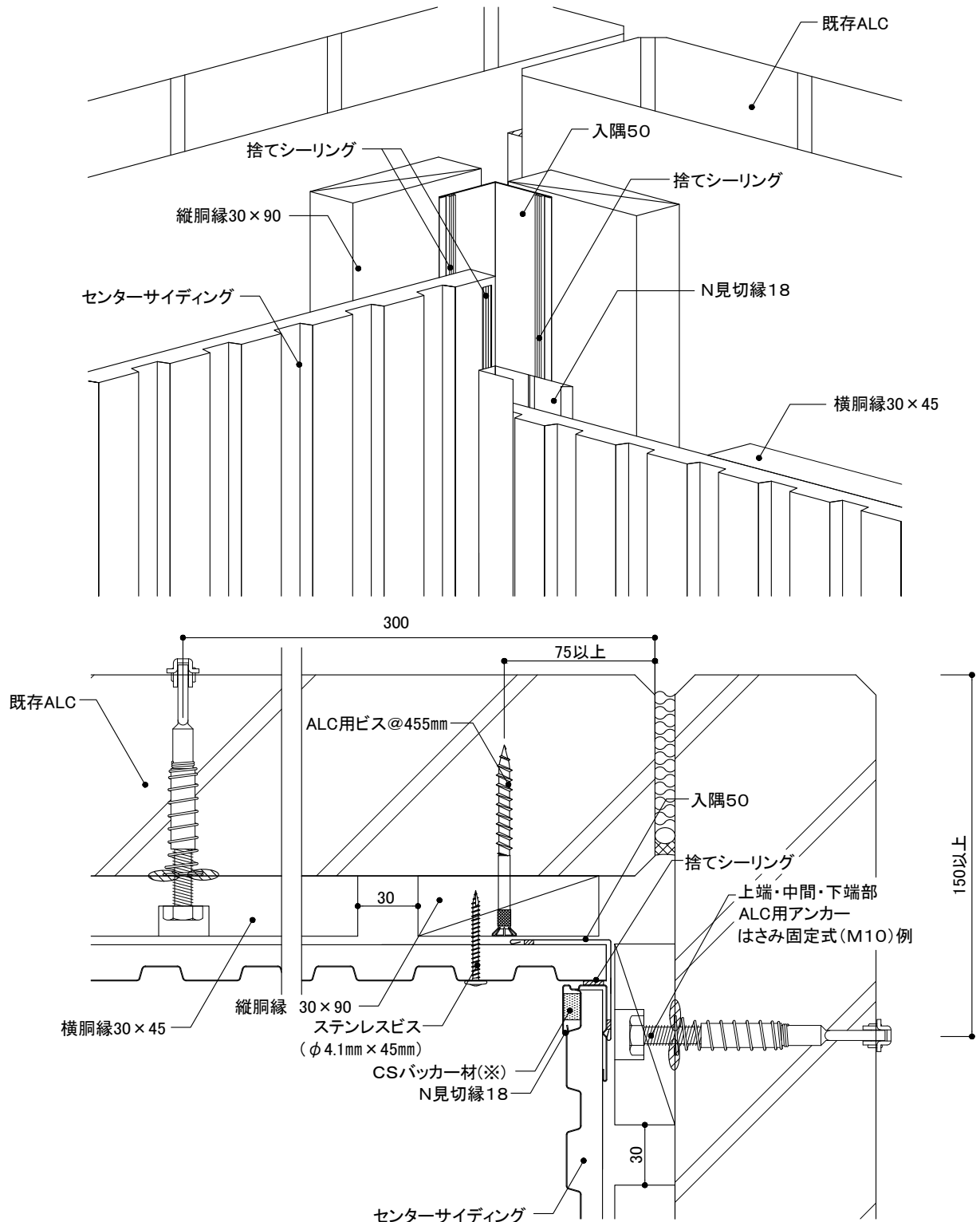
●センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

7) 入隅部

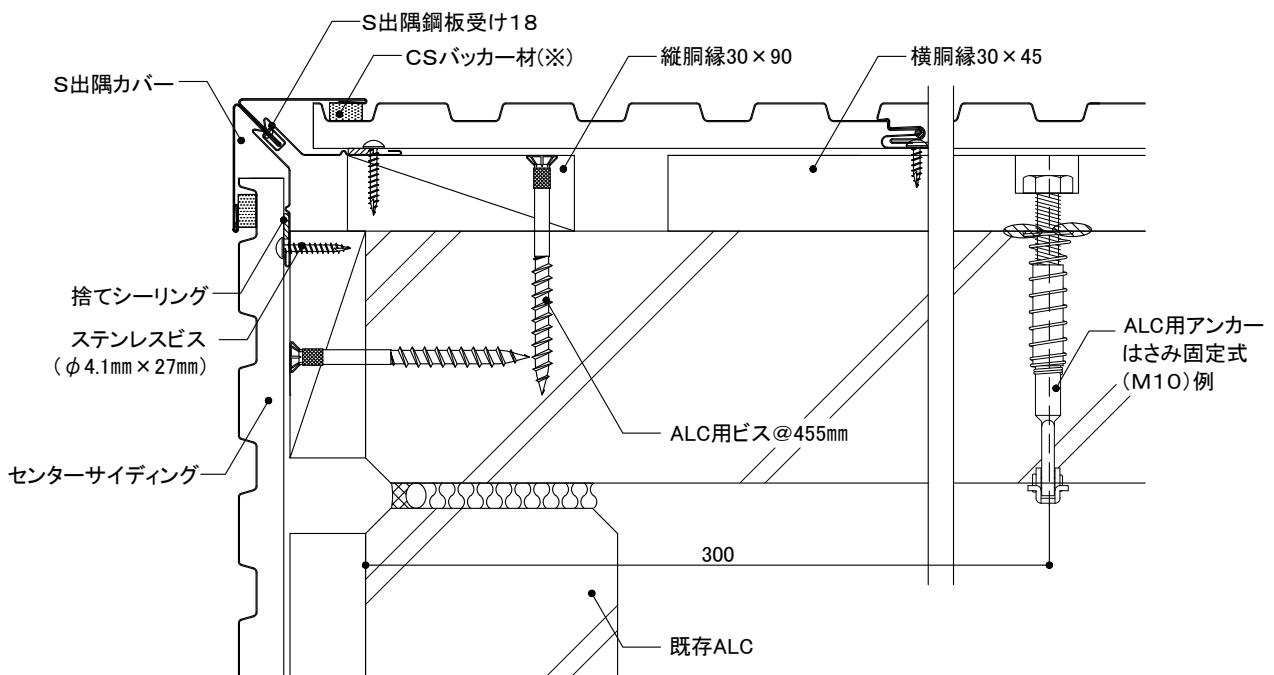
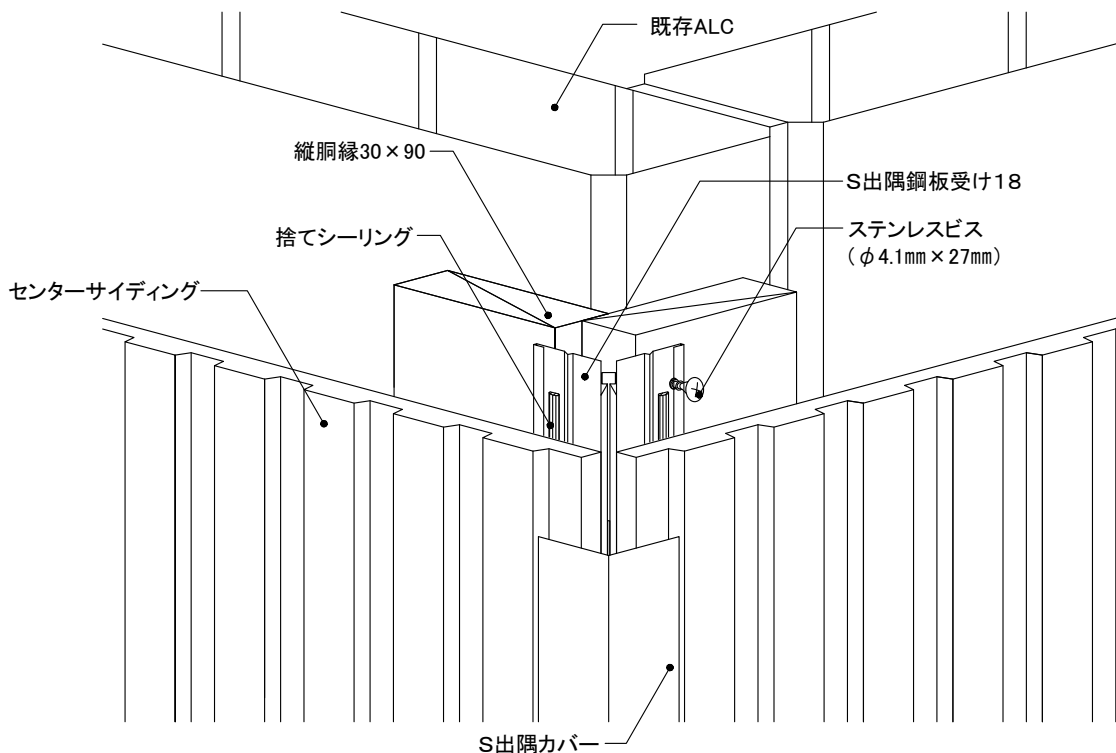
- 入隅部は、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- センターサイディングは、ステンレスビス(φ4.1mm×27mm)で実部に留め付けます。
- センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面からステンレスビス(φ4.1mm×45mm)で留め付けます。
- センターサイディングの端部が柄凹部でN見切縁18に隙間ができる場合は、必要に応じて図のようにCSパッカー材を貼り付けます。(※)



センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

8) 出隅部

- S出隅鋼板受け18を取り付け、捨てシーリング材を施工します。センターサイディングをステンレスビス(φ4.1mm×27mm)を用いて留め付けます。
- センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面からステンレスビス(φ4.1mm×45mm)で留め付けます。
- センターサイディング施工後、S出隅カバーを差し込みます。
- センターサイディング端部が柄凹部でS出隅カバーに隙間ができる場合は、必要に応じて図のようにCSパッカー材を貼り付けます。(※)

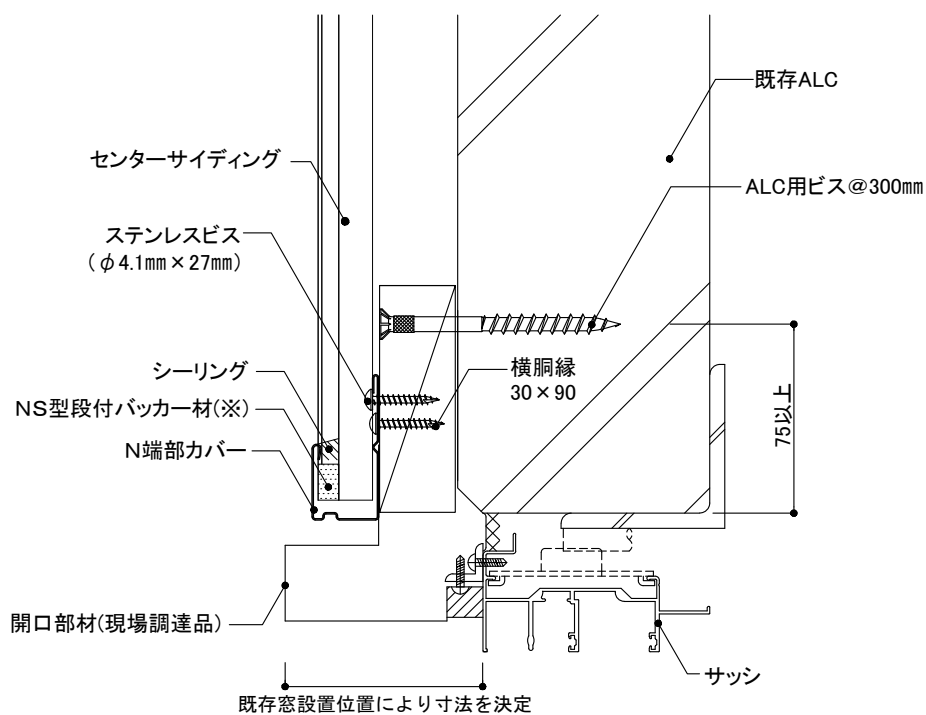
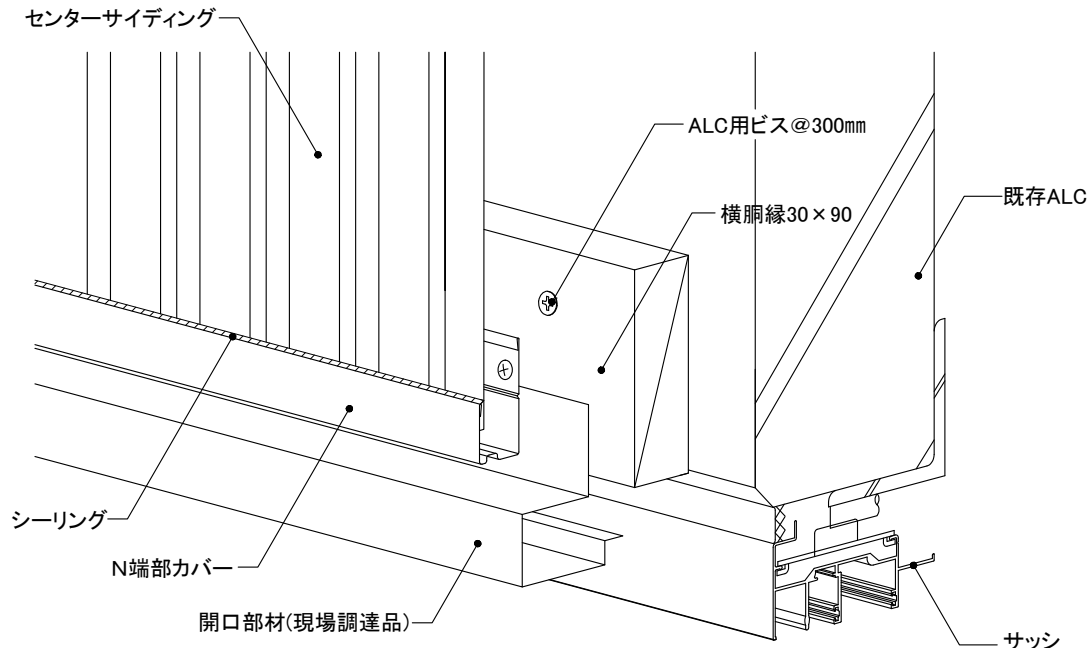


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

① 上側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシの形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 開口部材内部に水が溜まるおそれのある場合は、開口部材に適宜水抜き孔を設けます。
- センターサイディング下端にNS型段付バック材を貼り付けます。
- センターサイディングとN端部カバーの取り合い部にシーリングを施工します。

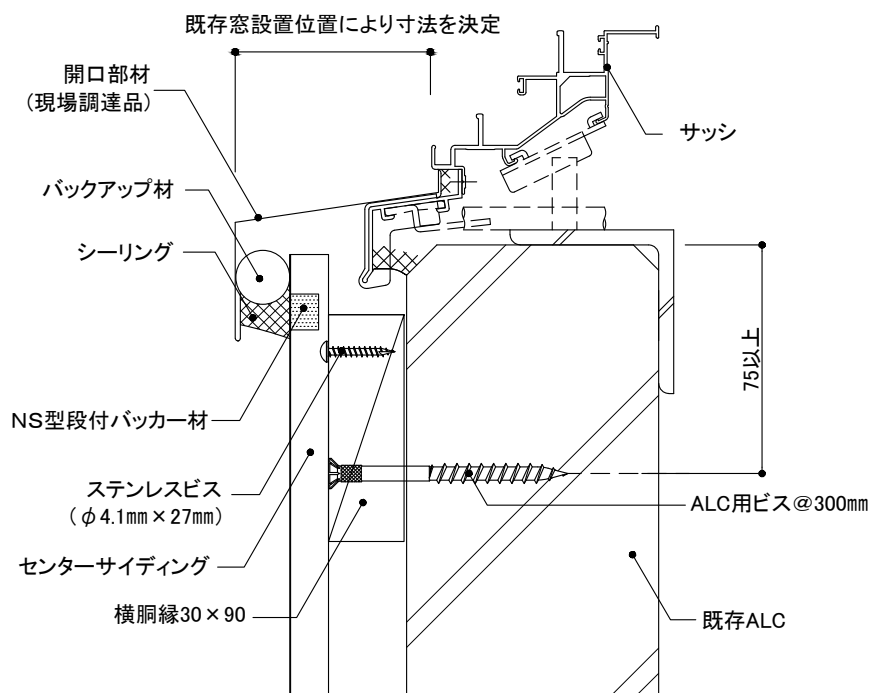
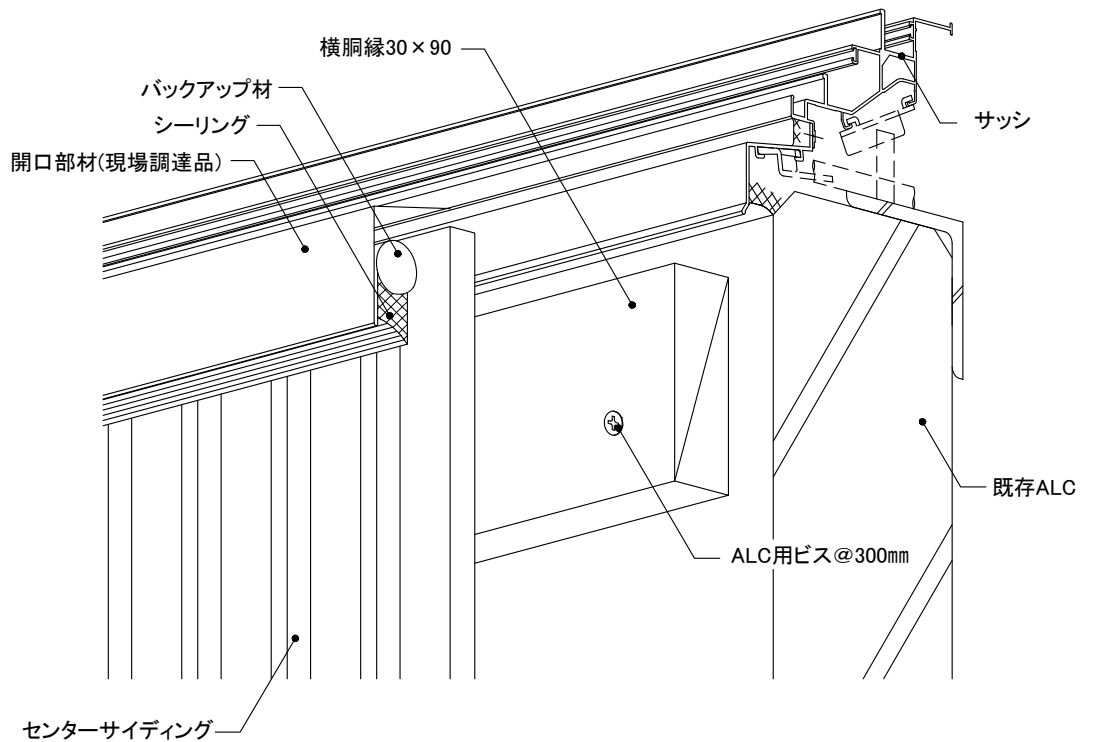


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

② 下側

- 開口部まわりには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシの形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- 各センターサイディング端部はNS型段付バッカー材を貼り付けます。

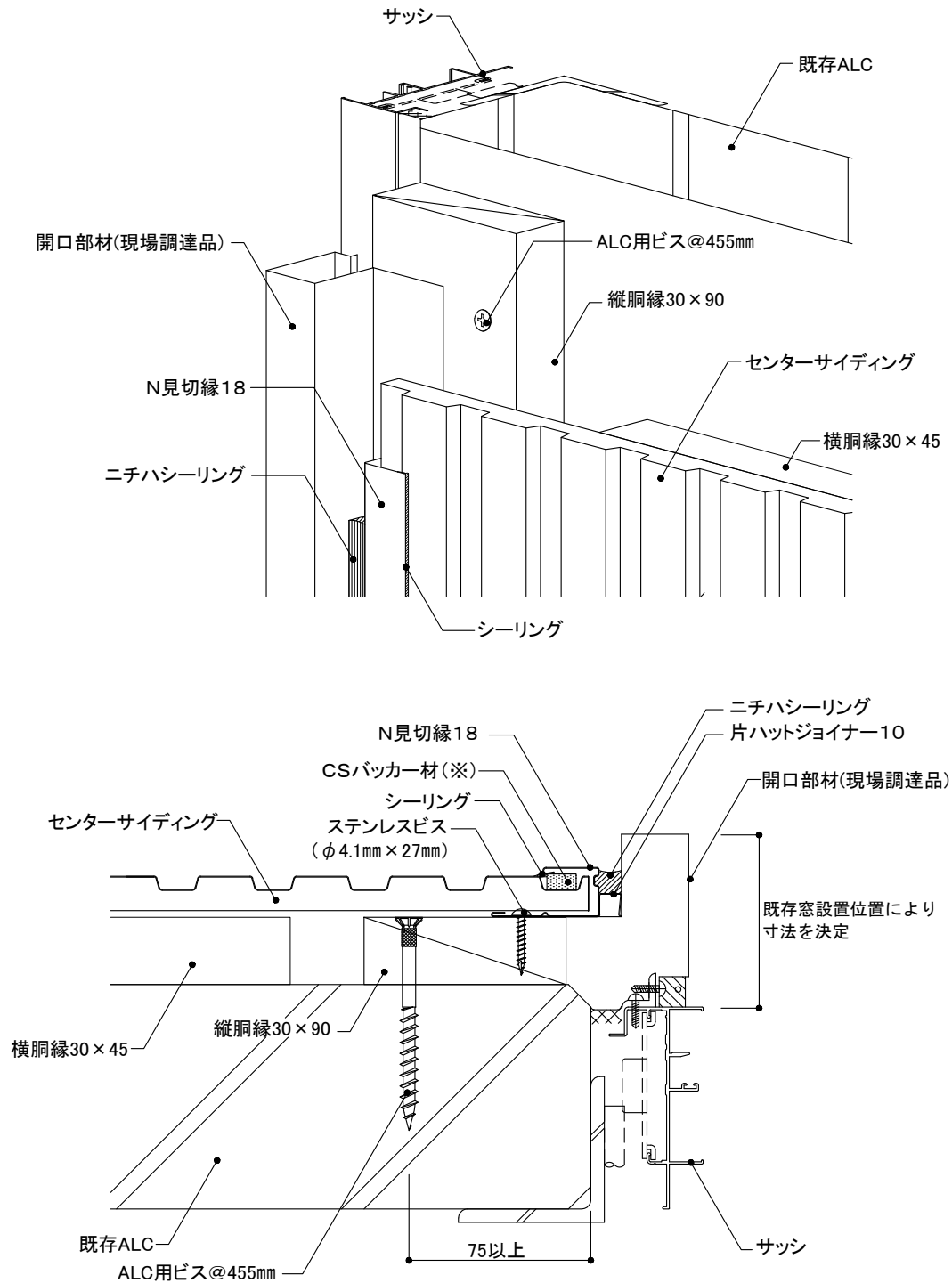


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

9) 開口部

③左右側

- 開口部まわりには、必要に応じて、倍幅90mm以上の木胴縁を取り付けます。
- 開口部まわりの開口部材は、既存建物のサッシの形状に合わせて、板金やアルミ加工品を取り付けます。
- センターサイディング端部が柄凹部でN見切縁18に隙間ができる場合は、図のようにCSバッカー材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングとN見切縁18の取り合い部にシーリングを施工します。

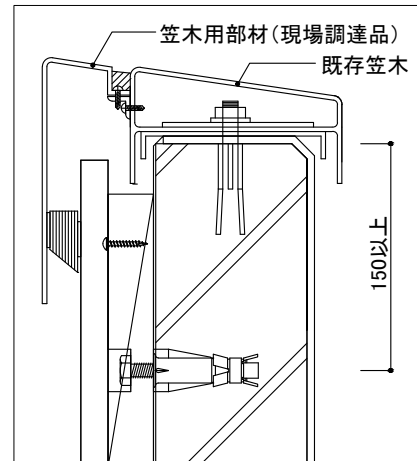
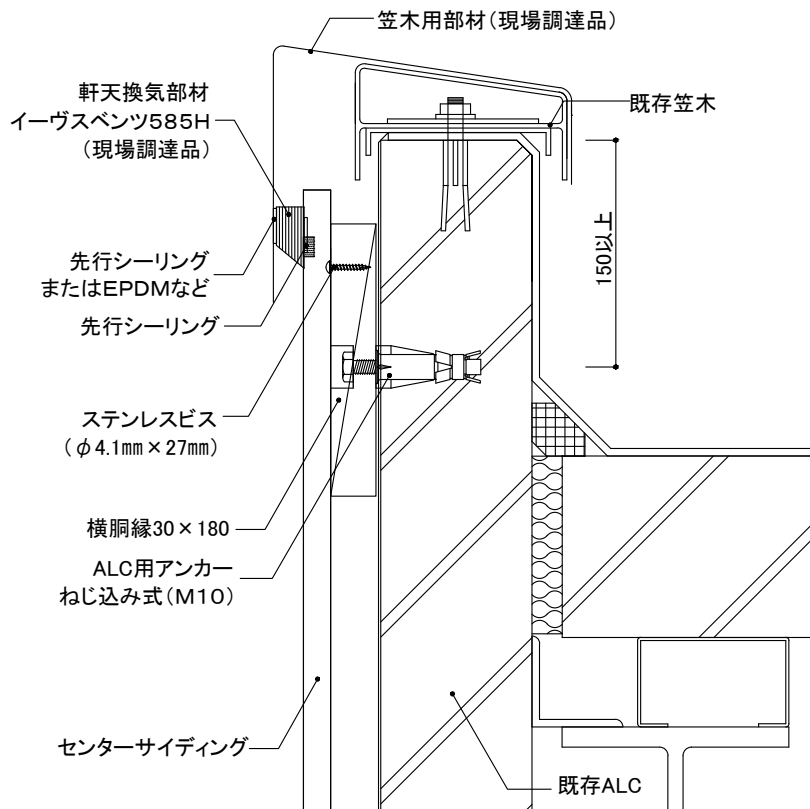
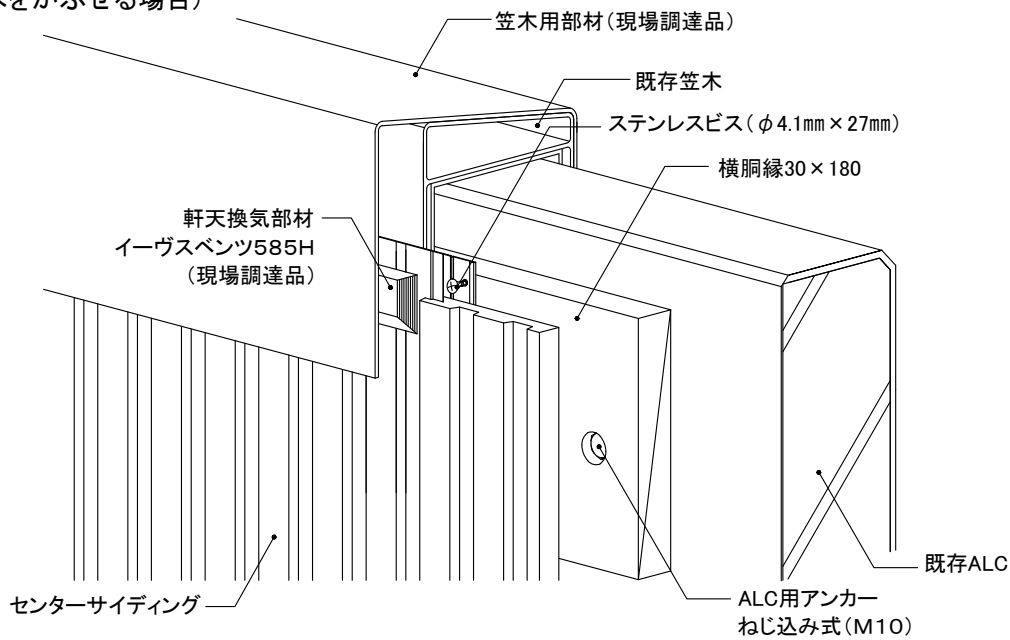


センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

10) 笠木部

- 笠木用部材は、現場調達により、既存笠木に継ぎ足す、全体にかぶせる、または既存笠木を取り外し、あらたに取り付けます。
- 上端部には通気確保のため、イーヴスベントツ585Hを用いて施工します。

(笠木をかぶせる場合)



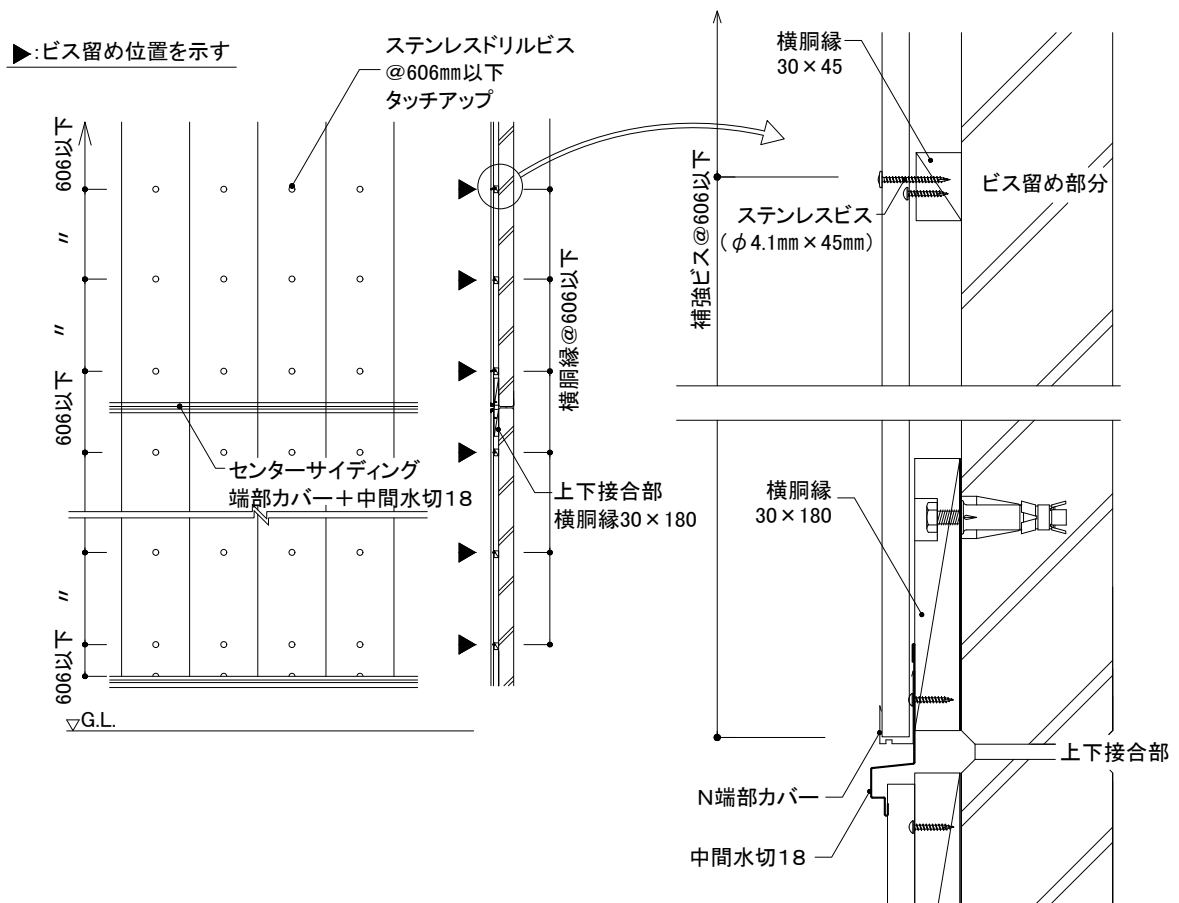
(笠木を継ぎ足す場合)

センターサイディング	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	ビス	縦	横胴縁@606mm以下

11)補強工法による施工

「1-1適用条件 3)適合地域 耐風圧条件」において、『補強工法』で施工する場合は以下の施工法とします。

- 補強工法は、センターサイディング表面からのビス留めし、補強します。
- ステンレスビス(φ4.1mm×45mm)を用い、胴縁ごと(606mm以下)の間隔で留め付けます。
- ビス留め位置は、センターサイディングの幅の中央とします。
- ビス頭の補修は、専用補修塗料を必要最小限の範囲に塗布します。



13 各部の納まり詳細図

S造 (ALC厚50mm)

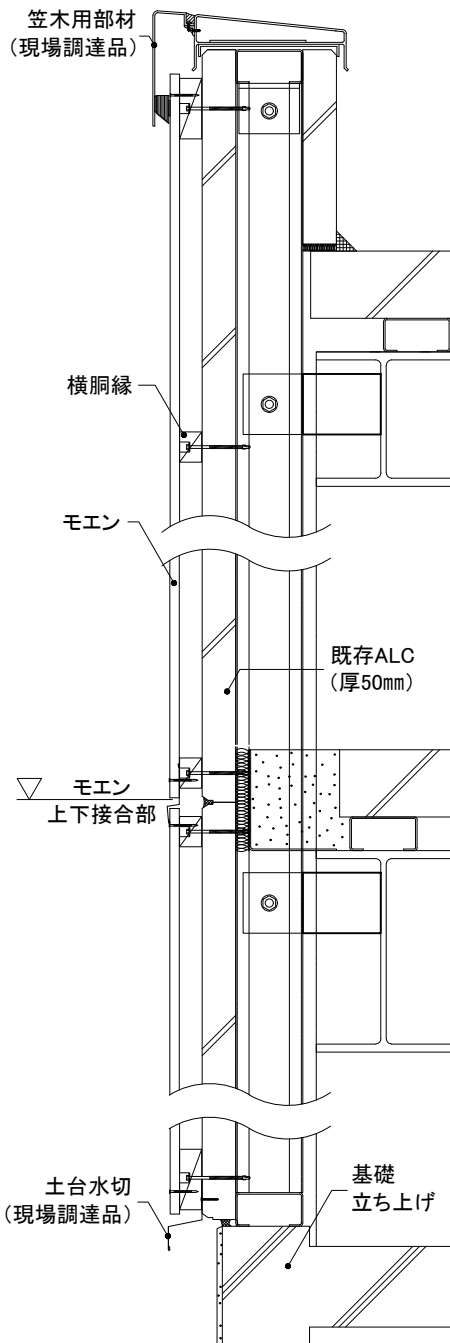
木胴縁工法

モエン縦張り

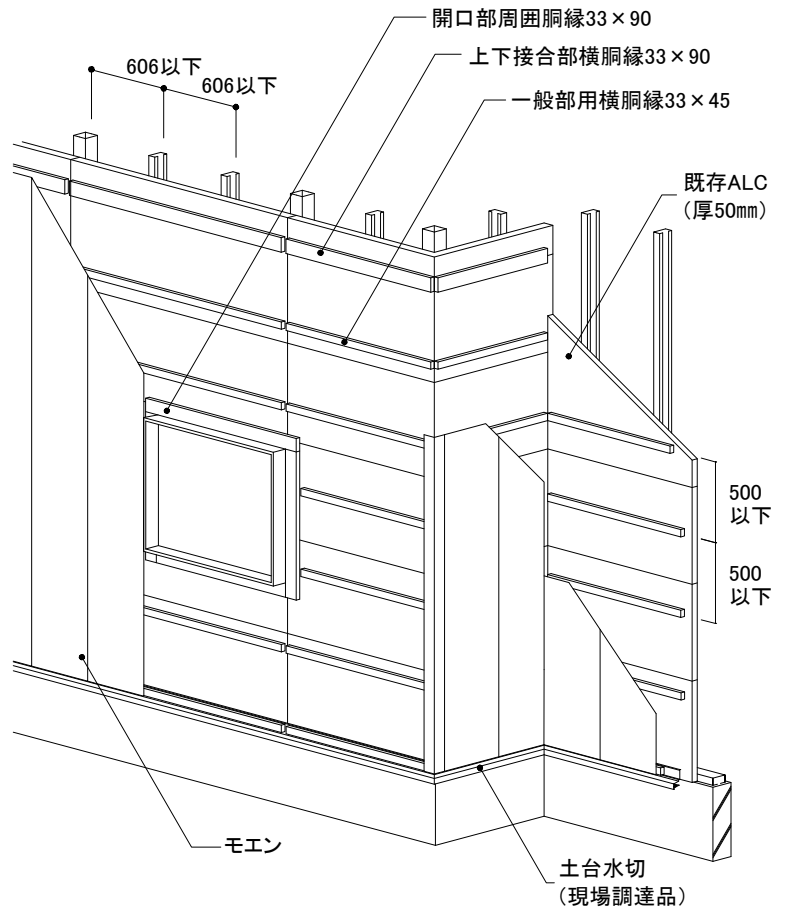
釘打ち施工

1) 基本構成図

構成断面



- 下地外壁材にひび割れなどがないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように500mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。
- 上下接合部などは、幅90mm程度の木胴縁を使用します。出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- 横胴縁は、必ず通気ができるように2,000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。また、開口部まわりの横胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。

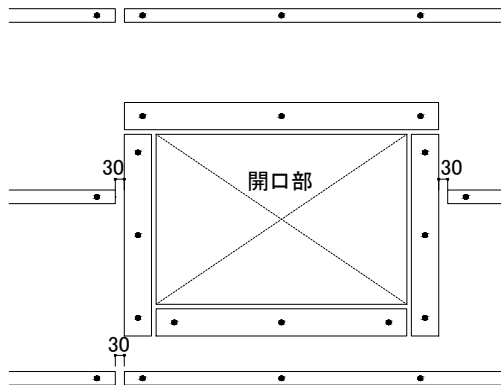


14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚50mm) 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

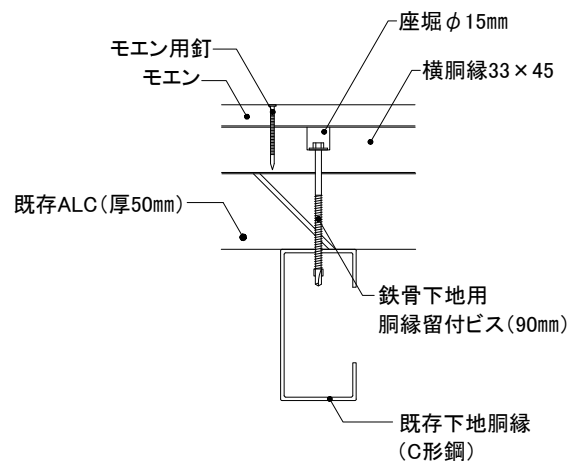
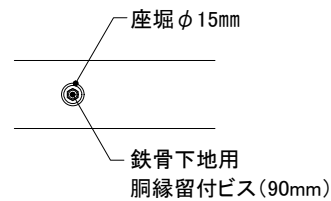
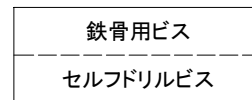
2) 胴縁概要図

- 木胴縁はALC厚50mmを貫通し、鉄骨下地に鉄骨下地用胴縁留付ビスで確実に留め付けます。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめ、ALC用アンカー部分にφ15mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 木胴縁は鉄骨下地用胴縁留付ビスを用い、606mm以下の間隔で留め付けます。

開口部まわり(現場調達開口部材納めの例)



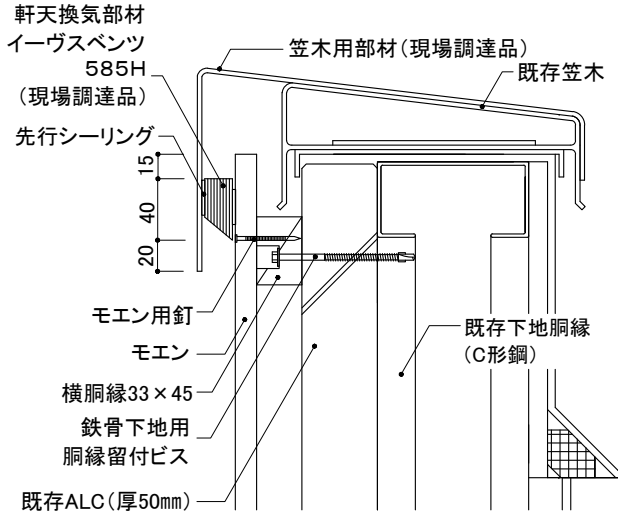
※開口部まわりは、ALC用ビスで留め付けてください。



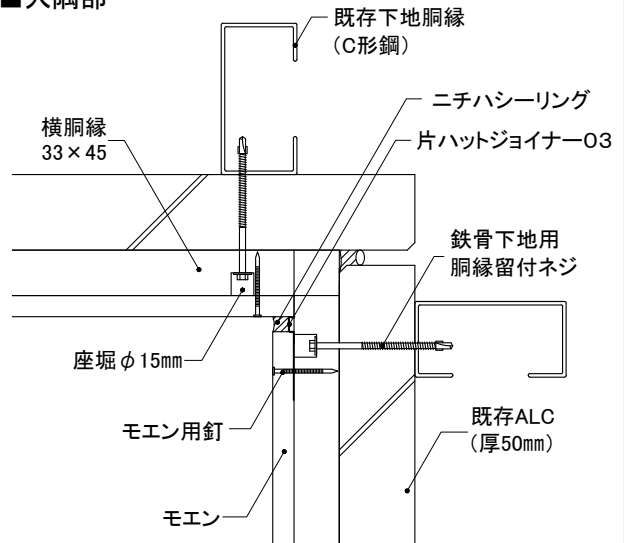
14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚50mm) 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

3) 各部の納まり概要図

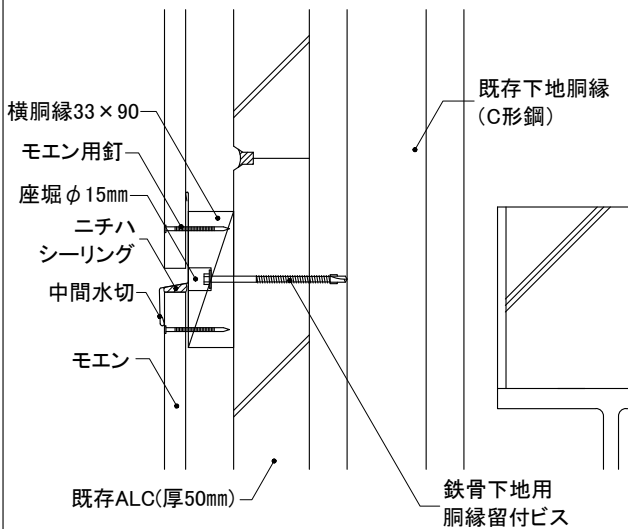
■ 笠木部(笠木をかぶせる場合)



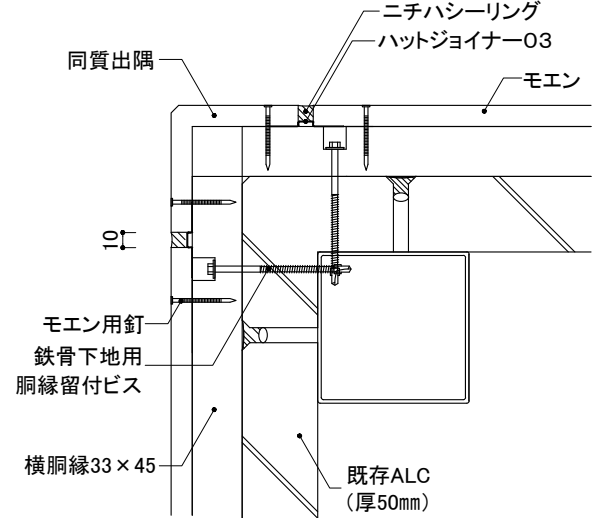
■ 入隅部



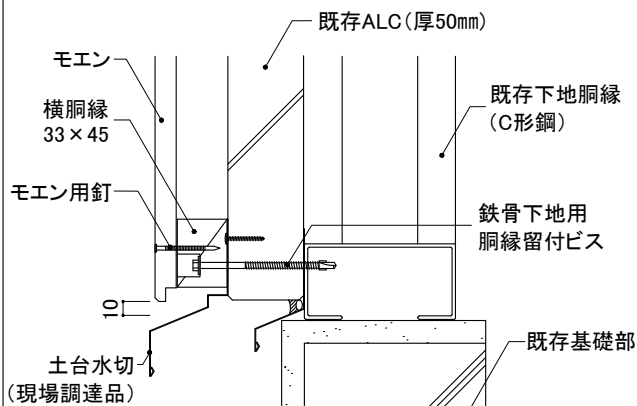
■ 上下接合部



■ 出隅部



■ 土台部



■ 左右接合部

